

# Panasonic®

■本機はP2HD5年間無償修理特約の対象商品です。詳しくは149ページをご覧ください。

## 取扱説明書

### メモリーカード ポータブルレコーダー / プレーヤー

# P2HD

品番 **AJ-HPM110**



**AVC INTRA** **DVC PRO HD** **DVC PRO 50** **DVC PRO** **DV**

このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」(5~7ページ)を必ずお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

#### 保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

● AVC-Intra は、AVC-Intra コーデックボード AJ-YBX200G (オプション) 取り付け時にご利用いただけます。

# 目次

安全上のご注意	5
警告	5
注意	7
電源プラグの接地に関するご注意	7
定格の記載位置	7
付属品	8
オプション	8
トップパネルの開閉	9
<hr/>	
はじめに	
特長	10
各部の名称と機能	13
オーディオ・ビデオ制御部	13
GUI 操作部	16
パネル制御部とカードスロット	19
表示パネル	20
リアパネル	21
サイドパネル	24
画面の切り替えとメニューの操作について	25
操作モードについて	25
メニューの操作	26
キーボードを利用する	27
フルキーボードを利用する	27
テンキーボードを利用する	27
記録・再生と P2 カードの取り扱いについて	28
P2 カードの挿入	28
記録と再生	28
LOOP REC 機能	29
P2 カードの取り出し	30
誤消去を防ぐには	30
接続	31
23.98/24/29.97/25Hz モード時のシステム接続例	31
外部リモート制御時の接続例	31
バリエラブルフレームレートカメラからの記録	32
バリエラブルフレームレートカメラからの HD SDI 出力信号を 720/23.98p 記録する	32
HD カメラからの HD SDI 出力信号を 1080/23.98p 記録する (オプション装着時)	33
サーチダイヤルによるジョグ/シャトル操作	34
ジョグモード (JOG モード)	34
シャトルモード (SHTL モード)	34
<hr/>	
クリップの管理	
サムネイルとクリップの管理について	35
サムネイル画面各部の名称とはたらき	36
サムネイル画面の表示の変更	37
サムネイルの変更	39
クリップを選択する	40
クリップを再生する	41
単一クリップを再生する	41
テキストメモやショットマークを付加する	42
テキストメモを付加する	42
ショットマークを付加する	43
クリップをコピーする	44
クリップを削除する	45
クリップを修復する・連結する	46
不良クリップの修復	46
不完全クリップの連結	46
クリップの情報を表示・修正する	47
クリップ情報の表示	47

クリップメタデータの修正 .....	48
<b>クリップにメタデータを付加する .....</b>	<b>49</b>
メタデータアップロードファイルの準備 .....	49
メタデータを付加するための設定 .....	49
メタデータ設定値の読み込み .....	51
メタデータを付加したクリップの記録 .....	52
<b>P2 カードをフォーマットする .....</b>	<b>53</b>
<b>カードの状態を確認する .....</b>	<b>54</b>
表示する情報を指定する .....	54
カードの状態に関する情報を表示する .....	55

---

## プレイリストの利用



<b>プレイリスト機能について .....</b>	<b>56</b>
プレイリスト画面各部の名称とはたらき .....	57
プレイリストの操作で使用するボタンとその組み合わせ .....	59
ストップモードの設定 .....	62
<b>プレイリストを作成する .....</b>	<b>63</b>
新規プレイリストの準備 .....	63
編集時のオーディオチャンネル入れ替え設定 .....	64
選択クリップのイベント登録 .....	64
映像からのイベント登録 .....	65
既存のプレイリストファイルの追加取り込み .....	66
<b>プレイリストを保存する .....</b>	<b>67</b>
プレイリストに名称をつける .....	67
プレイリストを P2 カードに保存する .....	67
<b>プレイリストを編集する .....</b>	<b>68</b>
既存のプレイリストファイルを開く .....	68
イベントの IN 点、OUT 点の修正 .....	69
イベントのトリミング修正 .....	69
イベントの順序の変更 .....	70
イベントの削除 .....	71
イベントの上書き保存 .....	72
<b>プレイリストを削除する .....</b>	<b>73</b>
<b>プレイリストを上書き編集する .....</b>	<b>74</b>
イベントの上書きの準備 .....	74
イベントのオーディオを EXTRA トラックへ登録する .....	75
上書き位置と書き込む映像と音声を選択する .....	75
イベントの仮登録とその修正 .....	76
プレビューと音の調整をする .....	77
上書き編集を確定する .....	78
イベントを再修正 (リコール) する .....	78
<b>オーディオスプリットを設定する .....</b>	<b>79</b>
映像からの登録 .....	80
オーディオスプリット点の追加登録 (登録点修正) .....	81
オーディオスプリット点のトリミング .....	81
オーディオスプリット設定の解除 .....	82
<b>オーディオを追加記録する (簡易ボイスオーバー) .....</b>	<b>83</b>
オーディオ追加記録の準備 .....	83
静止画状態からの追加記録 .....	84
再生状態からの追加記録 .....	84
追加記録したオーディオのイベント表示について .....	85
オーディオの記録位置のトリミング修正 .....	85
<b>イベントの情報を表示する .....</b>	<b>86</b>
イベントのプロパティの表示 .....	86
イベントのレビュー .....	87
<b>プレイリストを再生する .....</b>	<b>88</b>
再生時のタイムコード (TC) の設定 .....	88
プレイリストの再生 .....	89
<b>プレイリストから新しいクリップを作成する (エディットコピー) .....</b>	<b>90</b>

<b>USB 端子や SD/SDHC メモリーカードを利用する</b>	<b>USB 端子を利用する</b> .....	<b>91</b>
	USB ホストとして利用する .....	91
	USB デバイスとして利用する .....	91
	<b>本機にパーソナルコンピューターを接続して利用する</b> .....	<b>92</b>
	USB デバイスモードへの切り替え .....	92
	<b>本機にハードディスクを接続して利用する</b> .....	<b>93</b>
	使用できるハードディスク .....	93
	USB ホストモードへの切り替え .....	94
	ハードディスクのフォーマット .....	94
	カード単位でのハードディスクへのエクスポート .....	95
	ハードディスクの情報の表示（エクスプローラー画面） .....	96
	ハードディスクのクリップのサムネール表示 .....	97
	ハードディスクから P2 カードへのインポート .....	98
	<b>SD/SDHC メモリーカードを利用する</b> .....	<b>99</b>
	SD メモリーカードの各種情報を表示する .....	99
	SD メモリーカードをフォーマットする .....	99
	<b>外部リモート制御</b> .....	<b>100</b>
	外部機器のリモート操作 .....	100
	カードへの自動記録 .....	101
<b>セットアップ</b>	<b>本機の設定について</b> .....	<b>102</b>
	<b>設定の変更</b> .....	<b>103</b>
	変更の操作 .....	103
	ロックによるユーザー設定ファイルの保護 .....	104
	工場出荷時の設定（初期設定）に戻すには .....	104
	<b>各項目の設定内容</b> .....	<b>105</b>
	SYSTEM .....	105
	BASIC .....	107
	OPERATION .....	112
	INTERFACE .....	114
	TIME CODE .....	115
	VIDEO .....	117
	AUDIO .....	122
	DIF .....	125
	MENU .....	125
	メニューの SD メモリーカードへの保存について .....	127
	<b>タイムコード／ユーザーズビット／CTL について</b> .....	<b>129</b>
	<b>スーパーインポーズ画面</b> .....	<b>132</b>
	<b>入力／出力対応フォーマット一覧</b> .....	<b>133</b>
	<b>音声 V フェード機能</b> .....	<b>135</b>
	<b>音声の記録チャンネルの選択</b> .....	<b>136</b>
	音声の記録チャンネル .....	136
<b>末永くお使いいただくために</b>	<b>結露</b> .....	<b>137</b>
	<b>お手入れについて</b> .....	<b>137</b>
	<b>エラーメッセージ</b> .....	<b>138</b>
	ワーニング情報の表示 .....	139
	アワーメーター情報の表示 .....	144
	ショートカット一覧 .....	145
	<b>本機搭載ファームウェアのアップデート</b> .....	<b>147</b>
	<b>P2 カード記録データの取り扱いについて</b> .....	<b>148</b>
<b>保証とアフターサービス（よくお読みください）</b> .....		<b>149</b>
<b>定格</b> .....		<b>150</b>
<b>メニュー索引</b> .....		<b>152</b>




# 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。






表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

 <p><b>電源プラグは、根元まで確実に差し込む</b></p> <p>差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>	 <p><b>電源プラグのほこりなどは、定期的にとる</b></p> <p>プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。</li> </ul>	 <p><b>内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない</b></p> <p>ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。</li> </ul>
 <p><b>指定のカバー以外は外さない</b></p> <p>分解禁止</p> <p>火災や感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。</li> </ul>	 <p><b>電源コード・プラグが破損するようなことはしない</b> (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)</p> <p>傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</li> </ul>	

次ページへつづく

## ⚠ 警告(つづき)



**不安定な場所に置かない**

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



**縦置きする場合は、転倒に十分注意する**

振動などで倒れると、けがの原因になります。

●縦置きは運搬時、手の届く範囲での一時的な置き方ですので、そのまま放置したり、保管しないで下さい。



**付属品・オプションは、指定の製品を使用する**

本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。



**分解や改造をしない**

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。

●内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。



**コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100V～240V以外での使用はしない**

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



**雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない**

接触禁止

感電の原因になります。



**水場で使用しない**

水場使用禁止

火災や感電の原因になります。



**ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない**

ぬれ手禁止

感電の原因になります。



**SD/SDHCメモリーカード(別売品)は、乳幼児の手の届く所に置かない**

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



**異常があったときは、電源プラグを抜く**

電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音などが出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

●本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。

●本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。

●販売店に相談してください。












**外部DC電源を使用するときは、電源電圧、およびDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する**

誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると火災や故障の原因になります。

詳しくは22ページを参照してください。

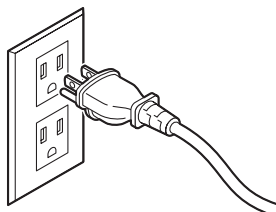
(DC電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください)

## ⚠ 注意

 <p><b>長期間使用しないときや、お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く</b></p> <p>火災や感電の原因になります。</p>	 <p><b>油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない</b></p> <p>電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。</p>	 <p><b>直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない</b></p> <p>特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機を絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。</p>
 <p><b>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談をする</b></p> <p>本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。</p>	 <p><b>電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない</b></p> <p>コードが傷つき、火災や感電の原因になります。 ●必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。</p>	 <p><b>コードを接続した状態で移動しない</b></p> <p>コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。</p>
 <p><b>本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。</li> <li>●重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。</li> </ul>	 <p><b>本機の放熱を妨げない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●押し入れや本箱など、狭いところに入れないでください。</li> <li>●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。</li> <li>●通風孔やファンは、ふさがないようにしてください。</li> <li>●横倒し、逆さまにしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。</li> </ul>	 <p><b>ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない</b></p> <p>ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。</p>

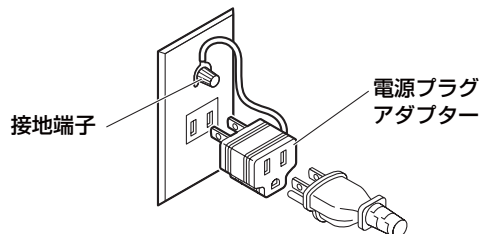
### 電源プラグの接地に関するご注意

- 本機に付属されている電源コードは、接地端子を備えた3ピンのコンセントに接続してください。



海外で使用する場合は、その国に合った接地端子付電源コードを準備してください。  
本機に付属している電源プラグアダプターを、さらに変換して使用しないでください。

- 2ピンのコンセントを使用する場合は、付属の電源プラグアダプターを取り付け、必ず、接地端子にアース線を接続してください。アース線を接続するときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターに差し込む前に、行ってください。また、アース線を外すときは、必ず、電源コードを電源プラグアダプターから抜いた後に、行ってください。



- 本機に付属されている電源プラグアダプターを、他の機器には、絶対に使用しないでください。

### 定格の記載位置

定格銘板は底面にあります。

# 付属品

電源コード(3芯) .....	1
電源プラグアダプター .....	1
CD-ROM.....	1
フェライトコア .....	4

(USB2.0端子にケーブルを接続するときは、ケーブルの両端にフェライトコアを取り付けてください。)

## オプション

- AVC-Intraコーデックボード(AJ-YBX200G)

### ◆NOTE:

- オプションボードは、必ず上記の製品を使用してください。

### ■ 本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License(GPL)ならびにGNU Lesser General Public License(LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

GPL / LGPLの内容については、本機に付属したインストールCDに収められています。「LDOC」という名前のフォルダを参照してください(原文(英文)で記載しております)。

また、ソースコードの入手については、下記のホームページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

2. 本製品には、MIT-Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。MITの内容については、本機に付属したCD-ROMに収められています。「LDOC」という名前のフォルダを参照してください。(原文(英文)で記載しております。)

### ■ 録画内容の補償はできません

本機およびP2カードの使用で、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

### ■ メモリーカードを破棄／譲渡するときのお願い

本機やパーソナルコンピューターの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパーソナルコンピューター用データ消去ソフトなどを使って、メモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

### ■ 設置場所について

本機を直射日光にさらされた場所に置かないでください。キャビネットの劣化や、液晶画面の損傷の恐れがあります。

### ■ 液晶について

- ・ 液晶部は 99.99%以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の画素欠けや常時点灯(赤、青、緑)するものがあります。これは故障ではありません。
- ・ 表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。
- ・ 液晶部を固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。
- ・ 長時間静止画像を映したままにしておくと、一時的な残像(焼き付き)が発生する場合があります。
- ・ 液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。
- ・ 本機を、温度や湿度の高いところに長時間放置すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。

※ SDHCロゴは商標です。



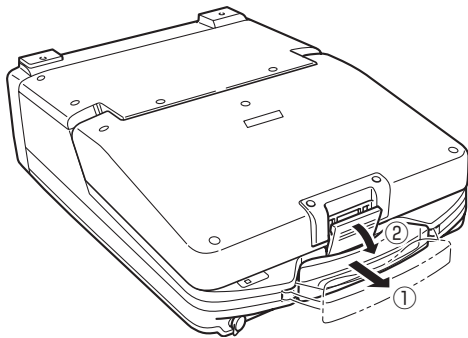
# トップパネルの開閉

## ◆NOTE:

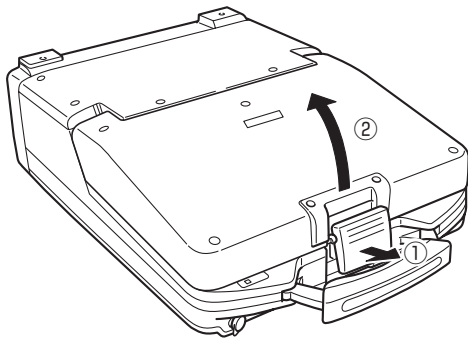
- トップパネルの開閉時に、指を挟まないように注意してください。
- トップパネルを閉じるときは必ずカードロックが ON の位置であることを確認してください。ON にしない状態で無理に閉じると故障の原因となります。

## トップパネルの開き方

- 1 取っ手を引き出した状態でレバーの上部を引き、ロックを解除します。

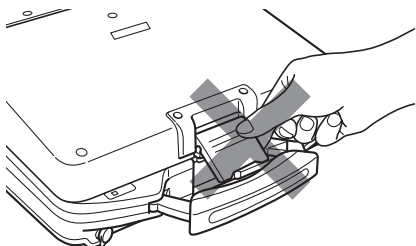


- 2 レバーの下部を外し、トップパネルを持ち上げて開きます。



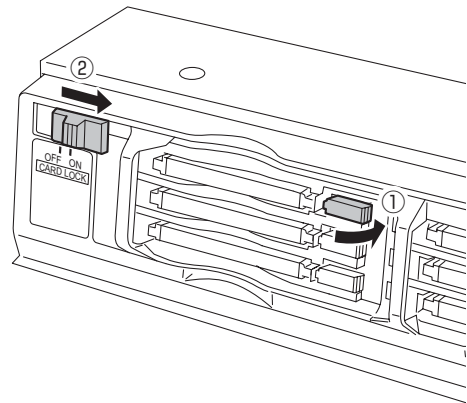
## ◆NOTE:

- レバーに無理な力をかけないでください。

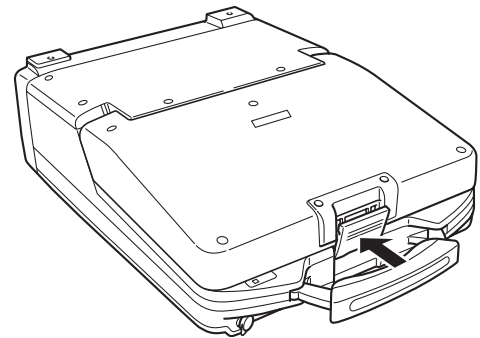


## トップパネルの閉じ方

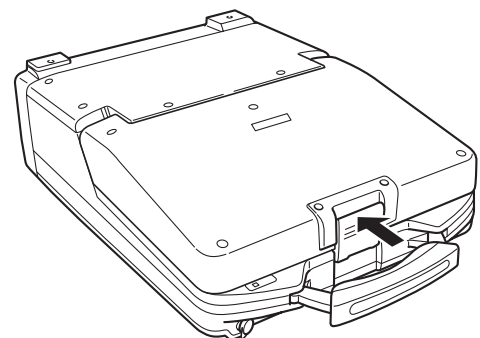
- 1 EJECTボタンが倒れているか確認します。倒れていなければ、EJECTボタンを右に倒して、カードロックをONにしてください。



- 2 トップパネルを閉じ、レバーの下部を引っかけます。



- 3 レバーの下部を引っかけたまま、レバーの上部を押し込み、ロックします。



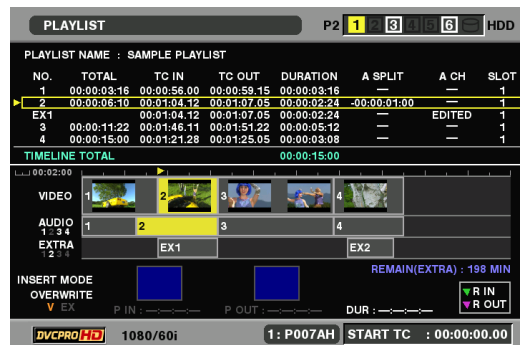
# はじめに

## 特長

AJ-HPM110は、6つのP2カード(※)スロット、9型カラー液晶モニターを搭載したメモリーカードポータブルレコーダー/プレーヤーです。6枚のP2カード(※)にDVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DV、AVC-Intra(オプション)の圧縮フォーマットで映像・音声などの記録・再生を行うことができ、従来の編集用VTRのプレーヤー側としても使用できます。

AJ-HPM110は、次のような特長があります。

※「P2」ロゴがついたメモリーカード(別売のAJ-P2C032RGなど)を、以後「P2カード」と表記します。



## ■ P2カード対応カメラとの連携

P2カメラレコーダーで収録したP2カードを、本機のスロットへ直接マウント、そのまま操作できます。

P2カードはプロユースのA/Vメディアとしてパナソニックが開発した半導体メモリーカードです。

### ●P2カードと記録時間について

P2カードの記録時間:32GBカード1枚使用時

映像方式	HDモード		
	記録方式と記録時間		
	DVCPRO HD	AVC-Intra100 <sup>*1</sup>	AVC-Intra50 <sup>*1</sup>
1080-59.94/50i <sup>*2</sup>	約32分	約32分	約64分
1080-30PN/25PN(Native)	----	約32分	約64分
1080-24PN(Native)	----	約40分	約80分
720-59.94P/50P <sup>*2</sup>	約32分	約32分	約64分
720-30PN/25PN(Native)	約64分	約64分	約128分
720-24PN(Native)	約80分	約80分	約160分

\*1 AVC-Intraコーデックボード(AJ-YBX200G)装着時

\*2 DVCPRO HDの30P, 24P, 25Pプルダウン時を含む

映像方式	SDモード		
	記録方式と記録時間		
	DVCPRO 50	DVCPRO <sup>*3</sup>	DV <sup>*3</sup>
480-59.94i/576-50i <sup>*4</sup>	約64分	約128分	約128分

\*3 オーディオ2ch記録時

\*4 30P, 24P, 25Pプルダウン時を含む

### ◆NOTE:

●本機で動作検証済みP2カードは以下の通りです。

- ・AJ-P2C004HG(4GB)
- ・AJ-P2C008HG(8GB)
- ・AJ-P2C016RG(16GB)
- ・AJ-P2C032RG(32GB)

(カードの品番および容量は2008年1月時点のものです。大容量化などにより変更する場合があります)

またAJ-P2C002SG(2GB)は使用できません。

●16GBのP2カードは上記の各値を1/2に、8GBのP2カードは1/4に、4GBのP2カードは1/8に換算してください。

### ●P2カードおよびSD/SDHCメモリーカードの最新情報について

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

日本語: <http://panasonic.biz/sav/>

英語: <https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

## ■ フレームレート変換機能

バリエブルフレームレートカメラからの入力を24PN(Native)で記録したり、フレームレートが24fpsで記録されたカードを再生し、1080/24PsFへの変換出力を行うことができます。

また、バリエブルフレームレートカメラからの入力を25PN(Native)で記録することができます。

### ◆NOTE:

●撮影後に編集加工したカードやフォーマットの混在したカードを使用しないでください。管理情報が失われ、正常に変換再生できない場合があります。

## ■ Native記録

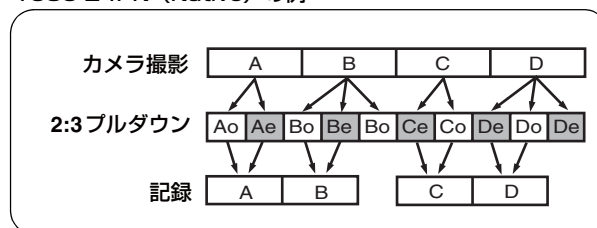
有効フレームのみを記録するNative記録に対応しています。VaricamやAJ-HPX2100、AJ-HPX3000などとHD-SDIで接続し、より記録時間を延ばすことができます。またVaricamとの接続によるVFR記録にも対応しています。

### ●Native記録とは

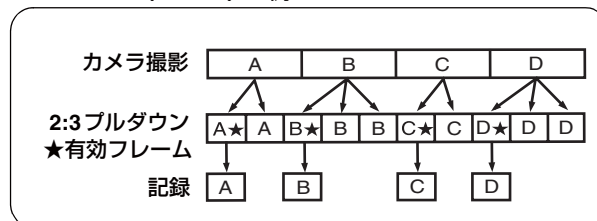
1080iのAVC-Intra記録(オプション)、および720PのDVCPRO HDとAVC-Intra記録(オプション)で記録のフレームレートに応じて、有効フレームのみを抜き出して記録する方式です。720Pの場合、プルダウン記録よりも2~2.5倍長く記録することができます。

なお、Native記録のときでもSYSTEM FREQが59.94Hzあるいは50Hzの場合はプルダウン出力となります。

### 1080-24PN (Native) の例



### 720-24PN (Native) の例



## ■ フィルム用シネガンマ補正

バリエブルフレームレートカメラのフィルム用シネガンマモードで撮影された映像を、フィルム質感の映像に補正することができます。

## ■ 9インチワイド液晶モニター

HDの映像を表示するため、9インチのワイド液晶を採用しています。

## ■ ダイヤルジョグ／ダイヤルシャトル

ジョグ操作は、-1.0～+1.0倍速でのスロー再生\*1が可能です。

シャトル操作は、正・逆方向に最大100倍速まで再生可能で、10倍速以下までは、音声付き再生も可能です。

\*1 セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQが59.94、50、29.97、25、60-25のとき

## ■ サムネールによりクリップを視覚的に管理

フロントパネルの9型カラー液晶モニターに、P2カードに収録されたクリップの代表画像(サムネール)を表示。サムネール画面には、指定したクリップだけを表示できます。

サムネールの一覧から選択したクリップをすぐに再生したり、ショットマーカの追加、クリップのファイル情報の確認や追加などのクリップの管理が行えます。

＜クリップについて＞

クリップとは、画像、音声、メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことです。通常は、記録を開始して停止するまでの1回の記録によって生成される1ショットが1クリップになります。ただし、複数のP2カードにまたがったショットは、各カードの映像が独立したクリップとして扱われます。また、記録を開始したときの映像がそのクリップの代表映像としてサムネール画面に表示されます。

## ■ 外部機器制御

RS-422AまたはIEEE1394インターフェースを用いて外部機器を制御することができます。RS-422Aでは外部機器のIN/OUTを指定することで、自動的に映像と音声をキャプチャーすることができます。

## ■ プレイリスト作成・再生機能

P2カードに記録された映像・音声の再生したい部分だけを選択し、任意の順番に再生することができます。

### ●各種プレイリスト編集機能を搭載

- ・オーディオIN点スプリット：ビデオに対して音声のIN点をずらして再生することができます。
- ・オーディオ追加記録：音声の1または2チャンネルの任意の区間を、別途作成した音声データと付け替えて再生することができます。
- ・AV上書き修正：プレイリストの任意の区間の画像と音声(2チャンネルのみ)を上書き修正、および再生することができます。

## ■ タイムコード／編集用プレーヤー機能を搭載

本機は、TCG(タイムコードジェネレーター) / TCR(タイムコードリーダー)を内蔵しています。内部タイムコードの他に、外部タイムコード入力または入力信号のVITCをタイムコードとして記録できます。

また、RS-422Aを用いた編集システムのプレーヤーとしても使用できます。

## ■ HD / SD、59.94Hz / 50Hz / 23.98Hz / 24Hz / 25Hz に対応

本機は、HD / SD、59.94Hz / 50Hz / 23.98Hz / 24Hz / 25Hz信号を記録・再生できます。

アナログビデオ入出力、SDI入出力、IEEE1394入出力が行えます。

## ■ 8チャンネルの高音質デジタルオーディオ

8チャンネルのPCMオーディオを持ち、各チャンネルは独立(HD SDIは8CH独立／アナログIFは4CH独立)して記録ができるほか、チャンネルミックスが可能です。

## ■ アップ／ダウン／クロスコンバーター内蔵

標準でアップ／ダウン／クロスコンバート再生機能を内蔵しています。

## ■ メニュー方式のセットアップ

セットアップの各種設定は、本機の9型カラー液晶モニター、モニターTV表示のセットアップメニューを見ながら、確実に行えます。

## ■ HDDの接続でカードデータの保存にも対応

USB2.0インターフェースを持つHDDと接続して、カードのデータをHDDに保存できます。また、HDDに保存したデータをカードに書き戻すこともできます。

さらに、パーソナルコンピューターとUSB2.0で接続することにより、本機のスロットに挿入されたP2カードをマスタストレージとして扱うことが可能。そのままノンリニア編集できます。

## ■ AVC-Intraコーデックオプション対応

オプションのAJ-YBX200Gを装着することでAVC-Intraコーデックを追加することができます。

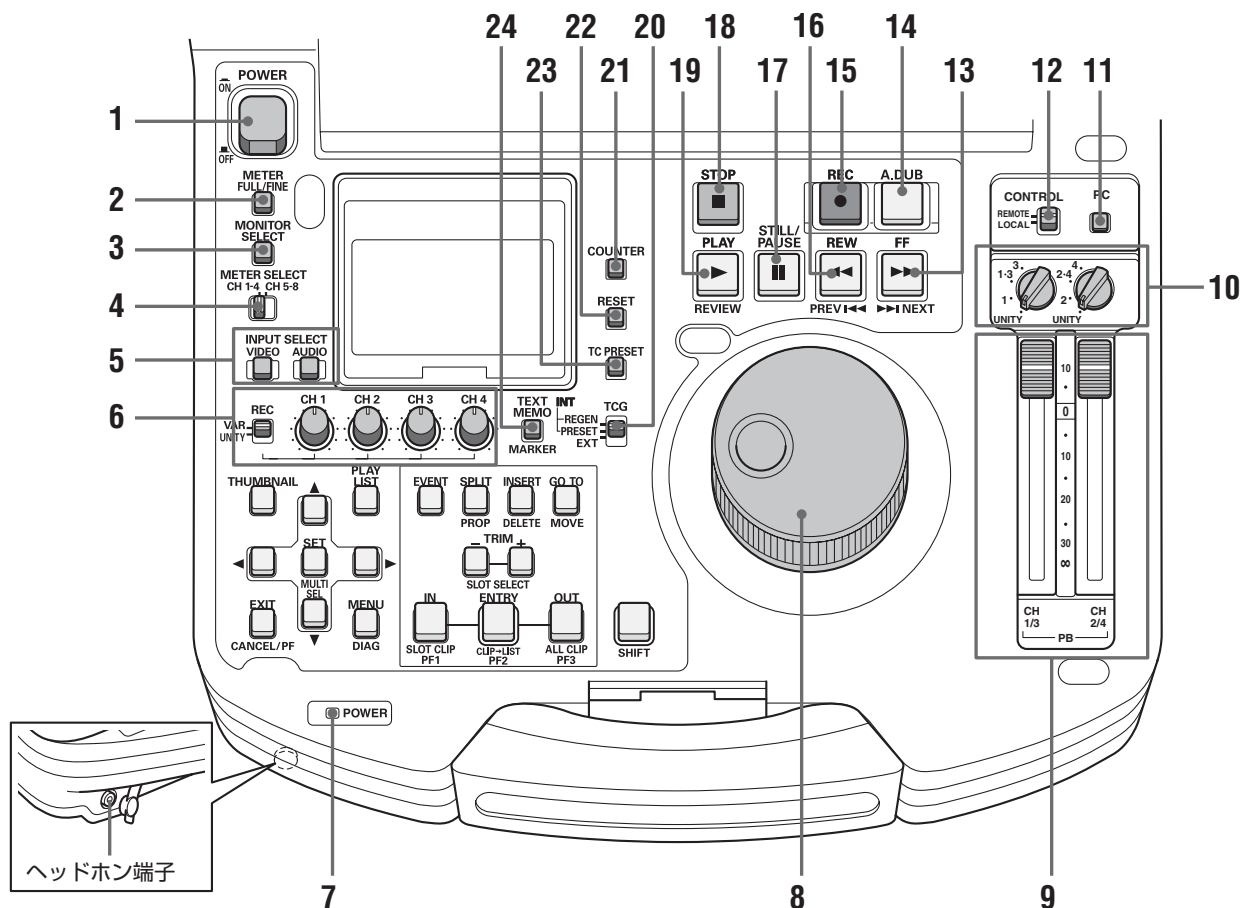
## ■ VANCデータの記録/再生機能(59.94Hz、50Hzのみ)

HD SDIのYストリームに付加されたVANCデータパケットを、映像信号と同時に記録できます。

また、HD SDIのYストリームにVANCデータパケットを再生することもできます。

# 各部の名称と機能

## オーディオ・ビデオ制御部



### 1. POWERスイッチ

電源のON / OFFを行うスイッチです。

### 2. METER(FULL / FINE)切り替えボタン

オーディオレベルメーターのスケール表示(目盛)を切り替えるボタンです。

FULL モード: 標準目盛りになります。  
( $-\infty \sim 0$ dBの範囲)

FINE モード: 0.5 dB毎のスケールになります。  
「 $\blacksquare$ 」の位置が基準レベル  
(セットアップメニューで設定)となり、「 $\blacksquare$ 」が0.5dBの目盛りになります。

### 3. AUDIO MONITOR SELECTボタン

MONITOR L / R端子およびヘッドホン端子に出力する音声信号を切り替えるボタンです。ボタンを押すたびに、MONITOR L / R端子およびヘッドホン端子に出力する信号が次のように切り替わります。

METER SELECTスイッチ [CH1 / 2] → [CH3 / 4] →  
チがCH1-4のとき: [CH1 / 1] → [CH2 / 2] →  
[CH3 / 3] → [CH4 / 4] →  
[CH1+2 / 1+2] →  
[CH3+4 / 3+4]

METER SELECTスイッチ [CH5 / 6] → [CH7 / 8] →  
チがCH5-8のとき: [CH5 / 5] → [CH6 / 6] →  
(HD フォーマット時のみ選択可能) [CH7 / 7] → [CH8 / 8] →  
[CH5+6 / 5+6] →  
[CH7+8 / 7+8]

どの信号を選択しているかは、オーディオレベルメーター表示部のL / Rに表示されます。

#### 4. METER SELECTスイッチ

オーディオメーターおよびモニターのCH1-4 / CH5-8のいずれを選択するかを切り替えるスイッチです。

#### 5. INPUT SELECTボタン

ビデオとオーディオの入力信号を切り替えるボタンです。ビデオ入力信号は、セットアップメニューNo.601 (VIDEO INT SG)で選択した、内部信号に切り替えることもできます。

VIDEO: VIDEO ボタンを押すたびに、入力ビデオ信号が、[CMPST]→[SDI]→[1394]→[SG]の順に切り替わります。SGのときの信号は、セットアップメニューNo.601 (VIDEO INT SG)で選択された内部信号に切り替わります。

AUDIO: AUDIO ボタンを押すたびに、入力オーディオ信号が、[ANALOG]→[SDI]→[SG]の順に切り替わります。VIDEOが1394のときは、AUDIOも強制的に1394選択になります。

#### ◆NOTE:

- THUMBNAIL、PLAY LIST ボタン点灯中は、入力信号の切り替えはできません。
- PLAY LIST ボタン点灯中で上書きモード時は、INPUT TRACK の設定ができます。  
→「上書きするトラックを設定する」(75ページ)を参照。

#### 6. AUDIO REC VOL SEL スイッチ

##### UNITY / VARスイッチ

UNITY: オーディオボリュームの位置に関係なく、固定されたレベルでオーディオ信号を記録します。

VAR: オーディオボリュームで調整されたレベルでオーディオ信号を記録します。

##### オーディオボリューム

オーディオ信号(CH1 / CH2 / CH3 / CH4)の記録レベルが調整できます。ただし1394入力時は、記録レベルは調整できません。

#### 7. POWERインジケーター

電源をONにすると緑色に点灯します。

#### 8. サーチダイヤル

映像の確認、検索のためのダイヤルです。ダイヤルは、押すたびにSHTL(シャトル)モードとJOG(ジョグ)モードが交互に切り替わります。電源を入れた直後は、一度ダイヤルをSTILLの位置に戻さないと動作しません。

#### 9. オーディオ再生レベル調整ボリューム

オーディオ信号(UNITY/VARチャンネル選択スイッチで選択したチャンネル)の再生レベルが調整できます。ただし1394出力の再生レベルは調整できません。CH5～8は、常に固定されたレベルで再生されます。

#### 10. UNITY / VARチャンネル選択スイッチ

UNITY: オーディオボリュームの位置に関係なく、固定されたレベルでオーディオ信号を再生します。

1(2) : オーディオCH1(2)をオーディオボリュームで調整されたレベルでCH1(2)へ、固定されたレベルでCH3(4)へ再生出力します。

1+3 (2+4) : オーディオCH1(2)とCH3(4)をオーディオボリュームで調整されたレベルでCH1(2)とCH3(4)へ再生出力します。

3(4) : オーディオCH3(4)をオーディオボリュームで調整されたレベルでCH3(4)へ、固定されたレベルでCH1(2)へ再生出力します。

#### 11. PCボタン

ハードディスクドライブを接続するためのUSBホストモード、パーソナルコンピューターと接続するためのUSBデバイスモードに切り替えるボタンです。このボタンを押すと表示パネルにモード選択画面が表示されますので、モードを選択して切り替えます。  
→「USB端子を利用する」(91ページ)を参照。

#### 12. CONTROLスイッチ

9ピンのREMOTEを使って、外部から本機をコントロールするモードに切り替えるスイッチです。

#### 13. FF / NEXTボタン

このボタンを押すと、早送り再生になります。速度は、セットアップメニューNo.102(FF.REW MAX)で選択できます。再生中にSHIFTボタンを押しながらFFボタンを押すと、次のクリップの頭出しを行います。GUI表示(サムネール表示・プレイリスト表示)中にSHIFTボタンを押しながらFFボタンを押すと、最後のサムネールあるいはイベントに移動します。

#### 14. A.DUBボタン

このボタンを押すと、プレイリストモードでオーディオの追加記録や、イベントのオーディオをEXTRAトラックへ上書きコピーすることができます。  
→「オーディオを追加記録する(簡易ボイスオーバー)」(83ページ)を参照。  
→「イベントのオーディオをEXTRAトラックへ登録する」(75ページ)を参照。

## 15.RECボタン

このボタンとPLAYボタンを同時に押すと、記録が始まります。再生中にこのボタンを押すと、EEモードの画像と音声をモニターで確認できます。(IEEE1394入力時はEEモードになりません。)STOPボタンを押すと、元の画像・音声に戻ります。

外部機器制御中にSHIFTボタンとこのボタンを押すと、AUTO CAPTUREをおこないます。

→「外部リモート制御」(100ページ)を参照。

## 16.REW / PREVボタン

このボタンを押すと早戻し再生になります。速度は、セットアップメニューNo.102(FF.REW MAX)で選択できます。

再生中にSHIFTボタンを押しながらREWボタンを押すと、現在のクリップまたは前のクリップの頭出しを行います。

GUI表示(サムネール表示・イベントリスト表示)中にSHIFTボタンを押しながらREWボタンを押すと、先頭のサムネールあるいはイベントに移動します。

## 17.STILL / PAUSEボタン

このボタンを押すとサーチモードとなり、静止画を表示します。サーチモード中はサーチダイヤルを回すことでJOG(ジョグ) / SHTL(シャトル)操作ができるようになります。

## 18.STOPボタン

このボタンを押すとストップモードに移行し、セットアップメニューNo.122(STOP EE SEL)の設定がPBのときには静止画を、EEのときには入力映像をモニターできます。

## 19.PLAY / REVIEWボタン

このボタンを押すと再生が始まります。

このボタンとRECボタンを同時に押すと、記録が始まります。

プレイリスト画面表示中にSHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、カーソル位置のイベントをレビュー(IN点3秒前からOUT点1秒後までを再生)することができます。また、上書き編集設定では、未確定イベントをレビューすることができます。

サムネール画面表示中にSHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、カーソル位置のクリップのみを再生することができます。

## 20.TCGスイッチ

---

INT REGEN: P2カードから読んだタイムコードに内蔵タイムコードジェネレーターを同期させます。TC / UBのどれをREGENにするかはセットアップメニューNo.505(TCG REGEN)で選択します。

---



---

INT PRESET: 本機内蔵のタイムコードを使いません。設定内容は操作パネルまたはリモートコントロールでプリセットできます。

→「タイムコード／ユーザーズビット／CTLについて」(129ページ)を参照。

---

EXT: タイムコード入力端子または、映像信号のVITC、SLTC、SVITC およびIEEE1394デジタル入力信号から入力する外部タイムコードを使用します。選択はセットアップメニューNo.507(EXT TC SEL)で設定します。

---

## 21.COUNTERボタン

表示パネルのカウンター表示を切り替えるボタンです。このボタンを押すたびに[CTL(先頭からの相対位置)]→[TC(読み出したタイムコード)]→[UB(読み出したタイムコードのユーザーズビット)]と切り替わります。

## 22.RESETボタン

表示パネルのカウンター表示がCTLのとき、このボタンを押すとカウンター表示が[0:00:00:00]になります。

表示パネルのカウンター表示がTC(読み出したタイムコード)またはUB(読み出したタイムコードのユーザーズビット)のとき、TC PRESETボタンを押しながらこのボタンを押すと、ジェネレーターをリセットできます。

GUIでのソフトキーボード使用時は、テキストの全削除や、プレイリストなどのIN点などの消去に使用します。

## 23.TC PRESETボタン

TC(読み出したタイムコード)やUB(読み出したタイムコードのユーザーズビット)の値を設定するボタンです。設定するときは、まずこのボタンを押して、表示が点滅している桁を変更します。ただし、サムネールモード、プレイリストモード、USBホストモードでは動作しません。

## 24.TEXT MEMO / MARKERボタン

---

TEXT MEMO: 記録・再生中にこのボタンを押すと、その位置にテキストメモが付加されます。サムネール画面を表示中に、このボタンを押すと、クリップの先頭の位置にテキストメモが付加されます。

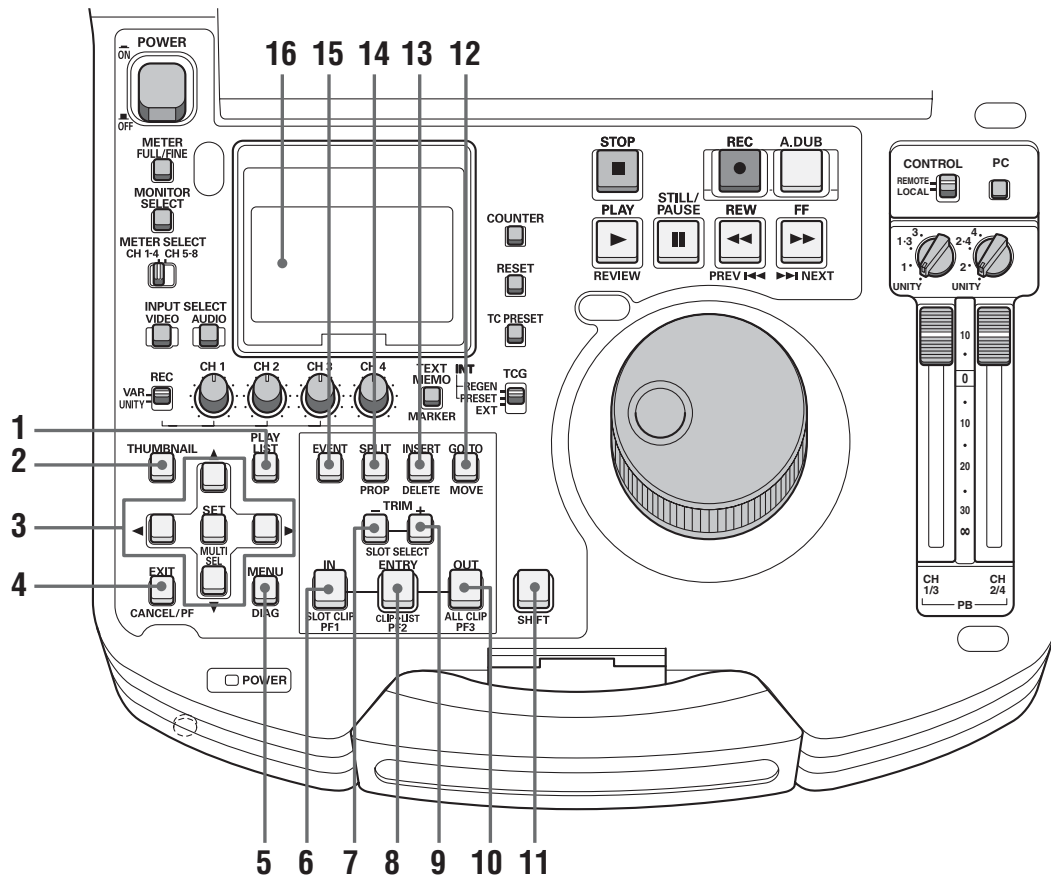
→「テキストメモを付加する」(42ページ)を参照。

---

MARKER: サムネール画面を表示中に、SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、カーソル位置にあるクリップのマーカのON / OFFを切り替えることができます。

→「ショットマークを付加する」(43ページ)を参照。

---



## 1. PLAY LISTボタン

プレイリストを作成するときや作成したプレイリストを再生するときには押します。このボタンを押すと、PLAY LISTボタンが点灯し、表示パネルやモニター出力映像にプレイリスト画面が表示されます。再度押すと、プレイリスト画面から抜け出して元に戻り、PLAY LISTボタンが消灯します。

プレイリスト画面から再生を行って停止したときに、プレイリスト画面へ戻るか静止画を表示したままにするかをプレイリストメニューで設定できます。

## 2. THUMBNAILボタン

このボタンを押すと、THUMBNAILボタンが点灯し表示パネルやモニター出力映像にサムネール画面が表示されます。再度押すと、サムネール画面から抜け出し元の表示に戻り、THUMBNAILボタンが消灯します。

## 3. 十字カーソルボタン

周辺の4つのボタンがカーソルボタンで、中心のボタンがSETボタンです。メニュー、サムネール、イベントなどのカーソルの移動や選択などに使用します。

## 4. EXIT / CANCEL / PFボタン

PLAY LIST /  
THUMBNAILボタン  
点灯中:

このボタンを押すことで、プロパティからサムネール表示へ戻ることができます。また、メニューの「EXIT」で、SETボタンを押すことと同じ動作をします。SHIFTボタンとこのボタンを同時に押すと、操作をキャンセル(たとえば選択状態を解除)した状態になります。

PLAY LIST /  
THUMBNAILボタン  
消灯中:

このボタンを押すと、ボタン6・8・10はそれぞれPF1～PF3として動作します。他のボタンを押す前に再度このボタンを押すと、このモードはキャンセルされません。



## 5. MENU / DIAGボタン

### MENUボタン

このボタンを押すと、MENUが表示されます。再度押すと、元に戻ります。

### DIAG(SHIFT+MENU)ボタン

このボタンを押すと、本機の情報が表示されます。再度ボタンを押すと、元の表示に戻ります。ただし、サムネール、プレイリスト表示中は動作しません。

本機の情報には「VIDEO SYSTEM」情報、「HOURS METER」情報、「WARNING」情報、「UMID」情報、「DIF」情報があります。これらの情報は、SETボタンまたは十字カーソルボタンを押して表示を切り替えます。

「VIDEO SYSTEM」画面:	現在のシステム周波数、記録フォーマット、入出力フォーマットなどが表示されます。
「WARNING」画面:	ワーニングの内容が表示されます。
「HOURS METER」画面:	本機のシリアルNo.、通電時間、電源の入切回数などが表示されます。
「UMID」画面:	現在の映像のUMID情報が表示されます。
「DIF」画面:	現在のDIF(IEEE1394インターフェース)の各種情報が表示されます。

## 6. IN / SLOT CLIP / PF1ボタン

プレイリストを作成するときに使用します。イベント登録モード時(PLAY LISTボタンとEVENTボタンが点灯状態のとき)、ENTRYボタンとこのボタンを同時に押すと、イベントのIN点が設定できます。また、このボタンを押しながらRESETボタンを押すと、選択しているイベントのIN点を削除できます。

→「プレイリストの利用」(56ページ)を参照。

- サムネール表示中にSHIFTボタンと同時にこのボタンを押す毎に、クリップの表示状態をSELECTEDや特定のSLOTのみの表示に切り替えることができます。
- PLAY LISTボタンが消灯しているとき、ENTRYボタンと同時にこのボタンを押すと、キューアップ点を登録できます。
- THUMBNAIL およびPLAY LISTボタンが消灯しているとき、PFボタンを押した後にこのボタンを押すと、PF1ボタンに登録されたセットアップメニューの操作が行えます。

## 7. TRIM- / SLOT SELECT-ボタン

プレイリストモードでIN/OUT/SPLITボタンを押しながらこのボタンを押すと、IN/OUT/SPLIT点の位置を1フレーム(24PNのときは4フレーム)前へずらすことができます。

PLAY LISTボタンが消灯状態のときにSHIFTボタンと

同時に押すと、記録スロット位置を一つ前のスロットに移動することができます。第1スロットのときは第6スロットへ移動します。

## 8. ENTRY / CLIP→LIST / PF2ボタン

プレイリストを作成するときに使用します。

イベント登録モード時(PLAY LISTおよびEVENTボタンが点灯状態のとき)に、IN/OUT/SPLITボタンのいずれかとこのボタンを同時に押すと、イベントのIN/OUT/SPLIT点を設定できます。

- プレイリストモード時にSHIFTボタンと同時にこのボタンを押すと、サムネール表示中に選択したクリップをプレイリストに追加できます。
- THUMBNAILおよびPLAY LISTボタンが消灯しているとき、PFボタンを押した後にこのボタンを押すと、PF2ボタンに登録されたセットアップメニューの操作が行えます。

## 9. TRIM+ / SLOT SELECT+ボタン

プレイリストモードでIN/OUT/SPLITボタンを押しながらこのボタンを押すと、IN/OUT/SPLIT点の位置を1フレーム(24PNのときは4フレーム)後ろへずらすことができます。

PLAY LISTボタンが消灯状態のときにSHIFTボタンと同時に押すと、記録スロット位置を一つ後ろのスロットに移動することができます。第6スロットのときは第1スロットへ移動します。

## 10. OUT / ALL CLIP / PF3ボタン

プレイリストを作成するときに使用します。イベント登録モード時(PLAY LISTボタンとENTRYボタンが点灯状態のとき)、ENTRYボタンとこのボタンを同時に押すと、イベントのOUT点が設定できます。

このボタンを押しながらRESETボタンを押すと、選択しているイベントのOUT点を削除できます。

→「プレイリストの利用」(56ページ)を参照。

- サムネール表示中にSHIFTボタンと同時にこのボタンを押すと、クリップの表示状態をALLへ戻すことができます。
- PLAY LISTボタンが消灯しているときは、ENTRYボタンと同時にこのボタンを押してキューアップ点として登録することができます。
- THUMBNAIL およびPLAY LISTボタンが消灯しているとき、PFボタンを押した後にこのボタンを押すと、PF3ボタンに登録されたセットアップメニューの操作が行えます。

## 11. SHIFTボタン

FF / REW / SETボタンなどと同時に押して使用します。

## 12.GO TO / MOVEボタン

プレイリストに登録されている各イベントのIN/OUT/SPLIT点を移動するときに使用します。また、THUMB-NAILおよびPLAY LISTボタン消灯時にキューアップするときにも使用します。IN/OUTボタンを押しながらGO TOボタンを押すと、IN/OUT点への移動・キューアップを行います。

プレイリストモードでSHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、イベントを移動できます。

→「プレイリストの利用」(56ページ)を参照。

## 13.INSERT / DELETEボタン

プレイリストのイベントとイベントの間に、新規にイベントを挿入したいときに使用します。(追加挿入編集設定時)

またイベントに対して画像や音声を上書きするための画像や音声を選択するときにも使用します。(上書き編集設定時)

サムネール表示中にSHIFTボタンを押しながらこのボタン(DELETEボタン)を押すと、選択したクリップを削除できます。

プレイリスト表示中にSHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、選択したイベントを削除できます。

→「プレイリストの利用」(56ページ)を参照。

DELETEボタンは、ソフトキーボードやファイルの削除などでも使用します。

## 14.SPLIT / PROPボタン

プレイリストの登録モードで、ENTRYボタンとこのボタンを同時に押すと、オーディオIN点をビデオのIN点とはずらしてイベントを登録できます。

サムネール/プレイリスト表示中(メニュー表示していないとき)にSHIFTボタンとこのボタンを同時に押すと、クリップ/イベントのプロパティを表示できます。

## 15.EVENTボタン

PLAY LISTボタンが点灯状態のとき、このボタンを押すとEVENTボタンが点灯します。プレイリストのイベント登録/修正モードとなり、IN/OUT/SPLIT点の設定ができます。

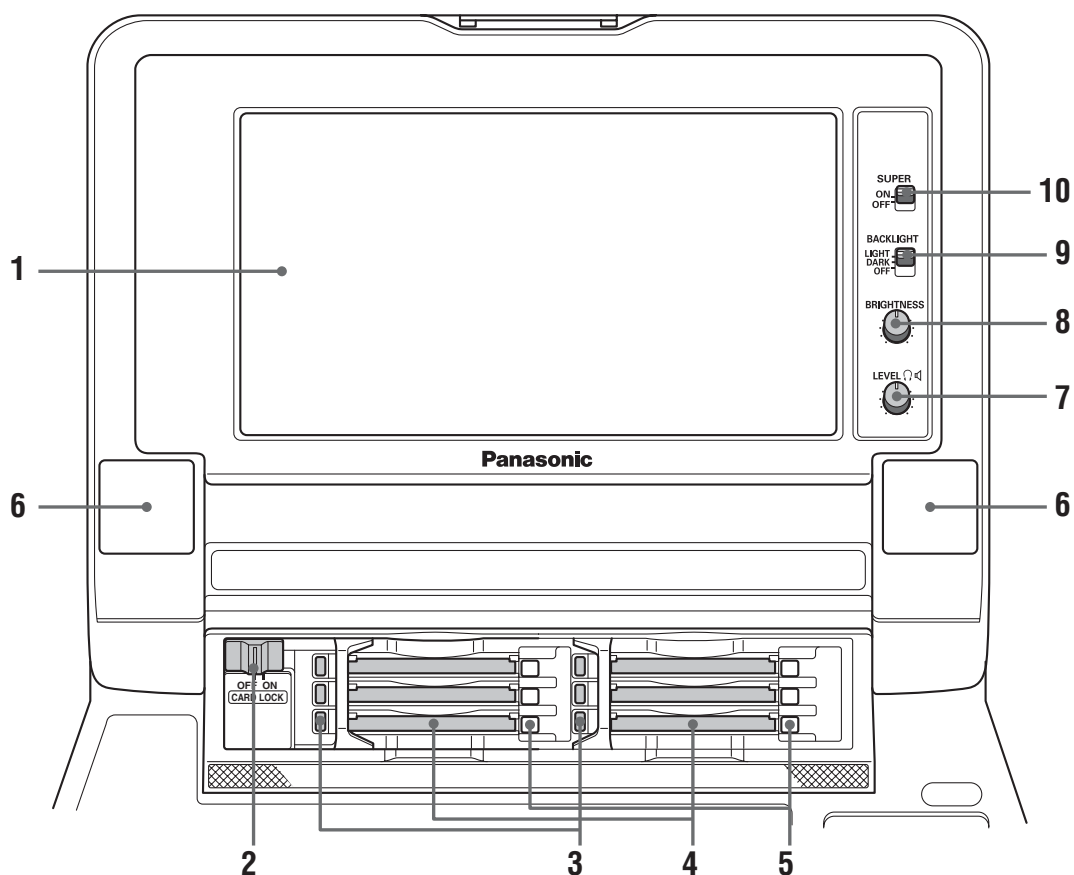
再度押すと、イベント登録/修正モードから抜け出して元に戻り、EVENTボタンが消灯します。

外部機器にRS-422AまたはIEEE1394インターフェースをつないだ状態で、THUMB-NAIL、PLAY LISTボタンが消灯状態のとき、このボタンを押すと外部機器を制御することができます。

→「外部リモート制御」(100ページ)を参照。

## 16.表示パネル

→「表示パネル」(20ページ)を参照。



## 1. 9型液晶モニター

サムネール画面表示などにより、映像の検索・確認ができます。

## 2. カードロック

トップパネルを閉じるときのカード保護レバーです。ONにしてからトップパネルを閉じてください。

## 3. P2カードアクセスLED

P2カードの状態を示すLEDです。

→「P2カードアクセスLEDと P2カードの状態について」(29ページ)を参照。

## 4. P2カードスロット

P2カードを装着するスロットです。

カードは、EJECT ボタンが飛び出すまでしっかり挿入します。カード挿入後は、EJECT ボタンを倒しておいてください。

## 5. EJECTボタン

P2カードスロットに挿入したP2カードを取り出すときに使用します。ボタンを起こし、強く押します。P2カードアクセスLEDがオレンジで点滅しているときは操作しないでください。

→「P2カードアクセスLEDと P2カードの状態について」(29ページ)を参照。

## 6. STEREOスピーカー

オーディオのモニター音を出力します。

## 7. LEVELボリューム

内蔵スピーカーとヘッドホンの音量を調整します。

## 8. BRIGHTNESSボリューム

液晶モニターの明るさを調整します。

ただし、タイムコードなどのSUPER表示の明るさを変えることはできません。

## 9. BACKLIGHTスイッチ

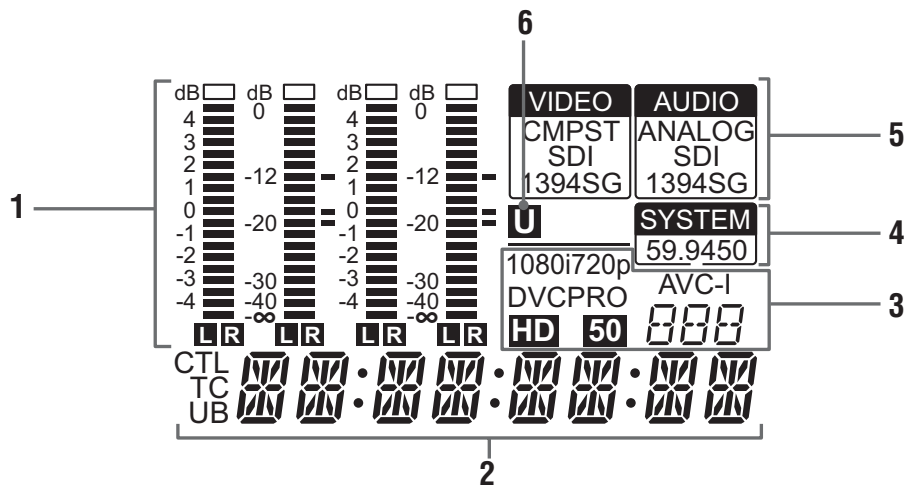
表示パネルのバックライトの明るさを切り替えるスイッチです。

LIGHT:	明るく
DARK:	暗く
OFF:	LCDを消す

## 10. SUPERスイッチ

スーパーの出力を次のように切り替えるスイッチです。

ON:	液晶モニターおよびモニター出力映像にタイムコードなどのスーパーを出力します。
OFF:	スーパーを出力しません。

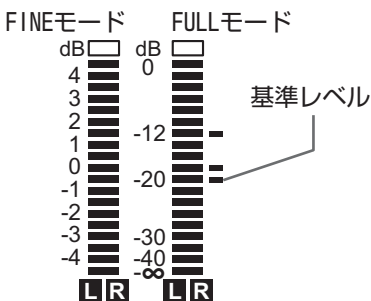


## 1. レベルメーター

オーディオ信号のCH1 / CH2 / CH3 / CH4の各レベルが表示されます。

オーディオ信号は、記録時およびEE選択時には入力信号のレベルが、また再生時には出力信号の各レベルが表示されます。

オーディオレベル表示は、METER切り替えボタンでFULLモードとFINEモードに切り替わります。基準レベルはセットアップメニューで変更できます。



## 2. カウンター表示

カウンターやタイムコードなどが表示されます。

CTL(先頭からの相対位置) / TC(読み出したタイムコード) / UB(読み出したタイムコードのユーザーズビット)で表示されます。

## 3. フォーマット表示

設定している記録フォーマットや、挿入しているP2カードに記録されているフォーマットが表示されます。

## 4. TVシステム表示部

選択しているTVシステムが表示されます。

セットアップメニューのSYSTEM設定No.25(SYSTEM FREQ)で、59.94Hzと50Hz、その他を切り替えることができます。

59.94: 59.94Hzのシステム周波数が選択されると点灯します。

50: 50Hzのシステム周波数が選択されると点灯します。

### ◆NOTE:

- 59.94Hz、50Hz 以外の周波数が選択された場合、SYSTEMの表示も含めて消灯します。

## 5. INPUT SELECT表示部

VIDEOとAUDIOの入力選択状態が表示されます。アナログオーディオを除き、選択された入力信号がないときは、点滅します。

SDI入力選択時は、システムフォーマットと合っていない信号が入力されているときに点滅します。

### VIDEO

CMPST:	アナログ・コンポジット・ビデオ入力信号
SDI:	シリアル・デジタル・ビデオ入力信号
1394:	IEEE1394入力信号
SG:	内部基準信号

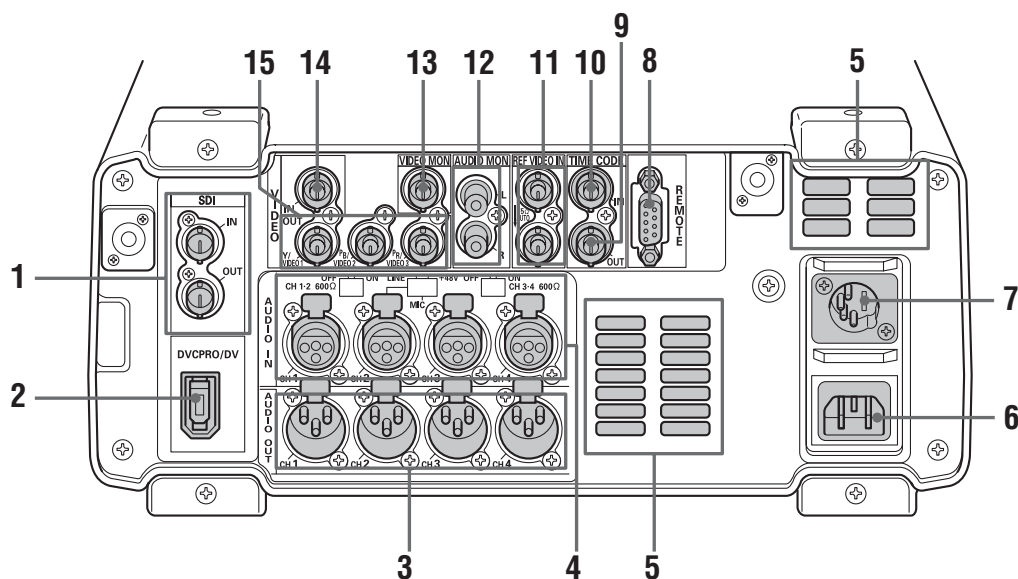
### AUDIO

ANALOG:	アナログオーディオ入力信号
SDI:	シリアル・デジタル・オーディオ入力信号
1394:	IEEE1394入力信号
SG:	内部基準信号

## 6. U表示

EEモードのときは、入力信号にUMID情報が存在しているときに点灯します。

再生時は、UMID情報が記録されているときに点灯します。



## 1. SERIAL DIGITAL COMPONENT

### AUDIO VIDEO IN / OUT端子

シリアル・デジタル・コンポーネント・オーディオ / ビデオ信号の入出力ができます。

◆NOTE:

- 入力するデジタル・オーディオ信号は、ビデオ入力信号に同期している必要があります。同期していないとき、オーディオ出力信号にノイズが発生します。
- SERIAL DIGITAL COMPONENT端子に接続するケーブルは、5C-FB相当のダブルシールドのものをご使用ください。

## 2. IEEE1394デジタル入出力

IEEE1394 デジタルインターフェースです。IEC61883-1、IEC61883-2 および SMPTE396M 規格に準拠した IEEE1394 圧縮デジタル信号を入出力できます。コネクタは6ピンタイプを使用してください。バスパワーには対応していません。

◆NOTE:

- IEEE1394 デジタル入出力に接続するケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。
- AVC-Intra50、AVC-Intra100(オプション)の記録・再生時にはIEEE1394端子からの入出力は行えません。
- セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQを59.94、50以外に設定したときには、IEEE1394端子からの入出力は行えません。

## 3. ANALOG AUDIO OUT端子

アナログオーディオ信号を出力します。

## 4. ANALOG AUDIO IN端子 /

### インピーダンス切り替えスイッチ / CH2入力切り替えスイッチ

アナログオーディオの入力端子です。

CH1～2およびCH3～4の入カインピーダンスの切り替えをスイッチで行うことができます。また、CH2は、LINE / MIC / 48Vの切り替えスイッチでマイクの入力が行えます。

LINE:	ライン入力するオーディオ機器からの音声入力信号
MIC:	内部電源供給方式のマイクからの音声入力信号(本体からファントムマイク用の電源を供給しません)
+48V:	外部電源供給方式のマイクからの音声入力信号(本体からファントムマイク用の電源を供給します)

## 5. ファン

本機冷却用のファンです。通風を妨げないように設置してください。

ファンが異常停止したときは、カウンター表示部に“E-10”が表示されます。ファンが停止しても本機は動作しますが、すみやかに使用を中止してください。

## 6. AC INコネクタ

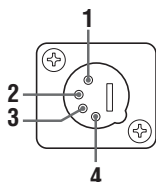
付属の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。

## 7. DC INコネクター

DC12Vの電源を接続します。DC12V,4.8A(15Aピーク以上)の外部DC電源をご使用ください。

電圧が約10.6Vまで低下したとき、本機の電源は自動的にOFFになります(メニューNo.180 BATTERY SELが「TYPE-A」や「TYPE-B」ではないとき)。その後、電源電圧が回復しても自動的に復帰しません。必ずPOWERスイッチを一度OFFにして、数秒後にONにしてください。

ピンNo.	信号内容
1	Ground
2	—
3	—
4	+12V



外部DC電源を使用するときは、必ず、外部DC電源の定格をご確認の上、本機に適合するものを使用してください。外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。

誤ってGND端子に+12Vの電源を接続すると、火災やけがの原因になります。

また、本機と接続する他機器のDC IN端子の極性を誤って接続した場合も、火災やけがの原因になります。

### ◆NOTE:

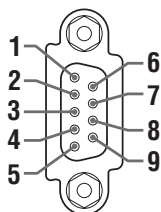
- 外部DC電源を使用するときは、必ず外部DC電源の電源スイッチをONにした後、本機のPOWERスイッチをONにしてください。逆の順序で操作を行うと、外部DC電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるなどの理由により、本機が誤作動することがあります。
- 誤って18Vを超える過大入力に接続したときは、内部の保護回路が動作して、電源が入らなくなります。正規の電圧に接続すると、使用可能になります。また、この端子に交流電源は接続しないでください。
- 外部DC電源がONの状態で接続されているときは、本機のPOWERスイッチがOFFであっても微小電流が流れますので注意してください。

## 8. リモートコントロール端子

本機と外部コントローラーを接続して、外部から本機を操作することができます。

### RS422A REMOTE IN/OUT(9P)

ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND
2	TRANSMIT A
3	RECEIVE B
4	RECEIVE COMMON
5	—
6	TRANSMIT COMMON
7	TRANSMIT B
8	RECEIVE A
9	FRAME GROUND



## 9. TIME CODE OUT端子

再生時は再生タイムコードを出力します。記録時は、内蔵タイムコードジェネレーターから発生するタイムコードを出力します。

### ◆NOTE:

セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQを23.98、24、29.97、59-23、60-24、25、60-25 に設定している時は、TIME CODE OUT端子からのタイムコード出力はできません。

## 10.TIME CODE IN端子

外部タイムコードを、P2カードに記録するための端子です。

### ◆NOTE:

セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQを23.98、24、29.97、59-23、60-24、25、60-25 に設定している時は、TIME CODE IN端子からのタイムコード入力はできません。

## 11.REF VIDEO IN端子

HD / SDリファレンス・ビデオ信号の入力端子です。

### ◆NOTE:

- リファレンス・ビデオ信号を入力しないとき、映像や音声の出力信号が乱れることがありますので、リファレンス・ビデオ信号を入力するシステムで使用することをお勧めします。
- HDリファレンスとして使用するときは、正負両極性の3値同期信号を入力してください。また、入力信号やフォーマットにあった信号を入力してください。  
→リファレンス信号については「23.98/24/29.97/25Hzモード時のシステム接続例」(31ページ)を参照。
- SDリファレンスとして使用するときは、SMPTE170M、ITU624-4に準拠したブラックバースト信号を入力してください。
- REF VIDEO OUT端子にケーブルを接続しないとき、REF VIDEO IN端子は自動的に75Ω終端になります。ケーブルを接続すると、75Ω終端は解除されます。
- セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQを59-23、60-24、60-25に設定した場合、再生のみHDリファレンス信号に同期します。

## 12.AUDIO MONITOR OUT端子

オーディオ信号(CH1 / CH2 / CH3 / CH4)の中からMONITOR SELECTボタンで切り替えた信号を出力します。

## 13.ANALOG COMPOSITE MONITOR OUT端子

アナログ・コンポジット・モニタービデオ信号を出力します。

## 14.ANALOG COMPOSITE VIDEO IN端子

アナログ・コンポジット・ビデオ信号を入力します。

## 15. ANALOG COMPONENT VIDEO OUT 端子

出力信号がHDのときに、アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を出力します。出力信号がSDのときは、コンポジット信号が3系統出力されます。出力信号はセットアップメニューNo.643 OUT MODE SELにて決定します。

### ◆NOTE:

背面パネルに接続する各種ケーブル(ACケーブルを除く)は、すべてシールド付きケーブルをご使用ください。特に、シリアルデジタル信号端子(SDI IN / OUT 端子)については、ダブルシールド付きケーブルをご使用ください。

## IEEE1394 デジタルインターフェースについて

### ■ 本機の設定

本機のセットアップメニューNo.882 DIF IN CHとNo.883 DIF OUT CHの設定が「AUTO」になっていることを確認してください。

### ◆NOTE:

- 入力できる信号は、セットアップメニューNo.020 SYS FORMATで選択したフォーマットに限ります。SYSTEM FORMATが480i(50Hz時は576i)のときは、セットアップメニューNo.024 REC FMT(SD)に限ります。
  - 出力フォーマットは設定している記録フォーマットや挿入しているP2カードに記録されているフォーマットに従って決定されます。
- ※出力する音声のチャンネルはCH1 / CH2、またはCH3 / CH4を選択することができます。(DVCPRO、DV時)

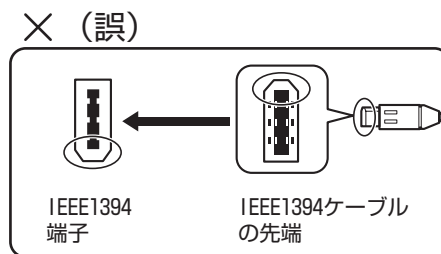
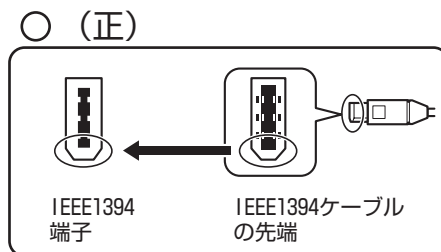
### ■ 使用上のご注意

- 他の機器とは、1対1で接続してください。
- ワーニングE-92(1394 INITIAL ERROR)が表示されるときは、接続ケーブルを差しなおすか、電源を入れなおしてください。
- 接続された機器の電源ON/OFFおよび、I/Fケーブルの抜き差しなどで、AV信号が乱れることがあります。
- 入力信号の切り替え時やモード移行の際に、システムが安定するまで数秒かかることがあります。システムが安定した後、記録動作を行ってください。
- IEEE1394 デジタルインターフェース入力選択で記録を行うとき、またはIEEE1394 デジタルインターフェースで出力される信号に対しては下記ようになります。
  - オーディオ・ビデオ制御部のオーディオ再生レベル調整ボリュームは動作しません。
  - セットアップメニューNo.680/681の設定は無視され、ブランキングされません。
  - 通常の1倍速再生以外の再生信号を入力したとき、記録される映像や音声、あるいはEE系の画像と音声は保証されません。

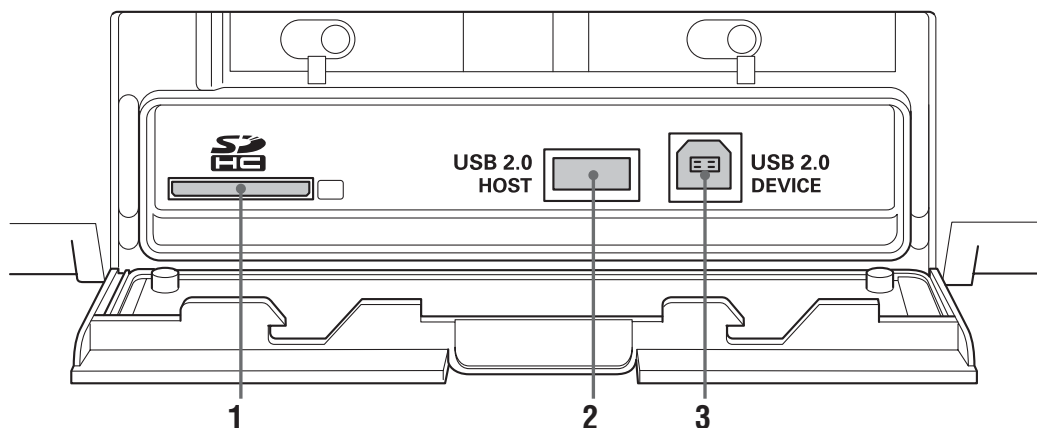
- ビデオの入力選択を IEEE1394 デジタルインターフェースとして選択したときは以下ようになります。
    - EE モードでの SDI、またはアナログビデオ出力信号およびタイムコード出力は不正規となります。また、その信号を記録用には使用しないでください。
  - SLOW/STILL 再生時には、IEEE1394 デジタルインターフェース出力として未処理のビデオ、オーディオ信号が出力されます。これらのビデオ、オーディオ信号を他の機器でモニターすると、本機で再生したビデオ、オーディオ信号と異なる場合があります。本機とノンリニア編集を行う機器を接続して使用するとき、ノンリニア編集のソフトウェア以外のアプリケーションプログラムを起動させないでください。
- ノンリニア編集を行う機器からの出力ビデオ映像に、影響することがあります。

### ◆NOTE:

- IEEE1394 ケーブル(別売)を接続するときは、以下のことを必ずお守りください。(正しく接続しないと、本機や外部機器の故障につながります。)
- 接続されたすべての機器の電源を切ってから、IEEE1394 ケーブルの抜き差しを行ってください。
  - アース(接地)端子がある機器は、すべてアース(接地)した状態(または共通のGNDに接続した状態)でご使用ください。
  - 4 ピン型の端子を持つ機器と本機を接続するときは、本機の端子(6ピン型)を先に接続してください。
  - IEEE1394ケーブルの端子には方向性があります。
  - 6 ピン型の IEEE1394 端子を搭載している外部端子と接続するときは、下記のように形状を確認して接続してください。



- 本機を外部機器と接続するときは、まず外部機器に IEEE1394 ケーブルを接続してから、本機と接続してください。
- 先に本機と接続すると、静電気の発生などにより、本機の故障につながる場合があります。
- AVC-Intra50、AVC-Intra100(オプション)の記録・再生時には IEEE1394端子からの入出力は行えません。
- セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQを59.94、50以外に設定したときには、IEEE1394端子からの入出力は行えません。



### 1. SD/SDHCメモリーカードスロット

SD/SDHCメモリーカードを挿入できます。  
 挿入するときは、カードのラベル面を上にしてコーナークット側から入れ、ロックされるまで挿入します。  
 取り出すときは、ランプが点灯していないことを確認し、カードを挿入した方向に押してロックを解除します。

#### ◆NOTE:

〈SD/SDHCメモリーカード使用上の注意〉

- SD/SDHCメモリーカード以外は、挿入しないでください。
- 本機で使用するSD/SDHCメモリーカードは、SD/SDHC規格に準拠したものをお使いください。マルチメディアカードは使用できません。また、miniSDカードを使用するときは、必ずminiSD専用のアダプターを装着してご使用ください。  
 ※マルチメディアカード(MMC)は、Infineon Technologies AG社の登録商標です。  
 ※SDHCカードは、2006年にSDアソシエーションにより策定された、2GBを超える大容量メモリーカードの新規格です。
- フォーマットは、必ず本機で行ってください。
- 本機では、以下の容量のSD/SDHCメモリーカードが使用できます。  
 SD(8MB～2GBまで) : 8MB, 16MB, 32MB, 64MB, 128MB, 256MB, 512MB, 1GB, 2GB  
 SDHC(4GB～16GB) : 4GB, 8GB, 16GB
- 取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。  
 日本語: <http://panasonic.biz/sav/>  
 英語: <https://www.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>
- 本ページ以降においては、SDおよびSDHCメモリーカードを総称し、SDメモリーカードと表記いたします。

### 2. USB2.0端子(Type A)

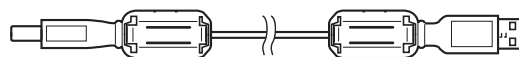
USBホストモードで使用します。  
 P2 storeやUSB2.0対応のハードディスクドライブなどと接続できます。  
 →「USB端子を利用する」(91ページ)を参照。

### 3. USB2.0端子(Type B)

USBデバイスモードで使用します。  
 パーソナルコンピュータなどと接続できます。  
 →「USB端子を利用する」(91ページ)を参照。

#### ◆NOTE

- USB2.0端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。
- USB2.0端子にケーブルを接続するときは、ケーブルの両端のコネクタ付近に付属品のフェライトコアを取り付けてください。





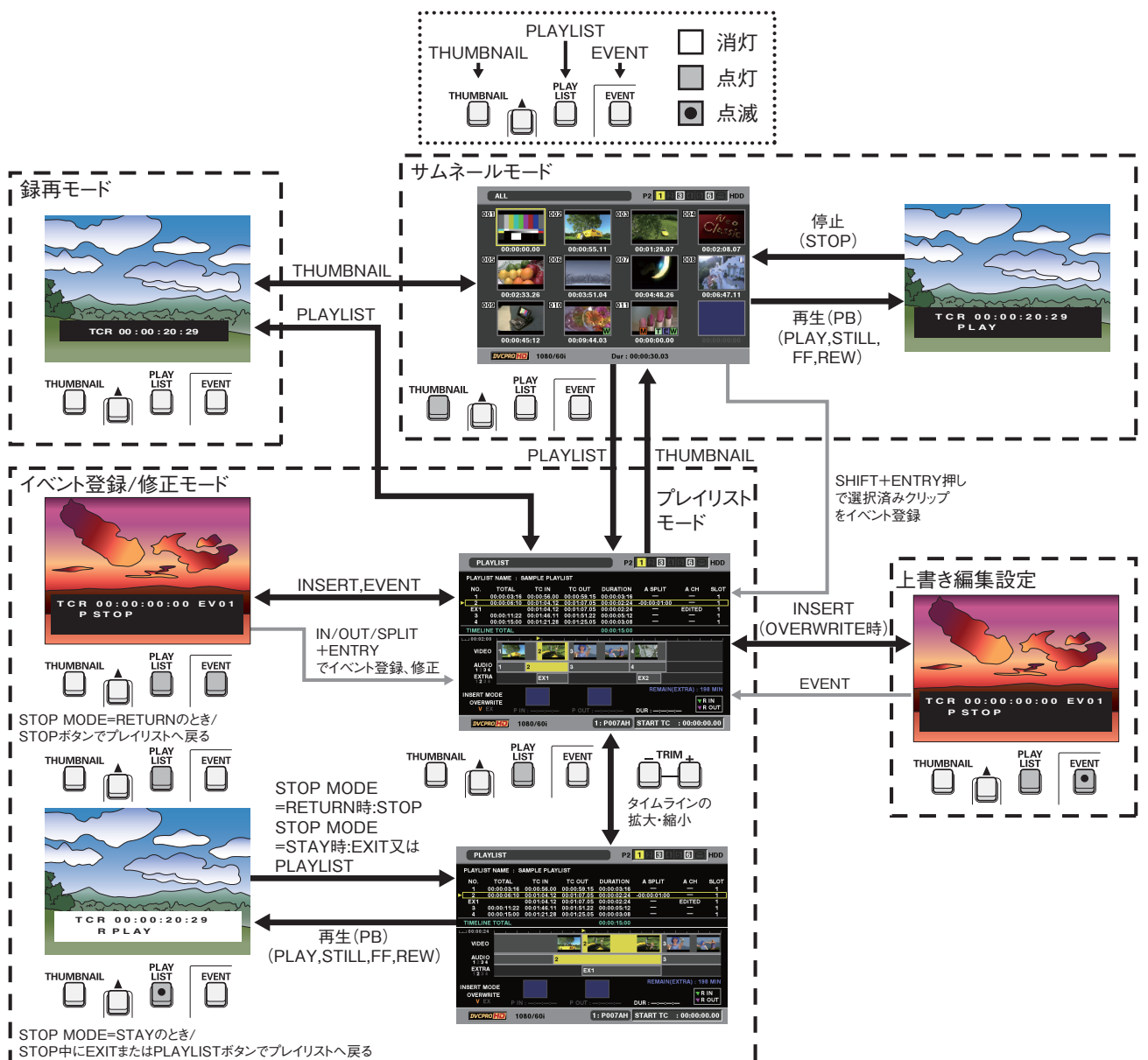
# 画面の切り替えとメニューの操作について

## 操作モードについて

本機には、次の3種類の操作モードがあります。これらのモードは、THUMBNAIL、PLAY LISTボタンを押して切り替え、ランプの点灯状態で区別できます。

録再モード	映像を表示し、記録や再生を行います。
サムネールモード	クリップのサムネールを表示し、クリップを管理します。
プレイリストモード	プレイリストを作成します。プレイリストモードには、イベントを登録するイベント登録モード画面(PLAY LISTおよびEVENTランプが点灯)もあります。

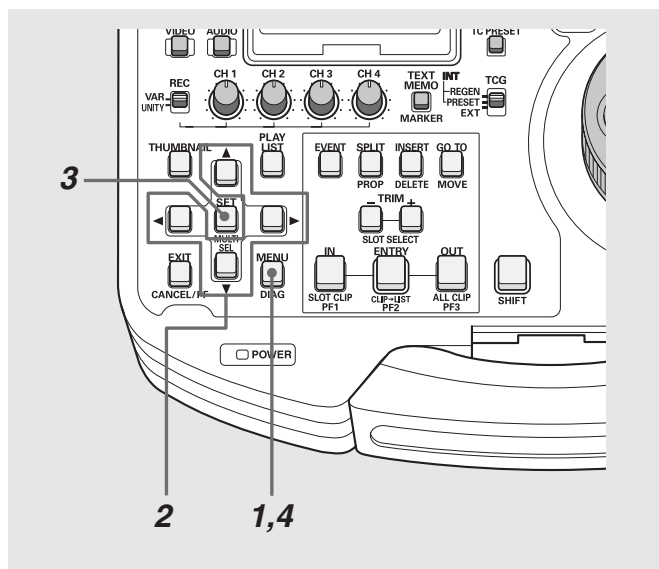
はじめに



## メニューの操作

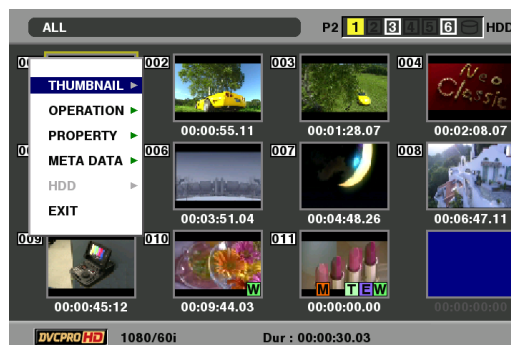
それぞれのモードでMENUボタンを押すと、メニューが表示されます。

メニューは、次のように操作します。



**1** MENUボタンを押し、メニューを表示する

**2** 十字カーソルボタンで該当のメニュー項目にカーソルを合わせる



### ◆NOTE:

- ▲、▼ボタンを押すとカーソルが上下します。
- ▶を押すと、下位のメニューが開きます。
- ◀またはEXITボタンで上の階層へ戻ります。

**3** SETボタンを押す

### ◆NOTE:

- メニュー項目によっては、確認画面が表示されます。
- 十字カーソルボタンで処理を選択し、SETボタンを押します。

**4** MENUボタンを押してメニューでの処理を終了する

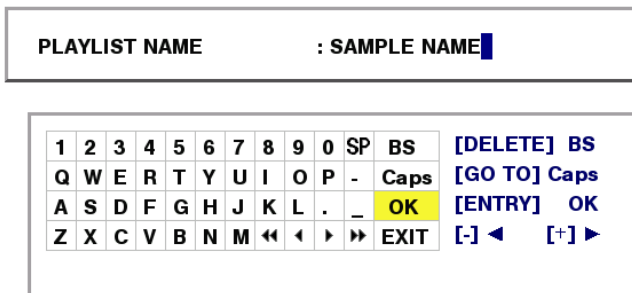
### ◆NOTE:

- メニュー項目によっては、自動的に元の画面に戻ります。

# キーボードを利用する

## フルキーボードを利用する

フルキーボードは、必要なときに表示されます。  
入力したい文字にカーソルを移動し、SET ボタンを押すと文字が入力されます。  
カーソルの移動は十字カーソルボタンで行います。



次のキーボード上のキーは、対応する機能を実行します。

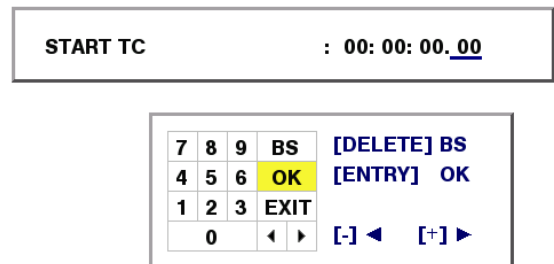
キー	機能	ショートカット
BS	1文字削除	SHIFT+INS
Caps	大文字小文字切り替え	GO TO
OK	入力保存しソフトキーボードを閉じる	ENTRY
EXIT	入力破棄しソフトキーボードを閉じる	EXIT
◀◀	カーソル位置を先頭文字に移動	SHIFT+REW
◀	カーソル位置を1文字分戻す	—
▶	カーソル位置を1文字分進める	+
▶▶	カーソル位置を最終文字の次の入力位置に移動	SHIFT+FF

### ◆NOTE

- RESETで入力文字をすべて消去します。
- ショートカットで EXIT ボタンを押したときは閉じる前に確認メッセージが表示されますので、閉じる場合は[YES]を選択してSETボタンを押してください。

## テンキーボードを利用する

テンキーボードは、必要なときに表示されます。  
入力したい文字にカーソルを移動し、SET ボタンを押すと文字が入力されます。  
カーソルの移動は十字カーソルボタンで行います。



次のキーボード上のキーは、対応する機能を実行します。

キー	機能	ショートカット
BS	1文字削除	SHIFT+INS
OK	入力保存しソフトキーボードを閉じる	ENTRY
EXIT	入力破棄しソフトキーボードを閉じる	EXIT
◀	◀10進数入力時 カーソル位置を1文字分戻す ◀タイムコード入力時 カーソル位置を1項目戻す	—
▶	◀10進数入力時 カーソル位置を1文字分進める ◀タイムコード入力時 カーソル位置を1項目進める	+

# 記録・再生とP2カードの取り扱いについて

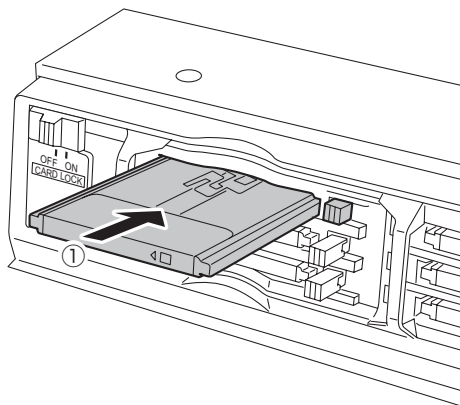
## P2カードの挿入

### ◆NOTE:

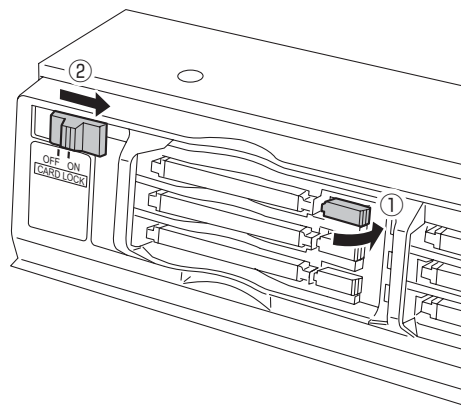
- 本機を最初に使用するときには、必ず内蔵の時計の設定を、セットアップメニューNo.069(CLOCK SET)で先に行ってください。

**1** 本機のPOWERスイッチをONにする

**2** P2カードスロットにP2カードを挿入し、EJECTボタンが飛び出てくるまで押し入れる




**3** 飛び出た EJECT ボタンを右に倒して、カードロックをONにする



- 本機にP2カードを挿入すると、P2カードアクセスLEDによりP2カードの状態表示を行います。  
→P2カードの状態表示については「P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について」(29ページ)を参照。

## 記録と再生

録画モード中にストップモードでREC  ボタン とPLAY  ボタン を同時に押すと、オレンジ色に点灯しているP2カードに記録が始まります。STOP  ボタンを押すと記録が終了します。

PLAY  ボタンを押すと再生が始まります。

サムネイル/プレイリストモードからの記録はできません。

→「各部の名称と機能」(13ページ)のボタンの説明を参照。

### ◆NOTE:

- 再生中は、他のスロットにP2カードを挿入しても、P2カードアクセスLEDは消灯のまま、P2カードは認識されません。再生終了後に認識されます。
- 記録中は、他のスロットにP2カードを挿入すると、P2カードアクセスLEDが点滅しP2カードを認識します。認識中はP2カードを取り出さないでください。
- P2カードは、スロット1→2→3→4→5→6→1の順にアクセスします。

- 電源をONにしたときに、前回電源をOFFにしたときの記録対象スロットに、同一のP2カードが挿入されているときは前回の記録対象スロットが記録対象に、P2カードが挿入されていないとき、または違うP2カードが挿入されているときは、もっとも若い番号の記録可能スロットが記録対象となります。
- 記録中に記録対象のP2カードがフルになったときは、フルになったP2カードが挿入されているスロットの次の番号の記録可能なスロットが記録対象となります。

### 〈P2カード使用上の注意〉

- P2カードは、必ずP2機器でフォーマットしてご使用ください。

## P2カードアクセスLEDとP2カードの状態について

P2カードアクセスLED	P2カードの状態
緑色に点灯	書き込み／読み出しとも可能です。
オレンジ色に点灯	書き込み／読み出しとも可能で、現在記録 (LOOP RECを含む) の対象になっています。
オレンジ色の点滅	現在、書き込み／読み出し中です。
◆NOTE:	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録時など、オレンジ色の点滅時は、本体の電源をOFFにしたり、P2カードを抜いたりしないでください。</li> </ul>
オレンジ色の早い点滅	P2カード認識中です。
緑色の点滅	<p>P2カードのメモリー残量がありません。読み出しのみ可能です。</p> <p>P2カードのライトプロテクトスイッチが「PROTECT」側になっています。読み出しのみ可能です。</p>
消灯	<p>P2カードが正規のフォーマットをされていません。本機でフォーマットをやり直してください。</p> <p>本機では使用できないカードです。カードを交換してください。</p> <p>P2カードが挿入されていません。</p> <p>USB DEVICEモードでP2カードにアクセスしていません。</p>

### ◆NOTE:

- P2カードの状態を詳細に確認することができます。  
54 ページの「カードの状態を確認する」をご覧ください。

## 4GB超でのクリップ分割について

本機で8 GB以上のP2カードを使用したとき、1回の連続記録時間が下表に示す時間を超えると、自動的に別のクリップとして記録を継続します。なお、P2機器にてクリップのサムネール操作 (表示、削除、修復、コピーなど) を行うときは、1つのクリップとして操作できます。

ノンリニア編集ソフトおよびパーソナルコンピューターなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。

記録フォーマット	記録時間
DVCPRO HD	約5分
DVCPRO50	約10分
DVCPRO / DV	約20分
AVC-Intra50*	約10分
AVC-Intra100*	約5分

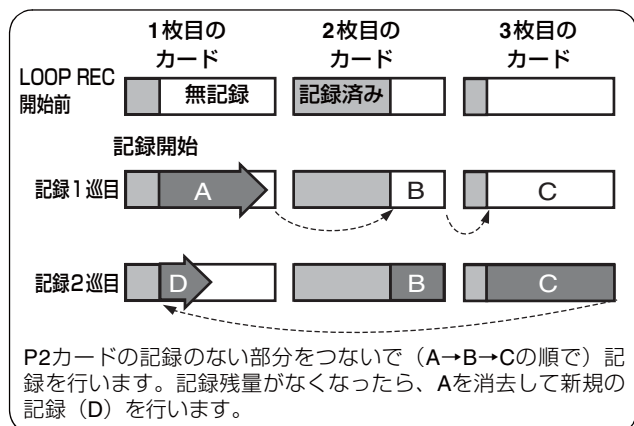
\*AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G (オプション) 装着時

## LOOP REC機能

P2カードスロットに2枚以上のP2カードが挿入されているとき、順次カードを切り替えながら記録する機能です。P2カードの記録残量がなくなった時点で最初に戻って、古い記録を消去しながら新規に記録を行うことにより、継続的な記録が可能です。

LOOP REC 機能を使用するには、セットアップメニューの LOOP REC 項目をONにしてください。

→「セットアップメニューNo.041 (LOOP REC)」(110 ページ) を参照



### ◆NOTE:

- POWERスイッチをOFFにすると、次回電源投入時にLOOP REC機能はOFFになりますのでご注意ください。

- LOOP RECには、1分以上の記録残量があるP2カードをご使用ください。
- LOOP REC中は、記録に使用するP2カードのP2カードアクセスLEDが、すべてオレンジ色に点灯します。これらのP2カードを抜くと、LOOP RECは停止しますのでご注意ください。
- LOOP REC MODE項目がONのときは、スーパーインポーズ画面の一行目にLOOPと表示されます。ただしLOOP REC項目がONのときでも、カードが一枚しか挿入されていないかたり、カードの記録残量が1分未満だとLOOP RECができません。この場合、スーパーインポーズ画面のLOOP表示が点滅しません。ただし、THUMBNAIL、PLAY LISTボタンが点灯時には表示されません。
- LOOP REC項目がONのとき、P2カード残量は最低記録保障時間を表示します。最低記録保障時間とは、古い記録を消去直後にLOOP RECを停止したとき、さかのぼってクリップに記録されている時間の目安のことです。
- LOOP REC中はショットマークの付加、削除はできません。
- LOOP REC中はテキストメモの記録はできません。
- 外部機器をリモート制御してAUTO CAPTUREをしているときは、LOOP RECができません。
- VFRモードのときは、LOOP RECができません。

## LOOP RECモードを終了するには

以下の2通りの方法があります。

- 本機のPOWERスイッチをOFFにする。
- メニュー操作で、LOOP REC項目をOFFに設定する。

## P2カードの取り出し

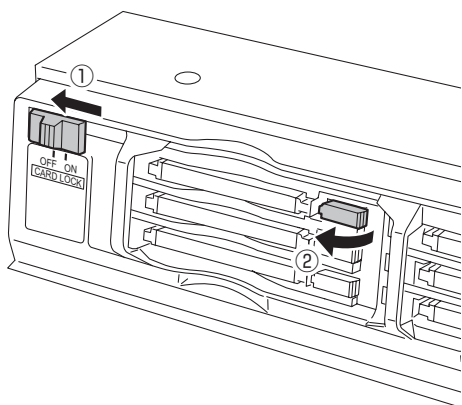
### ◆NOTE:

- アクセス中や、挿入後の認識中(P2カードアクセスLEDがオレンジ色に点滅時)には、P2カードを取り出さないでください。

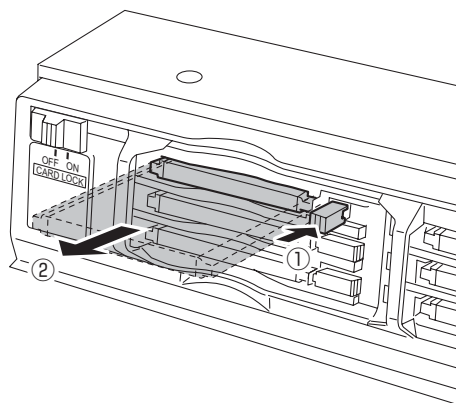
### 1 STOP ■ ボタンを押す

取り出したいP2カードのアクセスLEDがオレンジ色に点滅しているときは、STOP ■ ボタンを押して点滅を停止させてください。

### 2 カードロックをOFFにして、EJECTボタンを起こす



### 3 EJECTボタンを押し込んで、P2カードを取り出す

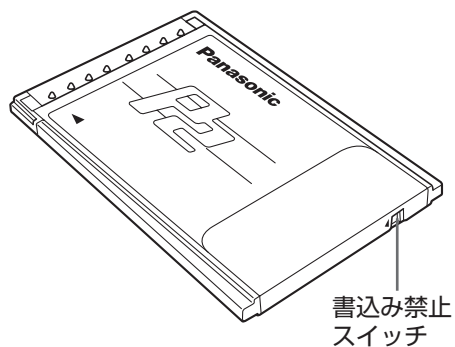


### ◆NOTE:

- サムネール画面表示中にP2カードを抜くと、自動的にサムネール画面から抜け出します。
- P2カードの故障の原因となりますので、アクセス中や、挿入後の認識中(P2カードアクセスLEDがオレンジ色に点滅時)に、P2カードを取り出さないでください。  
万が一、アクセス中のP2カードを取り出したとき、液晶モニターには「E-30」の表示、表示パネルには「AUTO OFF」の警告表示を行います。また、P2カードアクセスLEDは、すべてオレンジ色の早い点滅となります。一度、電源を切ってください。
- アクセス中に取り出されたP2カードのクリップが、不正規の状態になることがあります。クリップをご確認の上、修復を行ってください。  
→「不良クリップの修復」(46ページ)を参照。
- フォーマット中にP2カードが抜かれたときは、フォーマットが保証されません。再起動後、再度フォーマットを行ってください。

## 誤消去を防ぐには

P2カードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、P2カードの書き込み禁止スイッチを「PROTECT」側にします。



### ◆NOTE:

- 書き込み禁止スイッチは、記録中や再生中などのアクセス中に切り替えても、再生や記録を終了してアクセス状態が終わるまで有効になりません。

## P2カードおよびSDメモリーカードの最新情報について

P2カードおよびSDメモリーカードの取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2のサポートページをご覧ください。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<https://www.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

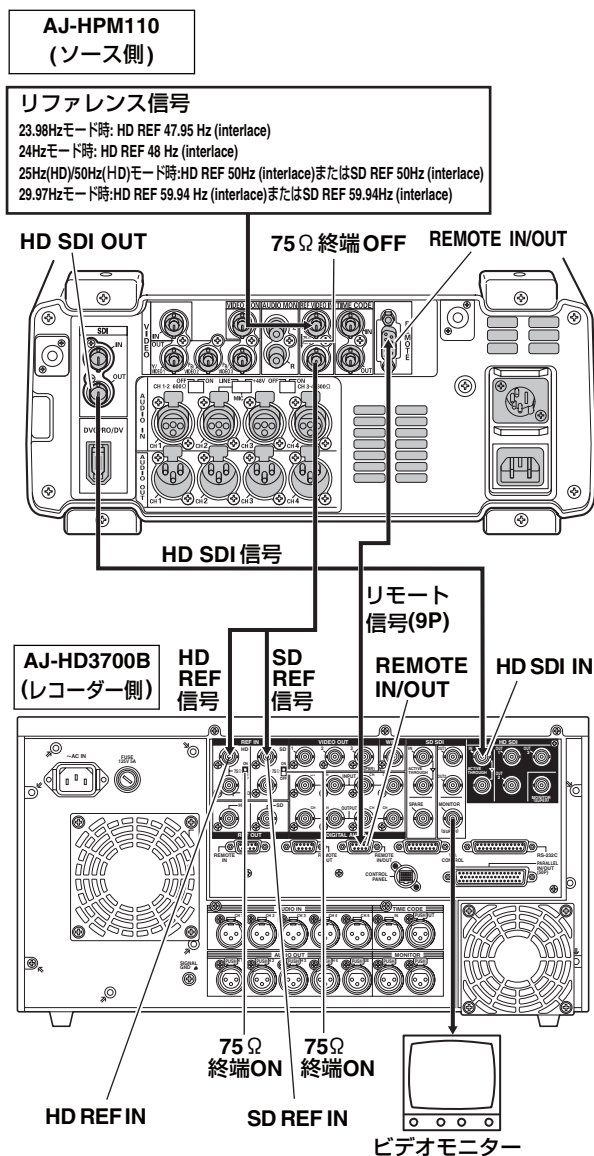
# 接続

## 23.98/24/29.97/25Hzモード時のシステム接続例

本機では、フレームレートが24 fps(25 fps)で記録されたカードを再生すると、1080/24PsF(1080/25PsFまたは1080/50i)に変換して出力でき、AJ-HD3700シリーズへの記録が可能です。

下図はデッキ対デッキの接続例です。

REF入力は、下記のリファレンス信号を入力してください。



- 対応する入力/出力フォーマットについては、「入力/出力対応フォーマット一覧」(133 ページ)を参照してください。
- 23.98/24/29.97/25Hzモード時、TIME CODE OUT端子からタイムコードは出力されません。またTIME CODE IN端子からのタイムコード入力もできません。
- 23.98/24Hzモード時、HD SDI出力はアナログVIDEO出力に対して、約2フレーム遅延します。
- 23.98/24Hzモード時、アナログVIDEOは出力されません。
- 24Hzモード時、コンポジットモニタービデオは出力されません。

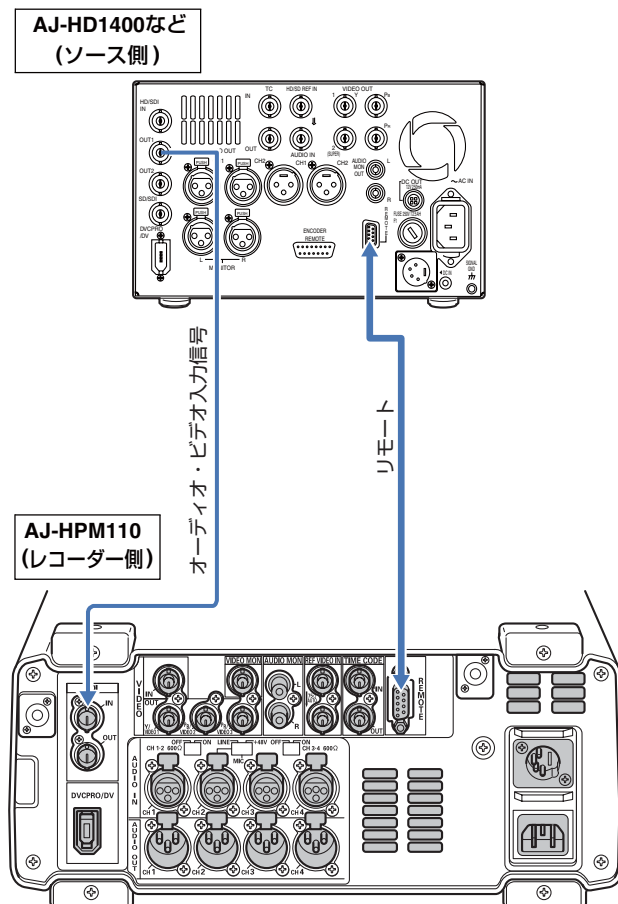
## 外部リモート制御時の接続例

リモートコントロール端子よりコマンドを送信し、外部機器をリモート制御することができます。

下図はデッキ対デッキの接続例です。

外部機器側は、フロントパネルのCONTROLスイッチをREMOTEにしてください。

本機側は、CONTROLスイッチをLOCALにしてください。



◆NOTE:

- 23.98/24Hzモードの再生開始時に、REF入力と同期をとるため、数フレーム間映像が乱れ、音声出力がミュートされる場合があります。1倍速再生以外のHD SDI出力映像は動きが不自然になる場合があります。
- 23.98Hzモード時、コンポジットモニタービデオには、VITC信号は出力されません。

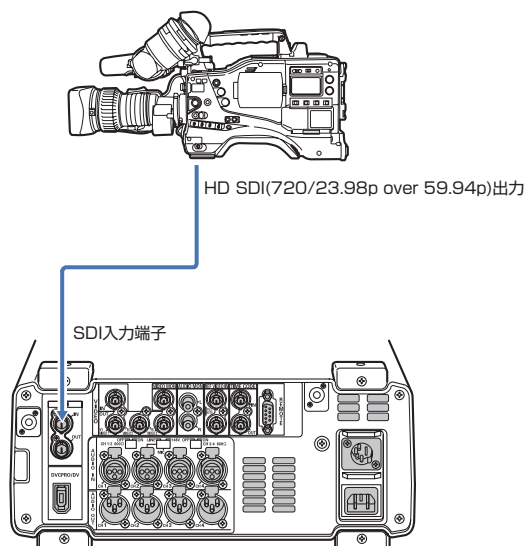
# バリアブルフレームレートカメラからの記録

## バリアブルフレームレートカメラからのHD SDI出力信号を720/23.98p記録する

バリアブルフレームレートカメラ (Varicam:AJ-HDC27シリーズ)のHD SDI(720/23.98p over 59.94p)出力を、DVCPRO HD またはAVC-Intra(オプション装着時) 720/23.98p Native記録することができます。

### カメラ出力のHD SDI信号を記録する

- 1 カメラのHD SDI(720/23.98p over 59.94p)出力をSDI入力端子に接続し、INPUT SELECT ボタンを押し、SDIを選択する



### 2 セットアップメニューを下記のように設定する

項目		設定値
No.25	SYSTEM FREQ	59-23
No.020	SYS FORMAT	720p
No.040	VFR REC	OFF

#### ◆NOTE:

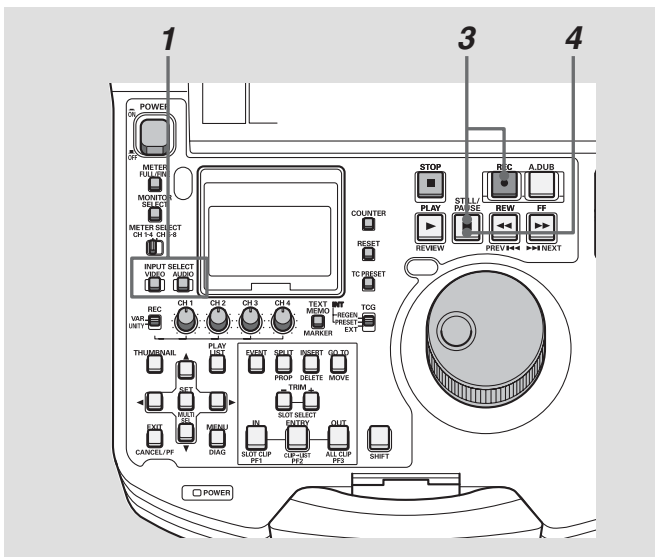
- バリアブルフレームレートカメラからの720/24p over 60p出力を記録する場合には、セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQを60-24に設定してください。このとき、コンポジットモニタービデオは出力されません。
- バリアブルフレームレートカメラからの720/25p over 60p出力を記録する場合には、セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQを60-25に設定してください。

### 3 REC ボタンと STILL/PAUSE ボタンを同時に押し、本機をREC PAUSEモードにする

- 4 カメラのHD SDI出力映像を確認しながら、STILL/PAUSEボタンを押す  
記録が開始されます。

#### ◆NOTE:

- セットアップメニューNo.155 AUTO RECをTYPE1に設定し、CONTROLスイッチをREMOTEにすると、カメラのREC/STOPに連動して自動的に記録を開始、停止させることができます。
- SDI出力のビデオフォーマットは1080/23.98PsFとなります。アナログビデオおよびIEEE1394は出力されません。
- TIME CODE OUT端子からタイムコードは出力されません。またTIME CODE IN端子からのタイムコード入力もできません。
- SDI出力は液晶モニター、モニタービデオ出力より遅れて出力されます。アナログオーディオ、スピーカー、ヘッドフォン出力は液晶モニター、モニタービデオ出力に合わせて出力します。SDI出力に合わせる場合には、セットアップメニューNo.778 AUD OUT DLYをONに設定してください。
- カメラのTCGはフリーラン、ノンドロップモードに設定してください。SDI入力のTC/UBが正常に読み出せない場合は、正常に記録できません。





## バリエブルフレームレート記録

セットアップメニューNo.040 VFR RECをONに設定すると、バリエブルフレームレートカメラのバリエブルフレーム出力から有効フレームのみを記録することができます。撮影時に意図したスロー／クイックのスピードエフェクトを、撮影したその場ですぐに確認できます。

### ◆NOTE:

- このモードではオーディオは記録されません。また、外部タイムコードを記録することはできません。
- このモードでのP2カード残量表示は、最も遅いスロースピードエフェクトの60p(50p)の残量値を表示しています。
- セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQが59-23、60-24に設定されている場合、入力するフレームレートが24p以外のときのHD SDI出力映像は、動きが不自然になる場合があります。
- バリエブルフレームレートカメラからの出力信号を記録中にフレームレートを変更すると、変更時にコマ落ちすることがあります。

## HDカメラからのHD SDI出力信号を1080/23.98p記録する（オプション装着時）

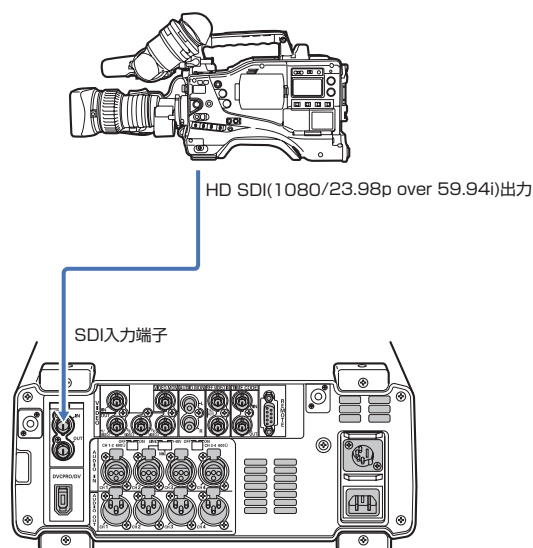
HDカメラのHD SDI(1080/23.98p over 59.94i)出力をAVC-Intra 1080/23.98p Native記録することができます。

### 2 セットアップメニューを下記のように設定する

項目	設定値	
No.25	SYSTEM FREQ	59-23
No.020	SYS FORMAT	1080p

## カメラ出力のHD SDI信号を記録する

- 1 HDカメラレコーダーのHD SDI(1080/23.98p over 59.94i)出力をSDI入力端子に接続し、INPUT SELECT ボタンを押して、SDIを選択する

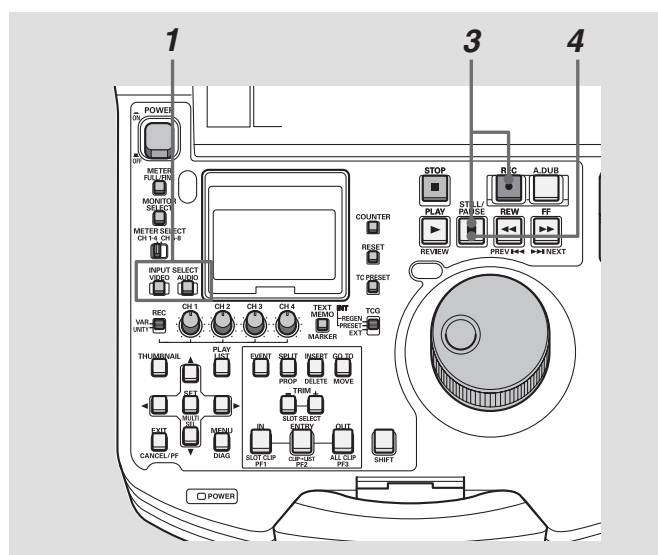


- 3 REC ボタンと STILL/PAUSE ボタンを同時に押し、本機をREC PAUSEモードにする

- 4 カメラのHD SDI出力映像を確認しながら、STILL/PAUSEボタンを押す  
記録が開始されます

### ◆NOTE:

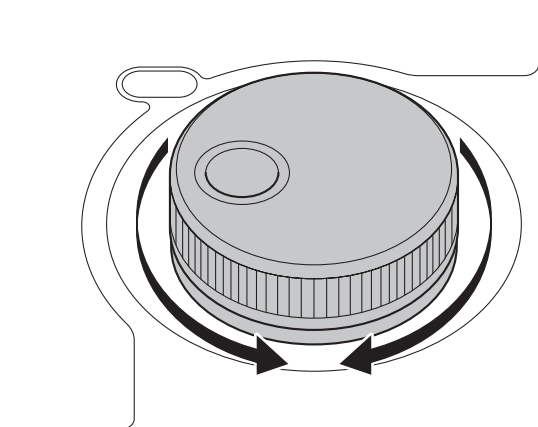
- セットアップメニューNo. 155 AUTO REC TYPE2に設定し、CONTROL スイッチをREMOTEにすると、カメラのREC/STOPに連動して自動的に記録を開始、停止させることができます。
- SDI 出力のビデオフォーマットは 1080/23.98PsF となります。アナログビデオおよびIEEE1394は出力されません。
- TIME CODE OUT端子からのタイムコード出力、およびTIME CODE IN端子からのタイムコード入力はありません。
- SDI 出力は液晶モニター、モニタービデオ出力より遅れて出力されます。アナログオーディオ、スピーカー、ヘッドフォン出力は液晶モニター、モニタービデオ出力に合わせて出力します。SDI出力に合わせる場合には、セットアップメニューNo.778 AUD OUT DLY をONに設定してください。
- カメラのTCGはフリーランに設定してください。SDI入力のTC/UBが正常に読み出せない場合は、正常に記録できません。



# サーチダイヤルによるジョグ／シャトル操作

サーチダイヤルは、映像の確認、検索のためのダイヤルです。  
ダイヤルは、押す毎にSHTLモードとJOGモードが交互に切り替わります。  
電源を入れた直後は、一度ダイヤルをSTILLの位置に戻さないと動作しません。

## ジョグモード (JOGモード)



- 1 **サーチダイヤルを押し込む**  
ジョグモードになります。

### 2 サーチダイヤルを回す

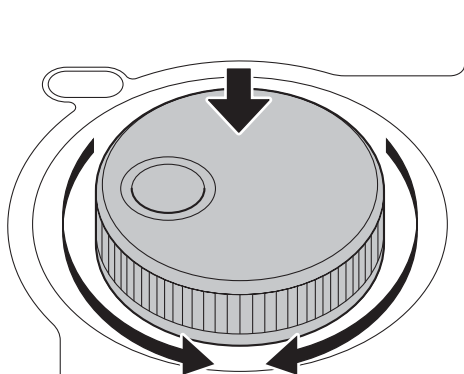
ダイヤルにクリック感がなくなり、ダイヤルの回転速度に応じたスピード(-1~+1倍速)で再生が行われます。  
ダイヤルの回転を止めると、静止画になります。

### 3 ジョグモードから他のモードに移行するときは、移行するモードのボタンを押す

#### ◆NOTE:

- 工場出荷時には、サーチダイヤルを回すとサーチモード(ジョグモードまたはシャトルモード)に移行するダイレクトサーチモードに設定されています。
- セットアップメニューNo.100(SEARCH ENA)の設定を「KEY」にすることで、STILL / PAUSEボタンを押さないとサーチモードに移行しないように設定することができます。

## シャトルモード (SHTLモード)



- 1 **サーチダイヤルを押して、押し込まれたダイヤルを元に戻す**  
シャトルモードになります。  
電源を入れた直後は、サーチダイヤルを回して、センターの位置にしてください。

### 2 STILL / PAUSEボタンを押す

### 3 サーチダイヤルを回す

ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが0~±16倍速まで変化します。  
セットアップメニューNo.101(SHTL MAX)で最大速度の設定を±8、±16、±32、±60、±100倍速に変更できます。  
ダイヤルをセンター位置でクリックすると、静止画になります。

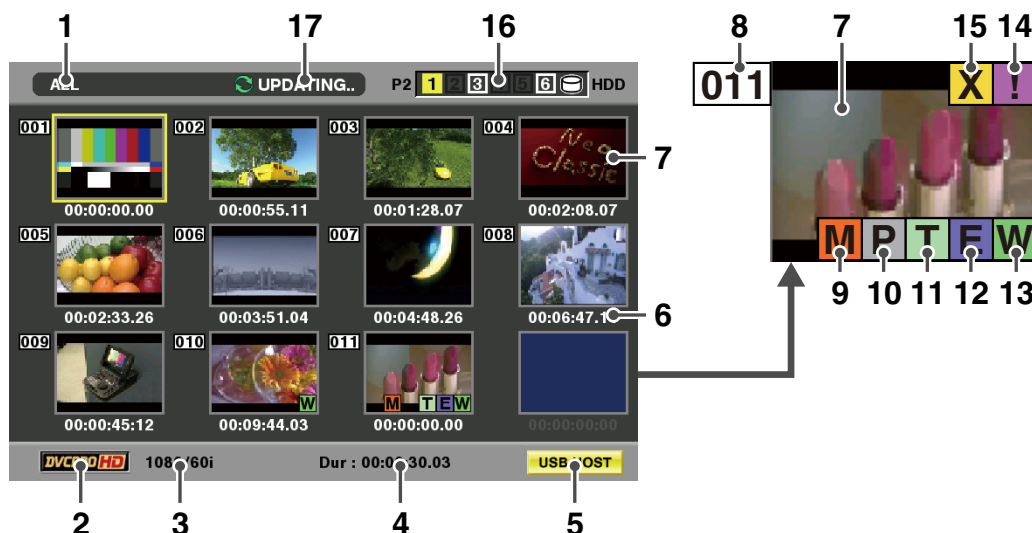
### 4 シャトルモードから他のモードに移行するときは、STOP ボタンまたは、他のボタンを押す

#### ◆NOTE:

- オーディオモニター出力からは、-10~+10倍速の範囲で再生音を聞くことができます。
- サーチモードでの再生音にはノイズが含まれます。
- 複数の P2 カードにまたがったクリップを±1倍速より速い速度で再生するとき、再生音が瞬途切れることがありますが、故障ではありません。
- 10倍速再生するとき、再生音が途切れることがありますが、故障ではありません。
- AVC-Intra 1080/23.98p記録されたクリップをシャトルモードの+1.0倍速で再生すると、映像の動きが不自然になることがあります。

# クリップの管理

## サムネールとクリップの管理について



本機にはクリップを管理するためのサムネール画面があります。クリップとは、画像、音声、メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことです。通常は記録を開始して停止するまでの、1回の記録によって生成される1ショットが1クリップになります。複数のP2カードにまたがったショットについても単一クリップとして扱われます。

サムネール画面には、各クリップにある最初のフレームの画像が、そのクリップの代表画像として一覧表示されます。このサムネールを確認しながら、以下の操作を行ってクリップを管理できます。

- クリップの再生、コピー、削除、修復
- クリップにテキストメモを挿入
- テキストメモの確認と削除
- マーカーの表示と消去
- P2カードのフォーマット
- クリップのプロパティ表示
- P2カードの状態表示

### ◆NOTE:

- サムネールは実際の映像の一部成分から生成されています。そのため実際の映像より荒いものとなります。
- サムネール画面はVIDEO MONITOR端子にも出力されますが、接続されたモニターによっては画面からはみ出して表示されません。

## サムネール画面各部の名称とはたらき

### 1. 表示状態

画面に表示されている情報の種類が、次のように示されます。

ALL:	すべてのクリップ
SAME FORMAT:	システムフォーマットと同じフォーマットのクリップ
SELECT:	SETボタンで選択したクリップ
MARKER:	ショットマークが付加されたクリップ
TEXT MEMO:	テキストメモデータがあるクリップ
SLOT n:	n番スロットのP2カード内のクリップ
PROPERTY:	クリップの詳細情報
P2 / REMAIN:	メディア情報(残量表記)
P2 / USED:	メディア情報(使用量表記)
META DATA:	設定されたメタデータ

→表示の切り替え方法は「表示する情報の種類を切り替える」(37ページ)を参照。

### 2. 記録モード

カーソル位置のクリップの記録モードが表示されます。

### 3. システムフォーマット

カーソル位置のクリップの記録フォーマットが表示されます。

### 4. デュレーション

カーソル位置のクリップのデュレーションが表示されます。

### 5. USBホストモードインジケーター

USBホストモードのときに表示されます。

### 6. 時間表示

クリップの記録開始時のTC(タイムコード)／UB(クリップの記録開始時のユーザーズビット)／撮影時刻／撮影日／撮影日時／ユーザークリップ名のいずれかが表示されます。

→「表示する項目を設定する」(38ページ)を参照。

### 7. サムネール

各クリップにある最初のフレームの画像が、そのクリップの代表画像として表示されます。

### 8. クリップ番号

記録日時が早い順に、P2カード上のクリップに割り当てた番号が表示されます。再生できないクリップは、クリップ番号が赤色で表示されます。

### 9. **[M]**ショットマークインジケーター

ショットマークが付加されたクリップに表示されます。

### 10. **[P]**プロキシインジケーター

AJ-SPX800、AJ-HPX2100、AJ-HPX3000などのカメラで記録したプロキシが付加記録されているクリップに表示されません。本機ではプロキシを記録できません。

### 11. **[T]**テキストメモインジケーター

テキストメモデータが挿入されているクリップに表示されません。

### 12. **[E]**エディットコピーインジケーター

エディットコピーしたクリップに表示されます。

### 13. **[W]**ワイドインジケーター

16:9の画角で記録されたクリップに表示されます。ただしHDフォーマットのクリップのときは表示されません。

### 14. **[!]**不完全クリップインジケーター

複数のP2カードにまたがって記録されているにもかかわらず、その内のいずれかのP2カードが、P2カードスロットに挿入されていないときなどに表示されます。

### 15. **[X]**不良クリップ・**[?]**不明クリップインジケーター

記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに表示されます。黄色の不良クリップインジケーターが表示されたクリップは、修復が可能な場合があります。

→「不良クリップの修復」(46ページ)を参照。

赤色の不良クリップインジケーターが表示されたクリップは、修復できませんので削除してください。削除できないときは、P2カードをフォーマットしてください。

P2規格のフォーマットなどが異なるクリップのときは、**[X]**の代わりに**[?]**が表示されます。

## 16. P2カードスロット番号・HDD状態



P2カードおよびUSBハードディスクドライブの状態が、次のように表示されます。

**1**～**6** P2カードが挿入されているP2カードスロット番号が白色で表示されます。

**1**～**6** カーソル位置のクリップが記録されているP2カードのP2カードスロット番号が、黄色で表示されます。クリップが複数のP2カードにまたがって記録されているときは、そのクリップが記録されたカードのスロット番号すべてが表示されます。

### ◆NOTE:

挿入されたP2カードが以下のような場合に、枠がピンク色になります。

- 「RUN DOWN CARD」  
P2カードの規定の書き換え回数を超えた場合
- 「DIR ENTRY NG CARD」  
P2カードのディレクトリ配置が不正な場合

USB ホストモード以外か、USB ホストモードになっているがハードディスクドライブが非接続のとき、灰色で表示されます。

USB ホストモードになっていて、ハードディスクドライブが使用可能のとき、白色で表示されます。

USB ホストモードになっていて、ハードディスクドライブのクリップがサムネール表示されているとき、黄色で表示されます。

USB ホストモードになっていて、ハードディスクドライブがコピー可能な状態でないときに赤色で表示されます。

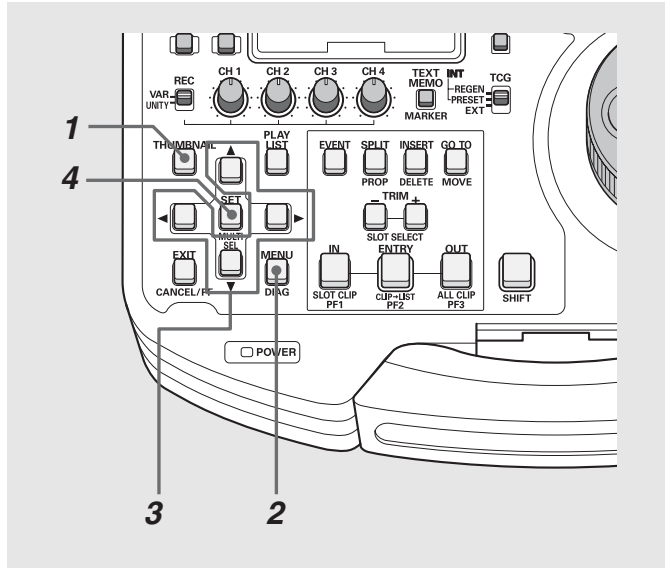
## 17. 状態メッセージ

処理状態を示すメッセージが表示されます。たとえば、画面更新中には「UPDATING」の文字と回転するアイコンが表示されます。

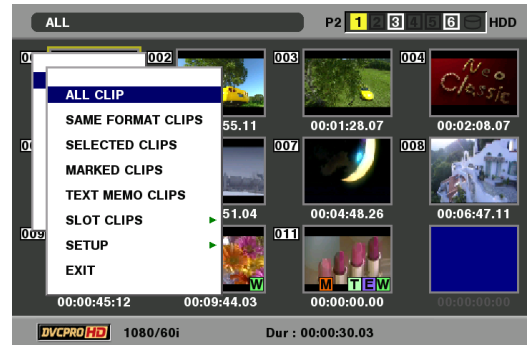
## サムネール画面の表示の変更

使用状況に応じてサムネール画面をカスタマイズし、効率よく操作を行うことができます。

### 表示する情報の種類を切り替える



- 1 サムネール画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[THUMBNAIL]の下位の、表示したいクリップの種類にカーソルを合わせる



ALL CLIP: すべてのクリップを表示するとき  
SAME FORMAT CLIPS: システムフォーマットと同じフォーマットのクリップを表示するとき

### ◆NOTE:

- セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQ が 23.98、24、29.97、59-23、60-24、25、60-25の場合、記録可能なフォーマットのクリップのみ表示します。

SELECTED CLIPS: SETボタンで選択したクリップを表示するとき

MARKED CLIPS:	ショットマークが付加されたクリップを表示するとき
TEXT MEMO CLIPS:	テキストメモデータがあるクリップを表示するとき

◆NOTE:

テキストメモクリップの表示時に、下段に表示されるテキストメモ位置のサムネールが表示されずに灰色となる場合があります。

- AVC-Intra コーデックボードオプションがない場合のAVC-Intraクリップ
- SYSTEM FREQ設定と異なるAVC-Intraクリップ

SLOT CLIPS:	n番スロットのP2カード内のクリップを表示するとき
-------------	---------------------------

## 4 SETボタンを押す

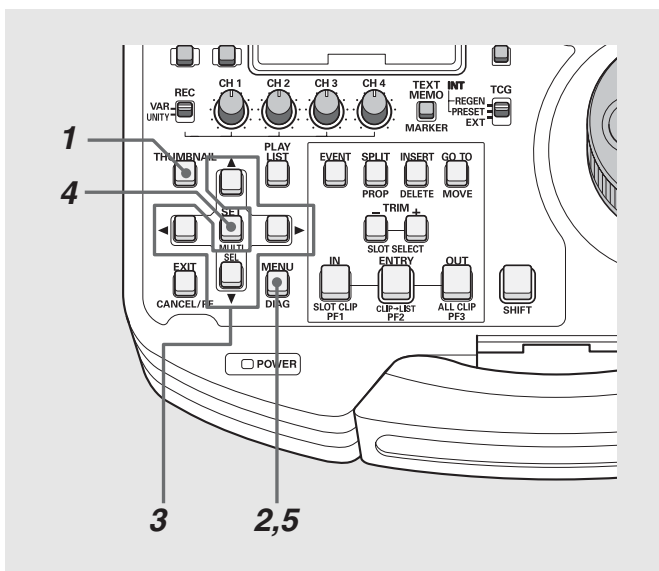
◆NOTE:

〈ボタンを操作しても切り替えることができます〉

- SHIFT + IN ボタンを押すたびにSELECTED→SLOT1→SLOT2…SLOT6→SELECTED(ただしカードが挿入されているスロットのみ)に切り替えることができます。
- SHIFT+OUTを押してALL CLIPに切り替えることができます。

## 表示する項目を設定する

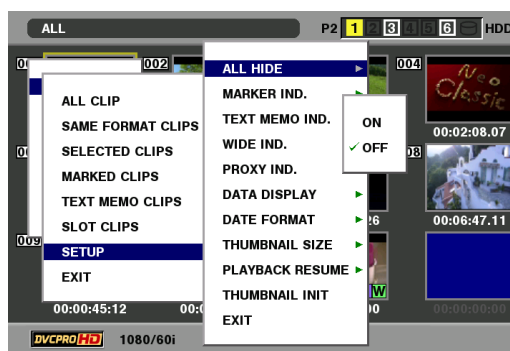
用途に合わせ、サムネールの表示方法をカスタマイズできます。サムネール表示のインジケータやデータ設定の切り替えを行います。



1 サムネール画面を表示する

2 MENUボタンを押す

## 3 十字カーソルボタンで[THUMBNAIL] – [SETUP]の下位の設定したい項目にカーソルを合わせる



※XXは初期値を表す。

ALL HIDE:	ON	インジケータをすべて非表示
	OFF	以下のメニューの設定に従って表示
MARKER IND.:	ON	ショットマークインジケータを表示
	OFF	ショットマークインジケータを非表示
TEXT MEMO IND.:	ON	テキストメモインジケータを表示
	OFF	テキストメモインジケータを非表示
WIDE IND.:	ON	ワイドインジケータを表示
	OFF	ワイドインジケータを非表示
PROXY IND.:	ON	プロキシインジケータを表示
	OFF	プロキシインジケータを非表示
DATA DISPLAY:	時間表示部(→「サムネール画面各部の名称とはたらき」(36ページ)の6を参照)に表示する内容を選択する	
	TC	タイムコード
	UB	ユーザビット
	TIME	記録時刻
	DATE	記録日
	DATE TIME	記録日時
	USER CLIP NAME	ユーザークリップ名の先頭の最大15文字(英語表示の場合)

DATE FORMAT:	記録日時の表示書式を選択する
	<u>Y-M-D</u> 年月日
	M-D-Y 月日年
	D-M-Y 日月年

## ◆NOTE:

- この設定は、クリップのプロパティで表示される記録日、DATA DISPLAYでDATEを選択したときに表示される記録日時、およびプレイリストのイベントプロパティ画面のクリップ情報で表示される記録日、メタデータのロードなど各種ファイル表示の作成日時にも反映されます。

THUMBNAIL SIZE:	液晶モニターの一画面に表示されるサムネイルの大きさ
	LARGE 大きい
	<u>NORMAL</u> 標準
PLAYBACK RESUME:	再生停止後、カーソルを動かさなかったときに、再生を停止した位置から再生する機能を選択する
	ON 停止位置を記憶
	<u>OFF</u> 先頭から再生
THUMBNAIL INIT:	上記設定を、工場出荷状態(初期値)に戻す

## 4 SETボタンを押す

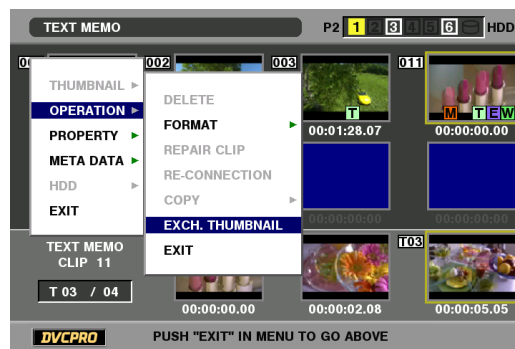
## ◆NOTE:

- [THUMBNAIL INIT]のときは確認画面が表示されますので、[YES]を選択します。

## 5 MENUボタンを押して、処理を終了する

## サムネイルの変更

- 1 変更したい映像にテキストメモを付加する  
→「テキストメモを付加する」(42ページ)を参照。
- 2 サムネイル表示をテキストメモ表示に変更する
- 3 テキストメモ下段へ移動し、変更したいサムネイルにカーソルを移動する
- 4 メニューボタンを押す
- 5 十字カーソルボタンで、[OPERATION]-[EXCH. THUMBNAIL]にカーソルを合わせSETボタンを押す



- 6 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す  
MENUが閉じて、サムネイルが変更されます。

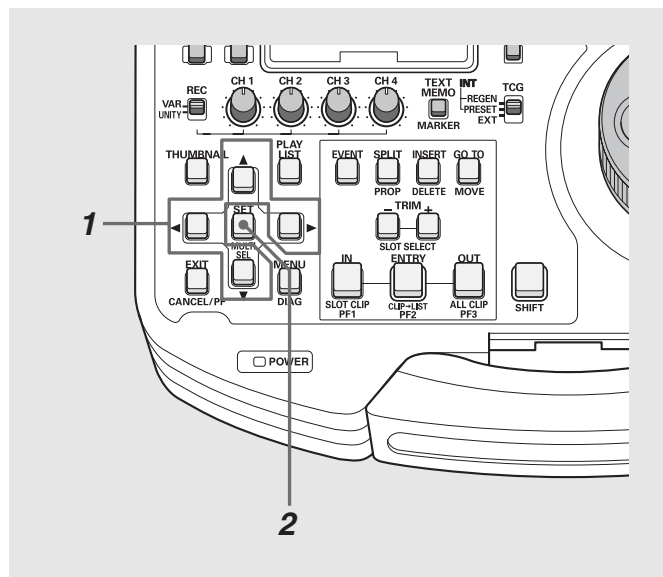


## ◆NOTE:

- クリップの情報表示の THUMBNAIL 項目で、サムネイルの変更位置(先頭からのフレーム数)を見ることができます。通常先頭フレームのサムネイルの場合は0と表示されます。
- サムネイルを変更しても、サムネイルからの再生はクリップの先頭からとなります。

# クリップを選択する

サムネイル画面で操作を行うとき、操作の対象となるクリップを次のように選択します。



## 1 十字カーソルボタンで、黄色い枠(カーソル)を対象のクリップに合わせる



### ◆NOTE:

- SHIFT ボタンを押しながらREW / FFボタンあるいは▲▼ボタンを押すと、カーソルを先頭クリップ/最終クリップへ移動できます。

## 2 SETボタンを押す

カーソルを合わせたクリップに水色の枠が表示され、選択状態になったことを表します。

### ◆NOTE:

- 1~2の操作を繰り返すと、複数のクリップを選択できます。
- クリップを選択した後、別のクリップにカーソルを移動し、SHIFTボタンを押しながらSETボタンを押すと、直前に選択したクリップからカーソル位置までのクリップをまとめて選択できます。

## 選択を解除するには

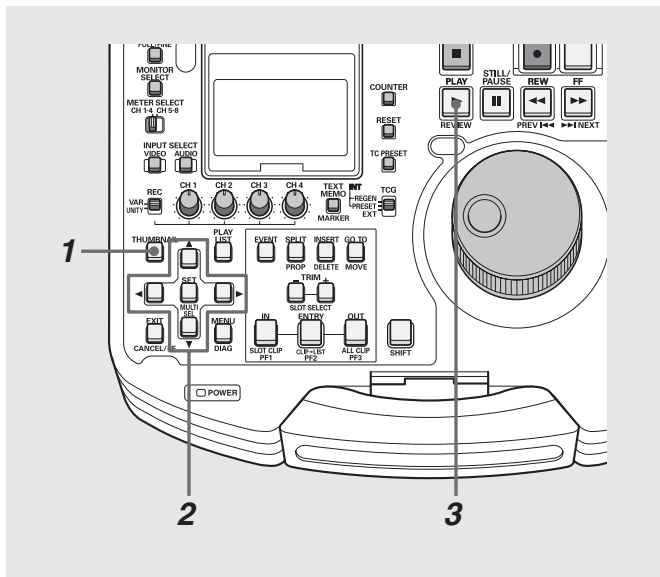
- 1 選択状態のクリップにカーソルを合わせ、再度 SET ボタンを押す  
選択が解除されます。

### ◆NOTE:

- SHIFT ボタンを押しながら EXIT ボタンを押すと、選択状態のクリップを一括して選択解除できます。

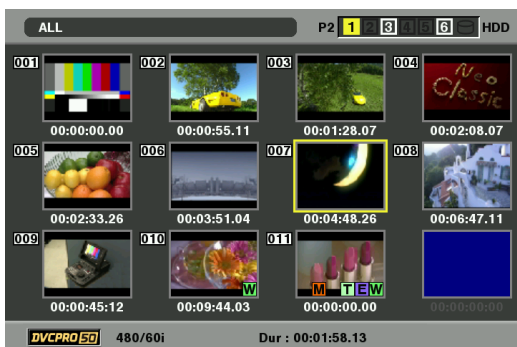


# クリップを再生する



## 1 サムネイル画面を表示する

## 2 十字カーソルボタンで、再生したいクリップにカーソルを合わせる



### ◆NOTE:

- サーチダイヤルでもカーソルを動かすことができます。
- SHIFT ボタンを押しながらREW / FF ボタンあるいは▲▼ボタンを押すと、カーソルを先頭クリップ／最終クリップへ移動できます。

## 3 PLAY▶ ボタンを押す

カーソルを合わせたクリップから、再生がはじまります。カーソルを合わせたクリップの再生が終わると、それ以降のクリップが順に再生され、最後のクリップの再生が終わるとサムネイル画面に戻ります。

### ◆NOTE:

- クリップを再生するときには、クリップを選択(サムネイルに水色の枠が表示された状態)にする必要はありません。
  - サムネイル表示設定を変更して、選択したクリップだけを再生したり、テキストメモが挿入されたクリップだけを再生したりすることができます。
  - PLAY ボタンの代わりに STILL (■) ボタンを押すと、クリップの先頭フレームの映像が静止画として表示されます。
  - クリップ番号が赤色に表示されたクリップは、再生できません。
  - PLAY ボタンの代わりに、REW (◀) ボタンを押すと早戻し再生、FF (▶) ボタンを押すと早送り再生が行えます。
  - クリップの再生中にSTOP (■) ボタンを押すと、再生を停止してサムネイル画面に戻ります。
  - 再生を停止すると、カーソル位置は停止直前に再生していたクリップに移動します。
  - 異なったフォーマット(DVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DV、AVC-Intra50\*、AVC-Intra100\*)を再生すると、クリップとクリップの間で映像・音声がかかりますが故障ではありません。
  - THUMBNAIL ボタンを押してサムネイル画面を閉じたとき、ほとんどの場合は再生開始位置が最も記録時刻の古いクリップ(クリップ番号1)に戻ります。
  - サムネイル画面をテキストメモ表示に変更すると、テキストメモ位置からの再生を行うことができます。  
→「テキストメモを付加する」(42ページ)を参照。
- \*AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)装着時

## 単一クリップを再生する

SHIFT ボタンを押しながらPLAY▶ ボタンを押すと、カーソル位置のクリップのみを再生することができます。

### ◆NOTE:

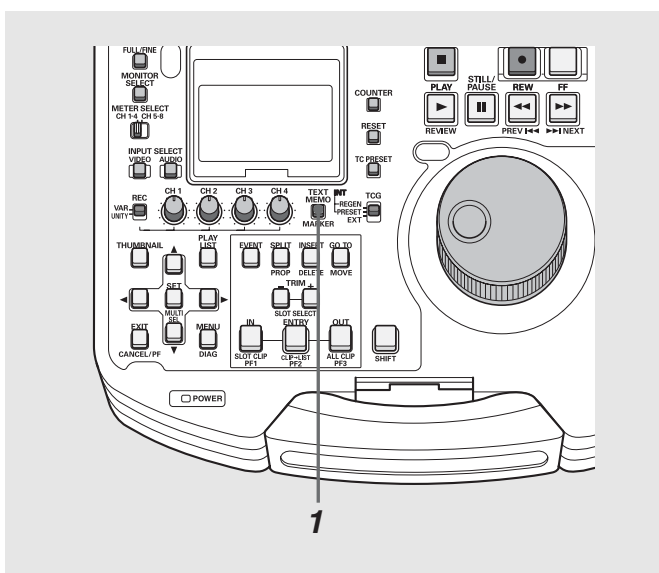
- 単一クリップの再生終了、あるいは STOP (■) ボタンを押したときは、再生が停止しサムネイル画面に戻ります。このとき、カーソルは次のクリップに移動します。
- 単一クリップの再生中は、STOP (■) ボタン以外無効になります。
- 単一クリップの再生は、クリップの先頭から開始します。

# テキストメモやショットマークを付加する

クリップの特定の箇所を区別するために、クリップにテキストメモを付加することができます。また、他のクリップと区別するために、クリップにショットマークを付加することができます。ただし、書き込み禁止スイッチがPROTECTになっているカードには付加できません。

## テキストメモを付加する

テキストメモを付加すると、映像を再生中にNEXT / PREVボタンを押して、テキストメモの位置にシークすることができます。



### 1 記録・再生・サムネール表示中にTEXT MEMOボタンを押す

- 記録・再生中にこのボタンを押すと、押したときの位置にテキストメモが付加されます。
- サムネール画面を表示中にこのボタンを押すと、クリップのサムネール(通常は先頭)の位置にテキストメモが付加されます。

#### ◆NOTE:

- テキストメモは、1クリップに最大100個付加できます。
- 再生中にTEXT MEMOボタンを押したときに、再生画が一瞬止まる場合がありますが故障ではありません。
- LOOP REC中、またはVFR ONでの記録中は、テキストメモの記録はできません。

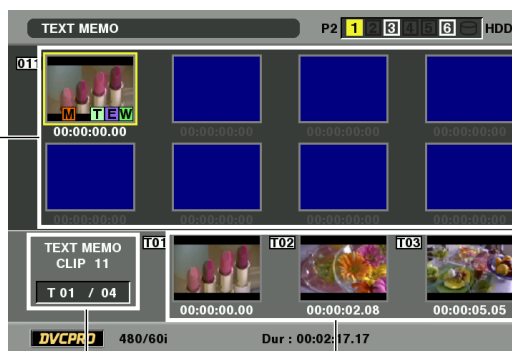
## テキストメモ位置から再生する

### 1 サムネールボタンを押す

液晶モニターにサムネール画面が表示されます。

### 2 サムネールメニューボタンを押し、サムネールメニューより[THUMBNAIL] - [TEXT MEMO CLIPS]を選択する

液晶モニター上段には、テキストメモが付加されたクリップのサムネールが表示されます。液晶モニター下段には、カーソルで選択されているクリップのテキストメモに関する情報が表示されます。



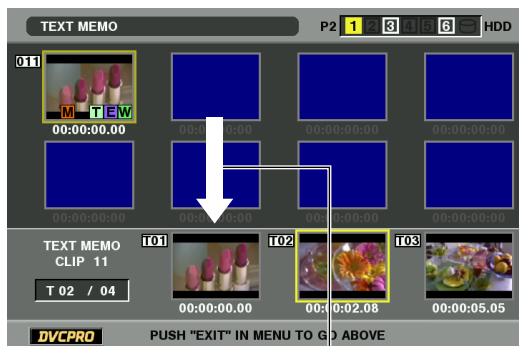
サムネール表示部      クリップに付加されたテキストメモの総数を表示      テキストメモが関連付けられた静止画像を表示

#### ◆NOTE:

- テキストメモクリップの表示時に、下段に表示されるテキストメモ位置のサムネールが表示されずに灰色となる場合があります。
  - AVC-Intra コーデックボードオプションがない場合の AVC-Intraクリップ
  - SYSTEM FREQ設定と異なるAVC-Intraクリップ

### 3 カーソルを、再生したいテキストメモのあるクリップに合わせ、SETボタンを押す

カーソルが液晶モニター下段に移ります。



カーソルが移動します。

### 4 カーソルが下段にある状態のまま、十字カーソルボタンの左右(◀ ▶)で、カーソルを再生したいテキストメモのサムネールに合わせ、PLAYボタンを押す

カーソルが合わされたテキストメモのタイムコード位置から再生します。

再生中にSTOPボタンを押して止めたり、クリップの終端で再生が終了すると、サムネール画面に戻り、再生を開始したテキストメモのサムネールにカーソルは戻ります。サムネールメニューボタンを押し、EXITを選択するか、EXITボタンを押すと、カーソルがサムネール画面の上段に戻ります。

#### ◆NOTE:

- 再生中はSTOPボタン以外は無効になります。

## テキストメモを削除する

サムネール画面をテキストメモ表示に変更すると、テキストメモの削除を行うことができます。

### 1 サムネールをテキストメモ表示に変更する

### 2 十字カーソルボタンでテキストメモを削除するサムネールへ移動し、SETボタンを押す

カーソルが下段に移ります。

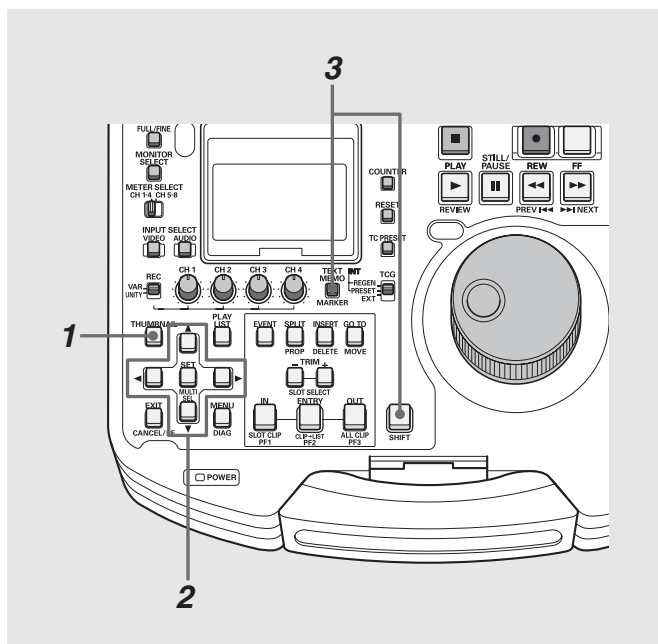
### 3 削除したいテキストメモのサムネールを選択した後に、メニューから[DELETE]を選択する

### 4 確認で[YES]を選択する

テキストメモが削除されます。

## ショットマークを付加する

ショットマークを付加すると、他のクリップと区別することができます。



### 1 サムネール画面を表示する

### 2 十字カーソルボタンで、対象のクリップにカーソルを合わせる

### 3 SHIFTを押しながらTEXT MEMOボタンを押す

ボタンを押すたびにショットマークインジケータのON/OFFが切り替わります。

#### ◆NOTE:

- 複数の P2 カードにまたがるクリップに対してショットマークを付加または削除するときは、そのクリップが記録されたすべてのP2カードを挿入した状態で行ってください。
- LOOP REC中は、ショットマークの付加、削除はできません。

# クリップをコピーする

クリップを、任意のP2カードスロットのP2カードにコピーできます。

## ◆NOTE:

- コピー中に電源をOFFにしたり、カードを抜き差ししたりしないでください。不良クリップができます。不良クリップができてしまった場合は、クリップを削除してから、再度コピーを行ってください。
- 不完全クリップは連結した後にコピーしてください。

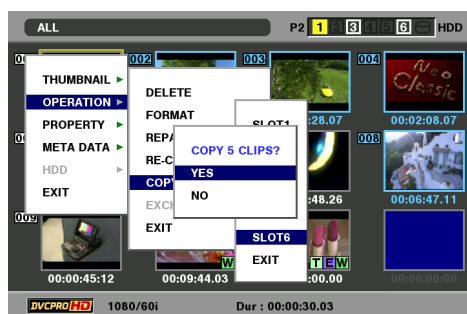
## 1 サムネイル画面を表示する

## 2 コピーするクリップを選択する

## 3 MENUボタンを押す

## 4 十字カーソルボタンで [OPERATION] - [COPY] - [SLOTn](コピー先P2カードスロット番号)にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

複数のクリップを選択していたときは、SETボタンを押した後に選択しているクリップ数が表示されます。



## 5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

クリップのコピーが開始されます。



## ◆NOTE:

- 途中でコピーを中止するには、SHIFT + EXITまたはSETボタンを押してキャンセルしてください。途中までコピーされたコピー先のクリップは削除されます。
- コピー先に以前コピーするなどした同一クリップ(GLOBAL CLIP IDが同じ)が存在するときは、「OVER WRITE」と表示されます。上書きを行うときは[YES]を、コピーを行わないときは[NO]を選択し、SETボタンを押してください。

## 6 完了メッセージが表示されたら確認(SETボタン)を押す



## 7 MENUボタンを押して、処理を終了する

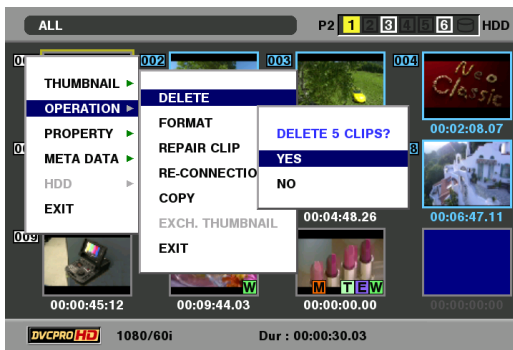
## ◆NOTE:

- 次のエラーメッセージが表示されたときは、コピーは行われません。
  - 「LACK OF REC CAPACITY」  
コピー先の記録容量が不足しているため、コピーは行われません。
  - 「UNKNOWN CONTENTS FORMAT!」  
選択したクリップに不良クリップが含まれているため、コピーは行われません。
  - 「NO COPY TO SAME CARD!」  
同一カードへコピーしようとしたため、コピーは行われません。
  - 「TOO MANY CLIPS!」  
選択したクリップが多すぎるため、コピーは行われません。
- テキストメモ下段でテキストメモ選択中にコピーを行うと、選択したテキストメモ位置とその次にあるテキストメモの区間をコピーします。選択したテキストメモの後にテキストメモがない場合は、クリップの最後までをコピーします。

# クリップを削除する

不要なクリップは、次の操作でP2カードから削除できます。

- 1 サムネイル画面を表示する
- 2 削除するクリップを選択する
- 3 MENU ボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで [OPERATION] – [DELETE] にカーソルを合わせる



- 5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す  
選択したクリップがすべて削除されます。
- 6 MENUボタンを押して、処理を終了する

## ◆NOTE:

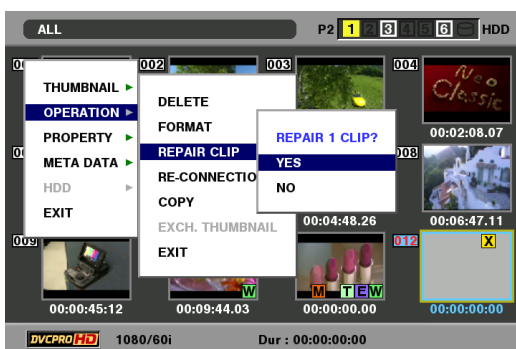
- 3～4の操作の代わりに、SHIFTを押しながらINSERTボタンを押してもクリップを削除できます。
- 途中で削除を中止するには、SHIFT + EXITまたはSETボタンを押してキャンセルしてください。途中まで削除されたクリップはキャンセルしても戻りません。

# クリップを修復する・連結する

## 不良クリップの修復

記録中、急に電源が切れるなどの原因で発生した、不具合のあるクリップには不良クリップインジケータ(黄色の[X])が表示されます。不具合のあるクリップは、次の操作で修復できます。

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 修復する不良クリップを選択する
- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで、[OPERATION] – [REPAIR CLIP]にカーソルを合わせる



- 5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 6 MENUボタンを押して、処理を終了する

### ◆NOTE:

- 壊れ方によっては修復できないときがあります。そのときは赤色の[X]が表示されます。

## 不完全クリップの連結

複数のP2カードにまたがって記録されているクリップが連続したクリップとして認識されず、不完全クリップ(1インジケータ)になることがあります。このとき連結機能を使って、連続したクリップ(元の連結したクリップ)に復元することができます。

### ◆NOTE:

不完全クリップは以下のようなときにできます。

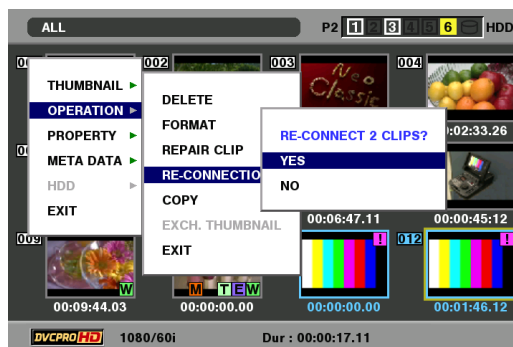
- 複数のP2カードに記録されたクリップを、P2カード毎に別々にコピーしたとき。
- 複数カードに記録されたクリップを、カード毎に別々にHDDへコピー後、P2カードへ書き戻したとき。
- DVCPRO HDで約5分以上(DVCPRO50では約10分、DVCPRO、DVは約20分以上)の長いクリップをHDDへコピー後、P2カードに書き戻したとき。

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 連結する不完全クリップを選択する

### ◆NOTE:

- 通常、不完全クリップマークのサムネールは、並んで表示されています。

- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで[OPERATION] – [RE-CONNECTION]にカーソルを合わせる



- 5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 6 MENUボタンを押して、処理を終了する

### ◆NOTE:

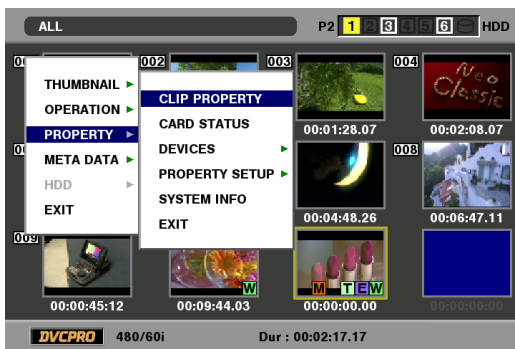
- 3 つ以上に分かれた不完全クリップの一部分のクリップだけを連結しても、元のクリップを構成するすべてのクリップを連結するまでは、不完全クリップマークが付いたままになります。

# クリップの情報を表示・修正する

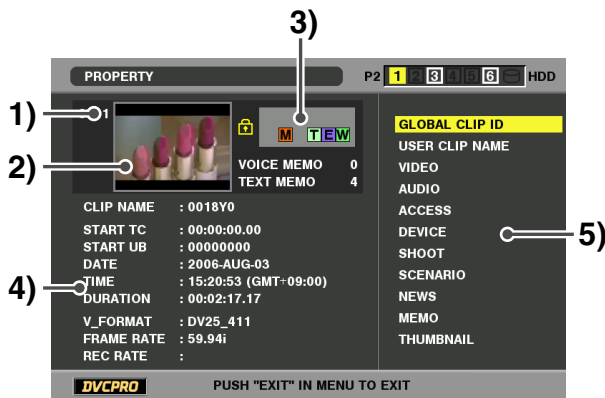
## クリップ情報の表示

クリップの詳細な情報を画面に表示して確認できます。

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 十字カーソルボタンで、対象のクリップにカーソルを合わせる
- 3 MENUボタンを押す  
またはメニューを閉じた状態で、SHIFTボタンを押しながらSPLITボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで[PROPERTY]→[CLIP PROPERTY]にカーソルを合わせてSETボタンを押す



選択したクリップに関する情報が表示されます。



- 1) クリップ番号
- 2) サムネール

### 3) クリップ付加情報

クリップに挿入された各種インジケーター、挿入されているテキストメモやボイスメモの数が表示されます。また、クリップが記録されたP2カードに、ライトプロテクトがかかけられているとき、マークが表示されます。

#### ◆NOTE:

- ボイスメモ／インジケーター  
ボイスメモが付加されたクリップに表示されます。クリッププロパティモードのときのみ表示されます。
- 本機ではボイスメモの記録／再生は行えません。

### 4) クリップ情報

次の情報が表示されます。

CLIP NAME:	クリップ名
START TC:	記録開始時のタイムコード
START UB:	記録開始時のユーザーズビットの値
DATE:	記録した日付
TIME:	記録開始時の時刻
DURATION:	クリップの長さ
V_FORMAT:	クリップの記録フォーマット
FRAME RATE:	再生フレームレート
REC RATE:	記録フレームレート

### 5) クリップメタデータ

クリップの詳細情報(クリップメタデータ)を参照するための項目が表示されます。

### 5 必要に応じてクリップメタデータの内容を参照する



十字カーソルボタンでクリップメタデータの項目にカーソルを合わせ、SETボタンを押すと、次の情報が表示されます。

GLOBAL CLIP ID:	グローバルクリップID (同じ番号が他のクリップに付くことがない、世界で唯一の番号)
USER CLIP NAME:	ユーザーが付けることのできるクリップ名 通常はGLOBAL CLIP IDが入っています。
VIDEO:	ビデオ信号方式など (フレーム、プルダウン、アスペクト比)
AUDIO:	オーディオの各チャンネル方式など (サンプリングレート、ビットレート)
ACCESS:	最終更新日など (作成者、作成日、最終更新日、最終更新者)
DEVICE:	記録した機器のシリアル番号など (機材メーカー名、シリアル番号、モデル名)
SHOOT:	記録開始、終了した日付など (撮影者、撮影開始日、撮影終了日、撮影地情報、高度、経度、緯度、撮影地情報源、撮影地)
SCENARIO:	番組名、シーンNo. など (プログラム名、シーン番号、テイク番号)
NEWS:	レポーター、取材対象など (レポーター、取材目的、取材対象)
MEMO:	TEXT MEMOの番号、位置、名前、テキスト内容 (NO.、記録位置、メモ入力者、テキスト情報)
THUMBNAIL:	サムネイルの元となる画像のフレーム位置やサイズ(フレームオフセット、高さ、幅)

## 6 MENUまたはEXITボタンを押して、処理を終了する

### クリップメタデータの修正

クリップのメタデータを修正することができます。

#### 1 クリップのメタデータを表示する

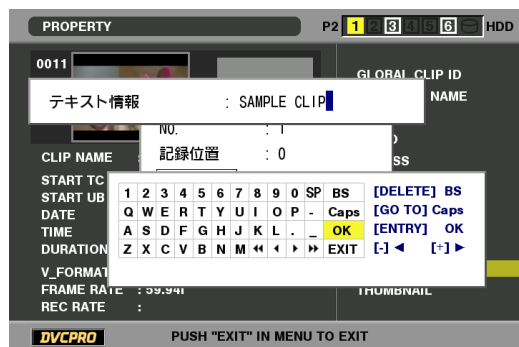
#### 2 十字カーソルボタンで、修正したいメタデータにカーソルを合わせSETボタン押す

変更可能なメタデータは、次の図の「テキスト情報」のように表示されています。



#### 3 十字カーソルボタンで、変更項目へ移動し、SETボタンを押す

- メタデータ修正の画面(ソフトキーボード)が表示されます。
- ソフトキーボードでメタデータを修正します。



#### ◆NOTE:

- 十字カーソルボタンでキーボード位置を動かし、BS位置でSETボタンを押すことで、入力削除などが行えます。
- 入力位置は、左右の◀▶で1文字、◀◀▶▶で先頭と最後に移動できます。

#### 4 修正終了後[OK]を選択する(またはENTRYボタンを押す)

- 修正したメタデータをクリップへ保存し、メタデータの表示へ戻ります。
- EXITを選択すると入力を取り消し、元へ戻ります。

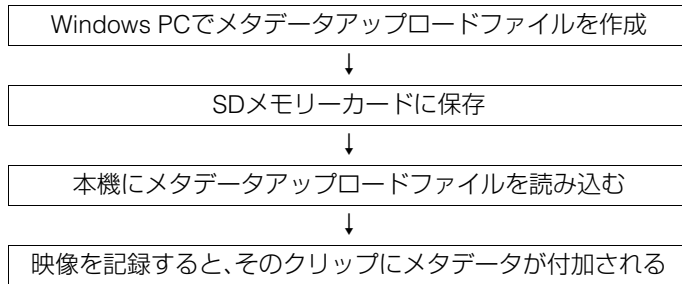
#### ◆NOTE:

- 緯度および経度を削除する場合は、高度に空白を設定してください。単独では削除できません。
- ⚠がついたクリップは、メタデータを修正することができませんので、不足クリップの入ったP2カードを挿入してください。
- MEMO項目は、100文字以上添付されている場合は修正することができません。



# クリップにメタデータを付加する

撮影者名やレポーター名、撮影場所、テキストメモなどの情報を記述したメタデータアップロードファイルを、SDメモリーカードに保存しておく、それを読み込んで、クリップメタデータとして記録することができます。



## メタデータアップロードファイルの準備

メタデータアップロードファイルは、パーソナルコンピューター上でP2ビューアーを使用して作成します。

P2ビューアーはP2カードに記録されたクリップを、Windows PCで操作するためのアプリケーションソフトで、下記のURLで無償配布しています。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

P2ビューアーをパーソナルコンピューターにインストールし、メタデータアップロードファイルを作成してSDメモリーカードに書き込んでください。

### ◆NOTE:

- P2ビューアーは最新アップデート版をご使用ください。
- メタデータアップロードファイルの作成方法については、P2ビューアーのヘルプを参照してください。
- SDメモリーカードについては、147 ページのNOTEを参照してください。

## メタデータを付加するための設定

メタデータアップロードファイルを本機に読み込むための設定を行います。

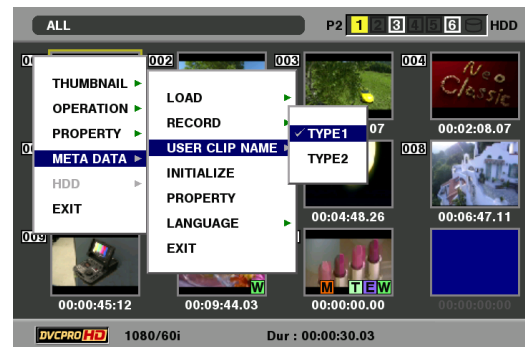
### USER CLIP NAMEの記録方法の選択

USER CLIP NAMEの記録方法を設定します。

#### 1 サムネール画面を表示する

#### 2 MENUボタンを押す

#### 3 十字カーソルボタンで[META DATA]—[USER CLIP NAME]にカーソルを合わせる



#### 4 [TYPE1] または [TYPE2] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

記録方法	記録されるUSER CLIP NAME
クリップメタデータ 利用する	TYPE1 読み込んだメタデータ 設定値
	TYPE2 読み込んだメタデータ 設定値+COUNT値
クリップメタデータ 利用しない ※	TYPE1 GLOBAL CLIP IDと同じ
	TYPE2 CLIP NAMEと同じ

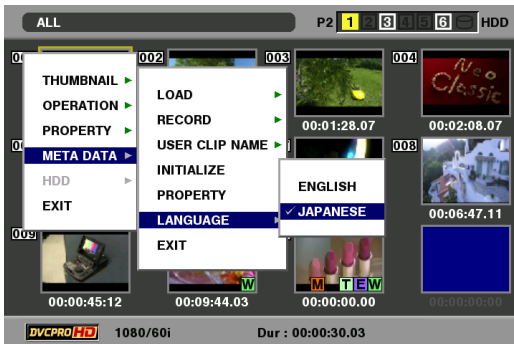
※メタデータアップロードファイルを読み込んでいるが、[META DATA]—[RECORD]が[OFF]の場合

#### 5 MENUボタンを押して、処理を終了する

## メタデータの表示言語を設定する

メタデータを表示するときの表示言語を設定します。

- サムネイル画面を表示する
- MENUボタンを押す
- 十字カーソルボタンで[META DATA]—[LANGUAGE]にカーソルを合わせる



- 表示言語にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

※XXは初期値を表す。

ENGLISH:	英語
JAPANESE:	日本語

### ◆NOTE:

- 日本語のメタデータを英語で表示したときやメタデータに英語の非表示文字などがあるときは、正しく表示されず、「\*」で表示されます。

- MENUボタンを押して、処理を終了する

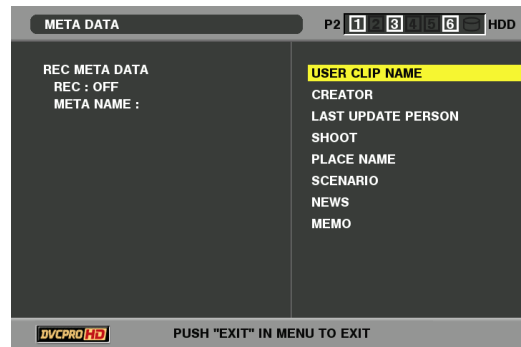
## COUNT値について

COUNT値は、4桁の数字で表示されます。COUNT値は、USER CLIP NAMEの記録方法を[TYPE2]に設定してクリップメタデータファイルを読み込んだとき、記録を行って新しいクリップを生成するたびに1ずつ増加します。

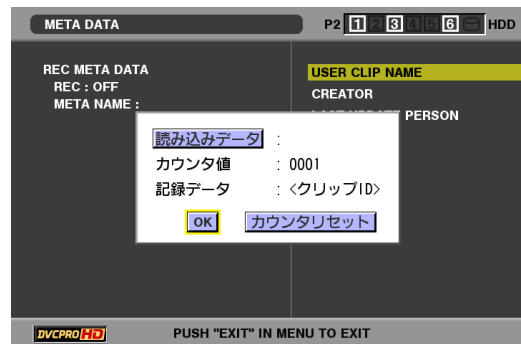
### ■COUNT値をリセットするには

COUNT値は、次の操作でリセットできます。

- サムネイル画面を表示する
- MENUボタンを押す
- 十字カーソルボタンで[META DATA]—[PROPERTY]—[USER CLIP NAME]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



- 十字カーソルボタンで[カウンタリセット]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



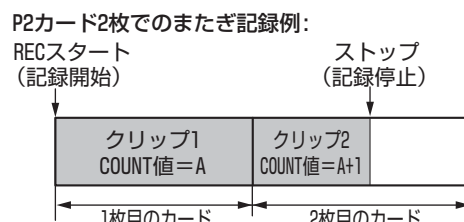
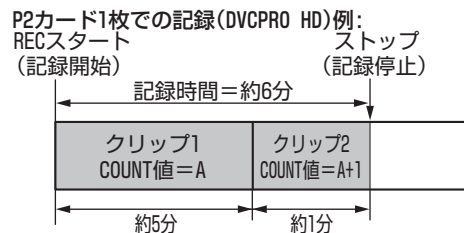
COUNT値が1にリセットされます。

- MENUまたはEXITボタンを押して、処理を終了する

### ■4GB超でのUSER CLIP NAMEのCOUNT値インクリメントについて

次の場合は、1ショットが複数のクリップとして記録され、COUNT値も自動的に1ずつ増加して記録されます。

- 本機で8 GB以上のP2カードを使用して、1回の連続記録時間が一定時間を超えるとき。  
→詳しくは、「4GB超でのクリップ分割について」(29ページ)を参照。
- 1回の記録がカードをまたいで記録されたとき。

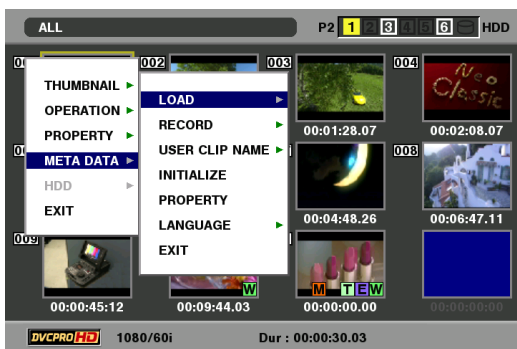


なお、P2機器でクリップのサムネイル表示およびプロパティ表示を行ったときは、クリップ1のサムネイルおよびCOUNT値が表示されます。

## メタデータ設定値の読み込み

次の操作でSDメモリーカードからメタデータ設定値を読み込みます。

- 1 メタデータアップロードファイルを保存しているSDメモリーカードを本機に挿入する
- 2 サムネイル画面を表示する
- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで[META DATA]-[LOAD]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す  
SDメモリーカード内のメタデータアップロードファイルのファイル名が表示されます。



### ◆NOTE:

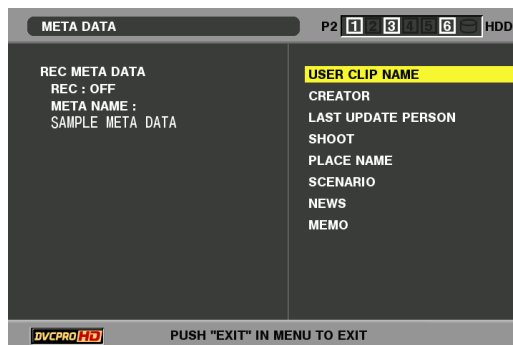
- ファイル名表示中に右カーソルボタンを押すとメタデータ名の表示に切り替えることができます。左カーソルボタンを押すとファイル名の表示へ戻ります。

- 5 十字カーソルボタンで、読み込むファイルにカーソルを合わせて、SETボタンを押す
- 6 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す  
メタデータが読み込まれます。
- 7 MENUボタンを押して、処理を終了する

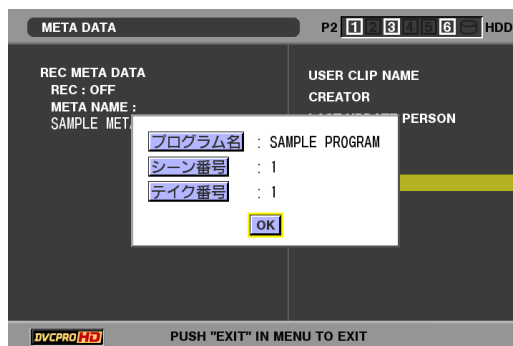
## 読み込んだメタデータの確認および修正

SDメモリーカードから読み込んだメタデータの内容を確認できます。

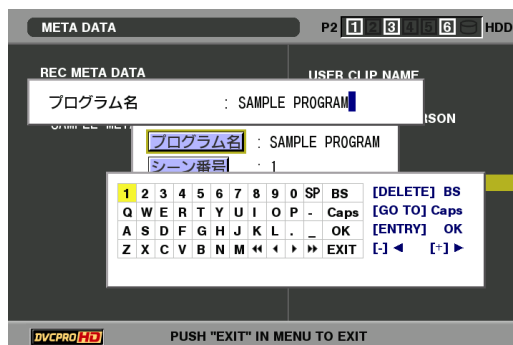
- 1 サムネイルボタンを押す  
液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。
- 2 サムネイルメニューボタンを押し、サムネイルメニューから[META DATA]-[PROPERTY]と選択する  
下記のような画面が表示されます。



- 3 カーソルボタンでカーソルを動かし、SETボタンを押す  
読み込んだメタデータの各設定内容が確認できます。



- 4 メタデータの各設定内容を確認中に、カーソルボタンでカーソルを動かし、設定内容を変更したい項目に合わせてSETボタンを押す  
ソフトキーボード画面が表示され、設定内容を変更することができます。  
→「キーボードを利用する」(27ページ)を参照。



#### ◆NOTE:

〈設定できるメタデータの種類〉

- 十字カーソルボタンで確認したいメタデータの項目にカーソルを合わせ、SET ボタンを押すと、情報が表示されます。

USER CLIP	ユーザークリップネーム
NAME:	
CREATOR:	作成者
LAST UPDATE	最終更新者
PERSON:	
SHOOT:	撮影者
PLACE NAME:	撮影地
SCENARIO:	プログラム名、シーン番号、テイク番号
NEWS:	レポーター、取材目的、取材対象
MEMO:	メモ入力者、テキスト情報

- 内容を確認できたら、EXITまたはSETボタンを押します。情報が表示されていた画面が消えます。
- 設定変更を終了するときは[OK]を選択します。

## 5 EXITを押し、メタデータの確認画面を終了する

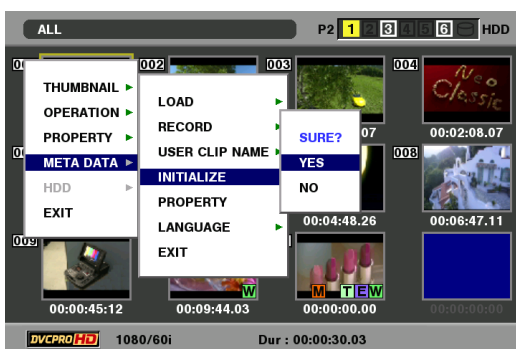
### メタデータを削除する

次の操作で本機内部に保存されているメタデータを削除できます。

#### 1 サムネール画面を表示する

#### 2 MENUボタンを押す

#### 3 十字カーソルボタンで[META DATA]- [INITIALIZE]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



#### 4 確認画面で [YES] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す

メタデータが削除されます。

#### 5 MENUボタンを押して、処理を終了する

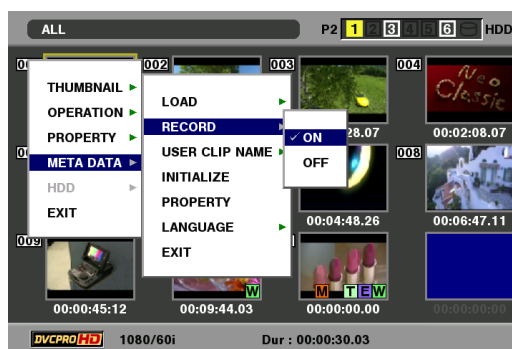
### メタデータを付加したクリップの記録

クリップを記録するときに、読み込んだメタデータをクリップに付加します。

#### 1 サムネール画面を表示する

#### 2 MENUボタンを押す

#### 3 十字カーソルボタンで[META DATA]-[RECORD]にカーソルを合わせる



#### 4 [ON]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

この設定により、読み込んだメタデータを映像記録時に同時に記録します。また、USER CLIP NAMEは設定した記録方法に従ってメタデータとして付加されます。

#### 5 MENUボタンを押して、設定を終了する

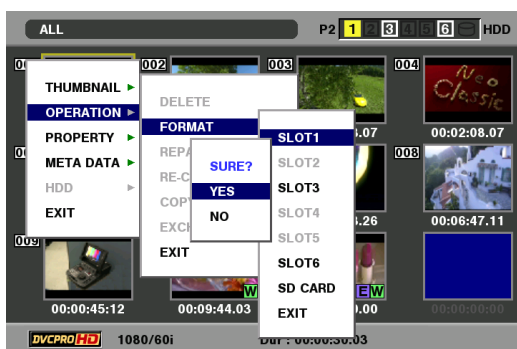
#### 6 本機で映像を記録する

#### ◆NOTE:

- 手順4で[OFF]に設定したときは、クリップにメタデータは付加されません。

# P2カードをフォーマットする

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[OPERATION]→[FORMAT]→[SLOTn](フォーマットしたいP2カードが挿入されたP2カードスロット番号)にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



- 4 [YES]を選択しSETボタンを押す  
フォーマットが開始されます。

◆NOTE:

- フォーマットしないときは [NO] を選択し、SET ボタンを押します。

- 5 完了メッセージが表示されたら確認 (SET ボタン) を押す

◆NOTE:

- 続けて別のP2カードスロットのP2カードやSDメモリーカードをフォーマットするときは、操作手順3～5の操作を繰り返します。

- 6 MENUボタンを押して、処理を終了する

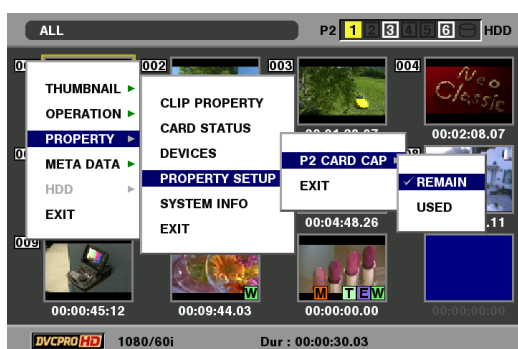
# カードの状態を確認する

P2カードスロットの状態やP2カードの使用状況など、カードの情報を画面に表示して確認できます。

## 表示する情報を指定する

P2カードの情報を表示するときに、残容量と使用済み容量のどちらの表示を行うのかを設定します。

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[PROPERTY]－  
[PROPERTY SETUP]－[P2 CARD CAP]にカーソルを合わせる



- 4 十字カーソルボタンで設定したい項目にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

REMAIN: 残容量表示(初期値)

USED: 使用済み容量表示

※XXは工場出荷時の設定です。

- 5 MENUボタンを押して、処理を終了する

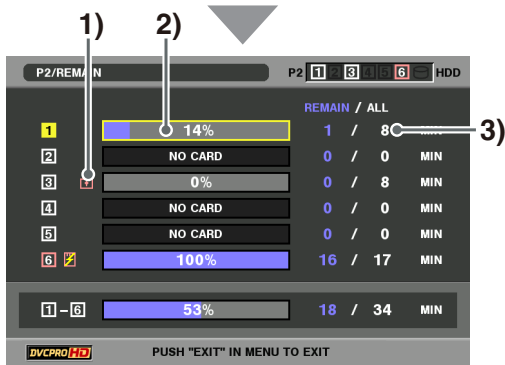
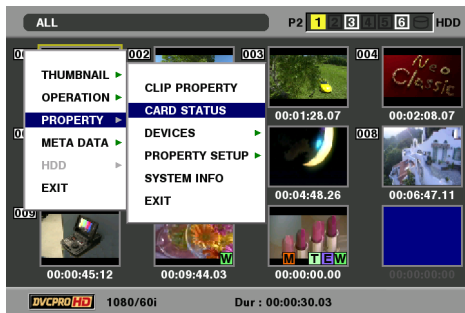
# カードの状態に関する情報を表示する

前ページの操作で表示する情報を設定した後、次の操作で各P2カードスロットのP2カードの状態を確認できます。

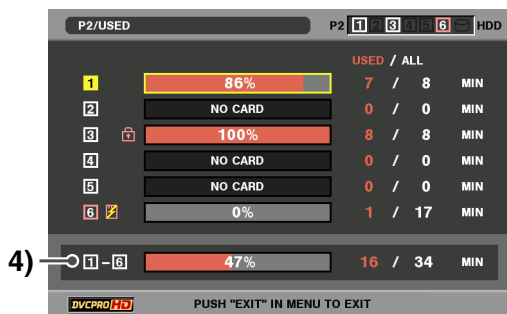
## 1 サムネイル画面を表示する

## 2 MENUボタンを押す

## 3 十字カーソルボタンで [PROPERTY] - [CARD STATUS]にカーソルを合わせて、SETボタンを押す P2カードの状態が表示されます。



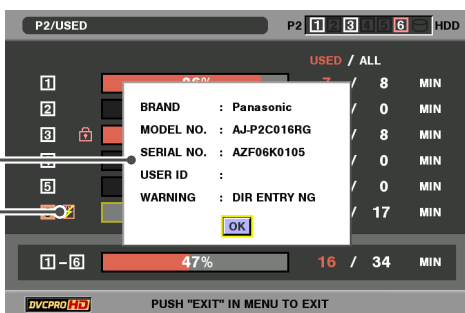
または




4)

5)

6)



## 1)書き込み禁止マーク

P2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークが表示されます。

## 2)P2カード状態

記録残量表示のときは、P2カードの記録残量がメーターとパーセントで表示されます。

使用済み容量表示のときは、P2カードの使用容量がメーターとパーセントで表示されます。

また、カードの状態によって次のように表示されます。

FORMAT ERROR: フォーマットされていないP2カードが挿入されている。

NOT SUPPORTED: 本機に対応していないカードが挿入されている。

NO CARD: P2カードが挿入されていない。

## 3)P2カード残量(または使用容量)／総容量

P2カードの記録残量(または使用容量)／総容量が、分に換算して表示されます。分以下は切り捨て表示のため、P2カード毎の記録残量(または使用容量)の合計と総容量が一致しないことがあります。

## 4)スロット記録残量(または使用容量)合計

6つのP2カードスロットの記録残量(または使用容量)を総合計した数値が表示されます。

### ◆NOTE:

- ライトプロテクトがかかっているP2カードの空き容量は、空き容量の合計に含まれません。

## 5)P2カード詳細表示

P2カード状態表示のスロットにカーソルを合わせてSETボタンを押すと、P2カードのモデル番号などの詳細情報が表示されます。

もう一度SETまたはEXITボタンを押すと、詳細情報が消えます。

## 6)警告カードマーク

P2カードが以下の場合にこのマークが表示されます。「RUN DOWN CARD」

P2カードの規定の書き換え回数を超えた場合「DIR ENTRY NG CARD」

P2カードのディレクトリ配置が不正な場合

警告内容はP2カード詳細表示で確認することができます。

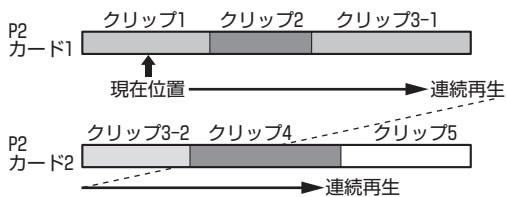
## 4 EXITボタンを押して、処理を終了する

# プレイリストの利用

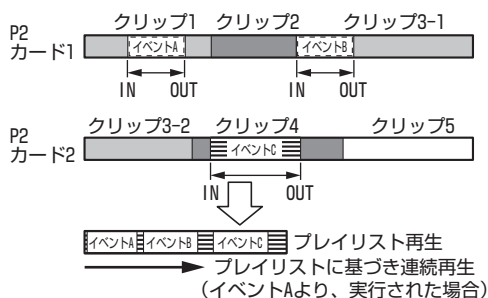
## プレイリスト機能について

プレイリスト機能とは、P2カードに記録されたクリップの再生したい部分を登録したリスト(プレイリスト)を作成し、そのリストの順番に従って連続再生する機能です。実データの操作がないため、編集結果をすぐに確認することができます。

通常の再生では、再生を開始した位置から最後のクリップまでが連続して再生されます。



プレイリスト再生では、あらかじめ再生したい部分のIN点(開始位置)とOUT点(終了位置)を設定し、プレイリストを作成します。その後、プレイリスト再生を行うと、そのプレイリストに基づいて必要な部分だけを連続再生できます。

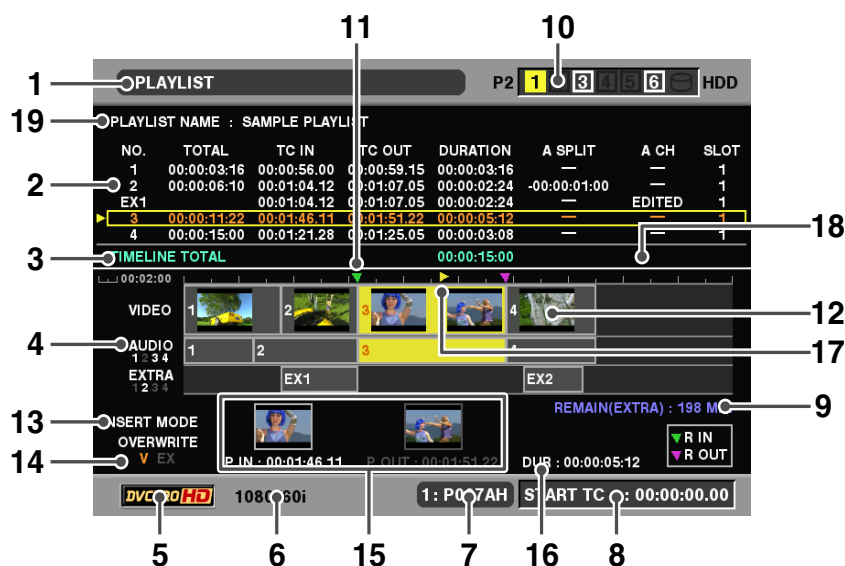


### ◆NOTE:

- プレイリスト機能は、プレイリスト画面(PLAY LISTボタンを押してボタンが点灯した状態)に切り替えて利用します。
- プレイリストは本機メモリーのプレイリスト領域に保存され、プレイリスト画面に切り替えるといつでも利用できます。また、必要に応じてプレイリストをP2カードに保存することができます。ただし、追加記録するオーディオデータはプレイリストと同じP2カードに保存するため、あらかじめプレイリストもP2カードに保存しておく必要があります。
- プレイリスト再生を行うためにプレイリスト画面の各行に設定された処理内容を、イベントと呼びます。
- プレイリスト再生は編集フォーマットとして設定されたフォーマットのみ、再生・登録が行えます。
- ノンリニア編集を行った 24PN のクリップは、プレイリストに使用しないでください。編集点が正しく登録されない場合があります。
- プレイリストでは、オーディオの上書き時に再生ボリューム値を覚えることができ、再生時はその設定にしたがって再生を行います。そのためプレイリスト再生時は、再生ボリュームによる音のレベル調整はできません。
- コピーを行った同一クリップを同時に複数使用し登録を行うと、誤認識することがありますので、同時に使用しないようにしてください。



# プレイリスト画面各部の名称とはたらき



## 1. 表示状態

画面に表示されているイベント画面の種類が次のように表示されます。

PLAY LIST:	イベントのリスト
EVENT PROPERTY:	イベントの詳細情報
P2 / USED:	メディア情報(使用量)
P2 / REMAIN:	メディア情報(残量)

## 2. プレイリスト

イベントが一覧表示されます。イベント数は最大100イベント(追加オーディオイベント数も最大100)です。現在のカーソル位置は、黄色で囲まれて表示されます。選択されたイベントは、青色の文字で表示されます。上書き編集設定のときの上書き未確定状態はオレンジ色で表示されます。

NO:	イベントの通し番号
TOTAL:	01イベントからのトータル時間
TC IN:	IN点のタイムコード
TC OUT:	OUT点のタイムコード
DURATION:	イベントの長さ
A SPLIT:	オーディオIN点のスプリット量
A CH:	EDIT AUDIO CHメニューを使用したチャンネル変更時に、チャンネル状態を表示します。
-	変更なし
EDITED:	チャンネルが変更されている
NONE:	該当するチャンネルがない
SLOT:	イベントのクリップが入っているP2カードスロット番号

再生できないイベント以降はイベント番号が赤色で表示されます。

AJ-SPD850で作成されたプレイリストは読み込むことはできますが、編集はできません。そのときは、7. ファイル名が灰色で表示されます。

## 3. プレイリスト総合計時間

全イベントの合計再生時間が表示されます。

## 4. タイムライン表示

カーソル位置のイベントを中心としたイベントがタイムラインで表示されます。TRIM + / - ボタンで表示の拡大(右) / 縮小(左)ができます。

VIDEO:	ビデオのタイムライン
AUDIO	オーディオのタイムライン
1234:	EXTRA オーディオ以外のチャンネル番号
EXTRA	EXTRAオーディオのタイムライン
1234:	セットアップメニューのNo.792 A DUB CHで設定されたチャンネル番号

## 5. 記録モード表示

## 6. システムフォーマット

→「サムネール画面各部の名称とはたらき」(36ページ)を参照。

## 7. ファイル名

現在のプレイリストが保存されている、P2カードスロット番号およびファイル名が表示されます。

P2カードスロット番号:	ファイル名
P2カードスロット、	正常
ファイル名とも白色:	
ファイル名が灰色:	読み込みはできるが、編集はできないファイル。編集するときは、一度P2カードに保存すると編集可能になります。
P2カードスロット	保存したファイルのカードが
番号が赤:	挿入されていないとき
	P2カード内に保存したファイルが存在しないとき

## 8. スタートTC

再生時にタイムコードを付け替えるときのスタートTC値が表示されます。

## 9. REMAIN(EXTRA)

オーディオを追加記録できる残量が表示されます。プレイリストをP2カードに保存していないときはグレー表示で、時間の表示はされません。

## 10. P2カードスロット状態

P2カードの状態が表示されます。  
→「サムネール画面各部の名称とはたらき」(36ページ)を参照。

## 11. プレイリストIN/OUT点表示

上書き編集設定のときのプレイリスト(レコーダー)側のIN点を▽(緑)、OUT点を▼(ピンク)で表示します。登録されていない場合は表示されません。また、未確定となっている場合などで、プレイリスト側のIN/OUT点が登録されていない場合は▼(灰色)で表示されます。

## 12. イベントIN/OUT点サムネール

イベントのIN/OUT点のサムネールを表示します。タイムライン上に十分なスペースがない場合は表示されません。

## 13. INSERTモード設定表示

現在のINSERTモード設定([SETTING] - [INSERT MODE]メニューで選択された編集方法)の内容を表示します。

INSERT:	追加挿入編集 イベントを追加挿入して編集します。
OVERWRITE:	上書き編集 プレイリストの指定された位置のINPUT TRACKメニューで設定されているトラックに上書き編集します。

## 14. 上書きトラック表示

上書き編集設定のときのINPUTメニューの設定を表示します。

V:	VIDEOとAUDIOを上書き
EX:	EXTRAを上書き
V EX:	VIDEOとAUDIOとEXTRAを上書き

## 15. ソースIN/OUT点

ソース(プレイヤー)側のIN点とOUT点のタイムコードとサムネールを表示します。登録されていない場合は非表示となります。

## 16. デュレーション表示

上書き編集未確定状態のときにそのイベントの長さを表示します。

## 17. 再生位置

現在の再生位置を▷(黄色)で表示します。次に再生するときは、この位置から始まります。

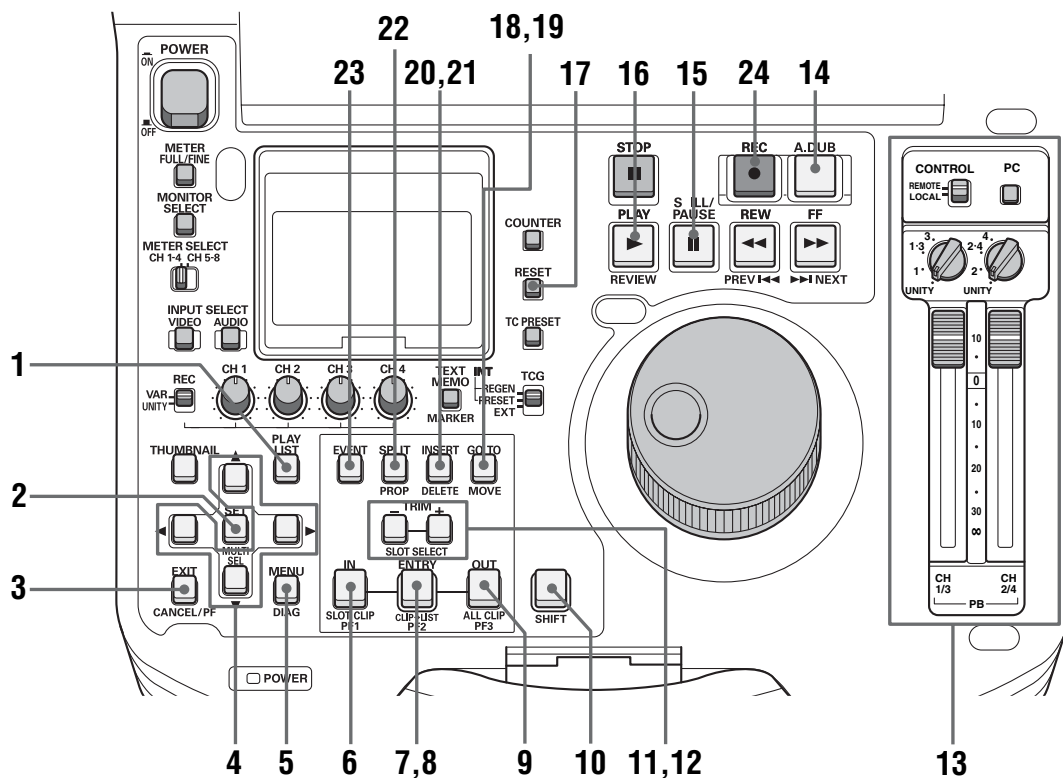
## 18. スケール表示

タイムラインのスケールを表示します。左側に1目盛りの時間を表示します。

## 19. PLAYLIST NAME

プレイリストに名称をつけることができ、それを表示します。

## プレイリストの操作で使用するボタンとその組み合わせ



### 1. PLAY LISTボタン

プレイリストモードに切り替えるボタンです。プレイリストモード中はこのボタンが点灯します。ストップモードやサムネイル表示中にこのボタンを押すと、プレイリスト画面が表示されます。プレイリストモードを終えるときは、点灯中のこのボタンを押すとストップモードに戻り、ボタンは消灯します。USBモード中はPLAYLISTモードには切り替えられません。

### 2. SET / MULTI SELボタン

イベントの選択および複数選択に使用します。最初にSETボタンを押してイベントを選択した後、カーソルを移動してSHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、最初に選択したイベントからカーソル位置までの全イベントを一括して選択できます。選択されたイベントは、文字が水色になります。

### 3. EXIT / CANCELボタン

- EXITボタン  
メニュー表示中のEXIT選択と同等の処理を行います。
- CANCELボタン  
イベントの選択の一括解除や、上書き編集設定の未確定状態の解除を行うときなどに、SHIFTボタンを押しながらEXITボタンを押します。

### 4. ▲▼◀▶カーソルボタン

プレイリスト表示中にこのボタンを押すと、プレイリストおよびタイムラインのカーソル位置が移動します。左右ラインはタイムラインを横に移動します。上下ボタンはイベントリストを上下に移動します。SHIFTボタンを押しながら[▲] / [▼]ボタンを押すとEVENTの先頭/最終にカーソルが移動します。

### 5. MENUボタン

MENUが表示されます。再度押すと元に戻りMENUを終了します。

## 6. INボタン

INボタンを押すとそのとき設定されているIN点のタイムコードを見ることができます。(再生画面中)

### 10[SHIFT]+6[IN]ボタン

上書き編集設定時にSHIFTボタンを押しながらINボタンを押すとP IN(ソース側IN点)とR IN(レコーダー側IN点)点の修正をすることができます。押すたびにP IN→R IN→OFFと表示が変わり、修正したいところで12.TRIM + / - ボタンを使用してタイムコードを修正します。修正後は7.ENTRY (SETも可)ボタンで確定します。(上書き編集設定のプレイリスト表示中)

### 6[IN]+9[OUT]ボタン

INとOUTボタンを同時に押すとIN-OUT間のデュレーションを見ることができます。OUT点が登録されていない場合は現在の位置までのデュレーションとなります。(再生画面中)

### 10[SHIFT]+6[IN]+9[OUT]ボタン

SHIFTボタンを押しながらINとOUTボタンを押すと全イベントの合計(TOTAL DURATION)を見ることができます。(再生画面中)

その他の操作については、7.ENTRYボタン、12.TRIM + / - ボタン、17.RESETボタン、19.GO TO ボタンの説明をご覧ください。

## 7. ENTRYボタン

### 7[ENTRY]+6[IN] / 9[OUT]ボタン

INSERTモードが追加挿入編集設定時には、イベント登録／修正モード(EVENT ボタン点灯・点滅中)で、ENTRYボタンを押しながらIN / OUTボタンを押すと、ボタンを押した時点の位置がそれぞれイベントのIN/OUT点として登録されます。また、イベントの新規登録時にOUT点を登録すると、自動的に次のイベントを登録できる状態になります(イベント自動インクリメント機能)。IN点を登録せずOUT点を先に登録したときは、そのクリップの先頭が自動的にIN点となります。上書き編集設定時には、プレイリスト上でのIN/OUT点、上書きする映像でのIN/OUT点の4点のうち3点が決まった時点でイベントが上書き未確定イベントとして登録されます。

また、プレイリスト表示中でも再生位置をIN/OUT点に登録できます。

### 7[ENTRY]+22[SPLIT]ボタン

オーディオスプリットを行うときに使用します。イベント登録／修正モード(EVENT ボタン点灯中)でSPLITボタンを押しながらENTRYボタンを押すと、ボタンを押した時点の位置をイベントのオーディオスプリットのIN点として登録できます。

## 8. CLIP→LISTボタン

サムネール画面で選択したクリップをプレイリストに取り込むときに使用します。サムネール表示中にクリップを選択(複数選択も可)し、プレイリスト表示に切り替えて、SHIFTボタンを押しながらENTRYボタンを押すと、プレイリストのカーソル位置にクリップの先頭をIN点、最後をOUT点とするイベントが登録されます。

## 9. OUTボタン

OUTボタンを押すとそのとき設定されているOUT点のタイムコードを見ることができます。(再生画面中)

### 10[SHIFT]+9[OUT]ボタン

上書き編集設定時にSHIFTボタンを押しながらOUTボタンを押すとP OUT(ソース側OUT点)とR OUT(レコーダー側OUT点)点を修正をすることができます。押すたびにP OUT→R OUT→OFFと表示が変わり、修正したいところで12. TRIM + / - ボタンを使用してタイムコードを修正します。修正後は7.ENTRY ボタン(または2.SET ボタン)で確定します。(上書き編集設定のプレイリスト表示中)

そのほかの操作は、7.ENTRYボタン、12.TRIM + / - ボタン、17.RESETボタン、19.GO TO ボタンの説明をご覧ください。

## 10.SHIFTボタン

### 11.+ / - ボタン

プレイリスト表示中にこのボタンを押すと、タイムライン表示を拡大(+)/縮小(-)できます。

### 12.TRIM + / - ボタン

プレイリストのイベントを修正するときに使用します。プレイリストの修正したいイベントにカーソルを合わせ、IN / OUT / SPLITボタンを押しながらTRIM + / - ボタンを押すと、IN / OUT / SPLIT点の色が変わり、IN / OUT / SPLIT点を1フレームずつ増加(+)/減少(-)させることができます。その後ENTRYを押すと、元の色に戻り、変更が反映されます。

#### ◆NOTE:

- 24PNのときは4フレーム単位での変更となります。

## 13.UNITY / VAR / チャンネル選択スイッチと

### オーディオ再生レベル調整ボリューム

- オーディオのレベルを調整するときおよび追加記録をするときなどに、再生信号のチャンネルの選択とレベルコントロールを行います。

#### ◆NOTE:

- プレイリストの再生時は、レベルの調整は行えません。

## 14.A.DUBボタン

オーディオの追加記録およびEXTRAへのコピーをするときに使用します。  
→「オーディオを追加記録する(簡易ボイスオーバー)」(83ページ)を参照。

## 15.STILL / PAUSEボタン

## 16.REVIEWボタン

カーソル位置のイベントのレビューを行うときに、SHIFTボタンを押しながらPLAYボタンを押します。IN点前(3秒)からOUT点後(1秒)が再生され、停止します。  
上書き編集設定のときに未確定イベントがある場合は、カーソル位置にかかわらずプレビューを行います。この場合未確定イベントすべての再生を行います。

## 17.RESETボタン

### 17[RESET]+6[IN] / 9[OUT] / 22[SPLIT]ボタン

イベント登録/修正画面、上書き編集プレイヤー/レコーダー画面でIN/OUT/SPLITボタンを押しながらRESETボタンを押すと、それぞれ選択したイベントのIN/OUT/SPLIT点を削除できます。(SPLIT点は、プレイリスト表示中も可能)

R IN/OUT、P IN/OUT点のトリム(SHIFT+IN/OUT)中にRESETボタンを押すと、そのときの登録点を削除できます。

### 10[SHIFT]+17[RESET]ボタン

プレイリスト画面でSHIFTボタンを押しながらRESETボタンを押すと、新規プレイリストファイルを作成([FILE]-[NEW]と同じ操作)できます。

## 18.MOVEボタン

プレイリスト表示中に、イベントを別の行へ移動したいときに使用します。プレイリスト表示中に移動したいイベントをSETボタンにより選択します。その後、移動したい行へカーソルを移動し、このボタンを押すと、選択していたイベントをカーソル位置の1つ前へ移動することができます。

## 19.GO TOボタン

### 19[GO TO]+6[IN] / 9[OUT] / 22[SPLIT]ボタン

イベント登録/修正画面(EVENTボタン点灯中)および上書き編集プレイヤー/レコーダー画面(EVENTボタン点滅中)で、IN/OUT/SPLIT点にシークするときに使用します。再生・静止などの再生動作中に、IN/OUT/SPLITボタンを押しながらGO TOボタンを押すと、IN/OUT/SPLIT点に移動し、動作が継続されます。

また、上書き編集設定時はプレイリスト表示中でもカーソル位置のイベントのIN/OUT点へ再生位置(黄色▼)を移動できます。

## 20.DELETEボタン

プレイリスト表示中に、イベントを削除したいときに使用します。対象のイベントにカーソルを合わせてSETボタンを押して選択し、SHIFTボタンを押しながらINSERTボタンを押すと、選択したイベントを削除できます。

## 21.INSERTボタン

INSERTモード設定が追加挿入編集となっているときには、プレイリストの各イベント間に新たなイベントを追加挿入することができます。追加挿入したい位置のイベントにカーソルを合わせ、このボタンを押すとイベント登録モードとなり、映像を見ながらイベントを追加挿入することができます。また、INSERTモード設定が上書き編集となっているときには、映像を見ながら上書きする側(ソース側)の区間指定を行うことができます。再度このボタン、もしくはEVENTボタンを押して、プレイリスト画面へ戻ります。

## 22.SPLIT/PROPボタン

### 10[SHIFT]+22[SPLIT]ボタン

プレイリスト表示中にSHIFTボタンを押しながらSPLITボタンを押すと、カーソル位置のイベントの詳細情報を表示します。

7.ENTRYボタン、12.TRIM+ / -ボタン、17.RESETボタンの説明をご覧ください。


## 23.EVENTボタン

プレイリスト表示中に、このボタンを押すとイベント登録/修正モードとなります。このとき画面は映像出力となります。

## 24.RECボタン

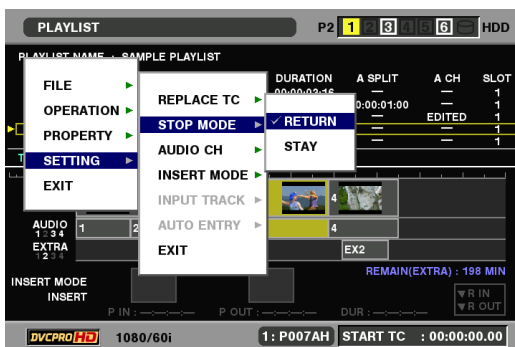
上書き編集設定のときに上書き未確定イベントがある状態でRECボタンを押すと、上書き未確定イベントを確定(ファイナライズ)します。また、上書き未確定イベントがない状態では、カーソル位置のイベントを上書き未確定イベントにする(リコール)ことができます。


## ストップモードの設定


プレイリストの再生などの操作でSTOP  ボタンを押したときに、再生モードからプレイリストに戻るか戻らないかを設定できます。

操作の状況に合わせて、設定を変更してください。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[SETTING] – [STOP MODE]にカーソルを合わせる
- 4 [RETURN]または[STAY]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



**RETURN:** STOP  ボタンを押したとき(または全イベントの先頭、最後で自動停止したときなど)にプレイリスト画面に戻る。このときカーソル位置は停止操作を行ったときのイベントに移動する。

**STAY:** STOP  ボタンを押したとき(または全イベントの先頭、最後で自動停止したときなど)にもプレイリスト画面には戻らず、静止画出力が継続する。  
この設定時にイベントリストへ戻るには、PLAY LISTボタンまたはEXITボタンを押す。

- 5 MENUボタンを押して、設定を終了する

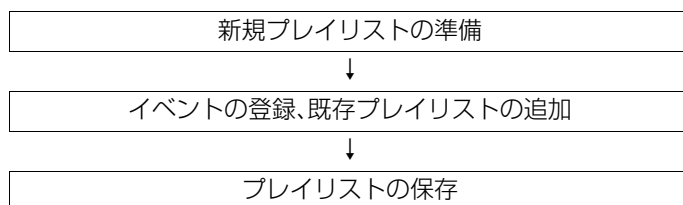
### ◆NOTE:

- 9Pからリモートでプレイリスト再生などを行うときは、STAYに設定して使用すると便利です。

# プレイリストを作成する

次の流れでプレイリストを作成します。

プレイリストのトータル時間が、24時間以上のリストは作成できません。



## 新規プレイリストの準備

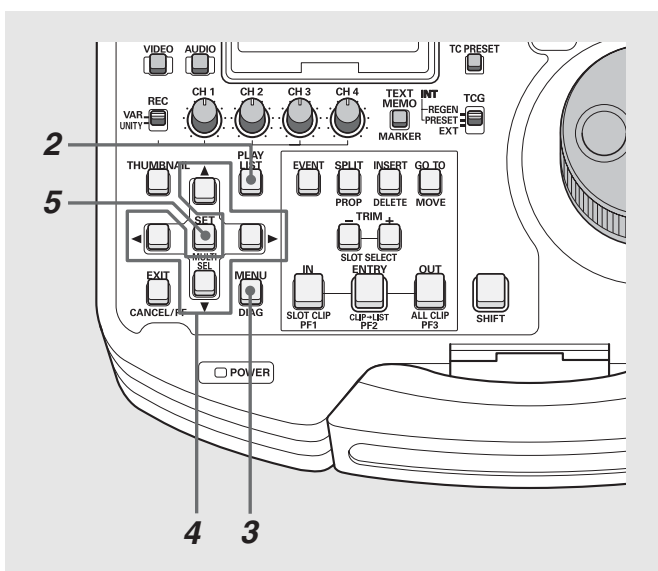
本機メモリのプレイリスト領域に保存されているプレイリストを削除し、新しいプレイリストを準備します。

## 2 プレイリスト画面を表示する

## 3 MENUボタンを押す

## 4 十字カーソルボタンで[SETTING] - [INSERT MODE]にカーソルを合わせSETを押す INSERTを選択し、追加挿入編集に設定します。

## 5 十字カーソルボタンで[FILE] - [NEW]にカーソルを合わせる



## 1 セットアップメニューで編集フォーマットを設定する

- 編集フォーマットを設定します。設定したフォーマットのみ再生できます。
- 追加オーディオの再生チャンネルも設定します。

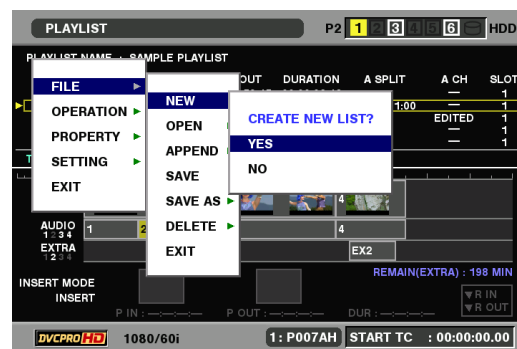
### ◆NOTE:

編集フォーマットは以下のセットアップメニューおよびプレイリストメニューの設定内容により決まります。

- 25 SYSTEM FREQ (→「106 ページ」参照)
- 020 SYS FORMAT (→「108 ページ」参照)
- 024 REC FMT (SD) (→「108 ページ」参照)
- 025 REC FMT (HD) (→「108 ページ」参照)\*1
- 026 PLY LST FMT (→「109 ページ」参照)

\*1 AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)装着時のみ追加オーディオの設定は以下のセットアップメニューにより決まります。

- 792 A DUB CH (→「124 ページ」参照)
- 793 A DUB PB MIX (→「124 ページ」参照)



### ◆NOTE:

SHIFT ボタンを押しながら RESET ボタンを押しても [FILE] - [NEW] と同等の操作ができます。

## 6 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

表示中のプレイリストが削除され、何もイベントの設定されていない新しいプレイリストが表示されます。

### ◆NOTE:

• セットアップメニューにて編集フォーマットを変更した後は、必ず [FILE] - [NEW] を行ってください。行わないと編集フォーマットが変更されません。

## 編集時のオーディオチャンネル入れ替え設定

イベントの登録後に音声のチャンネルを入れ替えることができます。

### 1 プレイリスト画面でチャンネルを変更したいイベントを選択する

複数選択も可能です。

### 2 メニューボタンを押し、十字カーソルボタンで [SETTING]-[AUDIO CH] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す

### 3 各チャンネルに入れるチャンネルを設定する

例: CH1とCH2の音声を入れ替えて登録する場合

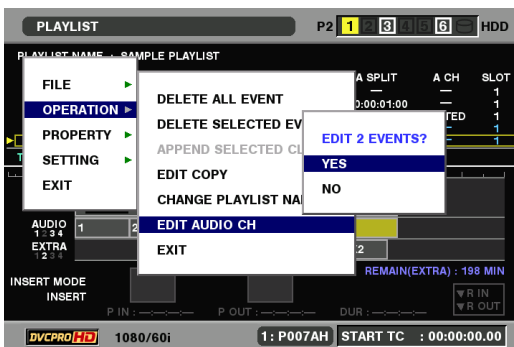
[AUDIO CH]-[CH1]=CH2  
 [CH2]=CH1  
 [CH3]=CH3  
 [CH4]=CH4

#### ◆NOTE:

- [SETTING]-[AUDIO CH]-[RESET]を選択すると、チャンネル設定を一括して初期値に戻します。

### 4 メニューボタンを押し、十字カーソルボタンで [OPERATION]-[EDIT AUDIO CH] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

YESを選択するとチャンネルが変更されます。



#### ◆NOTE:

- チャンネルを入れ替えたイベントは、A CH欄にEDITEDと表示されます。入れ替えた状態はイベントプロパティで見ることができます。

→「イベントの情報を表示する」(86ページ)を参照。

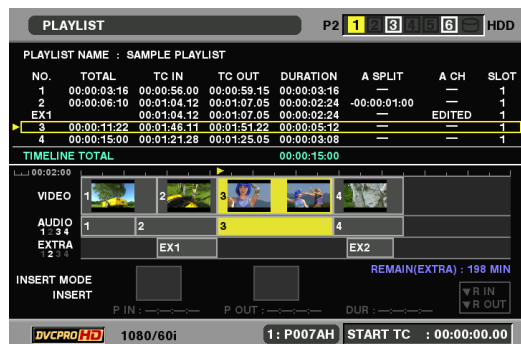
## 選択クリップのイベント登録

選択したクリップをプレイリストに追加します。この操作では、クリップの先頭をIN点、最後をOUT点とするイベントとして登録されます。

### 1 サムネイル画面でプレイリストに登録したいクリップを選択する



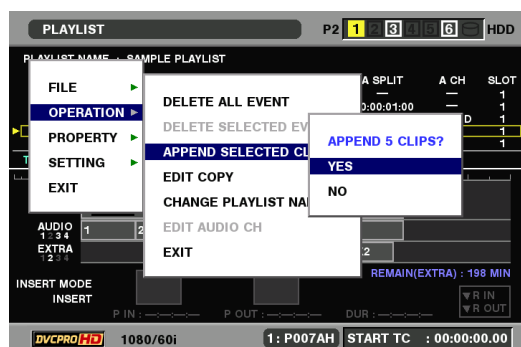
### 2 プレイリスト画面を表示する



### 3 十字カーソルボタンで、イベントを追加したい位置にカーソルを合わせる

### 4 MENUボタンを押す

### 5 十字カーソルボタンで [OPERATION]-[APPEND SELECTED CLIP]にカーソルを合わせる





## 6 SETボタンを押す

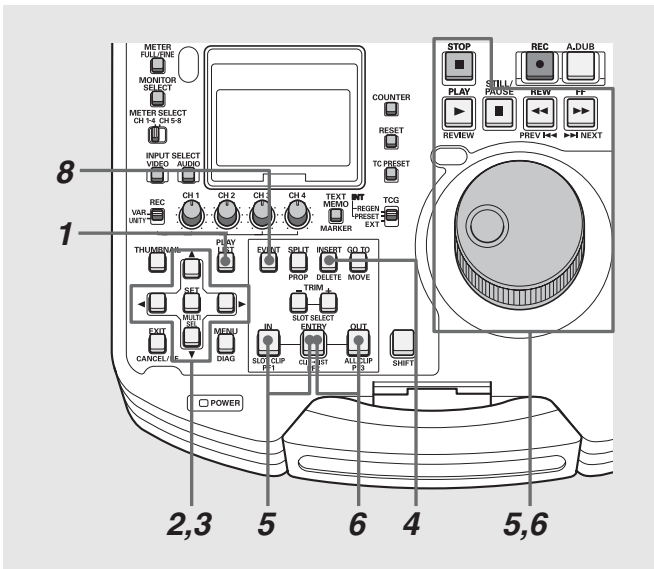
選択したクリップの先頭をIN点、最後をOUT点とするイベントが登録されます。

### ◆NOTE:

- 選択したクリップが現在のプレイリストのフォーマットと異なるときはエラーが表示され登録できません。
- プレイリスト画面でSHIFTボタンを押しながらENTRYボタンを押しても、クリップをイベントとして追加できません。
- 追加した結果、イベント数が100を超えるときは、追加できません。

## 映像からのイベント登録

映像を再生しながらIN点とOUT点を指定して、イベントを登録できます。



### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 追加挿入編集にする

メニューボタンを押し、十字カーソルボタンで[SETTING]→[INSERT MODE]にカーソルを合わせてSETボタンを押し、[INSERT]にカーソルを合わせて[SET]ボタンを押します。

### 3 十字カーソルボタンで、イベントを挿入したい位置もしくはイベントの登録されていない行にカーソルを合わせる

### 4 INSERTボタンを押す

イベント登録モードに切り替わります。イベントの登録されていない行では、INSERTモードの設定に関わらず、EVENTボタンでイベント登録モードへ切り替えることができます。イベントの登録されている行でEVENTボタンを押すと、INSERTモードの設定に関わらず、イベント修正モードとなります。詳しくは、「イベントのIN点、OUT点の修正」(69ページ)を参照。

## 5 IN点を登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してイベントを開始したい位置を探し、INボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

## 6 OUT点を登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してイベントを終了したい位置を探し、OUTボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

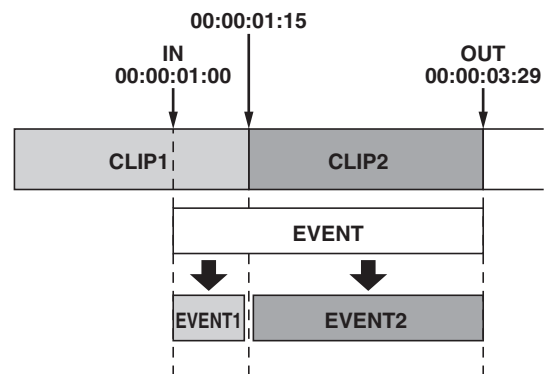
## 7 必要に応じて手順5～6を繰り返し、別のイベントを登録する

## 8 EVENTボタンを押し、登録を終了する

INSERTボタンを押しても登録を終了できます。

### ◆NOTE:

- 各イベントのデュレーションが10フレーム以上になるように、IN点、OUT点を設定してください。短いイベントが続くと正しく再生できないことがあります。
- カーソル位置の次のイベントが未登録のときは、自動インクリメント機能でイベント番号が1ずつ増加します。
- 登録イベントが複数クリップにまたがっているときは、複数のイベントとして登録されます。

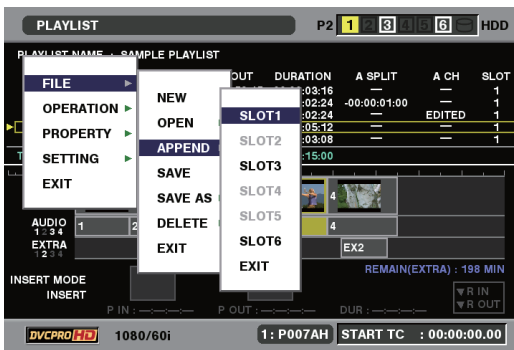


- 映像からのイベント登録中に本機の電源を切ると、登録した内容は反映されません。
- IN点とOUT点の位置が逆になったときは、クリップの先頭がIN点として登録されます。

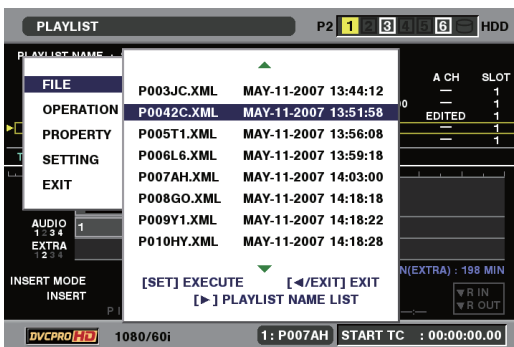
## 既存のプレイリストファイルの追加 取り込み

P2カードに保存しているプレイリストを取り込んで、カーソル位置にイベントを追加します。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 十字カーソルボタンで、イベントを挿入したい位置にカーソルを合わせる
- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで[FILE] – [APPEND]にカーソルを合わせる



- 5 十字カーソルボタンで取り込み元のP2カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 6 ファイル取り込み画面でファイルを指定し、SET ボタンを押す



指定したプレイリストのイベントがカーソル位置に追加されます。

### ◆NOTE:

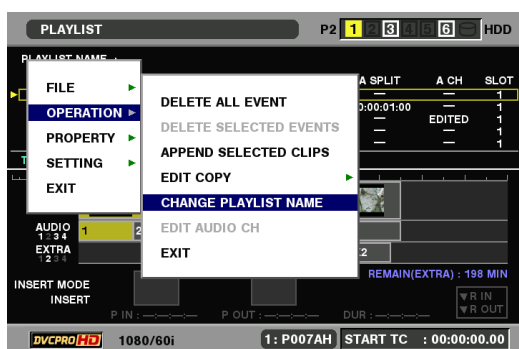
- 取り込むプレイリストファイルのフォーマットが現在のプレイリストのフォーマットと異なるときは、取り込めません。
- イベント数が100を超えると、100を超えた分のイベントは取り込めません。
- ファイル取り込み画面で右(▶)ボタンを押すとプレイリスト名を表示します。その後左(◀)ボタンを押すとファイル名表示に戻ります。

# プレイリストを保存する

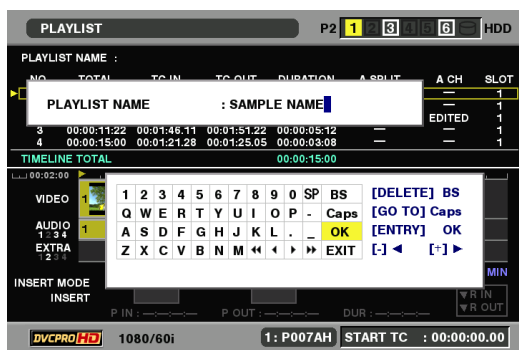
## プレイリストに名称をつける

プレイリストに名称を付けることができます。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[OPERATION]→[CHANGE PLAYLIST NAME]にカーソルを合わせSETボタンを押す



- 4 ソフトキーボードから名前を入力しOKを押す



- 5 メニューを閉じPLAYLIST NAMEに入力した文字が登録される。

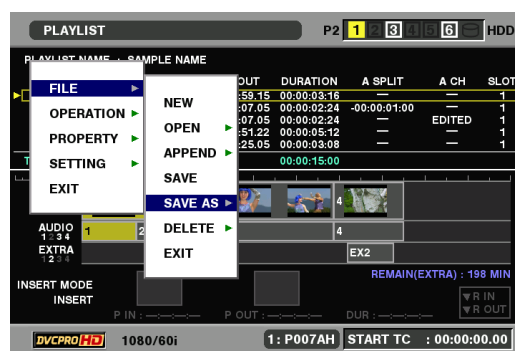
### ◆NOTE:

- [FILE]→[SAVE]あるいは[FILE]→[SAVE AS]メニューで保存しないと、名称はファイルには反映されません。

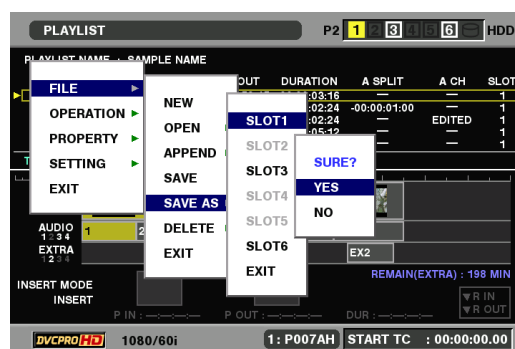
## プレイリストをP2カードに保存する

本機メモリーのプレイリスト領域に保存されているプレイリストを、次の操作でP2カードに保存できます。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[FILE]→[SAVE AS]にカーソルを合わせる



- 4 十字カーソルボタンで保存先のP2カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 5 ファイル保存画面でファイル名を確認し、[YES]にカーソルを合わせてSETボタンを押す



プレイリストが保存されます。

### ◆NOTE:

- ファイル名は自動で生成され、変更することはできません。パーソナルコンピュータなどで変更すると、読み込むことができません。
- ファームウェアアップデート後のプレイリストファイルは古いバージョンや機器では読み込めません。また古いバージョンのプレイリストは本機器で読み取り後一度保存してから使用してください。読み込んだ状態では編集は行えません。

# プレイリストを編集する

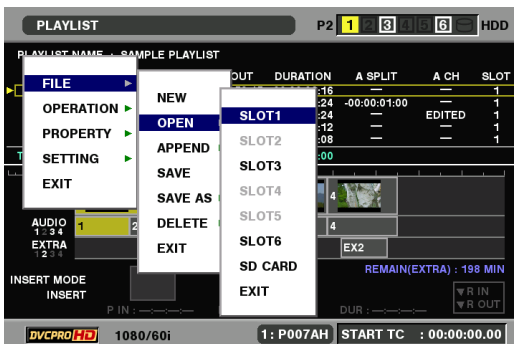
プレイリストにさまざまな編集を行うことができます。

## 既存のプレイリストファイルを開く

プレイリスト画面を表示すると、本機内部メモリーに登録されているプレイリストが表示されます。

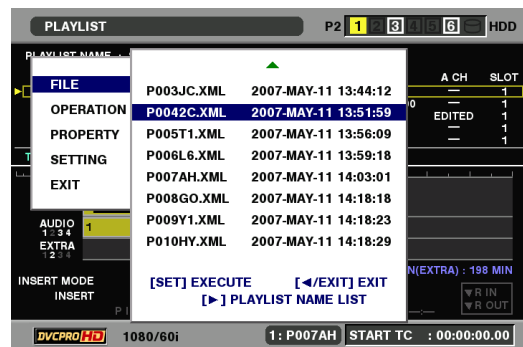
次の操作で、P2カードやSDメモリーカードに保存している既存のプレイリストを読み込んで、置き換えることができます。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで [FILE] - [OPEN] にカーソルを合わせる

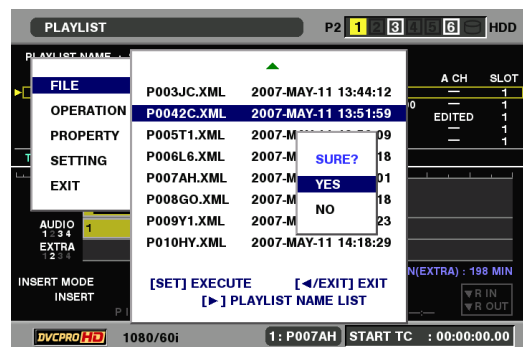


- 4 十字カーソルボタンで取り込み元のP2カードスロット番号または[SD CARD]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

- 5 ファイル取り込み画面で取り込むファイルにカーソルを合わせ、SETボタンを押す



- 6 確認画面で [YES] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す



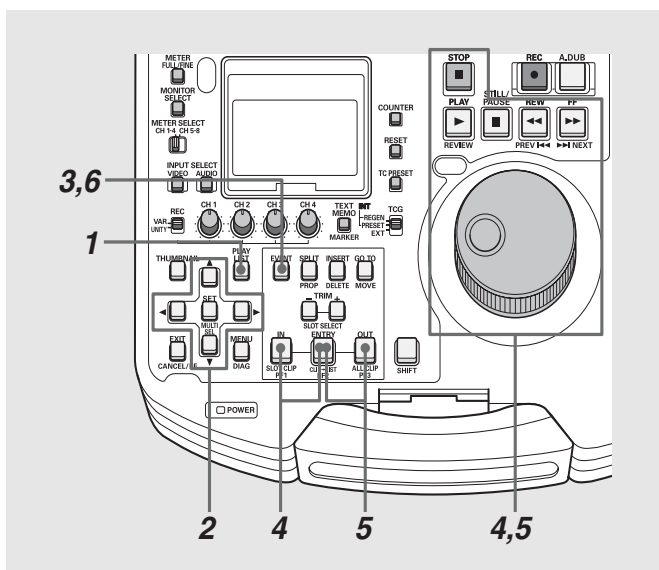
プレイリストが読み込まれます。

### ◆NOTE:

- イベント数が 100 を超えるプレイリストファイルを開いたときは、100 を超えた分のイベントは取り込まず、プレイリストも読み取り専用となります。
- AJ-SPD850 で作成されたプレイリストファイルは本機では直接編集できないため、読み取り専用で開きます。編集するときには、一度保存をした後で行ってください。
- ファイル取り込み画面で右(▶)ボタンを押すとプレイリスト名を表示します。その後左(◀)ボタンを押すとファイル名表示に戻ります。

## イベントのIN点、OUT点の修正

映像を再生しながら、プレイリストのイベントのIN点、OUT点を修正できます。



### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 修正対象のイベントにカーソルを合わせる

### 3 EVENTボタンを押す

イベント修正モードに切り替わります。

### 4 IN点を再登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してイベントを開始したい位置を探し、INボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

### 5 OUT点を再登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作してイベントを終了したい位置を探し、OUTボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

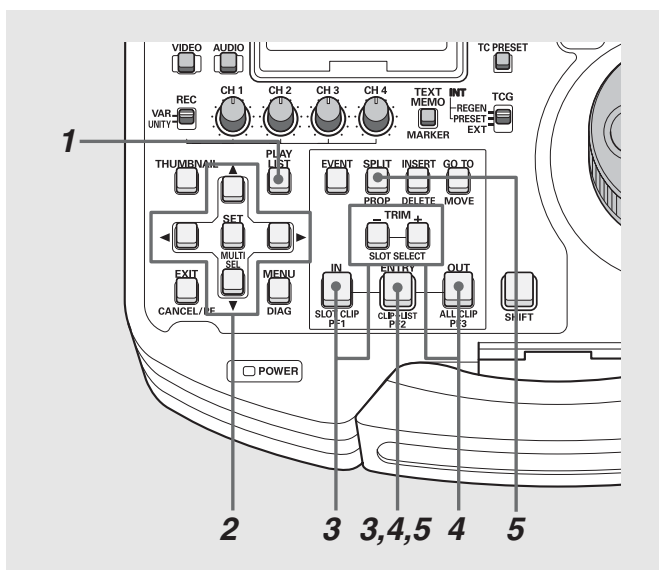
### 6 EVENTボタンを押し、修正を終了する

#### ◆NOTE:

- 操作手順4と5は、必要に応じて一方だけを行ってもかまいません。
- 修正したIN点が、登録済みのOUT点よりも後になるときは、既存のOUT点はリセットされます。そのままプレイリスト画面に戻ると、OUT点はそのクリップの最後に自動登録されます。
- 修正したOUT点が、登録済みのIN点よりも前になるときは、プレイリスト画面へ戻ると、IN点はそのクリップの先頭に自動修正されて登録されます。
- オーディオが追加記録(ボイスオーバー)されたイベントは修正できません。ボイスオーバーを削除してからイベントを修正してください。
- 映像からのイベント修正中に本機の電源を切ると、修正した内容は反映されません。

## イベントのトリミング修正

イベントのIN点、OUT点をフレーム単位(24PNのときは4フレーム単位)で修正できます。



### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 修正対象のイベントにカーソルを合わせる

### 3 IN点を修正する

INボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。IN点が1フレーム単位(24PNのときは4フレーム単位)で増減します。修正後、ENTRYボタンを押すと確定します。

### 4 OUT点を修正する

OUTボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。OUT点が1フレーム(24PNのときは4フレーム)単位で増減します。修正後、ENTRYボタンを押すと確定します。

### 5 SPLIT点を修正する

SPLITボタンを押しながらTRIM+またはTRIM-ボタンを押します。SPLIT点が1フレーム(24PNのときは4フレーム)単位で増減します。修正後、ENTRYボタンを押すと確定します。

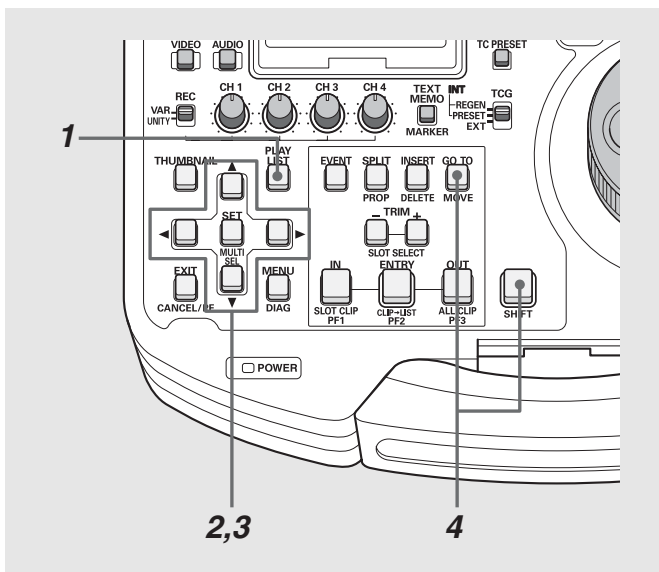
## ◆NOTE:

- 次のボタンを押しても変更を確定できません。
  - カーソルボタンを押す
  - SETボタンを押す
- 次のいずれかの操作を行うと、変更内容を破棄してプレイリスト画面に戻ります。
  - EXITボタンを押す
  - SHIFTボタンを押しながらEXITボタンを押す
  - PLAY LISTボタンを押す

- クリップの先頭と最後を越えて修正することはできません。
- IN点、OUT点が逆転するような修正はできません。
- EXTRAトラックがあるイベントは修正できません。EXTRAトラックを削除してからイベントを修正してください。
- イベント登録画面でも IN/OUT/SPLIT ボタンを押してタイムコードを表示中にTRIM +/- ボタンを押すことでトリミングが行えます。

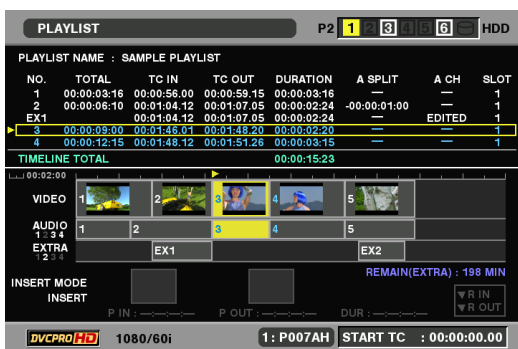
## イベントの順序の変更

プレイリストのイベントを移動して、順序を変更できます。



### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 移動対象のイベントにカーソルを合わせ、SET ボタンを押す



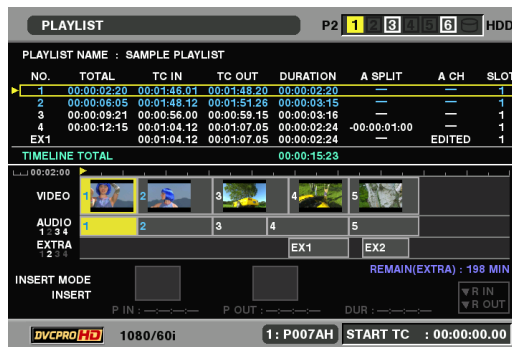
イベントが選択され、水色で表示されます。  
必要に応じてこの操作を繰り返し、複数のイベントを選択します。

## ◆NOTE:

- 連続した行をすばやく選択するにはSHIFTボタンを押しながらSETボタンを押す(MULTI SEL)と、前回SETボタンを押して選択したイベントからMULTI SELボタンを押したカーソル位置までの全イベントを選択することができます。
- 選択を解除するには選択状態のイベントにカーソルを合わせて、SETボタンを押すとその行の選択が解除されます。
- 選択を全解除するにはSHIFTボタンを押しながらEXITボタンを押す(CANCEL)と、すべての行の選択状態が解除されます。

### 3 十字カーソルボタンで、移動先の位置にカーソルを合わせる

### 4 SHIFTボタンを押しながらGO TOボタンを押す



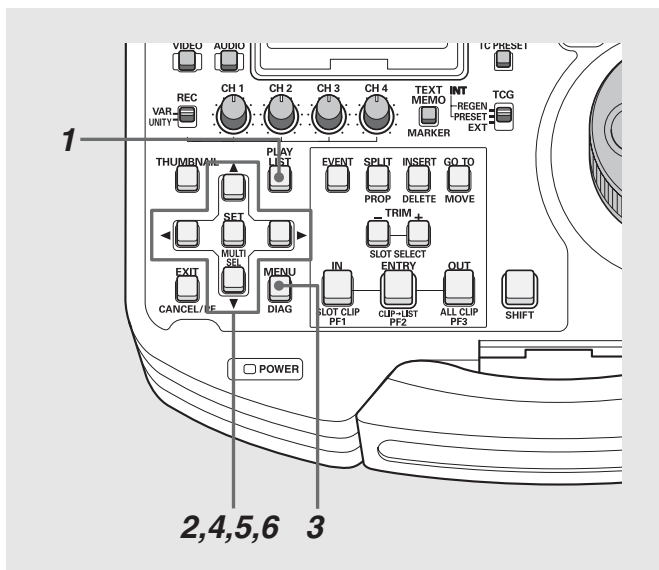
選択したイベントがカーソル位置の1つ前へ移動し、カーソル位置以下のイベントは下に移動します。

## ◆NOTE:

- EXTRAトラックのあるイベントのみを移動することはできません。EXTRAトラックとまとめて移動してください。

## イベントの削除

プレイリストから次の操作でイベントを削除できます。



### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 削除対象のイベントにカーソルを合わせ、SET ボタンを押す

イベントが選択され、水色で表示されます。  
必要に応じてこの操作を繰り返し、複数のイベントを選択します。

#### ◆NOTE:

- 連続した行をすばやく選択するには  
SHIFTボタンを押しながらSETボタンを押す(MULTI SEL)と、前回SETボタンを押して選択したイベントから、MULTI SELボタンを押したカーソル位置までの全イベントを選択することができます。
- 選択を解除するには  
選択状態のイベントにカーソルを合わせて、SETボタンを押すとその行の選択が解除されます。
- 選択を全解除するには  
SHIFTボタンを押しながらEXITボタンを押す(CANCEL)と、すべての行の選択状態が解除されます。

### 3 MENUボタンを押す

### 4 十字カーソルボタンで、[OPERATION] – [DELETE SELECTED EVENT]にカーソルを合わせる

### 5 SETボタンを押す

### 6 削除の確認画面で [YES] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す

選択したイベントが削除されます。

#### ◆NOTE:

- 手順3でSHIFTボタンを押しながらINSERTボタンを押しても(DELETE)、選択イベントの削除ができません。
- EXTRAトラックのあるイベントのみを削除することはできません。EXTRAトラックを削除してから削除、もしくはまとめて削除してください。
- 複数のイベントにまたがったEXTRAイベントがあり、あるイベント以降のプレイリストが不要な場合、以下の方法で削除できます。
  1. 削除したい部分のイベントへ移動する
  2. A.DUBボタンを押し、オーディオをEXTRAトラックへコピーする
  3. コピーした部分からイベントが分割されるため、後ろのEXTRAイベントを選択し削除する。
  4. イベントを選択し削除する

## 全イベントをまとめて削除するには

オペレーションメニューからイベントを一括削除できます。

### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 MENUボタンを押す

### 3 十字カーソルボタンで [OPERATION] – [DELETE ALL EVENT]にカーソルを合わせる

### 4 SETボタンを押す

### 5 削除の確認画面で [YES] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す

プレイリストのイベントがすべて削除されます。

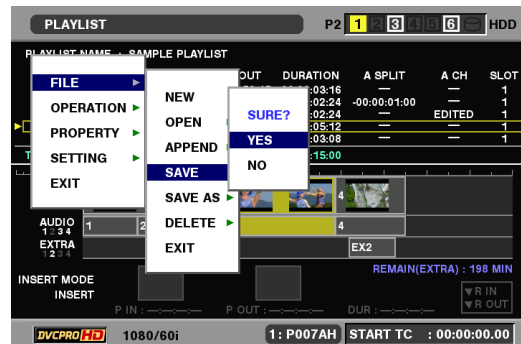
## イベントの上書き保存

プレイリストファイルを読み込んで編集しているときや、編集集中にすでに[FILE]－[SAVE AS]で保存を行っているときは、次の操作で上書き保存できます。

一度も保存していないときは、SAVE ASで保存を行ってください。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[FILE]－[SAVE]にカーソルを合わせる
- 4 SETボタンを押す

- 5 確認画面で [YES] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す



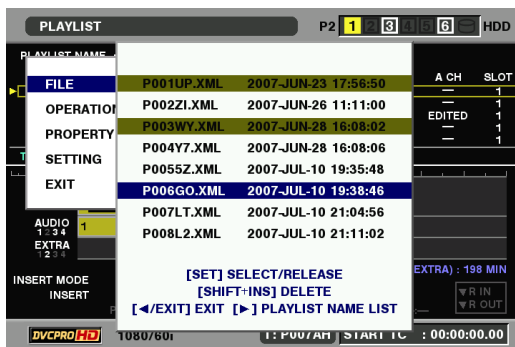
プレイリストが上書き保存されます。



# プレイリストを削除する

P2カード内に保存されているプレイリストを、次の操作で削除できます。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで [FILE] – [DELETE] にカーソルを合わせる
- 4 十字カーソルボタンで削除するプレイリストが格納されているP2カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 5 削除対象のプレイリストにカーソルを合わせ、SETボタンを押す  
プレイリストが選択され、黄色で表示されます。  
必要に応じてこの操作を繰り返し、複数のプレイリストを選択します。
- 6 [SHIFT]+[INSERT]ボタンを同時に押し、[YES] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



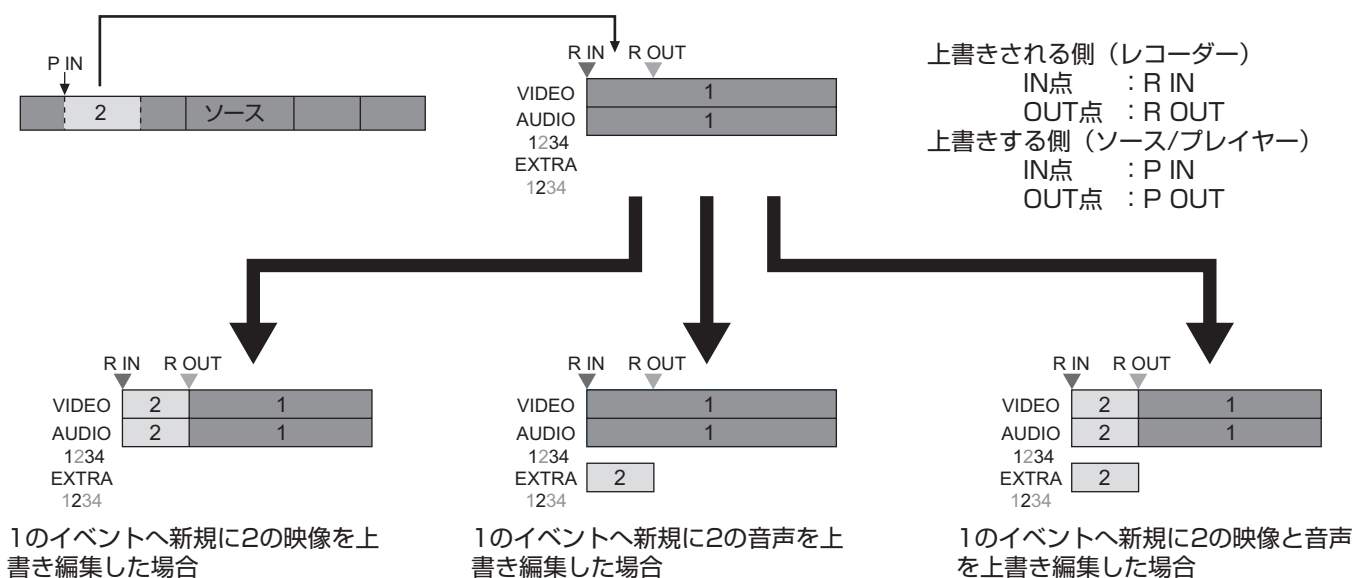
プレイリストが削除されます。

## ◆NOTE:

- 連続したファイルをすばやく選択するには  
SHIFTボタンを押しながらSETボタンを押す(MULTI SEL)と、  
前回SETボタンを押して選択したファイルからMULTI SELボタンを押したカーソル位置までの全ファイルを選択することができます。
- 選択を解除するには  
選択状態のファイルにカーソルを合わせて、SETボタンを押すとそのファイルの選択が解除されます。
- 選択を全解除するには  
SHIFTボタンを押しながらEXITボタンを押す(CANCEL)と、すべてのファイルの選択状態が解除されます。

# プレイリストを上書き編集する

すでにイベントが登録されているときに、ビデオとオーディオまたはEXTRAトラックへイベントを上書きすることができます。上書き編集は、すでにあるイベントの上書きされる(レコーダー側)位置と上書きする(ソース側)コンテンツの位置を、それぞれのIN/OUT点で指定して行います。上書きの時にチャンネルの入れ替えやオーディオレベルの調整なども行うことができます。



## ◆NOTE:

プレイリストをレコーダーと想定して編集します。上書きモードでINSERTボタンを押し、プレイリストとフォーマットの一一致するクリップの中から上書きしたい映像・音声を探して選択します。選択した映像・音声をソース/プレーヤーと想定して、レコーダーとソース/プレーヤーの双方にIN/OUT点を登録します。

## イベントの上書きの準備

### 上書き編集を設定する

メニューより上書き編集の設定を行います。

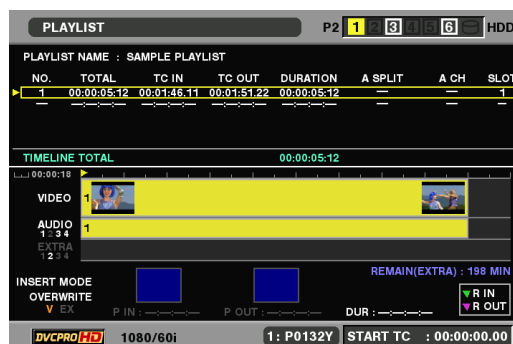
**1** メニューボタンを押し十字カーソルボタンで [SETTING] - [INSERT MODE] にカーソルを合わせる

**2** SET ボタンを押し、[OVERWRITE] にカーソルを合わせてSETボタンを押し

## ◆NOTE:

- 初期設定はINSERT(追加挿入編集)となっています。
  - オートエントリをONに設定すると、登録されたプレイリスト上のOUT点(R OUT)の次のフレームが次のイベントのプレイリスト上のIN点(R IN)として自動的に登録されます。
1. メニューボタンを押し十字カーソルボタンで [SETTING] - [AUTO ENTRY] にカーソルを合わせる

2. SETボタンを押しした後、[ON]にカーソルを合わせてSETボタンを押し
- 上書き編集設定の場合はREPLACE TCを有効にして使用するようになっています。
- REPLACE TCを無効にしている場合、プレイリスト側のタイムコードと上書き挿入するタイムコードが同じとなり、登録したタイムコードと登録後のタイムコードが異なる場合があります。



## 上書きするトラックを設定する

上書きするトラックを設定します。Vを選択した場合はビデオとEXTRAで選択している以外のチャンネルの音声を上書きします。VIDEOとEXTRA TRACKを選択すると映像と全音声を上書きします。

- 1 メニューボタンを押し十字カーソルボタンで [SETTING]→[INPUT TRACK]にカーソルを合わせる
- 2 SETボタンを押し、[VIDEO]、[EXTRA AUDIO]から必要な項目にカーソルを合わせてSETボタンを押す

## イベントのオーディオをEXTRAトラックへ登録する

イベントへ登録されているオーディオをEXTRAトラックへ登録することができます。

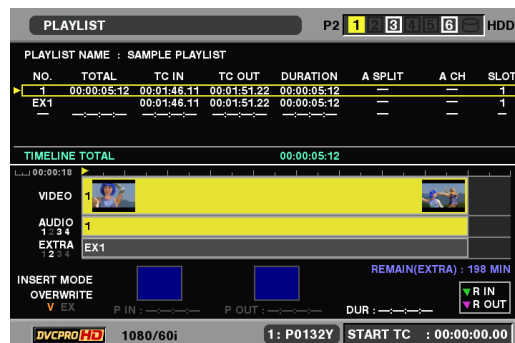
- 1 登録したいイベントへカーソルをあわせませす。
- 2 A.DUB ボタンを押すとイベントの音声がEXTRAトラックへ登録されます。

### ◆NOTE:

- 複数イベントを選択後に A-DUB ボタンを押すと、複数イベントが同時にEXTRAトラックへ登録されます。

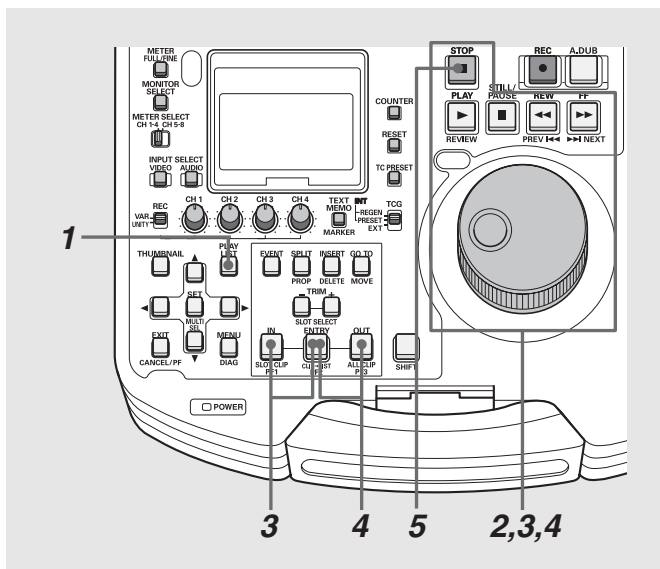
### ◆NOTE:

- INPUT TRACK設定はINPUT SELECTのAUDIO,VIDEOボタンにより設定することもできます。
  - VIDEOあるいはEXTRA AUDIOのどちらかを設定していない場合は上書きできません。
  - 上書きを行うときは AUDIO CHメニュー設定により、上書きするオーディオのチャンネルを入れ替えて上書きすることもできます。
- 「編集時のオーディオチャンネル入れ替え設定」(64ページ)を参照。



## 上書き位置と書き込む映像と音声を選択する

IN, OUTボタンを使用し、プレイリストから映像を入れる位置(R IN/R OUT)とソース側の入れたい映像の位置(P IN/P OUT)を選択します。登録は、各IN・OUT点のうち3点が決まると、残り1点は自動的に決まります。また両方のIN点のみ決まった場合は、OUT点は自動的にソース側のクリップの最後となります。

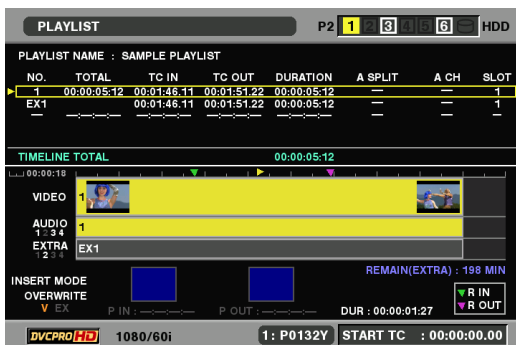


## 上書き位置を登録する

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 上書きする位置を探すため映像を表示する  
操作ボタン/サーチダイヤルを操作し、映像を表示します。
- 3 IN点を登録する  
PLAYボタン、STILLボタンなどを操作し、映像や音声を入れはじめたい位置を探し、INボタンを押しながらENTRYボタンを押します。
- 4 OUT点を登録する  
操作ボタン/サーチダイヤルを操作し、映像や音声を終了したい位置を探し、OUTボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

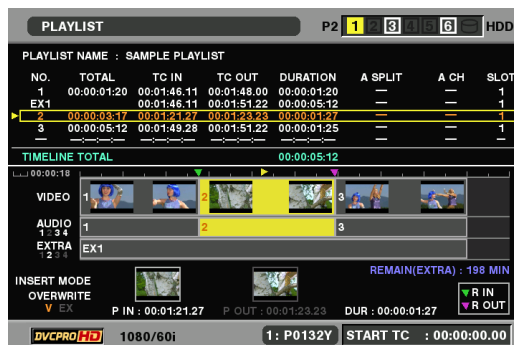
## 5 STOPを押してプレイリスト画面に戻る

登録したIN点やOUT点が、タイムラインの上部にR IN▼(緑)/R OUT▼(ピンク)として表示されます。



## 4 EVENTボタンを押してプレイリスト画面へ戻る

タイムラインの下に登録したIN点やOUT点のサムネールとタイムコードが、P IN/P OUTとして表示されます。



## 書き込む映像や音声を登録する

### 1 書き込みたい映像・音声を探す

書き込みたい映像や音声を探するため、まずINSERTボタンを押します。フォーマットの一一致する全クリップが再生され、その中から書き込みたい映像や音声を探します。

### 2 IN点を登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作し、映像や音声を入れはじめたい位置を探し、INボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

### 3 OUT点を登録する

操作ボタン/サーチダイヤルを操作して映像や音声を終了したい位置を探し、OUTボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

## イベントの仮登録とその修正

イベントはプレイヤー、レコーダーのIN/OUT点の4点のうち3点、または両方のIN点が設定されると、上書き編集未確定状態としてオレンジ色のイベントが作成されます。この上書き編集未確定状態のときには、上書き編集未確定イベントのみ修正を行うことができます。

### ◆NOTE:

- IN点のみ2点登録された場合はP OUT点は自動的にそのクリップの最終点となります。
- 3点が設定されているときに、4点目を設定した場合は4点目の対称となる登録点を自動的に解除します。

### ◆NOTE:

- プレイリスト画面へはINSERTボタンでも戻れます。
- 登録されるとIN/OUTボタンが点灯し、IN/OUTボタンを押すとそのIN/OUT点のタイムコードを表示します。
- INボタンとOUTボタンを両方同時に押すと、その間隔を見ることができません。またOUT点が登録されていない場合は、IN点から現在位置までのデュレーションを見ることができません。
- SHIFTボタンを押しながらINボタンとOUTボタンを両方同時に押すと、全イベントの長さ(TOTAL DURATION)を見ることができます。
- IN(OUT)ボタンを押しながらRESETボタンを押すことで登録点がクリアされます。
- プレイリスト表示中にIN(OUT)+ENTRYボタンを押すと、そのときの再生位置(>黄色)がR IN(R OUT)に登録されます。
- プレイリスト表示中にIN(OUT)+GOTOボタンを押すと、そのときのカーソル位置のイベントのIN(OUT)点へ再生位置が移動します。
- EXTRAイベントのIN/OUT点のタイムコードは、確定後その位置のプレイリストのビデオ部のタイムコードとなります。

## 映像を見ながらP IN/P OUTを修正する

### 1 プレイリスト画面が表示された状態でINSERTボタンを押して映像を表示する

### 2 IN(OUT)+GOTO ボタンや操作ボタンを使用し、修正する位置でIN(OUT)+ENTRYボタンを押して再度登録を行う

IN(OUT)ボタンを押しながらトリム(+/-)ボタンを押して微調整(トリミング)を行うこともできます。

### ◆NOTE:

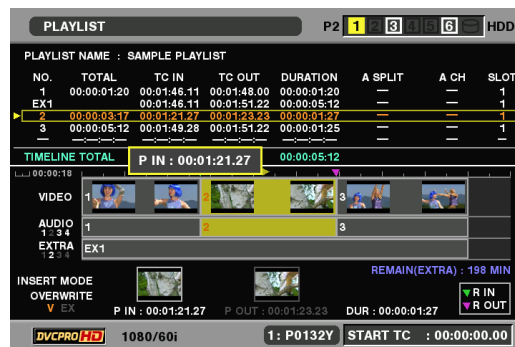
- IN(OUT)ボタンを押しながらRESETボタンを押すことで登録点がクリアされます。

## 映像を見ながらR IN/R OUTを修正する

- 1 プレイリスト画面が表示された状態で再生ボタンを押し映像を表示する
- 2 IN(OUT)+GOTO ボタンや操作ボタンを使用し、修正する位置でIN(OUT)+ENTRYボタンを押し再度登録を行う  
IN(OUT)ボタンを押しながらトリム(+/-)ボタンを押し微調整(トリミング)を行うこともできます。

## プレイリスト画面で修正する

- 1 プレイリスト画面で SHIFT ボタンを押しながら IN (OUT)ボタンを押します
- 2 P IN(P OUT)→R IN(R OUT)→OFFの順で設定されているIN/OUT点の修正画面が表示されます



- 3 TRIM +/- ボタンを押しトリミングを行う

### ◆NOTE:

- RESETボタンを押すと登録点がクリアされます。
- ボタンの長押しで早送りができます。

- 4 ENTRYボタンを押し、修正を確定する  
SETボタンを押しても確定できます。

## プレビューと音の調整をする

上書き区間(オレンジ色のイベント区間)をプレビューし、映像と音声を確認します。

- 1 SHIFTボタンを押しながらPLAYボタンを押す。  
上書き区間の3秒前から1秒後までを再生します。

### ◆NOTE:

- 途中停止はSTOPボタンを押します。
- カーソル位置に限らず上書き編集未確定状態のイベント(複数ある場合はすべて)を再生します。
- 音の調整はプレビュー中にのみ行うことができます。

- 2 プレビュー中に、必要に応じて再生ボリュームで再生レベルを調整する
  - 再生レベルはプレビューを行ったときのレベル設定で確定されます。
  - レビューやプレイリスト再生時には、この取り込んだレベルで再生を行います。

### ◆NOTE:

- 複数イベントがある状態はそれらのイベントすべてに同じレベルが適用されます。

- イベント内は同じレベルとなります。イベント内での可変はできません。

## 上書き編集を確定する

上書き編集未確定状態のイベントを確定して通常のイベント操作にもどします。

- 1 上書き編集未確定状態のイベントがあるときに、RECボタンを押す
- 2 上書き編集未確定イベントの色が橙色から白色にかわり、イベントが確定する

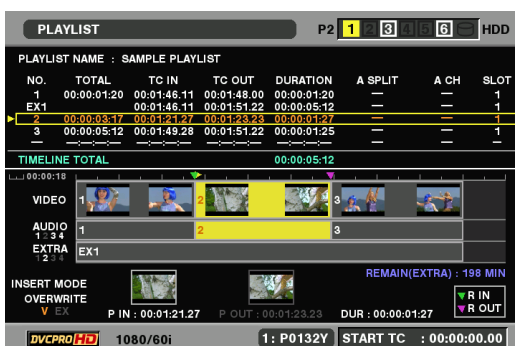
### ◆NOTE:

- イベントを登録しない場合はIN点あるいはOUT点をクリアするか、CANCEL (SHIFT ボタンを押しながらEXIT ボタン) ボタンを押し全IN/OUT点をクリアします。
- 確定せずに PLAYLIST ボタンを押しプレイリストを終了した場合は未確定イベントは解除され全IN/OUT点はクリアされます。
- 確定後にチャンネル設定を変える場合は次の操作で変更が可能です。
  1. 変更したいイベントを選択する(複数選択可能)
  2. メニューから[SETTING]-[AUDIO CH]でチャンネル設定を変更する
  3. メニューから[OPERATION]-[EDIT AUDIO CH]を選択する
  4. YESを選択するあるいは、再修正の手順でも可能です。  
→「イベントを再修正(リコール)する」(78ページ)を参照。

## イベントを再修正(リコール) する

一度確定したイベントのIN/OUT点を再度登録し同じ位置で編集をすることができます。(リコール機能)

- 1 修正するイベントへカーソルをあわせる
- 2 RECボタンを押す
- 3 R IN/R OUT/P INに選択イベントのタイムコードを登録し未確定状態にする
- 4 必要に応じてIN/OUT点の修正や再生レベルの調整、オーディオのチャンネル設定を行なう
- 5 修正終了後、REC ボタンを押しイベント登録を確定する



# オーディオスプリットを設定する

プレイリストにおいてビデオのIN点を基準とし、オーディオのIN点をずらす(オーディオのIN点スプリット)ことができます。このとき、オーディオのチャンネルを指定することはできません。全チャンネルをまとめてずらすのみとなります。

プレイリストの例1

新規スプリットイベント **6**  
オーディオ先行 **6**

4 5 6 7  
4 5 6 7

4 5 6 7  
4 5 6 7

6/A-

NO.	TOTAL	TO IN	TO OUT	DURATION	A SPLIT	A CH	SLOT
1	00:00:03:16	00:00:56:00	00:00:59:15	00:00:03:16	—	—	1
2	00:00:06:10	00:01:04:12	00:01:07:05	00:00:02:24	-00:00:01:00	—	1
3	00:00:11:22	00:01:46:11	00:01:51:22	00:00:05:12	—	—	1

TIMELINE TOTAL 00:00:11:22

VIDEO 1 2 3 4

AUDIO 1 2 3 4

EXTRA 1 2 3 4

REMAIN(EXTRA) : 198 MIN

INSERT MODE INSERT P IN : P OUT : DUR : R IN : R OUT :

DVCPR0 1080/60i 1: P016Y5 START TC : 00:00:00.00

プレイリストの例2

新規スプリットイベント **6**  
オーディオ遅延 **6**

4 5 6 7  
4 5 6 7

4 5 6 7  
4 5 6 7

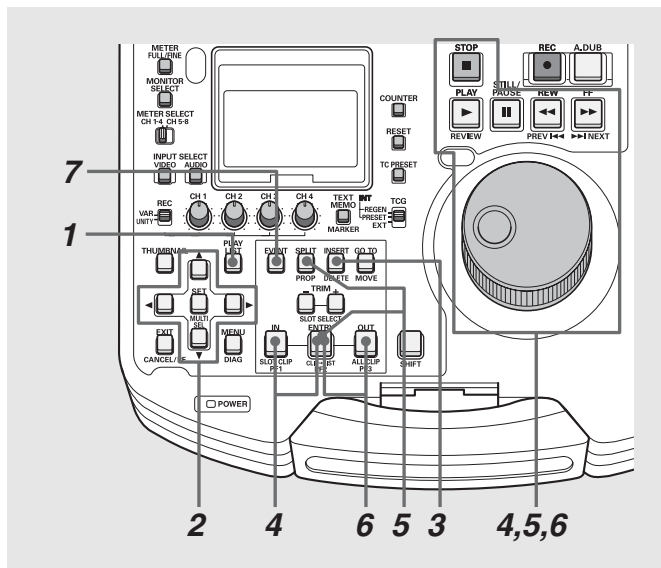
6/A+ 無音となります

## 映像からの登録

オーディオスプリットを設定したイベントを新規に登録するときは、次のように操作します。

### ◆NOTE:

- すでに登録しているイベントにオーディオスプリットを追加するときは、「オーディオスプリット点の追加登録」の方法で行います。
- 事前にメニューでINSERTモードをINSERTにしてください。



### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 十字カーソルボタンで、イベントを挿入したい位置にカーソルを合わせる

### 3 INSERTボタンを押す

イベント登録モードに切り替わります。

### 4 IN点を登録する

操作ボタン／サーチダイヤルを操作してイベントを開始したい位置を探し、INボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

### 5 オーディオのSPLIT点を登録する

操作ボタン／サーチダイヤルを操作してオーディオのSPLIT点にしたい位置を探し、SPLITボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

### 6 OUT点を登録する

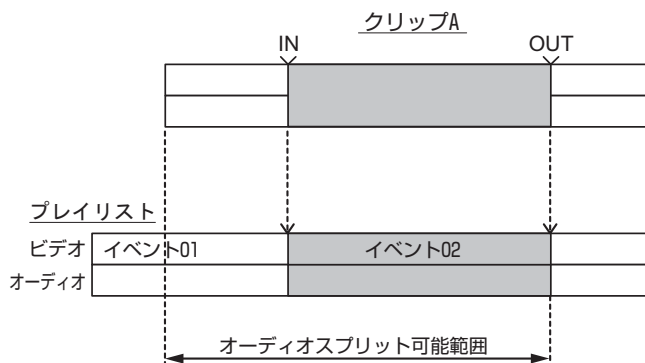
操作ボタン／サーチダイヤルを操作してイベントを終了したい位置を探し、OUTボタンを押しながらENTRYボタンを押します。

## 7 EVENTボタンを押し、登録を終了する

INSERTボタンを押しても登録を終了できます。

### ◆NOTE:

- スプリット表示で、-は前方向、+は後ろ方向にずれていることを表します。
- スプリットの登録範囲は、元のクリップの先頭からイベントのOUT点までとなります。

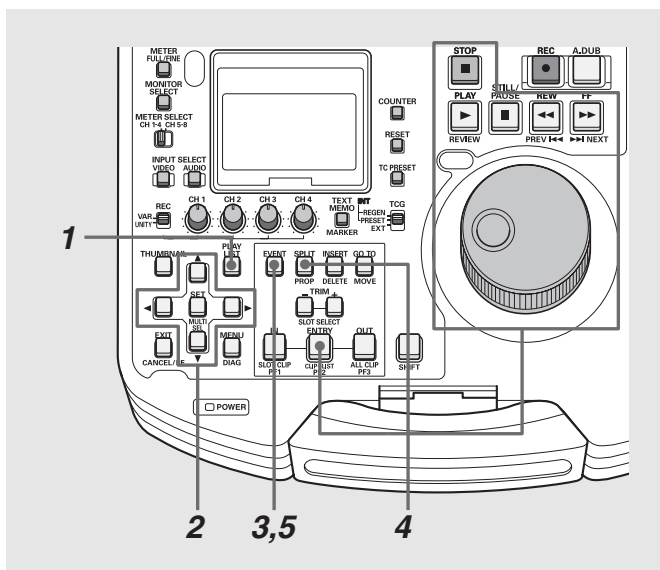


- IN点はSPLIT点より先に決めてください。
- クリップの先頭が IN 点のイベントは、オーディオ先行のスプリットはできません。
- INSERTボタンによるイベントの新規登録のとき、あるいは最後のイベントへのEVENTボタン押しによるイベント登録のときは、OUT点を登録すると次のイベントの登録へ移るため、SPLIT点はOUT点より先に登録してください。



## オーディオスプリット点の追加登録（登録点修正）

プレイリストに登録されているイベントにオーディオスプリットの設定の追加や、オーディオスプリット点の修正を行うことができます。



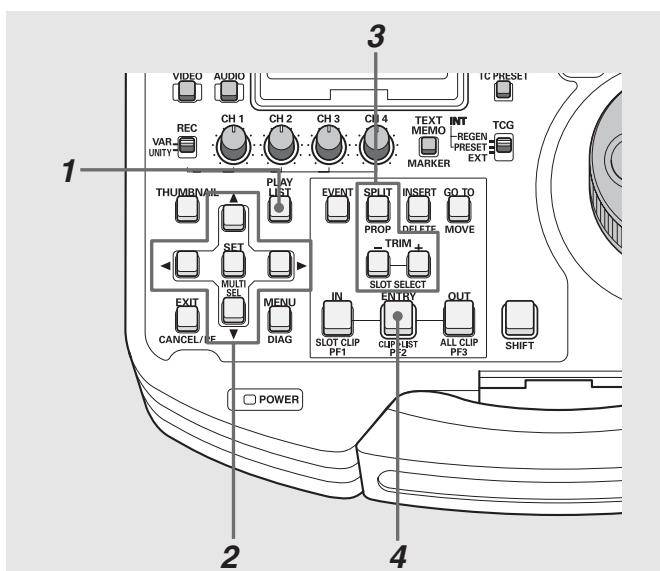
- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 十字カーソルボタンで、オーディオの SPLIT 点を追加(または修正)したいイベントにカーソルを合わせる
- 3 EVENTボタンを押す  
イベント修正モードに切り替わります。
- 4 オーディオのSPLIT点を登録する  
操作ボタン/サーチダイヤルを操作してオーディオのSPLIT点にしたい位置を探し、SPLITボタンを押しながらENTRYボタンを押します。
- 5 EVENTボタンを押し、登録を終了する

◆NOTE:

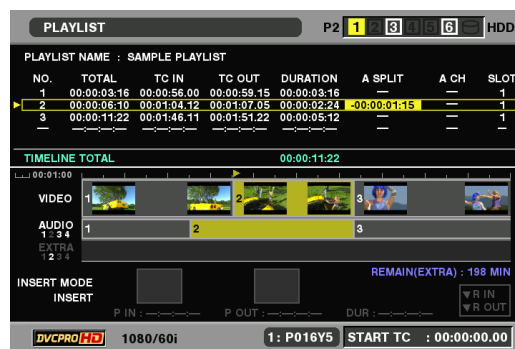
- 手順4の前にIN点の変更操作を行ったり、手順4の後でOUT点の変更操作を行っても追加できます。

## オーディオスプリット点のトリミング

オーディオSPLIT点をフレーム単位(24PNのときは4フレーム単位)で修正できます。



- 3 オーディオのSPLIT点を修正する



SPLITボタンを押しながらTRIM+ボタンまたはTRIM-ボタンを押します。IN点が1フレーム単位(24PNのときは4フレーム単位)で増減します。

◆NOTE:

- トリミング中は、プレイリスト画面のイベントリスト表示でスプリット部分が黄色地に黒色の数字で表示されます。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 十字カーソルボタンで、オーディオの SPLIT 点を修正したいイベントにカーソルを合わせる

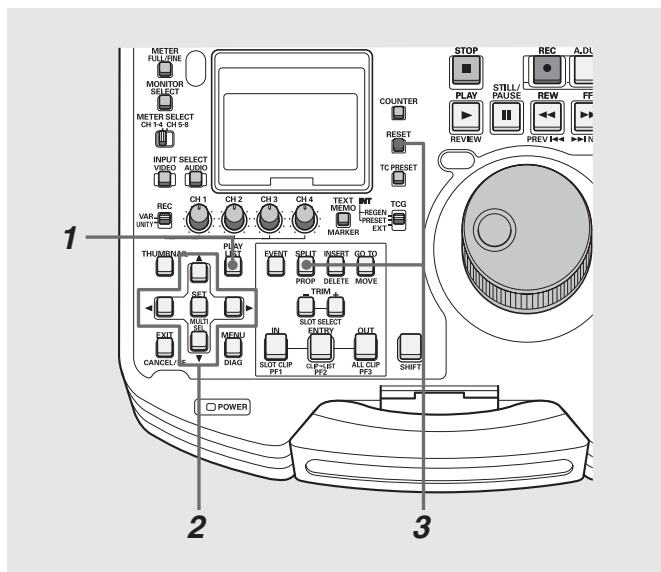
- 4 ENTRYボタンを押し、修正を確定する

◆NOTE:

- 元のクリップの記録開始点を超えてのトリミングはできません。
- イベント登録/修正画面でもIN/OUT/SPLITボタンを押して、タイムコードを表示中にTRIM+/−ボタンを押すことでトリミングが行えます。

## オーディオスプリット設定の解除

オーディオスプリットの設定を、次の操作で解除できます。



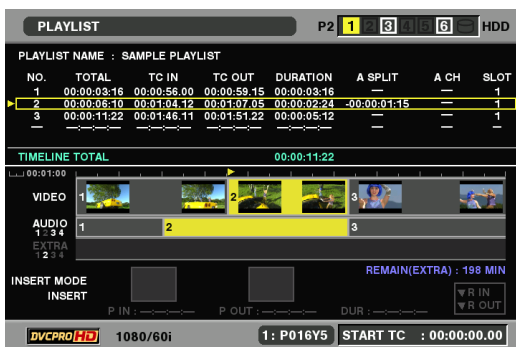
1 プレイリスト画面を表示する

2 十字カーソルボタンで、オーディオスプリット設定を解除したいイベントにカーソルを合わせる

3 SPLITボタンを押しながらRESETボタンを押す  
オーディオスプリットの設定が解除されます。

### ◆NOTE:

- スプリット設定の解除は、プレイリスト画面とイベント登録モードのどちらでも行うことができます。
- イベントの IN 点を削除、または異なるクリップへ移動したときにも、オーディオスプリットが解除されます。



# オーディオを追加記録する（簡易ボイスオーバー）

オーディオの追加記録を行い、追加記録した音声を優先して再生できます。  
記録チャンネル数は1あるいは2チャンネルです。記録時に入力チャンネルと、再生音とのミックスを指定することもできます。

## ◆NOTE:

- 追加記録のオーディオデータは、プレイリストを保存しているカードに書き込まれます。したがって、オーディオ記録の前にはプレイリストを保存しておく必要があります。保存していないときはエラーとなり、記録できません。
- 最大記録時間は約720分です。
- 追加記録できるオーディオの数は最大99です。
- プレイリストを保存するときは、P2カードの残量を確認して保存してください。残量が少ないと、ボイスオーバーを記録できる時間も少なくなります。P2カードがFULLのときはエラーとなり、記録することができません。
- セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQを24、60-24に設定したときは、簡易ボイスオーバー機能は動作しません。

## オーディオ追加記録の準備

オーディオ追加記録を行う前に、関連するセットアップメニューの設定を行います。

→設定操作については、「セットアップ」(102ページ)を参照。

### 記録トラックを設定する

セットアップメニューNo.792(A DUB CH)で、オーディオ追加記録を行うトラックを、次のいずれかに設定します。

CH1、CH2、CH3、CH4、CH1+2、CH3+4

## ◆NOTE:

- 記録トラックの設定は、追加記録したオーディオがプレイリストにない状態で有効です。追加記録したオーディオがあるときには、以降の追加記録もその記録トラックに従います。

### 再生音とのミックスを設定する

セットアップメニューNo.793(A DUB PB MIX)で、オーディオ追加記録をするときに再生音をミックスするかどうかを設定します。

ミックスするときは、さらにセットアップメニューのサブ画面でミックスする再生チャンネルを選択します。

選択したチャンネルの再生音声はA DUB CHとミックスされ、記録されます。

A DUB CHが複数あるときはそれぞれ設定します。

## ◆NOTE:

- プレイリスト再生時は再生レベルはUNITY固定あるいは登録レベルとなり、可変できません。ただし、A.DUBボタンを押している間のEE音およびA.DUB中のEE音については再生レベル調整を行うことができます。
- 静止状態からの追加記録のときのショートプレイ中は、再生レベル調整はできません。

### オーディオIN点、OUT点の音のつながり方を設定する

セットアップメニューNo.796(A DUB FADE)で、オーディオ追加記録を行うときの下地の音とのつながりをカットでつなぐか、Vフェード処理でつなぐかを設定します。

これらの設定は、プレイリストの再生、エディットコピーに反映されます。

→「プレイリストの再生」(89ページ)を参照。

→「プレイリストから新しいクリップを作成する(エディットコピー)」(90ページ)を参照。

## ◆NOTE:

- Vフェードで追加記録されたオーディオに、カットで上書きして追加記録を行った場合、つながりはVフェードとなります。

### A DUB時の出力音声を設定する

セットアップメニューNo.797(A DUB MONI)で、オーディオ追加記録実行中の記録音を出力するかどうかを選択します。

### 設定例

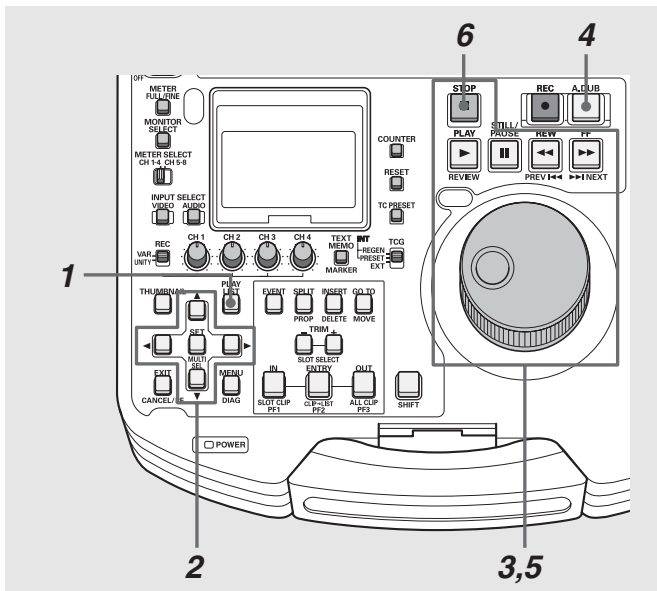
アナログCH2にマイクを入力し、CH2の再生音にマイクをミックスしてCH2にカットつなぎで記録する。記録時には、ヘッドホンで再生音を聞く。

記録トラック設定	A DUB CH=CH2
再生音とのミックス設定	A DUB PB MIX=ON CH2 MIX= CH2
オーディオの音の つながり方設定	A DUB FADE = CUT
A DUB時の同時再生設定	A DUB MONI = OFF


## ◆NOTE:

- SDI入力の音声をミックスするときは、リファレンス信号を入力してください。
- IEEE1394入力の音声をオーディオ追加記録することはできません。



## 静止画状態からの追加記録




- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 十字カーソルボタンで、オーディオ追加記録を行うイベントにカーソルを合わせる

**3** オーディオを追加記録する位置を探す  
操作ボタン/サーチダイヤルを操作して、オーディオを追加記録する位置でSTILL  を押します。

**4** A.DUBボタンを押す  
STILLの位置で静止画を出したままA DUB PAUSE状態になります。

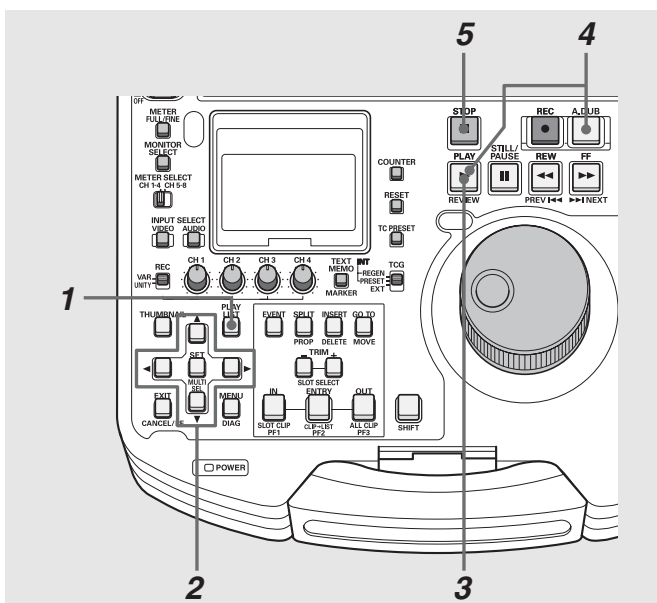
**5** STILL  ボタンを押す  
再度STILL  ボタンを押し、音を記録します。  
2秒間オートバックし、2秒間のショートプレイ後、音が記録されます。  
必要に応じてVR(オーディオボリューム)を操作し、再生音のレベル調整を行います。

**6** STOP  ボタンを押してオーディオ追加記録を終了する


## ◆NOTE:


- セットアップメニューNo.026 (PLY LST FMT)で設定しているプレイリストのフォーマットが24PNのときは、オーディオ追加記録のIN点、OUT点は4フレーム単位で設定されます。それ以外の点で記録を開始または終了したときは、IN点、OUT点とも記録範囲の内側へ自動的に補正されます。


## 再生状態からの追加記録



- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 十字カーソルボタンで、オーディオ追加記録を行うイベントにカーソルを合わせる

**3** オーディオを追加したい位置より前からPLAY  ボタンで再生する

**4** 追加開始位置でA.DUBボタンを押しながらPLAY  ボタンを押す  
音の記録が始まります。  
必要に応じてVR(オーディオボリューム)を操作し、再生音のレベル調整を行います。

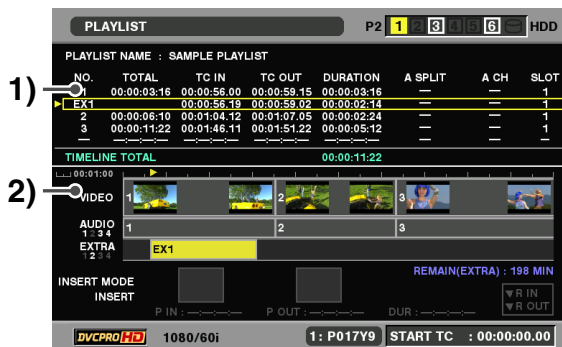
**5** STOP  ボタンを押してオーディオ追加記録を終了する

## ◆NOTE:

- セットアップメニューNo.026 (PLY LST FMT)で設定しているプレイリストのフォーマットが24PNのときは、オーディオ追加記録のIN点、OUT点は4フレーム単位で設定されます。それ以外の点で記録を開始または終了したときは、IN点、OUT点とも記録範囲の内側へ自動的に補正されます。

## 追加記録したオーディオのイベント表示について

追加記録したオーディオは、プレイリスト画面では、次のように表示されます。



### 1) プレイリスト部

- オーディオの記録開始点のあるイベントの次の行に追加されます。
- NO.には、イベント番号ではなく「EX\*」が表示されます。
- SLOTには、オーディオデータを記録したP2カードスロット番号(プレイリストを保存したP2カードスロットと同じ)が表示されます。

### 2) タイムライン部

- 拡張トラックとしてEXTRA部に表示されます。
- 記録したチャンネル番号を合わせて表示します。

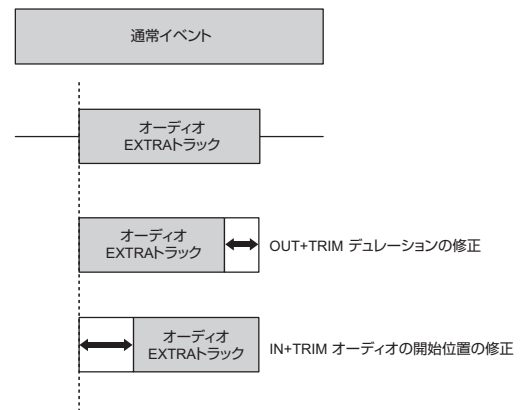
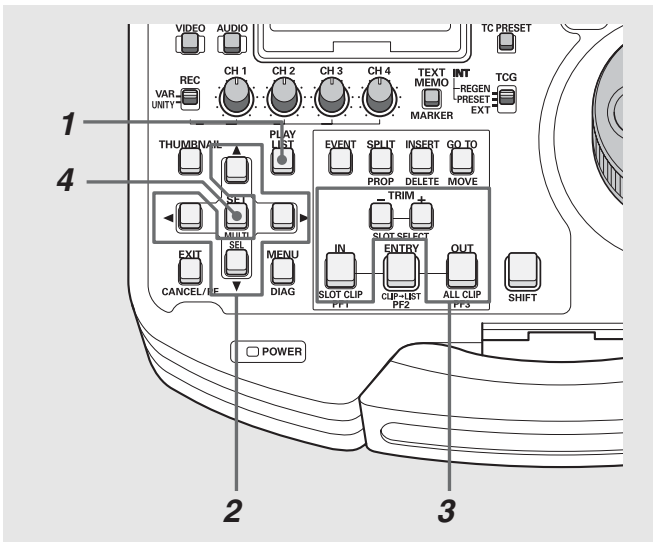
#### ◆NOTE:

- TRIMボタンで拡大(+)/縮小(-)表示ができます。
- 追加したオーディオの記録されたカードが挿入されていないとき(NONE表示)、プレイリストファイルの保存、そのEXTRAオーディオイベントの削除はできません。

## オーディオの記録位置のトリミング修正

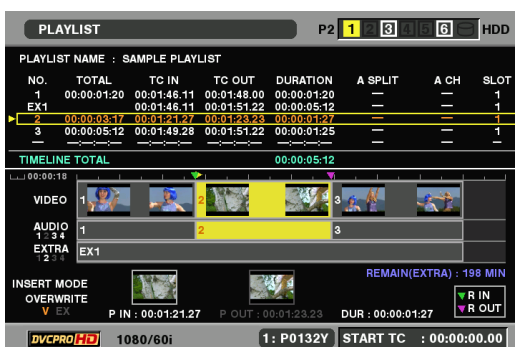
追加記録したオーディオの記録位置を1フレーム単位(24PN)のときは4フレーム単位)で調整できます。

### 3 次の操作でオフセットとデュレーションを修正する



### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 修正対象のイベントにカーソルを合わせる



開始位置の修正: INボタンを押しながらTRIM+ボタンまたはTRIM-ボタンを押します。開始位置が1フレーム(24PNのときは4フレーム)単位で増減します。

終了位置の修正: OUTボタンを押しながらTRIM+ボタンまたはTRIM-ボタンを押します。OUT点が1フレーム(24PNのときは4フレーム)単位で増減します。

### 4 ENTRYボタンを押し、修正を確定する

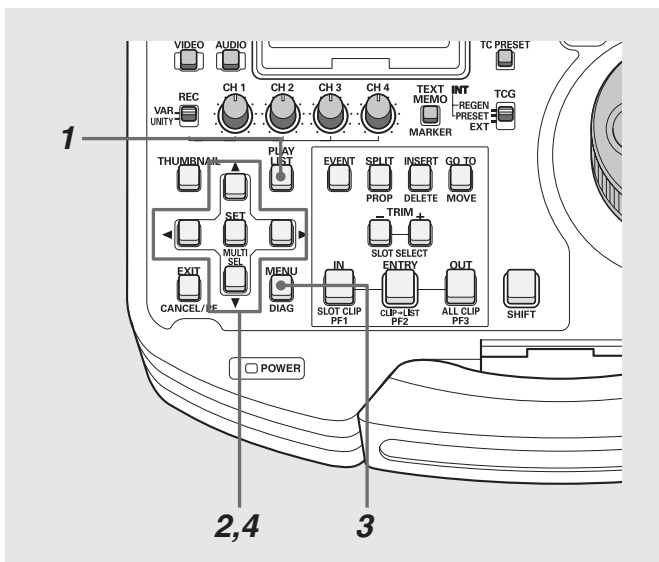
#### ◆NOTE:

- ENTRYボタン以外に、SETボタンや十字カーソルボタンでカーソルを移動させても修正は確定します。

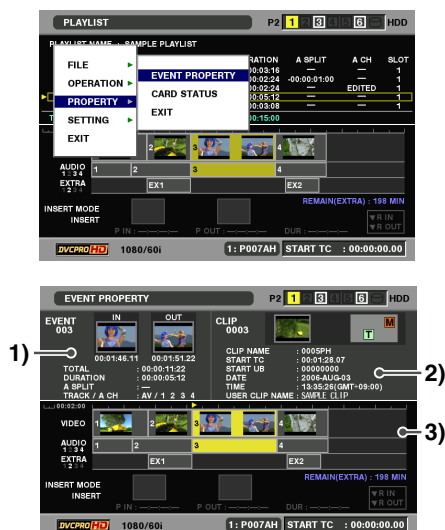
# イベントの情報を表示する

## イベントのプロパティの表示

イベントの各種情報を表示して、内容を確認できます。



- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 十字カーソルボタンで、情報を表示するイベントにカーソルを合わせる
- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで [PROPERTY] - [EVENT PROPERTY] にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



イベントの情報が表示されます。

### ◆NOTE:

- イベント情報画面は、手順2のときにSHIFTボタンを押しながらSPLITボタンを押しても表示されます。
- イベント情報表示中に、十字カーソルボタンで前後のイベント表示へ移動することができます。

### 1) イベントの情報

イベント番号

IN点、OUT点のサムネールとタイムコード値

TOTAL(1番イベント先頭から現在のイベントの最後までまでの長さ)

DURATION(イベント長)

A SPLIT(オーディオスプリット長)

TRACK / A CH(トラック状態とオーディオチャンネルの状態: AV = オーディオとビデオ / FADE(CUT) = EXTRAのオーディオのつなぎ方、1-4チャンネルに入力されたチャンネルの表示)

### 2) イベントの元クリップ情報

クリップの番号(サムネール表示時の番号と同じ)

クリップのサムネール

各種インジケータとライトプロテクト状態

CLIP NAME(クリップ名)

START TC(タイムコード開始値)

START UB(ユーザーズビット開始値)

DATE(記録日付)

TIME(記録時間)

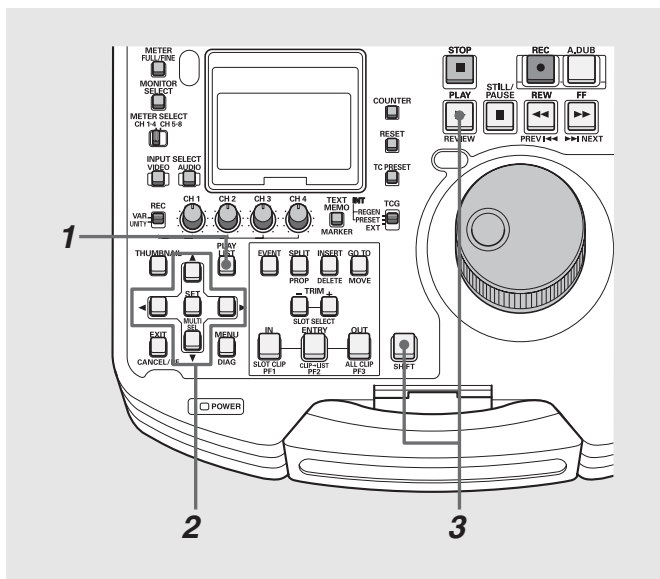
USER CLIPNAME(ユーザークリップ名)

### 3) タイムライン

### 5 EXITボタンを押して、情報の表示を終了する

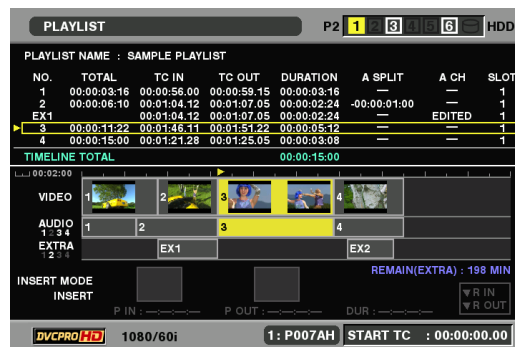
## イベントのレビュー

イベントのIN点とOUT点の間を再生し、内容を確認できます。



### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 十字カーソルボタンで、レビューしたいイベントにカーソルを合わせる



### 3 SHIFTボタンを押しながらPLAY▶ボタンを押す

IN点前(プリロール時間は3秒)からOUT点後(ポストロール時間は1秒)の間が再生されます。

#### ◆NOTE:

- 先頭および最後のクリップでは、それぞれプリロール時間、ポストロール時間は0秒となります。
- レビュー終了あるいは STOP ボタンを押したときは再生が停止し、プレイリスト画面に戻ります。  
レビュー中、STOP ボタン以外は無効になります。
- レビュー実行中に、再度レビューを行うこともできます。

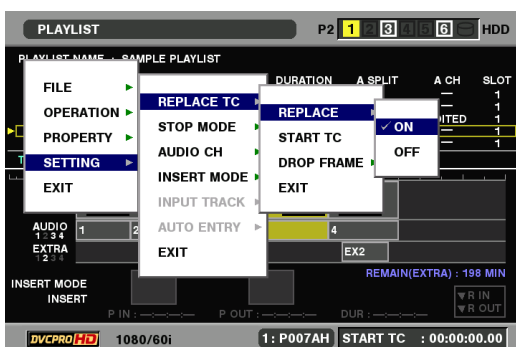
# プレイリストを再生する

## 再生時のタイムコード (TC) の設定

プレイリスト再生時にタイムコードを連続した値に付け替えて出力するのか、各クリップのタイムコードをそのまま出力するのかを切り替えることができます。

タイムコードを付け替えて出力するとき、タイムコードの開始値を設定することもできます。

- 1 プレイリスト画面を表示する
- 2 MENUボタンを押す
- 3 十字カーソルボタンで[SETTING]→[REPLACE TC]→[REPLACE]にカーソルを合わせる

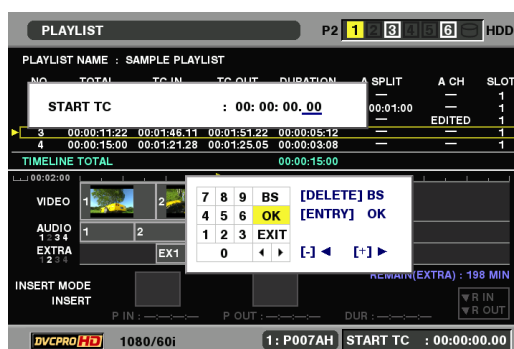


- 4 [ON]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す  
この設定により、再生時にタイムコードの付け替えが行われます。

### ◆NOTE:

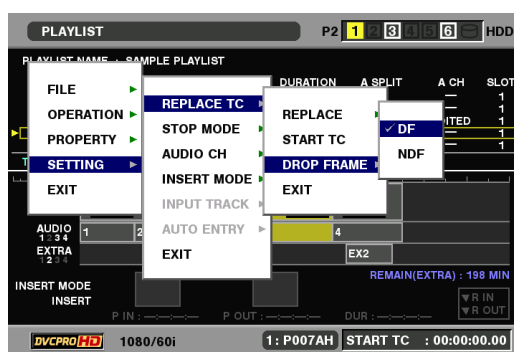
- [OFF] にすると、付け替えは行われず、各クリップのタイムコードがそのまま出力されます。
- [OFF]に設定したときは、手順7に進んで、設定を終了します。

- 5 十字カーソルボタンで[SETTING]→[REPLACE TC]→[START TC]にカーソルを合わせてSETボタンを押し、タイムコードの開始値を入力する



付け替えるタイムコードの開始値の初期値は00:00:00:00です。

- 6 十字カーソルボタンで[SETTING]→[REPLACE TC]→[DROP FRAME]にカーソルを合わせてSETボタンを押し、[DF](ドロップフレーム)または[NDF](ノンドロップフレーム)を設定する



### ◆NOTE:

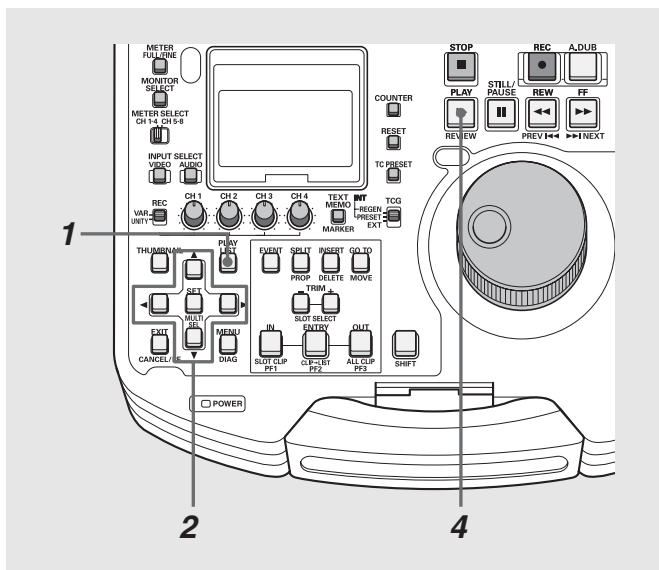
- 24PNのときは、[DF]の設定はできません。

- 7 MENUボタンを押して、設定を終了する



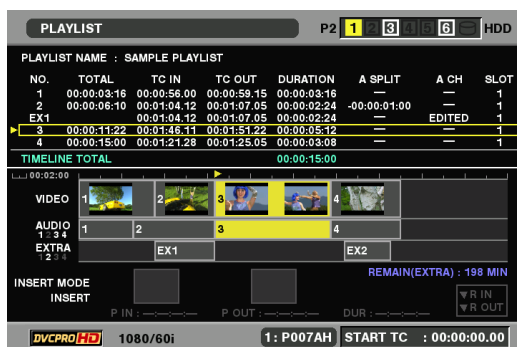
## プレイリストの再生

次の操作でプレイリストを再生できます。



### 1 プレイリスト画面を表示する

### 2 十字カーソルボタンで、再生を開始したいイベントにカーソルを合わせる



### 3 必要に応じて再生時のタイムコードの設定を行う

→「再生時のタイムコード(TC)の設定」(88ページ)を参照。

### 4 PLAY▶ボタンを押す

カーソル位置からプレイリストの最後、あるいは再生可能なイベントまでを連続再生します。

#### ◆NOTE:

- プレイリストの再生を行うときは、プレイリストを構成するすべてのP2カードを挿入してください。プレイリスト再生が正しくできません。再生できないイベント以降はイベント番号が赤色になります。
- 再生中はSTOP■ボタンで再生を中断することができます。
- プレイリストの再生中にSTOP■ボタンを押すか、または全イベントの先頭または最後で自動停止したときには、本機の初期設定ではストップモードがRETURNになっているので、プレイリスト画面に戻ります。このときカーソル位置は停止操作を行ったときのイベントに移動します。
- メニューのストップモードをSTAYに設定すると、再生を停止してもプレイリスト画面には戻らず、静止画出力を継続することができます。
- メニューのストップモードが STAY のときは、再生停止後にPLAY LISTボタンまたは、EXITボタンを押してプレイリスト画面に戻ります。
- プレイリスト再生中でもリモート切り替えが可能です。RS-422Aで制御するときは、ストップモードをSTAYにしておくと、停止時にプレイリスト画面へ移動しないので便利です。

# プレイリストから新しいクリップを作成する（エディットコピー）

プレイリストを元に、新たに1つのクリップを作成することができます。

この機能をエディットコピーと呼びます。

## ◆NOTE:

- 再生時のタイムコードの設定により、エディットコピー後のタイムコードを、設定した値から始まるようにすることができます。必要に応じてあらかじめ再生時のタイムコードの設定を行ってください。  
→「再生時のタイムコード(TC)の設定」(88ページ)を参照。
- AJ-SPD850 で作成したプレイリストファイルは、読み込むことはできますが、エディットコピーはできません。ただし、一度SAVE ASによりプレイリストファイルを別名で保存を行った後にエディットコピーを行うことは可能です。

## 1 プレイリスト画面を表示する

## 2 MENUボタンを押す

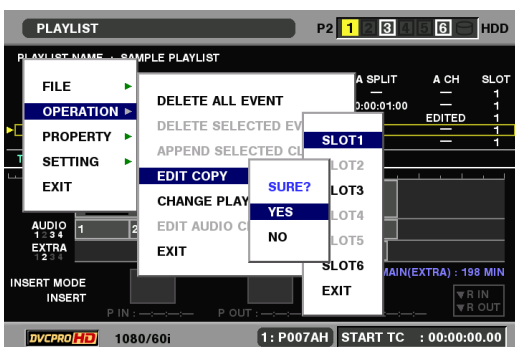
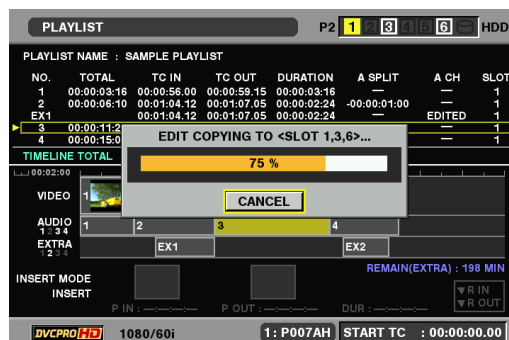
## 3 十字カーソルボタンで[OPERATION]- [EDITCOPY]にカーソルを合わせる

## 4 エディットコピー先のP2カードスロット番号に カーソルを合わせ、SETボタンを押す

## 5 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

## ◆NOTE:

- エディットコピーサイズに対して、挿入されているP2カードのトータル空き容量が足りないときは「WARNING : LACK OF REC CAPACITY!」と表示され、エディットコピーは開始されません。
- エディットコピー中は進行状況の目安が表示されます。
- エディットコピー中にSETボタン、またはCANCELボタンを押すと、エディットコピーが中止されます。
- エディットコピーしたクリップの編集点(各イベントの先頭)にはテキストメモが自動的に挿入されます。
- エディットコピー時にはユーザークリップネーム以外の情報はコピーされません。
- アスペクトが混在しているときは、エラーになります。
- 再生できないイベントがあるときは、再生できる範囲でエディットコピーを行います。
- 実行中は関係するP2カードスロットのLEDが点滅しますので、抜かないでください。
- 指定したカードの残量が不足しているときは、自動的にスロット番号順に挿入されているP2カードに分割してコピーします。コピー中および終了時に書き込むスロット番号を表示します。



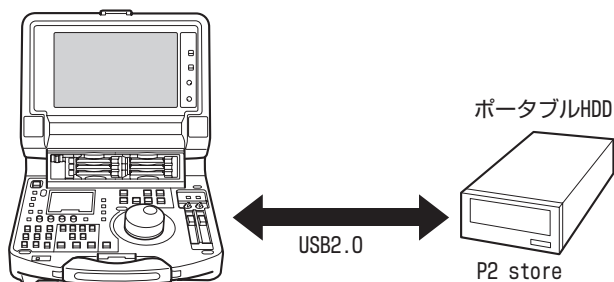
エディットコピーが開始されます。

# USB端子やSD/SDHCメモリーカードを利用する

## USB端子を利用する

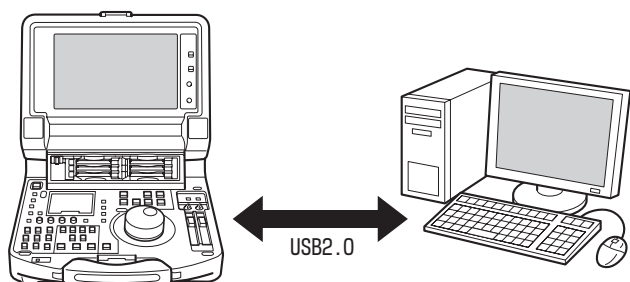
本機のUSB2.0端子にハードディスクやパーソナルコンピューターを接続し、クリップの保存や管理を効率よく行うことができます。

### USBホストとして利用する



USB2.0対応のハードディスク1台と接続して、P2カードデータの保存や、保存したクリップサムネールの閲覧、P2カードへのインポートを行うことができます。

### USBデバイスとして利用する



パーソナルコンピューターなどとUSB2.0で接続することにより、本機のP2カードスロットに挿入されたP2カードをマスタストレージとして扱うことができます。このとき、パーソナルコンピューターには、USB専用ドライバーをインストールする必要があります(USB2.0でご使用ください)。また、弊社が下記のURLで無償配布しているP2ビューアーを使用すると、P2カードに記録されたクリップを、Windows PCで操作できます。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

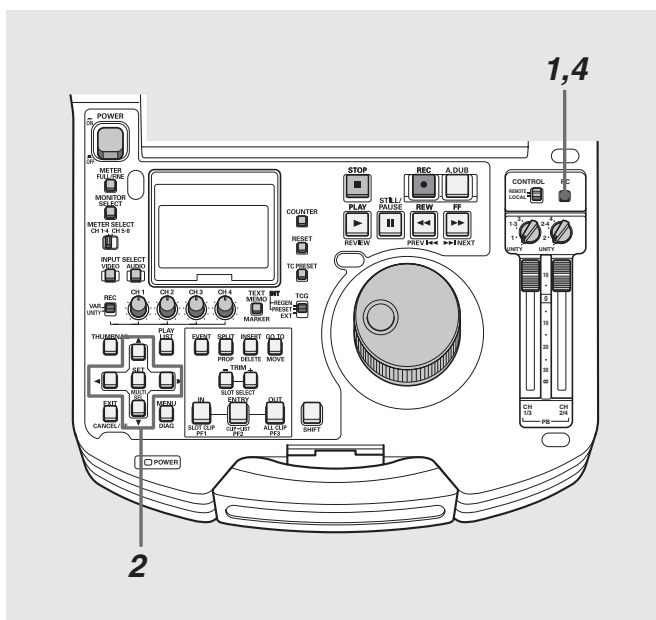
英語：<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

#### ◆NOTE:

- この接続での操作については、利用するコンピューターやアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

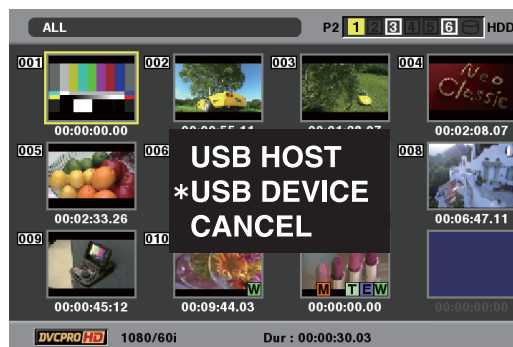
# 本機にパーソナルコンピューターを接続して利用する

## USBデバイスモードへの切り替え



1 停止状態のときにPCボタンを押す

2 選択画面で、[USB DEVICE]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



液晶モニターのUSB DEVICEの文字が点滅してモードが切り替わります。モードが切り替わると、表示パネルの画面上にUSB DEVICE DISCONNECTと表示されます。その後パーソナルコンピューターとの接続が完了すると、USB DEVICE CONNECTの表示に切り替わります。

3 USBデバイスモードでの操作を行う

4 PCボタンを押して、通常モードに戻る

### ◆NOTE:

- USBデバイスモードでは、録画・再生を含むほとんどの操作はできません。
- プレイリストモード、リモート中はPCボタンは受け付けません。
- USBデバイスモードでは、表示パネルにUSBと表示され、VIDEO、AUDIOのINPUT SELECT表示が消えます。

# 本機にハードディスクを接続して利用する

## 使用できるハードディスク

次のハードディスクを使用できます。

- Panasonicポータブルハードディスクユニット  
P2 store(AJ-PCS060G)
- USB2.0で接続できるハードディスク

### ハードディスクのタイプと 利用できる機能について

使用するハードディスクにより、利用できる機能が異なります。ハードディスクのタイプは本機のホストモードでのエクスペロー画面の左側に「PARTITION:」に続けて表示されます。

#### ◆NOTE:

- USBバスパワー(5V, 0.5A)にも対応していますが、ハードディスクによっては起動できないものもあります。その場合はハードディスクに別途電力を供給してください。
- 2TB(2048GB)以上のハードディスクには対応していません。
- ハードディスクによっては、接続時に本機がリセットすることがありますが故障ではありません。その場合は、ハードディスクを接続してから、本機をホストモードに切り替えてください。

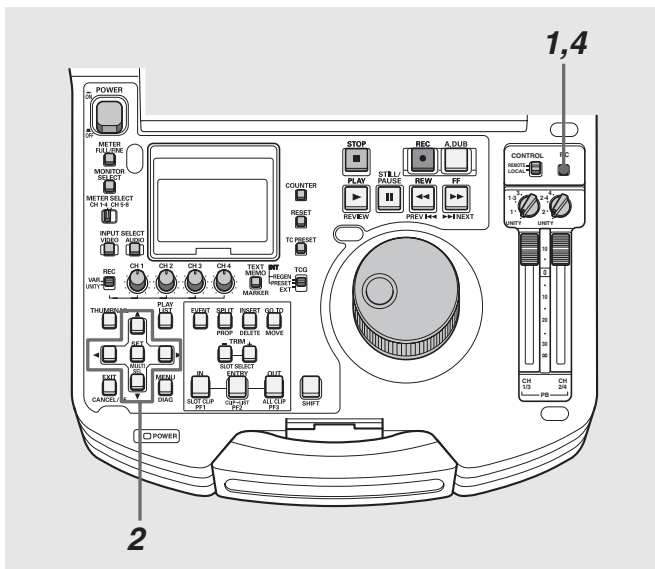
ハードディスクタイプ	特徴	利用できる機能
TYPE S	カード単位で高速に書き込み／読み込みするための特殊形式です。本機でフォーマットすると、この形式になります。	カード単位での書き込み／読み込み、サムネイル表示、クリップ単位での読み込み、フォーマット
P2STORE	P2 store(AJ-PCS060G)のことです。書き込みはできません。	カード単位での読み込み、サムネイル表示、クリップ単位での読み込み
FAT	パーソナルコンピューターなどで先頭の基本パーティションがFAT16またはFAT32になっており、そのパーティションのルートに「CONTENTS」ディレクトリが必要です。	サムネイル表示、クリップ単位での読み込み、フォーマット ※本機でフォーマットした後は、「TYPE S」のハードディスクとして扱えます。
OTHER	上記以外のハードディスクです。 ※ルートに「CONTENTS」ディレクトリがない場合やNTFSなどのFAT16、FAT32以外のファイルシステムの場合です。	フォーマット ※本機でフォーマットした後は、「TYPE S」のハードディスクとして扱えます。

#### ◆NOTE:

- ハードディスクは以下の条件でご使用ください。
  - 1)ハードディスクの動作保証範囲内(温度など)で使用します。
  - 2)ハードディスクを振動する場所や不安定な場所に置かない。
- ハードディスクによっては正しく動作しないことがあります。
- コピーに十分な容量のハードディスクをご使用ください。
- 電源が入っていないハードディスクであっても、ハブなどを介した複数台の接続は行わないでください。ハードディスク以外の機器も、ハブなどを介してハードディスクと一緒に接続しないでください。
- フォーマットやコピー中にケーブルを抜いたり、対象のP2カードを取り出したり、本機やハードディスクの電源を切ったりしないでください。本機およびハードディスクの電源の再起動が必要になります。
- ハードディスクは非常に精密な機器ですので、使用状況によってはデータの読み書きができなくなるおそれがあります。  
ハードディスクの故障あるいは何らかの不具合によるデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- 本機からのコピーで使用したハードディスクを他のパーソナルコンピューターなどで中身を置き換えた場合、以後の本機での動作、およびハードディスクのデータは保証できません。
- 不良クリップが含まれるP2カードは、事前に修復してからハードディスクへコピーすることをお勧めします。
- ハードディスクのクリップは再生できません。
- USB 変換ケーブルを介して接続された SATA(シリアル ATA)や、PATA(パラレルATA)インターフェースのハードディスクは、認識できない場合があります。

## USBホストモードへの切り替え

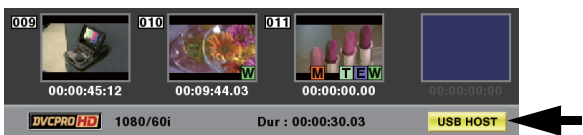
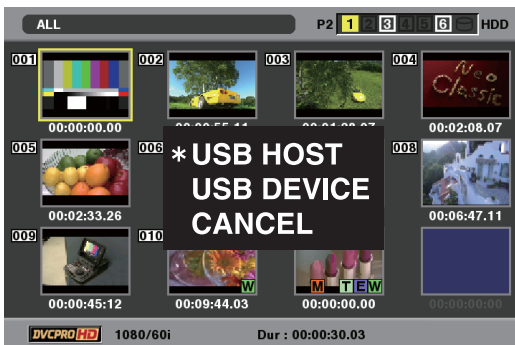


### 1 停止状態のときにPCボタンを押す

#### ◆NOTE:

- プレイリストモード、リモート中はPCボタンは受け付けません。

### 2 選択画面で、[USB HOST]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



液晶モニターのUSB HOSTの文字が点滅してモードが切り替わります。モードが切り替わるとサムネール画面が表示され、右下にUSB HOSTと表示されます。

### 3 USBホストモードでの操作を行う

#### ◆NOTE:

- USBホストモードでP2カードの再生を行うと、液晶モニターへの表示は行えますが、背面の各種入出力は動作しなくなります。
- P2カードへの記録は行えません。

### 4 PCボタンを押して、通常のモードに戻る

カードにアクセス中は、PCボタンを押しても無効です。

#### ◆NOTE:

〈USB HOSTに切り替えたとき〉

- USBモードでは、プレイリストモードへは切り替わりません。
- USBホストモード時は表示パネルのVIDEO、AUDIOのINPUT SELECT表示が消えます。

## ハードディスクのフォーマット

ハードディスクをTYPE Sで使用できる形式に初期化します。

#### ◆NOTE:

- ハードディスクのフォーマットを行うと、ハードディスクの内容はすべて消去されますので注意してください。

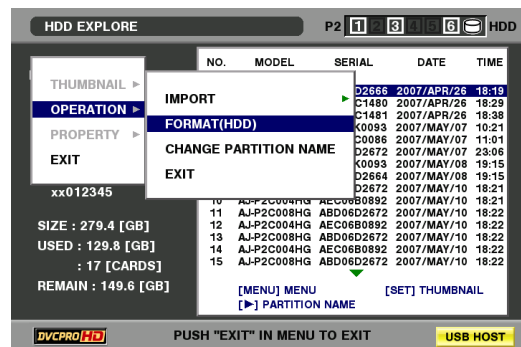
### 1 USBホストモードに切り替える

### 2 USBハードディスクを接続する

### 3 MENUボタンを押す

### 4 十字カーソルボタンで[HDD] – [EXPLORE]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す エクスプローラー画面が開きます。

### 5 MENUボタンを押し、十字カーソルボタンで [OPERATION] – [FORMAT(HDD)]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



### 6 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

### 7 再度確認メッセージが出たら、[YES]にカーソルを合わせてSETボタンを押す

ハードディスクがフォーマットされます。

## カード単位でのハードディスクへのエクスポート

TYPE Sのハードディスクの場合、P2カード単位でハードディスクへエクスポート(P2カードからハードディスクへの書き出し)を行うことができます。

ハードディスクは事前に本機でフォーマットを行ってください。最大23枚のカードをハードディスクへ保存することができます。

エクスポートしたデータは、コンピューターなどではエクスポートしたP2カード毎に別々のドライブとして認識されま

### 1 USBホストモードに切り替える

### 2 USBハードディスクを接続する

ハードディスクを本機でフォーマットしていないときは、ハードディスクをフォーマットします。

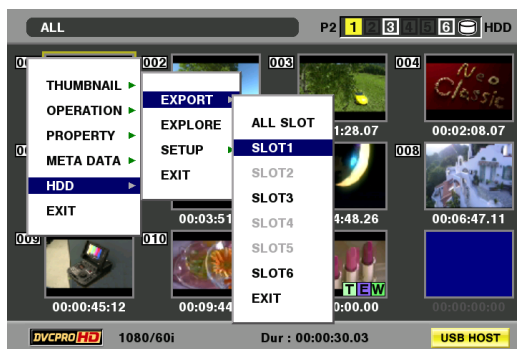
→「ハードディスクのフォーマット」(94ページ)を参照。

### 3 P2カードを挿入する

### 4 サムネイル画面を表示する

### 5 MENUボタンを押す

### 6 十字カーソルボタンで[HDD] - [EXPORT]にカーソルを合わせる



### 7 コピー元の P2 カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

ALL SLOTを選ぶと、そのとき挿入されているカードすべてを一括エクスポートします。

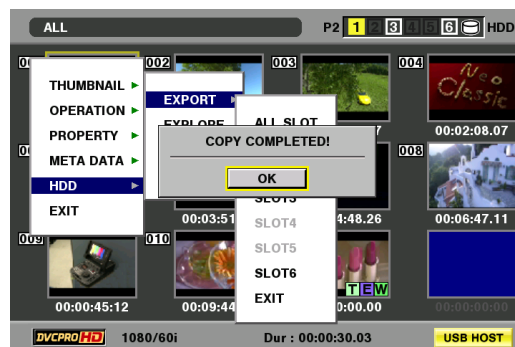
### 8 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す

エクスポートが始まります。

#### ◆NOTE:

- エクスポート中は進捗バーが表示されます。
- エクスポートを中断したいときは、SET ボタンを押し、CANCEL の確認表示で[YES]にカーソルを合わせ、SET ボタンを押すと中断できます。
- エクスポート時のベリファイを行わないように設定すると、エクスポート完了までの時間が短くなります。設定はメニューの[HDD] - [SETUP] - [VERIFY]を[OFF]にします。
- ベリファイ中に処理を中断しても、その P2 カードのコピーは終了しています。
- すでに割り当てられているネットワークとドライブが重なって、見えないパーティションがある場合は、弊社が下記の URL で無償配布しているドライブマウントコンバーターをご利用ください。ハードディスクを Windows PC に接続したとき、指定したフォルダーへマウントすることができます。  
日本語 : <http://panasonic.biz/sav/>  
英語 : <https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

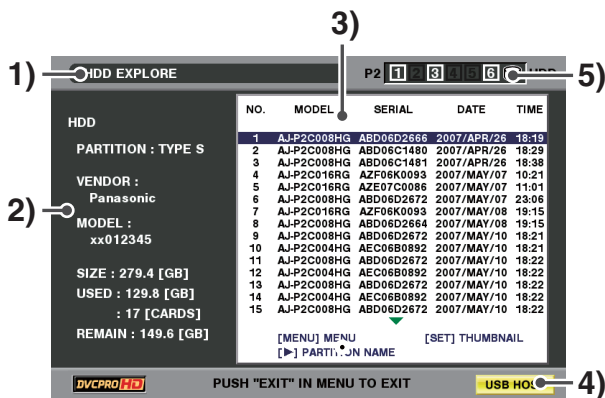
エクスポートを完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。



## ハードディスクの情報の表示（エクスプローラー画面）

ハードディスクの情報を表示できます。

- 1) USBホストモードに切り替える
- 2) USBハードディスクを接続する
- 3) サムネール画面を表示する
- 4) MENUボタンを押す
- 5) 十字カーソルボタンで[HDD] - [EXPLORE]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



### ◆NOTE:

- 左右のカーソルボタンで日時などの一覧表示とパーティションの名称表示を切り替えることができます。

### 1) 表示状態

HDD EXPLORE画面であることを示します。

### 2) ディスク情報

次の情報が表示されます。

カード単位で書き込み／読み出しが可能な特殊形式のハードディスク	PARTITION	TYPE S / P2STORE
	VENDOR	ベンダー名
	MODEL	モデル名
	SIZE	総容量(単位:GB)
	USED	使用量(単位:GB) 使用P2カード領域(単位:枚数)最大23
一般のハードディスク	REMAIN	残量(単位:GB)
	PARTITION	FAT/OTHER
	VENDOR	ベンダー名
	MODEL	モデル名
	SIZE	総容量(単位:GB)

### 3) パーティション情報

→詳細は次ページを参照

### ◆NOTE:

- P2 storeに無効なパーティションがあるときは、パーティション情報がグレーで表示されます。
- FATでフォーマットされたハードディスクのとき、最初の1パーティションのみ情報が表示されます。

### 4) USB HOST

USBホストモードインジケータが表示されます。

### 5) HDD状態

接続／未接続の区別、ハードディスクのタイプが表示されます。

### ◆NOTE:

- ハードディスクのサムネール表示時に [OPERATION] メニューの[CHANGE PARTITION NAME]を選択することで、そのパーティションに名称(最大20文字)を付けることができます。



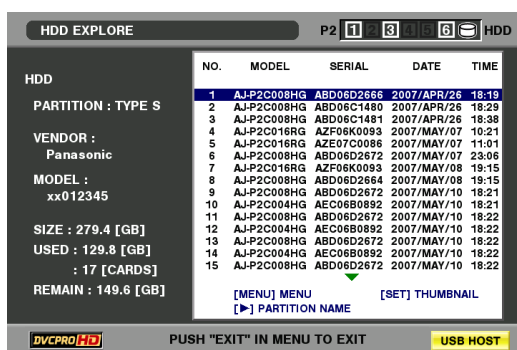


# ハードディスクのクリップのサムネイル表示

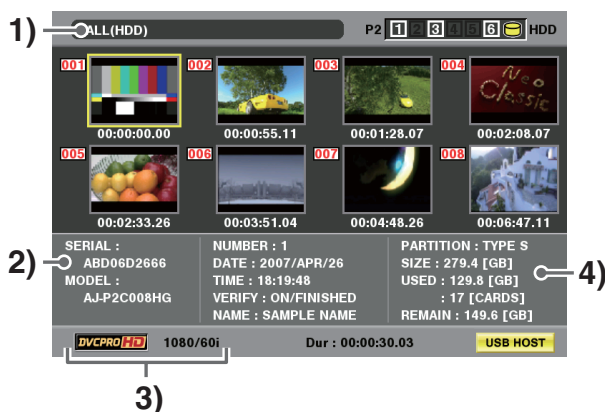
ハードディスクに保存したクリップも、本機に装着したP2カードと同様にサムネイル表示して管理できます。

## 1 エクスプローラー画面を表示する

## 2 十字カーソルボタンでサムネイル表示したいパーティションにカーソルを合わせ、SETボタンを押す そのパーティションのクリップがサムネイル表示されます。



SET      EXIT



### 1) 表示状態

ハードディスクのクリップのサムネイル表示状態を示します。

### 2) パーティション情報

次の情報が表示されます。

SERIAL:	P2カードのシリアル番号
MODEL:	P2カードのモデル名
NUMBER (NO.):	パーティション番号(1~)
DATE / TIME:	パーティション記録日時

VERIFY: 記録時のベリファイの設定とベリファイ結果

ON : FINISHED      ベリファイ実施し、一致

ON : FAILED      ベリファイ実施したが不一致

OFF      ベリファイしていない

※P2 storeのときは「-」と表示します。

NAME: ユーザーがつけたパーティションの名称

### 3) 記録モード、システムフォーマット

カーソル位置クリップの記録モード、システムフォーマットが表示されます。

### 4) ディスク情報

→詳細は前ページを参照。

#### ◆NOTE:

- EXITボタンを押すと、エクスプローラー画面に戻ります。
- 必要に応じてサムネイル画面の表示の変更を行うことができます。操作はP2カードのサムネイル表示と同じです。→「サムネイル画面の表示の変更」(37ページ)を参照。
- [FAT]タイプのハードディスクであっても、1001 個目以降のクリップは表示されません。
- TRIM + / - ボタンを使うと、前後のパーティションのサムネイル表示へ移動できます。

## ハードディスクのクリップの情報を表示する

ハードディスクに保存したクリップの各種メタ情報を表示できます。内容はP2カードのクリップのプロパティと同じです。

### 1 ハードディスクのサムネイル画面で、対象のクリップを選択する

クリップの詳細な情報を画面に表示して確認できます。

### 2 MENUボタンを押す

### 3 十字カーソルボタンで[PROPERTY]-

[CLIP PROPERTY]にカーソルを合わせて、SETボタンを押す

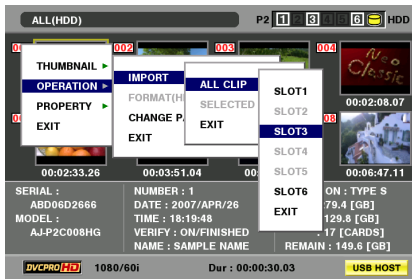
→詳細は「クリップの情報を表示・修正する」(47ページ)を参照。

## ハードディスクからP2カードへのインポート

### TYPE SのハードディスクやP2 storeからパーティション単位でインポートする

パーティション単位(カード単位)で、元のカードと同じ品番のP2カードへ高速にインポート(ハードディスクからP2カードへの読み込み)することができます。

- 1 インポート先となるP2カードを挿入する
- 2 P2のサムネール画面を表示する
- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで[HDD] – [EXPLORE]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 5 コピー元のパーティションにカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 6 MENUボタンを押す
- 7 十字カーソルボタンで[OPERATION] – [IMPORT] – [ALL CLIP]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す



- 8 フォーマット済のP2カードを挿入したインポート先のP2カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 9 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す  
インポートが始まります。  
インポートが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

#### ◆NOTE:

- 元のP2カードとは異なるP2カードにインポートしたとき、クリップによっては不完全(インジケータ付き)クリップになることがあります。この場合、連結機能を使ってクリップを再構成してください。→「不完全クリップの連結」(46ページ)を参照。
- メニュー設定により、コピー時にベリファイを行うかどうかを切り替えることができます。
- 異なる品番のP2カードへの、パーティション単位でのインポートはできません。クリップ単位でインポートを行ってください。

### クリップ単位でP2カードへのインポート

ハードディスクのクリップを指定して、P2カードにインポートできます。

- 1 インポート先となるP2カードを挿入する
- 2 ハードディスクのサムネール画面を表示する
- 3 MENUボタンを押す
- 4 十字カーソルボタンで[HDD] – [EXPLORE]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 5 コピー元のパーティションにカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 6 コピーするクリップを選択する
- 7 MENUボタンを押す
- 8 十字カーソルボタンで[OPERATION] – [IMPORT] – [SELECTED CLIPS]にカーソルを合わせる
- 9 インポートするP2カードスロット番号にカーソルを合わせ、SETボタンを押す
- 10 [YES]にカーソルを合わせ、SETボタンを押す  
インポートが始まります。  
インポートが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

#### ◆NOTE:

- クリップ単位でインポートするときは、ベリファイは行われません。
- 「クリップ単位でのインポート」動作は、「クリップのコピー」と類似の動作です。  
→クリップ単位でのインポート時の注意事項は「クリップをコピーする」(44ページ)を参照。

# SD/SDHCメモリーカードを利用する

本機ではSD/SDHCメモリーカードも利用できます。

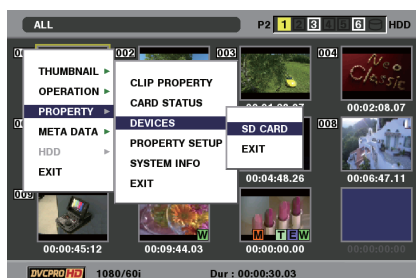
## ◆NOTE:

- 現在のセットアップメニューの設定をSDメモリーカードに保存および読み込むことができます。詳細は127ページを参照してください。

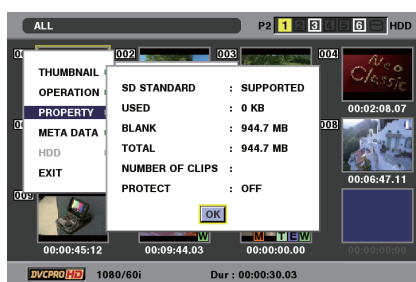
## SDメモリーカードの各種情報を表示する

SDメモリーカードの使用状況を画面に表示して確認できます。

- サムネール画面を表示する
- MENUボタンを押す
- 十字カーソルボタンで[PROPERTY]→[DEVICE]→[SD CARD]にカーソルを合わせて、SETボタンを押す



カードの状態が、次のように表示されます。



SD STANDARD: SDメモリーカードがSD/SDHC準拠でフォーマットしているか表示する。

SUPPORTED: SD/SDHC準拠

NOT SUPPORTED: SD/SDHC非準拠

USED: 使用済み容量[バイト]

BLANK: 空き容量[バイト]

TOTAL: 全容量[バイト]

NUMBER OF CLIPS: プロキシやP2カムにてSDメモリーカードへクリップコピーを行ったときに、SDメモリーカードに入っているクリップ数

PROTECT: 書き込み禁止状態

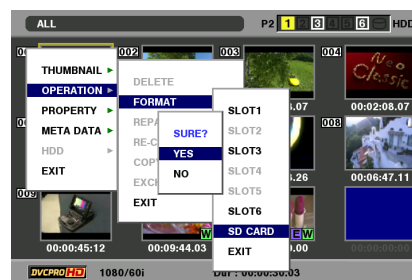
- 本機ではプロキシの記録はできません。

- SETボタンを押した後、MENUボタンを押して、処理を終了する

## SDメモリーカードをフォーマットする

次の操作でSDメモリーカードスロットのSDメモリーカードをフォーマットできます。

- サムネール画面を表示する
- MENUボタンを押す
- 十字カーソルボタンで[OPERATION]→[FORMAT]→[SD CARD]を選択する
- [YES]を選択しSETボタンを押す



フォーマットが開始されます。

## ◆NOTE:

- フォーマットしないときは[NO]を選択し、SETボタンを押します。

- 完了メッセージが表示されたら確認(SETボタン)を押す

## ◆NOTE:

- 続けて別のP2カードスロットのP2カードをフォーマットするときは、操作手順2~4の操作を繰り返します。

- MENUボタンを押して、処理を終了する

# 外部リモート制御

## 外部機器のリモート操作

RS-422AまたはIEEE1394インターフェースを用いてコマンドを送信し、外部機器をリモート制御することができます。

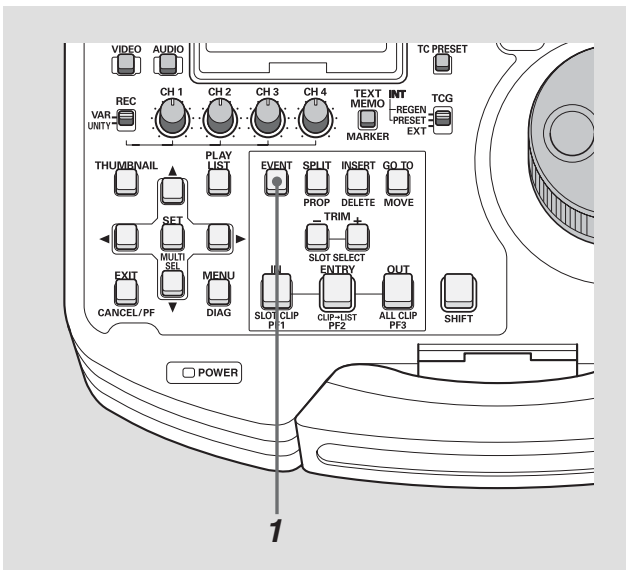
リモート制御できる機能は以下の通りです。

- PLAY、STOP、STILL、FF、REW、SHTL、JOG
- カウンター表示、ステータスのLED表示

## 設定方法

### 1 THUMBNAIL ボタン、PLAYLIST ボタンが消灯状態で、次のボタンを押す

- RS-422Aを用いる場合は、EVENTボタンを押します。
- IEEE1394インターフェースを用いる場合は、SHIFTボタンを押しながらEVENTボタンを押します。



- 外部リモート制御状態となります。

#### ◆NOTE:

- RS-422Aを用いる場合は、セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQを59.94、50、23.98、24、29.97、25に設定してください。
- IEEE1394インターフェースを用いる場合は、セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQを59.94、50に設定してください。
- AVC-Intra50\*1、AVC-Intra100\*1のときは、IEEE1394インターフェースからの入出力はできません。
- リモート制御される機器で、制御されるために必要な処理がある場合は、EVENTボタンを押す前に処理を完了させておいてください。

\*1 AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)装着時

## 外部リモート制御中の表示

外部リモート制御中は、EVENTランプが点灯し、以下の表示を行います。

- 外部機器のステータス状態でLEDが点灯
- 外部機器のカウンタを表示
- 強制的にEEとなり外部機器の映像と音声を表示可能
- スーパー表示にて外部機器のカウンタ、ステータス、Pマークを表示

#### ◆NOTE:

1394入力選択のときは、自機がSTILLになっている場合、STOP状態にしたのちEEモードとなります。

## リモート操作方法

各制御ボタンを押すことで外部機器をリモート制御します。

STOP	STOP コマンド送信
PLAY	PLAY コマンド送信
STILL	STILL +0.0 コマンド送信
REW	REW コマンド送信
FF	FF コマンド送信
ダイヤル	SHTL or JOG コマンド送信
COUNTER*1	COUNTER 切替のコマンド送信 (CTL/TCのみ)
RESET*1	CTL モード時に0リセットコマンド送信

\*1 RS-422Aを用いる場合のみ

## カードへの自動記録

### RS-422Aを用いる場合

IN/OUT 点を設定しその区間を自動的にカードに記録する (AUTO CAPTURE) ことができます。

#### 1 外部機器を制御できる状態にする

THUMBNAIL ボタン、PLAYLIST ボタンが消灯状態で、EVENT ボタンを押します。

#### 2 取り込みたい区間を選択する

• 次のボタンを使用し、取り込みたい区間を選択します。

IN+ENTRY	IN 点の登録
IN+RESET	IN 点の削除
OUT+ENTRY	OUT 点の登録
OUT+RESET	OUT 点の削除
IN+GOTO	IN 点へのCUE-UP コマンド送信
OUT+GOTO	OUT 点へのCUE-UP コマンド送信
IN	IN 点の確認(カウンタへの表示)
OUT	OUT 点の確認(カウンタへの表示)
IN+OUT	DUR の確認(カウンタへの表示)

#### 3 SHIFT ボタンを押しながら REC ボタンを押す

- 指定した区間が自動的にカードへ記録されます。
- 動作中はEVENT ボタンが点滅します。
- IN 点が登録されていない場合は、現在点をIN 点として登録します。
- OUT 点まで記録した後自動的に停止します。  
OUT 点が登録されていない場合はSTOP ボタンを押した点までを記録します

### IEEE1394インターフェースを用いる場合

現在点から再生した映像と音声をカードに記録することができます。

#### 1 外部機器を制御できる状態にする

THUMBNAIL ボタン、PLAYLIST ボタンが消灯状態でSHIFT ボタンを押しながらEVENT ボタンを押します。

#### 2 取り込み開始位置を選択する

- PLAY ボタン、STILL ボタンなどの制御ボタンを操作し、取り込み開始したい部分を探します。

#### 3 SHIFT ボタンを押しながら REC ボタンを押す

- 外部機器を再生し、記録を開始します。
- 記録を終了するには、STOP ボタンを押します。

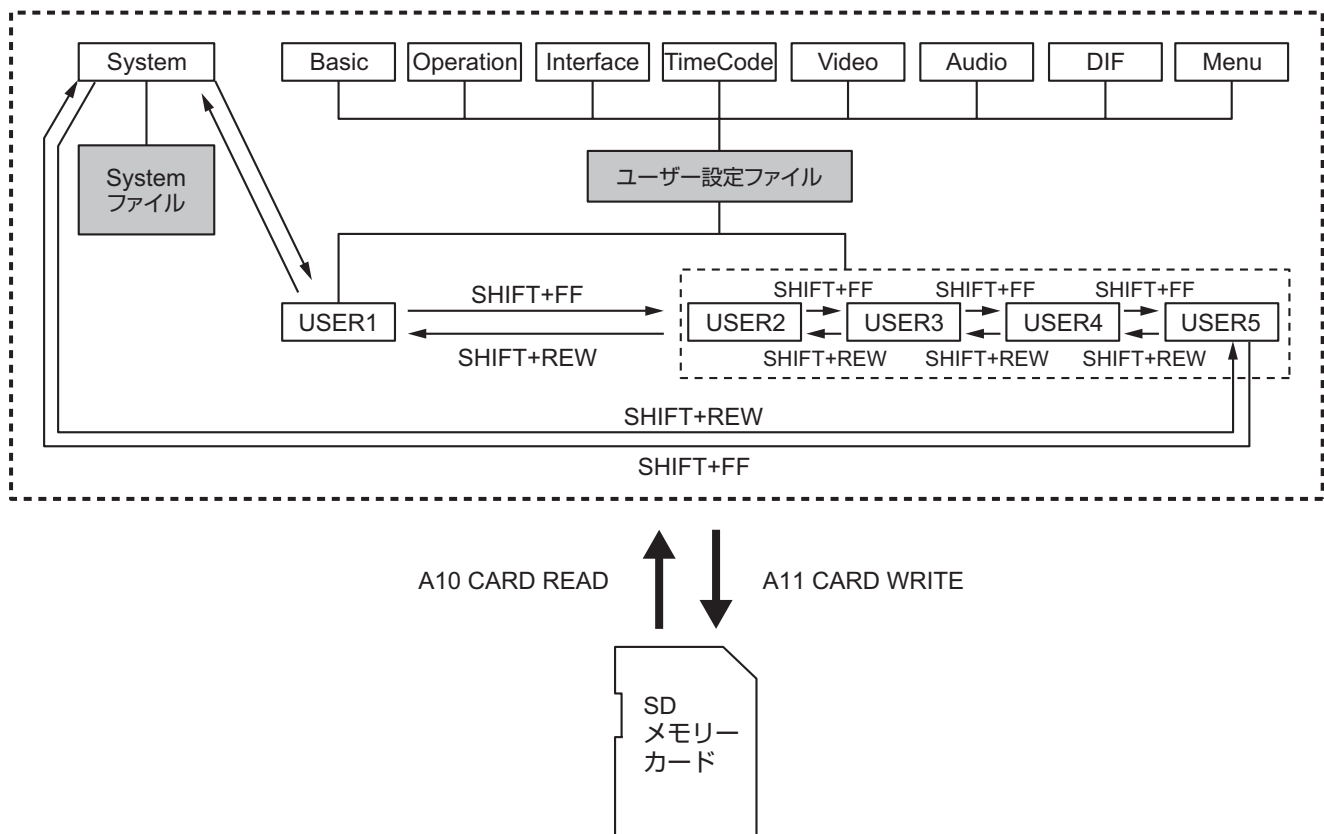
#### ◆NOTE:

- 記録開始の精度は、接続する外部機器により異なります。

# セットアップ

## 本機の設定について

本機の設定項目は、SYSTEM、BASIC、OPERATION、INTERFACE、TIME CODE、VIDEO、AUDIO、DIF、MENUに分かれています。このうち、SYSTEMの設定項目の設定値はSYSTEMファイルに保存されます。また、それ以外の設定項目は、ユーザー設定ファイルに保存できます。ユーザー設定ファイルは、USER1～USER5の5つまで保存できます。これらの設定値はSDメモリーカードへも書き出しや読み込み(4ファイル)をすることができます。



5つのユーザーファイルを持つことができ、それぞれ異なったメニュー設定の中からいずれかを選択して使用することができます。

必要に応じて設定値を変更できます。  
→「変更の操作」(次ページ)を参照。

変更後、USER1の内容をUSER2～USER5へセーブ(複写)することができます。  
→「セットアップメニューNo.A01(SAVE)」(126ページ)を参照。

セットアップメニューの設定をSDメモリーカードに保存、および読み込むことができます。  
→「セットアップメニューNo.A10(CARD READ)、A11(CARD WRITE)」(126ページ)を参照。

### 電源を入れたときのユーザー設定ファイルの自動ロードについて

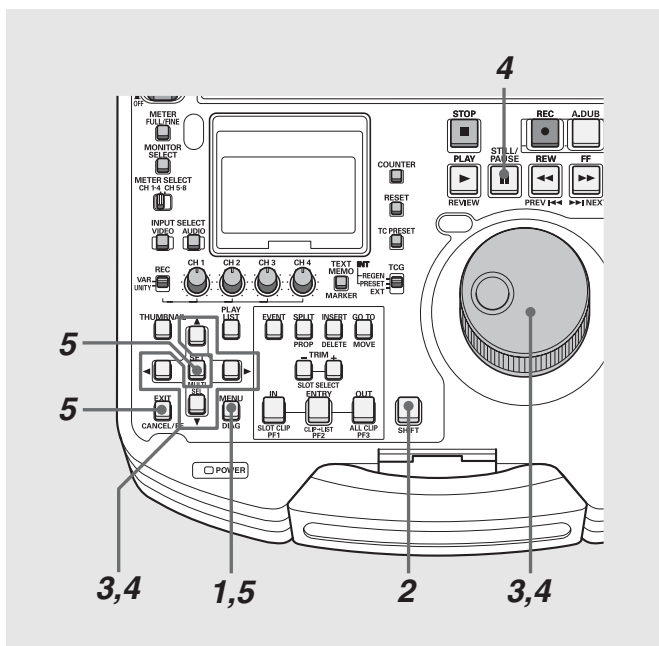
電源を入れたときに、USER1へロードするユーザー設定ファイルを指定しておくことができます。また、前回の設定をそのまま使用するように設定することもできます。

→「セットアップメニューNo.A02(P.ON LOAD)」(126ページ)を参照。

# 設定の変更

設定の変更は、液晶モニターまたはANALOG COMPOSITE MONITOR OUT端子に接続したモニター(液晶モニター右側のSUPER スイッチが「ON」のとき)の画面にメニューを表示して行います。

## 変更の操作



### 1 MENUボタンを押す

液晶モニターにセットアップメニューの画面が表示され、カウンター表示部にセットアップメニューの項目No.が表示されます。

### 2 変更対象ファイルを選ぶ

SHIFTボタンを押しながらFF▶▶ボタンまたは、REW◀◀ボタンを押すと、次のファイルまたは、前のファイルに切り替わります。

### 3 変更項目を選ぶ

サーチダイヤルを回すか、または上(▲)下(▼)ボタンを押して、カーソル(\*)を変更する項目に移動します。

- サーチダイヤルは、なるべくJOGモードで使用してください。
- 右に回すと項目No.が001→002→003→004→のように増加し、左に回すと減少します。
- PLAY▶▶ボタンを押しながらFF▶▶ボタンまたは、+ボタンを押すと次の項目に、PLAY▶▶ボタンを押しながらREW◀◀ボタンまたは-ボタンを押すと、前の項目に切り替わります。

### 4 設定値を変更する

変更する項目で、STILL / PAUSE◻◻ボタンを押しながらサーチダイヤルを回すか、または、左(◀)右(▶)ボタンを押し、設定値を変更します。

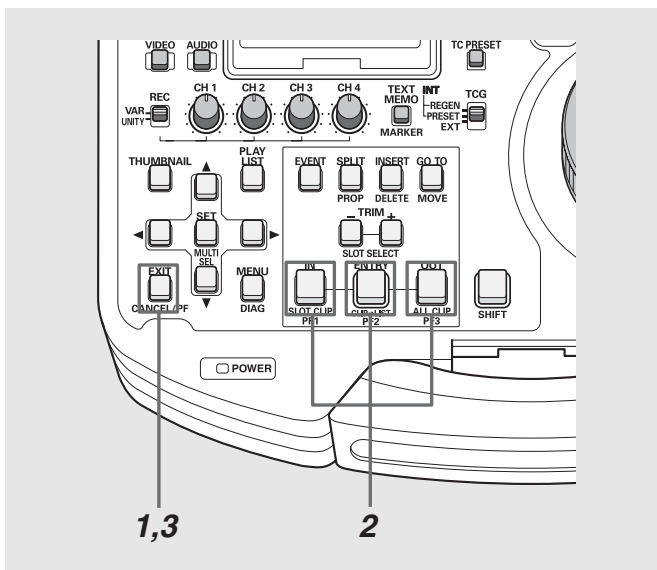
- ダイヤルを右に回す(または右▶ボタンを押す)と設定No.が増加し、左に回す(または左◀ボタンを押す)と減少します。
- 変更後は、STILL / PAUSEボタンを放します。
- サーチダイヤルがSHTLモードのときは、中央位置にしないと項目が移動します。
- 他に変更する項目があるときは、手順3～4を繰り返します。

### 5 変更を確定する

MENUボタンを押します。

確認メッセージが表示されますので、変更するときはSETボタン、キャンセルするときはEXITボタンを押すと、MENUが閉じて変更が終了します。

## PFボタンによる変更



変更頻度の高い項目を3つまでPFボタンに割り当てておき、PFボタンを押して設定値をすばやく変更できます。あらかじめPFボタンに設定項目を割り当てておき、次の操作で設定値を変更します。

→PFボタンへの設定項目の割り当ては、「セットアップメニューNo.A04～A06(PF1 ASSIGN～PF3 ASSIGN)」(126ページ)を参照。

- 1 PF(EXIT)ボタンを押す**  
登録されている項目が液晶モニターに表示されます。
- 2 設定を変更する項目に対応するPFボタン(1～3)を押す**  
ボタンを押すたびに設定値が更新されます。
- 3 PF(EXIT)ボタンを押して設定変更を終了する**

### ◆NOTE:

- 約5秒間何も操作しないと、自動的に変更操作が終了します。
- サムネールモード/プレイリストモード中は、PFボタンは無効です。

## ロックによるユーザー設定ファイルの保護

システムファイルおよびユーザー設定ファイル(USER2～USER5)が誤って変更されないように、ロックすることができます。

→システムファイルのロックの設定および解除は、「セットアップメニューNo.30(MENU LOCK)」(106ページ)を参照。

→ユーザーファイルのロックの設定および解除は、「セットアップメニューNo. A03(MENU LOCK)」(126ページ)を参照。

### ◆NOTE:

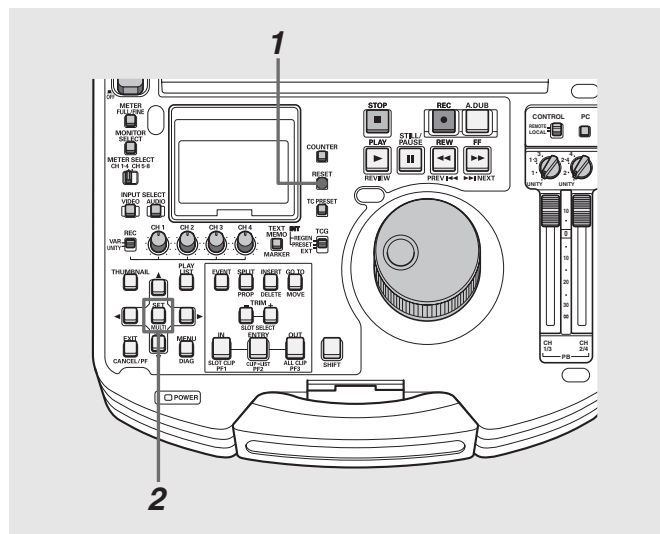
- ロックされている場合でも、SDメモリーカードからの設定の読み込みを行うことができます。読み込み後のロックの状態は、読み込んだ設定にしたがいます。

## 工場出荷時の設定(初期設定)に戻すには

メニューが表示されているときに、画面に表示されているユーザー設定ファイルの内容を工場出荷時の設定に戻すことができます。

### ◆NOTE:

- 画面に表示されているユーザー設定ファイルの内容が工場出荷時の設定に戻ります。他のユーザー設定ファイルには影響を与えません。
- システムファイルが画面に表示されているとき、システムの項目内容は、工場出荷時の設定に戻りません。その他の項目は戻ります。
- MENU LOCKのときは工場出荷時の設定には戻りません。MENU LOCKをOFFにしてください。



- 1 メニューが表示されているときに RESET ボタンを押す**
- 2 SETボタンを押す**



# 各項目の設定内容

## SYSTEM

アナログコンポーネント(HD)出力、アナログコンポジット出力、音声出力の位相調整、システム周波数、HD出力のSD REF入力に対する位相、システムファイルのロックの設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
12	SYS H(HD)	0000   <u>1375</u>   2750	-1375   <u>0</u>   1375	<p>アナログコンポーネント(HD)出力およびHD SDI出力のシステム位相を調整します(13.5nsステップ)。 -: 位相を進める +: 位相を遅らせる</p> <p><b>NOTE:</b> この項目は、工場出荷時の設定に戻す操作を行っても設定値に戻すことはできません。ただし、項目を点滅させている状態でRESETボタンを押すと設定値は戻ります。</p>
14	SYS SC(SD)	0000   <u>0128</u>   0255	-128   <u>0</u>   127	<p><b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 25Hz 60-25Hz</b> のみ アナログコンポジット出力およびSD SDI出力のシステム位相を調整します(トータル可変範囲 ±180°)。</p> <p><b>NOTE:</b> この項目は、工場出荷時の設定に戻す操作を行っても、設定値に戻すことはできません。ただし、項目を点滅させている状態でRESETボタンを押すと設定値は戻ります。</p>
15	SYS H(SD)	0000   <u>0864</u>   1728	-864   <u>0</u>   864	<p><b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 25Hz 60-25Hz</b> のみ アナログコンポジット出力およびSD SDI出力のシステム位相を調整します(37nsステップ)。 -: 位相を進める +: 位相を遅らせる</p> <p><b>NOTE:</b> この項目は、工場出荷時の設定に戻す操作を行っても、設定値に戻すことはできません。ただし、項目を点滅させている状態でRESETボタンを押すと設定値は戻ります。</p>
18	SCH COAR(SD)	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>0</u> 90 180 270	<p><b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 25Hz 60-25Hz</b> のみ アナログコンポジット出力のSCH位相を調整します(90° 毎の4ポジション)。 SC位相が変化し、H位相は変化しません。</p>
19	SCH FINE(SD)	0000   <u>0032</u>   0064	-32   <u>0</u>   32	<p><b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 25Hz 60-25Hz</b> のみ アナログコンポジット出力のSCH位相を調整します(トータル可変範囲 ±45° 以上)。 SC位相が変化し、H位相は変化しません。 No.18 SCH COAR(SD)と合わせて±180° をカバーします。</p>
20	AV PHASE	0000   <u>0128</u>   0255	-128   <u>0</u>   127	<p>映像出力に対する音声出力の位相を調整します(20.8μsステップ)。 -: 映像出力に対して、音声出力の位相を進める +: 映像出力に対して、音声出力の位相を遅らせる</p>

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
25	SYSTEM FREQ	<u>0000</u>	<u>59.94</u>	システム周波数を設定します。 0: 59.94Hz 1: 50Hz 2: 23.98Hz 3: 24Hz 4: 29.97Hz 5: 23.98Hz 入力は59.94Hzで受け付けます。Varicam: AJ-HDC27シリーズ、AJ-HPX2100、AJ-HPX3000などから出力される2:3プルダウンされた24フレームの信号を記録する場合には選択します。 6: 24Hz 入力は60Hzで受け付けます。Varicam: AJ-HDC27シリーズなどから出力される2:3プルダウンされた24フレームの信号を記録する場合には選択します。 7: 25Hz 8: 25Hz 入力は60Hzで受け付けます。Varicam: AJ-HDC27シリーズのバリアブルフレームレートを25pに設定した出力信号を記録する場合には選択します。 <b>NOTE:</b> ・この項目の設定を変更しただけでは、メニュー項目が点滅するだけで、設定内容が本機に反映されません。設定内容を本機に反映するためには、一度、電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。 ・2: 23.98Hz、3: 24HzはAVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)装着時のみ設定できます。
		0001	50	
		0002	23.98	
		0003	24	
		0004	29.97	
		0005	59-23	
		0006	60-24	
		0007	25	
		0008	60-25	
26	HD SYS H ADV	<u>0000</u>	<u>90H</u>	<b>59.94Hz 29.97Hz</b> のみ SD REF入力時に、HD出力をSD REF入力に対して、90H位相を進ませるかどうかを設定します。 0: SD REFと同位相で出力 1: HD出力はSD REF出力より90H進んだ位相で出力 <b>NOTE:</b> ・オーディオ出力およびタイムコード出力は、HD出力と同位相で出力します。 ・720pのときは、120Hの位相差となります。
		0001	90H	
30	MENU LOCK	<u>0000</u>	<u>OFF</u>	システムファイルのロックモードの設定/解除を行います。 0: ロック解除(変更可能) 1: ロック設定(変更禁止)

## BASIC

「REMOTE」のときにキーパネルで操作できるボタン、CTLカウンター表示の12 / 24時制表示の切り替え、スーパー表示、スーパーやセットアップメニューなどの文字の表示、記録フォーマット、プレイリストに追加できるフォーマット、内蔵時計の時刻の設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
001	LOCAL ENA	0000 <u>0001</u> 0002	DIS <u>STOP</u> ENA	REMOTE / LOCALスイッチが「REMOTE」のときに、キーパネルで操作できるボタンを制限します。 0: すべて不可 1: STOPボタンのみ可能 2: すべて可能
002	CTL DISP	<u>0000</u> 0001	± <u>12h</u> 24h	CTLカウンター表示の12 / 24時間表示を切り替えます。 0: 12時間表示 1: 24時間表示
003	REMAIN SEL	0000 0001 <u>0002</u> 0003	OFF 2L <u>1L</u> R/TTL	VIDEO MON端子および液晶パネルのスーパー表示に、残量時間および総量を表示するかどうかを設定します。 0: 表示しない 1: 2行目にメディア残量時間を表示 2: 1行目にメディア残量時間を表示 3: 1行目にメディア残量時間、2行目にメディア総量を表示 <b>NOTE:</b> ・ 2L選択時、セットアップメニューNo.006 DISPLAY SELがTIMEに設定されているときは表示されません。 ・ R / TTL選択時、セットアップメニューNo.006 DISPLAY SELがTIMEに設定されているときは、総量は表示しません。 ・ セットアップメニューNo.041 LOOP RECがONに設定されているときは、OFF選択時以外は2行目に残量時間を表示します。 ・ セットアップメニューNo.040 VFR RECがONに設定されているときは、OFF選択時以外は2行目に残量時間を表示します。 ・ セットアップメニューNo.693 GAMMA SELがOFF以外に設定されているときは、OFF選択時以外は2行目に残量時間を表示します。
006	DISPLAY SEL	0000 <u>0001</u> 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008 0009	TIME <u>T&amp;STA</u> T&S&M T&RT T&YMD T&MDY T&DMY T&UB T&CTL T&T	VIDEO MON端子および液晶パネルのスーパー表示内容を設定します。 ここで、データとはCOUNTERボタンで選択されているCTL / TC / UBの値のことを指します。 0: データのみ 1: データ・動作状態 2: データ・動作状態・モード 3: データ・REC TIME 4: データ・REC DATE(年月日) 5: データ・REC DATE(月日年) 6: データ・REC DATE(日月年) 7: データ・ユーザーズビット ただし、COUNTERボタンでUBを選択しているときは、ユーザーズビットの次にタイムコードが表示される。 8: データ・CTL ただし、COUNTERボタンでCTLを選択しているときは、CTLデータの次にタイムコードが表示される。 9: データ・タイムコード <b>NOTE:</b> T&S&Mに設定したときは、ワーニングやエラーが発生するとエラーメッセージがスーパー表示されます。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
007	CHARA H-POS	0000   <u>0004</u>   0016	0   <u>4</u>   16	VIDEO MON端子および液晶パネルのスーパー表示の水平方向文字位置を設定します。
008	CHARA V-POS	59.94Hz、23.98Hz、 24Hz、29.97Hz、59- 23Hz、60-24Hz設定時 0000   <u>0020</u>   0022	0   <u>20</u>   22	VIDEO MON端子および液晶パネルのスーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。
		50Hz、25Hz、60-25Hz 設定時 0000   <u>0022</u>   0028	0   <u>22</u>   28	
009	CHARA TYPE	<u>0000</u> 0001	<u>WHITE</u> W/OUT	VIDEO MON端子および液晶パネルのスーパーや、セットアップメニューなどの表示タイプを設定します。 0: 白文字を、黒のベタ塗りの背景で表示 1: 白文字を、黒の縁取りで表示
020	SYS FORMAT	59.94Hz設定時 <u>0000</u> 0001 0002	<u>1080i</u> 720p 480i	<b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 59-23Hz 25Hz</b> のみ 本機の記録フォーマットを設定します。 0: 1080iモード(59.94Hz、50Hz設定時)/1080pモード(29.97Hz、59-23Hz、25Hz設定時) 1: 720pモード 2: 480iモード(59.94Hz設定時)/576iモード(50Hz設定時) <b>NOTE:</b> ・AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)が装着されていないとき、セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQで29.97、59-23、25に設定されていると表示されません。記録フォーマットは720pとなります。 ・セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQで23.98、24が選択されている場合は表示されません。記録フォーマットは1080pとなります。 ・セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQで60-24、60-25が選択されている場合は表示されません。記録フォーマットは720pとなります。
		50Hz設定時 <u>0000</u> 0001 0002	<u>1080i</u> 720p 576i	
		29.97Hz、25Hz、 59-23Hz設定時 <u>0000</u> 0001	<u>1080p</u> 720p	
024	REC FMT(SD)	<u>0000</u> 0001 0002	<u>50M</u> 25M DV	<b>59.94Hz 50Hz</b> のみ セットアップメニューNo.020 SYS FORMATが480iまたは576iに設定されているときの記録フォーマットを設定します。 0: DVCPRO50(50Mbps) 1: DVCPRO(25Mbps) 2: DV(25Mbps)
025	REC FMT(HD)	<u>0000</u> 0001 0002	<u>DVCPRO</u> AVC50 AVC100	セットアップメニューNo.020 SYS FORMATが1080iまたは720pに設定されている場合の記録フォーマットを選択します。 0: DVCPRO HD(100Mbps) 1: AVC-Intra50 2: AVC-Intra100 <b>NOTE:</b> ・AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)装着時のみ表示します。 ・セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQで23.98、24が選択されている場合は、DVCPROは選択できません。また、セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQで29.97、25、59-23が選択されていて、セットアップメニューNo.020 SYS FORMATで1080pが選択されている場合はDVCPROに設定してもDVCPRO HDで記録できません。AVC-Intra記録となります。

■ 記録フォーマットの対応表

セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQ、No.020 SYS FORMAT、No.025 REC FMTの設定と記録フォーマットの対応は、下表の通りです。

各セットアップメニュー設定		記録フォーマット	
No.25: SYSTEM FREQ	No.020: SYS FORMAT	No.025: REC FMT(HD)	
		DVCPRO	AVC-Intra50/100
59.94	1080i	1080/59.94i	1080/59.94i
	720p	720/59.94p	720/59.94p
	480i	480/59.94i	---
50	1080i	1080/50i	1080/50i
	720p	720/50p	720/50p
	576i	576/50i	---
23.98	---	---	1080/23.98p
24	---	---	1080/23.98p
29.97	1080p	---	1080/29.97p
	720p	720/29.97p	720/29.97p
25	1080p	---	1080/25p
	720p	720/25p	720/25p
59-23	1080p	---	1080/23.98p
	720p	720/23.98p	720/23.98p
60-24	---	720/23.98p	720/23.98p
60-25	---	720/25p	720/25p

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
026	PLY LST FMT	59.94Hz設定時		<p><b>59.94Hz 50Hz</b> のみ</p> <p>プレイリストで使用するフォーマットを設定します。</p> <p>&lt; DVCPRO HDフォーマット時&gt;</p> <p>0: セットアップメニューNo.020 SYS FORMATおよびNo.025 REC FMT(HD)で設定されたフォーマット</p> <p>1: 720/30PN(59.94Hz設定時)/ 720/25PN(50Hz設定時)</p> <p>2: 720/24PN</p> <p>&lt; AVC-Intraフォーマット時&gt;</p> <p>0: セットアップメニューNo.020 SYS FORMATおよびNo.025 REC FMT(HD)で設定されたフォーマット</p> <p>1: 1080/30PN(59.94Hz設定時)/ 1080/25PN(50Hz設定時)または720/30PN(59.94Hz設定時)/ 720/25PN(50Hz設定時)</p> <p>2: 1080/24PNまたは720/24PN</p> <p><b>NOTE:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ セットアップメニューNo.020 SYS FORMAT = 480iまたは576i設定時には、30PN、24PNを選択してもSYSFMT設定となります。</li> <li>・ AVC-Intraフォーマット時の有効ライン数は、メニューNo.020 SYS FORMATに従います。</li> <li>・ セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQで59.94、50以外が選択されている場合は、セットアップメニューNo.020 SYS FORMATおよびNo.025 REC FMT(HD)で設定されたフォーマットに従います。</li> </ul>
		<u>0000</u>	<u>SYSFMT</u>	
		0001	30PN	
		0002	24PN	
		50Hz設定時		
<u>0000</u>	<u>SYSFMT</u>			
0001	25PN			

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
032	REC REF	<u>0000</u> 0001	<u>NORMAL</u> SLTC	<p><b>59.94Hz</b> のみ</p> <p>記録する映像フレームを同期させるリファレンスを選択します。</p> <p>0:入力されている映像信号のフレームを自動判別してリファレンスにします。</p> <p>1:HD SDI入力端子に入力されているタイムコードからフレームを判別してリファレンスにします。</p> <p><b>NOTE:</b></p> <p>SLTCを選択したとき、この項目の設定を有効にするためには、下記の設定が必要になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQ:59.94</li> <li>・セットアップメニューNo.020 SYS FORMAT:720p</li> <li>・キーパネルのINPUT SELECTボタン:SDI</li> </ul>
040	VFR REC	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	<p><b>59.23Hz 60-24Hz 29.97Hz 60-25Hz</b> のみ</p> <p>記録フォーマットが720pの場合にVFR記録をするかどうかを選択します。</p> <p>0: VFR記録をしない</p> <p>1: VFR記録をする</p>
041	LOOP REC	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	<p>LOOP RECを行うかどうかを選択します。</p> <p>→「LOOP REC機能」(29ページ)を参照。</p> <p>0: LOOP RECを行わない</p> <p>1: LOOP RECを行う</p> <p><b>NOTE:</b></p> <p>電源をOFFにすると、次回電源投入時は初期値(OFF)に戻ります。</p>
050	P.ON GUI	0000 <u>0001</u>	OFF <u>THUMB</u>	<p>電源を入れたときにサムネール画面を表示するかどうかを設定します。</p> <p>0: 表示しない</p> <p>1: 表示する</p>
069	CLOCK SET			<p>内蔵時計の時刻を合わせます。</p> <p><b>NOTE:</b></p> <p>STOPまたはSETボタンを押すとサブ画面に移ります。サブ画面で日時を変更後、SETボタンを押すと時計に日付が設定されます。日付設定しないでサブ画面から戻るには、再度STOPまたはEXITボタンを押します。</p>

サブ画面				
00	YEAR	0000   0030	2000   2030	年を設定します。
01	MONTH	0001   0012	JAN   DEC	<p>月を設定します。</p> <p><b>NOTE:</b></p> <p>2、4、6、9、11月の設定で存在しない日を設定したときは、翌月の1日として設定されます。</p>
02	DAY	0001   0031	1   31	<p>日を設定します。</p> <p><b>NOTE:</b></p> <p>2、4、6、9、11月の設定で存在しない日を設定したときは、翌月の1日として設定されます。</p>
03	HOURL	0000   0023	0   23	<p>時間を設定します。</p> <p>24時間制で設定してください。</p>
04	MINUTE	0000   0059	0   59	分を設定します。

05	TIME ZONE	0000	00:00	年月日時分を設定した場所の世界標準時からの差を設定します。 次の表を参考に、設定してください。
		0001	+00:30	
		<u>0018</u>	<u>+09:00</u>	
		0027	-12:00	
		0050	-00:30	

時差	地域
00:00	グリニッジ
+00:30	
+01:00	中央ヨーロッパ
+01:30	
+02:00	東ヨーロッパ
+02:30	
+03:00	モスクワ
+03:30	テヘラン
+04:00	アブダビ
+04:30	カブール
+05:00	イスラマバード
+05:30	ボンベイ
+06:00	ダッカ
+06:30	ラングーン
+07:00	バンコク
+07:30	
+08:00	北京
+08:30	
+09:00	東京
+09:30	ダーウィン諸島
+10:00	グアム
+10:30	ロード・ハウ・アイランド
+11:00	ソロモン諸島
+11:30	ノーフォーク諸島
+12:00	ニュージーランド
+12:45	チャタム諸島
+13:00	
-12:00	クワジャリン

時差	地域
-11:30	
-11:00	ミッドウェイ諸島
-10:30	
-10:00	ハワイ
-09:30	マルケサス諸島
-09:00	アラスカ
-08:30	
-08:00	ロスアンジェルス
-07:30	
-07:00	デンバー
-06:30	
-06:00	シカゴ
-05:30	
-05:00	ニューヨーク
-04:30	
-04:00	ハリファックス
-03:30	ニューファンドランド島
-03:00	ブエノスアイレス
-02:30	
-02:00	中部大西洋
-01:30	
-01:00	アゾレス諸島
-00:30	

◆NOTE:

- 時計精度は、電源OFF状態で月差約±30秒程度です。
- 正確な時刻を必要とするときは、電源がONのときに、時刻確認、再設定を行ってください。

## OPERATION

サーチダイヤル操作への移行方法、シャトル動作の最大速度、FF、REW動作の最大速度、NEXT、PREVシーク動作、REF. VIDEOが接続されていないときのワーニング表示、PLAYの立ち上がり時間、バッテリーの種類、電圧低下時にワーニングや電源OFFを行う電圧の設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
100	SEARCH ENA	<u>0000</u> 0001	<u>DIAL</u> KEY	サーチモード(サーチダイヤル操作)への移行方法を設定します。 0: STILLボタンを押すか、サーチダイヤルを操作したとき移行 1: STILLボタンを押したとき移行
101	SHTL MAX	0000 <u>0001</u> 0002 0003 0004	×8 × <u>16</u> ×32 ×60 ×100	シャトル動作の最大速度を設定します。 0: ×8倍速 1: ×16倍速 2: ×32倍速 3: ×60倍速 4: ×100倍速
102	FF.REW MAX	<u>0000</u> 0001 0002 0003	× <u>32</u> ×60 ×100 SEEK	FF、REW動作の最大速度を設定します。 0: ×32倍速 1: ×60倍速 2: ×100倍速 3: クリップの先頭へのシーク動作 <b>NOTE:</b> ・ SEEK選択時も9P、1394からのFFおよびREWコマンドに対しては、×100倍速のFF、REW動作となります。ただし、メニューNo.202 ID SEL が ORIG に設定されているときは、9PからのFFおよびREWコマンドでシーク動作となります。サムネール画面ではカーソルが左右に移動します。 ・ シーク動作は、再生モード時に有効となります。
103	SEEK SEL	<u>0000</u> 0001	<u>CLIP</u> CLIP&T	NEXT (SHIFT+FF)、PREV (SHIFT+REW) シーク動作で移動する位置を選択します。 0: クリップの先頭 1: クリップの先頭、およびテキストメモの設定点 <b>NOTE:</b> 本設定はFF、REW操作時は有効となりません。
104	REF ALARM	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	REF. VIDEOが接続されていないときにワーニング表示するかどうかを選択します。 0: 表示しない 1: STOPランプを点滅させることでワーニング表示する
108	PLAY DELAY	<u>0000</u>   0015	<u>0</u>   15	PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。
122	STOP EE SEL	<u>0000</u> 0001	<u>EE</u> PB	STOP時にEEモードにするか再生モードにするかを設定します。 0: EEモード 1: 再生モード <b>NOTE:</b> IEEE1394信号入力設定時はこのメニューにかかわらずEEモードとなります。



項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
155	AUTO REC	<u>0000</u> 0001 0002	<u>OFF</u> TYPE1 TYPE2	<p>弊社カメラレコーダーからのHD SDI入力信号のRecording Markに従って、自動的に記録／停止を行うかどうかを選択します。</p> <p>0: 自動的に記録／停止を行いません。</p> <p>1: HD SDIに付加されているLTC情報内のRecording Markに従って自動的に記録／停止を行います。</p> <p>2: HD SDIに付加されているSVITC情報内のRecording Markに従って自動的に記録／停止を行います。</p> <p><b>NOTE:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CONTROLスイッチはREMOTEの位置にしてください。TYPE1、またはTYPE2の選択は、次ページ「弊社カメラレコーダー、記録フォーマットとRecording Mark」を参照してください。</li> <li>TYPE1またはTYPE2を選択し、自動記録を開始するには、RECボタンとSTILLボタンを同時に押して本機をREC PAUSE状態にしてください。REC PAUSE状態以外では動作しません。また、自動停止を受け付けた後は、REC PAUSE状態になります。</li> <li>通常操作で本機が記録状態にあるときには、本設定は無効となり、自動停止しません。</li> </ul>
160	REPEAT PLAY	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	<p>再生のときに、リピート再生を行うかどうかを設定します。</p> <p>0: リピート再生をしません。最終クリップで再生を停止します。</p> <p>1: リピート再生をします。最終クリップを再生後に先頭のクリップから再生を続けます。</p> <p><b>NOTE:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PLAYLISTボタン点灯時およびTEXTMEMOの再生時は、リピート再生を行いません。</li> <li>リピート再生中にP2カードを抜くと、存在しなくなったクリップの再生に到達した時点で再生を中止します。</li> <li>リピート再生中にP2カードを挿入しても、再生を停止して再度リピート再生を実施するまで、追加されたクリップは再生されません。</li> </ul>
180	BATTERY SEL	<u>0000</u> 0001 0002 0003 0004 0005 0006	<u>NiCd12</u> NiCd13 NiCd14 S-LION I-LION TYPE-A TYPE-B	<p>バッテリーの種類を設定します。</p> <p>0: 12V系バッテリー1個用の設定 (NEAR: 11.2V, END: 10.6V)</p> <p>1: 13V系バッテリー1個用の設定 (NEAR: 12.0V, END: 10.6V)</p> <p>2: 14V系バッテリー1個用の設定 (NEAR: 13.6V, END: 10.6V)</p> <p>3: リチウムイオンバッテリー“BP-L90A”1個用の設定 (NEAR: 11.0V, END: 10.6V)</p> <p>4: リチウムイオンバッテリー“ENDURA80”1個用の設定 (NEAR: 13.4V, END: 12.4V)</p> <p>5: メニューNo.181 TYPE-A NEAR項目とNo.182 TYPE-A END項目で設定したバッテリー</p> <p>6: メニューNo.183 TYPE-B NEAR項目とNo.184 TYPE-B END項目で設定したバッテリー</p>
181	TYPE-A NEAR	0000   <u>0023</u>   0044	10.6   <u>12.9</u>   15.0	<p>メニューNo.180 BATTERY SEL項目で選択したTYPE-Aとして使用するバッテリーの電圧が低下して、ワーニング情報としてカウンター表示を点滅させるときの電圧を設定します (0.1Vステップ)。</p> <p><b>NOTE:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この項目の設定を15.0V付近にした場合、AC電源を使用しているときでもカウンター表示が点滅することがあります。</li> <li>ENDより小さくなるような設定はできません。</li> </ul>
182	TYPE-A END	0000   <u>0018</u>   0034	10.6   <u>12.4</u>   14.0	<p>メニューNo.180 BATTERY SEL項目で選択したTYPE-Aとして使用するバッテリーの電圧が低下して、本機の電源を自動的にOFFにするときの電圧を設定します (0.1Vステップ)。</p> <p><b>NOTE:</b></p> <p>NEARより大きくなるような設定はできません。</p>
183	TYPE-B NEAR	0000   <u>0023</u>   0044	10.6   <u>12.9</u>   15.0	<p>メニューNo.180 BATTERY SEL項目で選択したTYPE-Bとして使用するバッテリーの電圧が低下して、ワーニング情報としてカウンター表示を点滅させるときの電圧を設定します (0.1Vステップ)。</p> <p><b>NOTE:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この項目の設定を15.0V付近にした場合、AC電源を使用しているときでもカウンター表示が点滅することがあります。</li> <li>ENDより小さくなるような設定はできません。</li> </ul>

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
184	TYPE-B END	0000   <u>0018</u>   0034	10.6   <u>12.4</u>   14.0	メニューNo.180 BATTERY SEL項目で選択したTYPE-Bとして使用するバッテリーの電圧が低下して、本機の電源を自動的にOFFにするときの電圧を設定します(0.1Vステップ)。 <b>NOTE:</b> NEARより大きくなるような設定はできません。

#### 弊社カメラレコーダー、記録フォーマットとRecording Mark

機種	記録フォーマット	Recording Mark TYPE	備考
AJ-HDC27F, H	720/**p over 60p	TYPE1	
AJ-HDX400,A	1080/59.94i	— *1	TYPE1 / TYPE2への切り替えが可能です。 操作方法は、弊社カメラレコーダーの取扱説明書を参照してください。
AJ-HDX400E	1080/50i	— *1	
	1080/25p over 50i	— *1	
AJ-HDX900	720/59.94p	TYPE1	
	720/23.98p over 59.94p	TYPE1	
	720/29.97p over 59.94p	TYPE1	
	1080/59.94i	— *1	
	1080/23.98p over 59.94i	TYPE2	
	1080/29.97p over 59.94i	— *1	
	1080/50i	— *1	
	1080/25p over 50i	— *1	
	720/50p	TYPE1	
720/50p over 50p	TYPE1		
AG-HPX555 AJ-HPX2100 AJ-HPX3000	720/**p  1080/**i	TYPE1, 2  TYPE2	

\*1:初期設定の状態では、HD SDI信号にRecording Mark は重畳されていません。

## INTERFACE

コントローラーに返すID情報の設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
202	ID SEL	0000 <u>0001</u> 0002	OTHER <u>DVCPRO</u> ORIG	コントローラーに返すID情報を設定します。 0: OTHER 1: DVCPRO 2: ORIG <b>NOTE:</b> ・「OTHER」にはDVCPRO以外のVTRのID情報を設定しています。 ・「ORIG」は特定のパナソニック製のコントローラー(AJ-A850など、別売品)との接続時のみ設定してください。 ・「ORIG」に設定したときは、サムネールからの再生中に9PリモートからのSTOPコマンドでSTILL (SHTL +0.0)になります。また、STANDBY OFFコマンドでSTOPモードとなり、サムネールに戻ります。

## TIME CODE

タイムコードの設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
500	VITC BLANK	0000 <u>0001</u>	BLANK <u>THRU</u>	<p><b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 25Hz</b> のみ</p> <p>再生時、メニューNo.501 VITC POS-1とNo.502 VITC POS-2で指定した位置にVITC信号を出力するかどうかを設定します。</p> <p>0: 出力しない 1: 出力する</p> <p><b>NOTE:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この設定は、アナログコンポジット出力およびSD SDI出力にのみ有効です。</li> <li>EE時は、入力信号に多重されたVITC信号がそのまま出力されます。</li> </ul>
501	VITC POS-1	59.94Hz, 29.97Hz 設定時		<p><b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 25Hz</b> のみ</p> <p>VITC信号の挿入位置を設定します。</p> <p><b>NOTE:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メニューNo.502 VITC POS-2と同じラインは選択できません。</li> <li>この設定は、アナログコンポジット出力およびSD SDI出力にのみ有効です</li> </ul>
		0000   <u>0006</u>   0010	10L   <u>16L</u>   20L	
		50Hz, 25Hz設定時		
		0000   <u>0004</u>   0015	7L   <u>11L</u>   22L	
502	VITC POS-2	59.94Hz, 29.97Hz 設定時		<p><b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 25Hz</b> のみ</p> <p>VITC信号の挿入位置を設定します。</p> <p><b>NOTE:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メニューNo.501 VITC POS-1と同じラインは選択できません。</li> <li>本設定は、アナログコンポジット出力およびSD SDI出力にのみ有効です。</li> </ul>
		0000   <u>0008</u>   0010	10L   <u>18L</u>   20L	
		50Hz, 25Hz設定時		
		0000   <u>0006</u>   0015	7L   <u>13L</u>   22L	
504	RUN MODE	<u>0000</u> 0001	<u>REC</u> FREE	<p>内蔵タイムコードジェネレーターが歩進する動作モードを設定します。</p> <p>0: 記録中のみ歩進 1: 電源がONの間、動作モードに関係なく歩進</p> <p><b>NOTE:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メニューNo.040 VFR RECがONに設定されている場合は、FREEが選択されていても記録中のみ歩進します。</li> </ul>
505	TCG REGEN	<u>0000</u> 0001 0002	<u>TC&amp;UB</u> TC UB	<p>TCG(タイムコードジェネレーター)がリジェネモードのとき、リジェネする信号を設定します。</p> <p>0: タイムコード、ユーザズビット共にリジェネ 1: タイムコードのみリジェネ 2: ユーザズビットのみリジェネ</p>

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
507	EXT TC SEL	<u>0000</u> 0001 0002	<u>EXT L</u> SLTC SVITC	<p><b>59.94Hz 50Hz</b> のみ</p> <p>外部タイムコードを用いるときに使用するタイムコードを設定します。</p> <p>0: TIME CODE IN端子のLTC 1: HD SDI INに入力されたシリアル信号に付加されているLTC情報 2: HD SDI INに入力されたシリアル信号に付加されているVITC情報</p> <p><b>NOTE:</b> SLTC、SVITC設定時、入力信号としてアナログコンポジットまたはSD SDIが選択されているときは、入力ビデオ信号のVITCを使用します。また、入力信号として1394が選択されているときは、設定にかかわらずIEEE1394デジタル入力信号のタイムコードを使用します。</p>
508	BINARY GP	<u>0000</u> 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007	<u>000</u> 001 010 011 100 101 110 111	<p>TCGで発生するタイムコードのユーザービットの使用状態を設定します。</p> <p>0: NOT SPECIFIED(キャラクターセットを指定しない) 1: ISO CHARACTER(ISO646、ISO2022に準拠した8bitキャラクターセット) 2: UNASSIGNED1(未定義) 3: UNASSIGNED2(未定義) 4: UNASSIGNED3(未定義) 5: PAGE / LINE 6: UNASSIGNED4(未定義) 7: UNASSIGNED5(未定義)</p>
509	PHASE CORR	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	<p><b>59.94Hz 50Hz</b> のみ</p> <p>TIME CODE OUT端子から出力されるLTC出力の位相補正コントロールを行うかどうかを設定します。</p> <p>0: 位相補正コントロールは行わない 1: 位相補正コントロールを行う</p>
510	TCG CF FLAG	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	<p><b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 25Hz 60-25Hz</b> のみ</p> <p>TCGのCFフラグを設定します。</p> <p>0: OFFにする 1: ONにする</p>
511	DF MODE	<u>0000</u> 0001	<u>DE</u> NDF	<p><b>59.94Hz 29.97Hz</b> のみ</p> <p>CTLおよびTCGのDF/NDFモードを設定します。</p> <p>0: ドロップフレームモードを使用 1: ノンドロップフレームモードを使用</p>
512	TC OUT REF	<u>0000</u> 0001	<u>YOUT</u> TC_IN	<p><b>59.94Hz 50Hz</b> のみ</p> <p>TC INT / EXTスイッチが「EXT」のとき、外部LTC入力に対してTIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードの位相の切り替え方を設定します(EEモード時のみ)。</p> <p>0: 出力映像に合わせる 1: 外部タイムコード入力に合わせる</p>
513	VITC OUT	<u>0000</u> 0001	<u>SBC</u> VAUX	<p>SD出力ビデオ信号に重畳するVITCの出力方法を設定します。</p> <p>0: SBC領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力 1: VAUX領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力</p> <p><b>NOTE:</b> ・入力ビデオ信号より検出されたVITC情報は、映像が記録されるときに自動的にVAUX領域に記録されます。</p>
514	HD EMBD VITC	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	<p>HD SDI出力にVITC情報を重畳するかしないかを設定します。</p> <p>0: 重畳しない 1: 重畳する</p>
515	HD EMBD LTC	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	<p>HD SDI出力にLTC情報を重畳するかしないかを設定します。</p> <p>0: 重畳しない 1: 重畳する</p>

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
518	VITC GEN	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	<p><b>59.94Hz 50Hz</b> のみ</p> <p>内部タイムコードジェネレーターの値を、VAUX領域へ記録するかどうかを設定します。</p> <p>0: 内部タイムコードジェネレーター値を記録しない 入力ビデオ信号にタイムコードが重畳されているときは、その値を記録する</p> <p>1: 内部タイムコードジェネレーター値を記録する</p> <p><b>NOTE:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入力信号として1394が選択されているときは、本メニューの設定に関係なく、入力圧縮信号に多重されたタイムコードがそのまま記録されます。</li> <li>メニューNO.25 SYSTEM FREQで23.98、24、29.97、59-23、60-24、25、60-25が選択されているときは、VAUX領域のタイムコードは内部タイムコードジェネレーター値が記録され、ユーザーズビットはフレームレート情報が記録されます。</li> </ul>
519	UB OUT SEL	0000 <u>0001</u>	SBC <u>F_RATE</u>	<p><b>59.94Hz 50Hz</b> のみ</p> <p>フォーマットが720 / 24PN、720 / 30PN、720 / 25PNのクリップ、およびAVC-Intra(オプション)の1080/24PN、30PN、25PNのクリップを再生するときに、TIME CODE OUT端子およびHD SDI端子から出力されるLTC情報上のユーザーズビット、IEEE1394端子から出力されるSBC領域のユーザーズビット(DVCPRO HDのみ)を選択します。</p> <p>0: SBC領域に記録されたユーザーズビットをそのまま出力します。</p> <p>1: VAUX領域に記録されたユーザーズビットをフレームレート情報として出力します。</p>

**用語説明**

SBC(Sub Code Data)領域: P2カード上の映像および音声データ領域とは別に存在する領域で、SMPTE / EBUに準拠したタイムコード、記録日時などの情報が格納されます。

VAUX(Video Auxiliary Data)領域: P2カード上の映像データ内に存在する領域で、映像データに関連する付加情報が格納されます。

**VIDEO**

ビデオに関する設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
601	VIDEO INT SG	<u>0000</u> 0001 0002 0003 0004	<u>100%CB</u> 75%CB SMPTE ARIB BLACK	<p>内蔵信号の種類を設定します。SMPTE、ARIB信号は、HDモードのみ有効(SDモード時はブラック)です。</p> <p>0: 100%カラーバー 1: 75%カラーバー 2: SMPTEカラーバー 3: ARIBカラーバー 4: ブラック</p>
602	SDI IN MODE	<u>0000</u> 0001	<u>DR OFF</u> DR ON	<p><b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 59-23Hz 60-24Hz 25Hz 60-25Hz</b> のみ</p> <p>HD SDI入力の処理方法を設定します。(DVCPRO HDモードのみ有効)</p> <p>0: 下位2ビットを四捨五入した上位8ビットを記録 1: ダイナミックラウンディングをかけた上位8ビット信号を記録</p> <p><b>NOTE:</b></p> <p>SD SDI入力ときは、常に下位2ビットを四捨五入した上位8ビット信号が記録されます。</p>

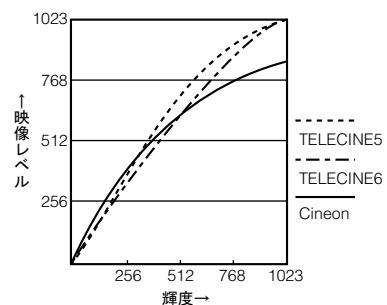
項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
620	DOWNCON MODE	<u>0000</u> 0001 0002	<u>CROP</u> LT-BOX SQUEEZ	<b>59.94Hz 50Hz 23.98Hz 29.97Hz 59-23Hz 25Hz</b> <b>60-25Hz</b> のみ ダウンコンバーター出力時のアスペクト比を選択します。 0: 垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は維持。) 1: 水平軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は維持。) 2: 水平と垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は歪むおそれがあります。)
621	UPCONV MODE	<u>0000</u> 0001 0002	<u>S-PANL</u> CROP STRECH	<b>59.94Hz 50Hz 23.98Hz 29.97Hz 59-23Hz 25Hz</b> <b>60-25Hz</b> のみ アップコンバーター出力時のアスペクト比を選択します。 0: 垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は維持。) 1: 水平軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は維持。) 2: 水平と垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は歪むおそれがあります。)
626	D / C ENH H	0000 <u>0001</u>	0dB <u>+1dB</u>	<b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 25Hz 60-25Hz</b> のみ ダウンコンバート時の水平方向の輪郭を強調するかどうかを設定します。 0: 0dB 1: +1dB
627	D / C ENH V	0000 <u>0001</u>	0dB <u>+1dB</u>	<b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 25Hz 60-25Hz</b> のみ ダウンコンバート時の垂直方向の輪郭を強調するかどうかを設定します。 0: 0dB 1: +1dB
643	OUT MODE SEL	59.94Hz, 29.97Hz 設定時 <u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>AUTO</u> 1080i 720p 480i	<b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 25Hz 60-25Hz</b> のみ ビデオ出力端子から出力される映像信号を設定します。 0: 現在の記録、再生フォーマットに従って自動的に出力を切り替える 1: 1080 / 59.94iまたは1080 / 50i 2: 720 / 59.94Pまたは720 / 50P 3: 480 / 59.94iまたは576 / 50i <b>NOTE:</b> AUTO以外を選択したとき、記録・再生フォーマットと異なる信号は自動的に変換して出力されます。
		50Hz, 25Hz, 60-25Hz設定時 <u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>AUTO</u> 1080i 720p 576i	
645	WIDE SELECT	0001 <u>0002</u>	WIDE <u>NORMAL</u>	<b>59.94Hz 50Hz</b> のみ メニューNo.020 SYS FORMAT = 480iまたは576i設定時、WIDE情報を記録するかどうかを設定します。 1: 記録する 2: 記録しない <b>NOTE:</b> 入力信号に1394を選択したときは、入力情報がそのまま記録されます。
650	STYLE	0000 <u>0001</u>	CMPNT <u>CMPST</u>	レベル調整モードを設定します。 0: コンポーネントスタイルのレベル調整モード 1: コンポジットスタイルのレベル調整モード
651	HUE STYLE(SD)	0000 <u>0001</u>	Pb-Pr <u>U-V</u>	<b>59.94Hz 23.98Hz 24Hz 29.97Hz 59-23Hz 60-24Hz</b> のみ クロマ位相調整の回転軸を設定します。 0: SDI(コンポーネントスタイル)のベクトルスコープ上で正円に回転 1: アナログ(コンポジットスタイル)のベクトルスコープ上で正円に回転 <b>NOTE:</b> メニューNo.25 SYSTEM FREQを50に設定しているときは、表示されません。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
653	Y LVL (HD)	0000   <u>1000</u>   1413	0.0%   <u>100.0%</u>   141.3%	HD SDIおよびHDアナログコンポーネント出力のYレベルを調整します(−∞~0dB~+3dB)。 <b>NOTE:</b> メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
654	Pb LVL (HD)	0000   <u>1000</u>   1413	0.0%   <u>100.0%</u>   141.3%	HD SDIおよびHDアナログコンポーネント出力のPBレベルを調整します(−∞~0dB~+3dB)。 <b>NOTE:</b> メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
655	Pr LVL (HD)	0000   <u>1000</u>   1413	0.0%   <u>100.0%</u>   141.3%	HD SDIおよびHDアナログコンポーネント出力のPRレベルを調整します(−∞~0dB~+3dB)。 <b>NOTE:</b> メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
656	BK LVL (HD)	0050   <u>0150</u>   0250	−10.0%   <u>0.0%</u>   +10.0%	HD SDIおよびHDアナログコンポーネント出力のブラックレベルを調整します。 <b>NOTE:</b> メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
658	Y LVL (SD)	0000   <u>1000</u>   1413	0.00%   <u>100.00%</u>   141.30%	<b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 25Hz 60-25Hz</b> のみ SD SDIおよびアナログコンジット出力のYレベルを調整します(−∞~0dB~+3dB)。 <b>NOTE:</b> メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
659	Pb LVL (SD)	0000   <u>1000</u>   1413	0.0%   <u>100.0%</u>   141.3%	<b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 25Hz 60-25Hz</b> のみ SD SDIおよびアナログコンジット出力のPBレベルを調整します(−∞~0dB~+3dB)。 <b>NOTE:</b> メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
660	Pr LVL (SD)	0000   <u>1000</u>   1413	0.0%   <u>100.0%</u>   141.3%	<b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 25Hz 60-25Hz</b> のみ SD SDIおよびアナログコンジット出力のPRレベルを調整します(−∞~0dB~+3dB)。 <b>NOTE:</b> メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
661	BK LVL (SD)	0050   <u>0150</u>   0250	−10.0%   <u>0.0%</u>   +10.0%	<b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 25Hz 60-25Hz</b> のみ SD SDIおよびアナログコンジット出力のブラックレベルを調整します。 <b>NOTE:</b> メニューNo.650 STYLEがCMPNTに設定されているときに有効となります。
662	V LEVEL	0000   <u>1000</u>   2000	0.0%   <u>100.0%</u>   200.0%	ビデオ出力レベルを調整します(−∞~0dB~+6dB)。 <b>NOTE:</b> ・メニューNo.650 STYLEがCMPSTに設定されているときに有効となります。 ・ビデオ出力レベルの調整は、出力系でのみ有効となります。
663	C LEVEL	0000   <u>1000</u>   1413	0.0%   <u>100.0%</u>   141.3%	クロマレベルの調整を行います(−∞~0dB~+3dB)。 <b>NOTE:</b> ・メニューNo.650 STYLEがCMPSTに設定されているときに有効となります。 ・クロマレベルの調整は、出力系でのみ有効となります。
664	HUE / C PHASE	0000   <u>0062</u>   0124	−31.0   <u>0.0</u>   31.0	クロマ位相を調整します(約−30° ~+30° )。 <b>NOTE:</b> ・メニューNo.650 STYLEがCMPSTに設定されているときに有効となります。 ・クロマ位相レベルの調整は、出力系でのみ有効となります。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
665	SETUP / BK LVL	0050   <u>0150</u>   0250	-10.0%   <u>0.0%</u>   +10.0%	セットアップレベルの調整を行います。 <b>NOTE:</b> ・メニューNo.650 STYLEがCMPSTに設定されているときに有効となります。 ・セットアップレベルの調整は、出力系でのみ有効になります。
673	CONTRAST	0000   <u>0030</u>   0060	-30   <u>0</u>   30	液晶モニターのコントラストを調整します。
676	BLK CLIP	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	<b>59.94Hz 50Hz 23.98Hz 29.97Hz 59-23Hz 25Hz</b> <b>60-25Hz</b> のみ SD SDIおよびアナログコンポジット出力のY(輝度)信号に対して、ペDESTAL以下の信号をクリップするかどうかを設定します。 0: クリップしない 1: クリップする
677	LCD ASPECT	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>AUTO</u> 4:3 16:9 15:9	液晶パネルに表示する映像のアスペクト比を設定します。 0: 自動的にアスペクト比を切り替える 1: 480iまたは576iの映像をアスペクト比4:3で表示(1080iまたは720pの映像はアスペクト比16:9で表示します) 2: アスペクト比16:9で表示 3: アスペクト比15:9で表示 <b>NOTE:</b> 本機の液晶モニターサイズは15:9であるため、AUTOまたは16:9設定時には上下に黒みが表示されます。
680	CC (F1) BLANK	0000 <u>0001</u>	BLANK <u>THRU</u>	<b>59.94Hz</b> のみ SD SDIおよびアナログコンポジット出力から出力される第1フィールドのクローズドキャプション信号のON / OFFを設定します。 0: 強制ブランキングする 1: ブランキングしない <b>NOTE:</b> ・EE時は入力信号に多重されたクローズドキャプションがそのまま出力されます。
681	CC (F2) BLANK	0000 <u>0001</u>	BLANK <u>THRU</u>	<b>59.94Hz</b> のみ 再生時のSD SDIおよびアナログコンポジット出力から出力される第2フィールドのクローズドキャプション信号のON / OFFを設定します。 0: 強制ブランキングする 1: ブランキングしない <b>NOTE:</b> ・EE時は入力信号に多重されたクローズドキャプションがそのまま出力されます。
684	EDH(SD)	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	<b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 25Hz 60-25Hz</b> のみ SDI OUTにEDHを重畳するかどうかを設定します。 0: 重畳しない 1: 重畳する
685	ESR MODE(SD)	0000 <u>0001</u>	OFF <u>AUTO</u>	<b>59.94Hz 29.97Hz</b> のみ 再生回路におけるエッジサブキャリアリダクション(ESR)の動作モードを設定します。 0: 強制的にOFFにする 1: 動作モードに応じて自動的にON / OFFを行う



項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
688	CC REC	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	<p><b>59.94Hz</b> のみ</p> <p>SD SDIおよびアナログコンポジット入力信号に多重されたクローズドキャプション信号を記録するかどうかを設定します。</p> <p>0: 記録しない EE出力もブランキングされる</p> <p>1: 入力信号にクローズドキャプション信号が多重されているときに記録する</p> <p><b>NOTE:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入力信号として1394が選択されているときは、本メニューの設定に関係なく、入力圧縮信号に多重されたクローズドキャプションデータがそのまま記録されます。</li> </ul>
689	COMP MODE	<u>0000</u> 0001	<u>NORMAL</u> DARK	<p><b>59.94Hz 50Hz 29.97Hz 59-23Hz 60-24Hz 25Hz 60-25Hz</b> のみ</p> <p>記録時に行う映像の圧縮処理方法を選択します。</p> <p>0: 通常の圧縮処理で記録します。</p> <p>1: 約10IRE(70mV)以下の暗い部分に発生する圧縮映像ひずみを少なくして記録します。</p> <p><b>NOTE</b></p> <p>本設定は、DVCPRO HD720pモードで記録する場合に有効になります。</p>
690	UMID REC	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	<p>UMID情報を記録するかどうかを設定します。</p> <p>0: 記録しない</p> <p>1: 記録する</p>
691	UMID GEN	0000 <u>0001</u>	INT <u>EXT</u>	<p>メニューNo.690 UMID RECがON設定時、記録するUMID情報の生成方法を設定します。</p> <p>0: 常に新規生成したUMID情報を記録する</p> <p>1: 入力信号に多重されたUMID情報を記録する</p> <p>入力信号に多重されていないときは、新規生成したUMID情報を記録する</p>
692	UMID POS	0000 0001 : <u>0006</u> : 0008	BLANK 12L : <u>17L</u> : 19L	<p>UMID情報を多重するラインを設定します。</p> <p><b>NOTE:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セットアップメニューNo.501(VITC POS-1)、No.502(VITC POS-2)と同じラインは選択できません。</li> <li>SHIFTボタンを押しながらRESETボタンを押しても、工場出荷設定に戻りません。</li> <li>記録されたVANCデータに対しては、UMID情報は優先して出力されます。VANCデータを出力するときは、UMID POSを元の多重していたライン以外に設定するか、"BLANK"を選択してください。</li> <li>DVCPRO HDのネイティブクリップの再生時は、UMIDはNO-INFOとなります。</li> </ul>
693	GAMMA SEL	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>OFF</u> GAMMA1 GAMMA2 GAMMA3	<p>ガンマ補正の選択を行います。</p> <p>0: ガンマ補正を行わない</p> <p>1: VaricamやAJ-HPX3000のFILM RECモードで撮影された映像をフィルム質感の映像に補正します。(AJ-GBX27HDガンマコレクターのTELECINE 5に相当)</p> <p>2: VaricamやAJ-HPX3000のFILM RECモードで撮影された映像をフィルム質感の映像に補正します。(AJ-GBX27HDガンマコレクターのTELECINE 6に相当)</p> <p>3: VaricamやAJ-HPX3000のFILM RECモードで撮影された映像をフィルムレコーディングに適したCineonカーブに変換します。</p> <p><b>NOTE:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本設定は、再生時に有効になります。</li> <li>OFF以外を選択した場合、スーパーにGAMMAが常時表示されます。</li> <li>本機の電源をOFFにすると、このGAMMA設定もOFFに戻ります。</li> <li>1394出力には、この項目は効果がありません。</li> </ul>



## AUDIO

音声に関する設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
701	CH1 IN LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ入力(CH1)の基準レベルを設定します。
702	CH2 IN LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ入力(CH2)の基準レベルを設定します。
703	CH3 IN LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ入力(CH3)の基準レベルを設定します。
704	CH4 IN LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ入力(CH4)の基準レベルを設定します。
706	CH1 OUT LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ出力(CH1)の基準レベルを設定します。
707	CH2 OUT LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ出力(CH2)の基準レベルを設定します。
708	CH3 OUT LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ出力(CH3)の基準レベルを設定します。
709	CH4 OUT LV	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>4dB</u> 0dB -3dB -20dB	オーディオ出力(CH4)の基準レベルを設定します。
725	REC CH1	<u>0000</u> 0001 0002 0003 0004 0005	<u>CH1</u> CH2 CH3 CH4 CH1+2 CH3+4	オーディオのCH1に記録する入力を設定します。 0: オーディオ入力のCH1 1: オーディオ入力のCH2 2: オーディオ入力のCH3 3: オーディオ入力のCH4 4: オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 5: オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
726	REC CH2	0000 <u>0001</u> 0002 0003 0004 0005	CH1 <u>CH2</u> CH3 CH4 CH1+2 CH3+4	オーディオのCH2に記録する入力を設定します。 0: オーディオ入力のCH1 1: オーディオ入力のCH2 2: オーディオ入力のCH3 3: オーディオ入力のCH4 4: オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 5: オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
727	REC CH3	0000 0001 <u>0002</u> 0003 0004 0005	CH1 CH2 <u>CH3</u> CH4 CH1+2 CH3+4	オーディオのCH3に記録する入力を設定します。 0:オーディオ入力のCH1 1:オーディオ入力のCH2 2:オーディオ入力のCH3 3:オーディオ入力のCH4 4:オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 5:オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
728	REC CH4	0000 0001 0002 <u>0003</u> 0004 0005	CH1 CH2 CH3 <u>CH4</u> CH1+2 CH3+4	オーディオのCH4に記録する入力を設定します。 0:オーディオ入力のCH1 1:オーディオ入力のCH2 2:オーディオ入力のCH3 3:オーディオ入力のCH4 4:オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号 5:オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
731	PB FADE	<u>0000</u> 0001	<u>AUTO</u> CUT	再生時に、クリップとクリップの間、プレイリストおよびエディットコピーで作成したクリップの編集点で行うオーディオ処理を設定します。 0:記録時の状態に従う(→「音声Vフェード機能」(135ページ)を参照。) 1:強制カット <b>NOTE:</b> IEEE1394端子の出力はAUTO設定でも強制的にカットで出力されます。
732	EMBEDDED AUD	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	HD SDI出力とSD SDI出力にオーディオデータを重畳するかどうかを設定します。 0:重畳しない 1:重畳する
775	25M REC CH	<u>0000</u> 0001	<u>2CH</u> 4CH	<b>59.94Hz</b> <b>50Hz</b> のみ DVCPRO(25Mbps)またはDV(25Mbps)を記録する場合のオーディオのチャンネル数を設定します。 0:2チャンネル記録する 1:4チャンネル記録する <b>NOTE:</b> DVCPRO HD、AVC-Intra50、AVC-Intra100(オプション)では常に8チャンネルを、DVCPRO50では常に4チャンネルを記録します。
776	REF LEVEL	<u>0000</u> 0001 0002	<u>FS-20</u> FS-18 FS-12	基準レベルを設定します。 0: -20dB 1: -18dB 2: -12dB
777	CH2 MIC PWR	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	CH2のマイク電源のON/OFFを設定します。 0:マイク電源を供給しない。 1:ジャックのスイッチによりマイク電源のON / OFFを行う
778	AUD OUT DLY	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	<b>23.98Hz</b> <b>24Hz</b> <b>59-23Hz</b> <b>60-24Hz</b> のみ アナログオーディオ出力(ヘッドフォン、モニター出力も含む)の出力タイミングをSDI出力に合わせて遅延させるかどうかを設定します。 0:遅延しない 出力は液晶パネル、モニター出力にタイミングを合わせます。 1:遅延する 出力はSDIにタイミングを合わせます。 <b>NOTE:</b> SDIに対して、液晶パネル、ビデオモニター出力は約66msec早く出力されます。
785	PB MIX	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	アナログ、SDIオーディオ出力の出力音声のMIXを設定します。 <b>NOTE:</b> STOPまたはSETボタンを押すとサブ画面に移行して、各チャンネルの出力音声にミックスするチャンネルを設定できます。サブ画面から戻るには、再度STOPまたはSETボタンを押します。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
サブ画面				
01	PB CH1	<u>0000</u> 0001 0002	<u>CH1</u> CH1+2 CH1+3	CH1に出力する再生チャンネルを設定します。
02	PB CH2	<u>0000</u> 0001 0002	<u>CH2</u> CH1+2 CH2+4	CH2に出力する再生チャンネルを設定します。
03	PB CH3	<u>0000</u> 0001 0002	<u>CH3</u> CH3+4 CH1+3	CH3に出力する再生チャンネルを設定します。
04	PB CH4	<u>0000</u> 0001 0002	<u>CH4</u> CH3+4 CH2+4	CH4に出力する再生チャンネルを設定します。
790	VOL SEL	<u>0000</u> 0001	<u>CH1-4</u> CH1-8	記録レベルボリュームの動作を設定します。 0: CH1~4のみ可変とし、CH5~8はUNITYレベルとする 1: CH1~4の可変に加えて、CH1~4のボリュームに連動してCH5~8も可変とする
792	A DUB CH	0000 <u>0001</u> 0002 0003 0004 0005	CH1 <u>CH2</u> CH3 CH4 CH1+2 CH3+4	オーディオ追加記録するトラックを設定します。
793	A DUB PB MIX	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	<b>59.94Hz 50Hz 23.98Hz 29.97Hz 59-23Hz 25Hz</b> <b>60-25Hz</b> のみ オーディオ追加記録をするときに、再生音をミックスするかどうかを設定します。 0: ミックスしない 1: 入力と再生音をミックスして記録する <b>NOTE</b> STOPまたはSETボタンを押すと、サブ画面に移行してミックスするチャンネルを選択できます。サブ画面から戻るには、再度STOPまたはSETボタンを押します。
サブ画面				
01	CH1 MIX	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>CH1</u> CH2 CH3 CH4	CH1にミックス記録する再生チャンネルを設定します。
02	CH2 MIX	0000 <u>0001</u> 0002 0003	CH1 <u>CH2</u> CH3 CH4	CH2にミックス記録する再生チャンネルを設定します。
03	CH3 MIX	0000 0001 <u>0002</u> 0003	CH1 CH2 <u>CH3</u> CH4	CH3にミックス記録する再生チャンネルを設定します。
04	CH4 MIX	0000 0001 0002 <u>0003</u>	CH1 CH2 CH3 <u>CH4</u>	CH4にミックス記録する再生チャンネルを設定します。
796	A DUB FADE	0000 <u>0001</u>	CUT <u>FADE</u>	オーディオ追加記録をするときのIN/OUT点の音の処理を選択します。 0: カット処理 1: Vフェード処理
797	A DUB MONI	0000 <u>0001</u>	OFF <u>ON</u>	<b>59.94Hz 50Hz 23.98Hz 29.97Hz 59-23Hz 25Hz</b> <b>60-25Hz</b> のみ オーディオ追加記録実行中の記録音を出力するかどうかを選択します。 0: 出力しない 1: 出力する

## DIF

デジタルビデオインターフェースに関する設定を行います。

※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.	
880	DIF SPEED	0000 0001 <u>0002</u>	S100 S200 <u>S400</u>	<p><b>59.94Hz 50Hz</b> のみ</p> <p>デジタルビデオインターフェース出力の転送速度を設定します。</p> <p>0: 100Mbps 1: 200Mbps 2: 400Mbps</p> <p><b>NOTE:</b> S100を選択したときは、DVCPRO HDフォーマット信号を出力することはできません。</p>
882	DIF IN CH	0000   0063 <u>0064</u>	0   63 <u>AUTO</u>	<p><b>59.94Hz 50Hz</b> のみ</p> <p>入力チャンネルを設定します。</p> <p>0~63: 指定値で固定 64: 指定値で固定しない</p> <p>電源がONのときは、入力チャンネルは63に初期化される</p>
883	DIF OUT CH	0000   0063 <u>0064</u>	0   63 <u>AUTO</u>	<p><b>59.94Hz 50Hz</b> のみ</p> <p>出力チャンネルを設定します。</p> <p>0~63: 指定値で固定 64: 指定値で固定しない</p> <p>電源がONのときは、出力チャンネルは63に初期化される</p>
886	DIF CONFIG	<u>0000</u> 0001   0255	<u>DFLT</u> 1   255	<p><b>59.94Hz 50Hz</b> のみ</p> <p>拡張用のメニューを設定します。</p> <p>通常はDFLTで使用します。</p>
890	DIF AUD OUT	<u>0000</u> 0001	<u>CH1&amp;2</u> CH3&4	<p><b>59.94Hz 50Hz</b> のみ</p> <p>オーディオ信号が4チャンネルモードのDVCPRO(25Mbps)、DVクリップを再生し、出力するときのチャンネルを設定します。</p> <p>0: CH1およびCH2 1: CH3およびCH4</p>

## MENU

メニューに関する設定を行います。

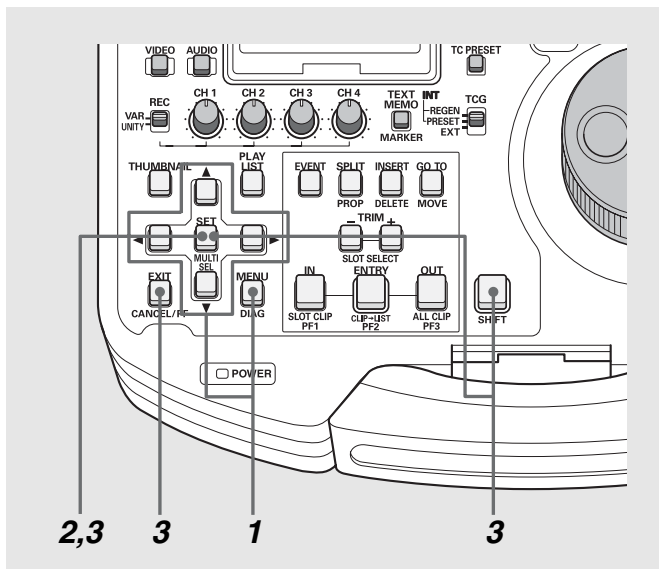
※「設定値」のxxは初期値を表す。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明	備考
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.		
A00	LOAD	<u>0000</u> 0001 0002 0003	<u>USER2</u> USER3 USER4 USER5	<p>USER1へロードするユーザーファイルを設定します。</p> <p>0: USER2の内容をロード 1: USER3の内容をロード 2: USER4の内容をロード 3: USER5の内容をロード</p> <p><b>NOTE:</b> ロード操作を行った後、MENUボタンを押すと確認画面が表示されます。SETボタンを押すと設定値が記憶されます。EXITボタンを押すと設定値は変更されません。</p>	USER1のみ設定可能。

項目		設定値		設定内容および概略機能説明	備考
FR No.	SUPER DISP.	FR No.	SUPER DISP.		
A01	SAVE	<u>0000</u> 0001 0002 0003 0004	<u>USER2</u> USER3 USER4 USER5 LOCKED	<p>USER1の設定をセーブするユーザーファイルを設定します。</p> <p>0: USER2へセーブ 1: USER3へセーブ 2: USER4へセーブ 3: USER5へセーブ 4: すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合に表示します。</p> <p><b>NOTE:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変更禁止に設定されているユーザーファイルは選択できません。</li> <li>・すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合、「LOCKED」表示となりセーブ操作はできません。</li> </ul>	USER1のみ設定可能。
A02	P.ON LOAD	<u>0000</u> 0001 0002 0003 0004	<u>OFF</u> USER2 USER3 USER4 USER5	<p>電源を入れたときに、どのユーザーファイルの内容をUSER1へロードし、USER1の設定で起動するのかを設定します。</p> <p>0: 前回設定したユーザーファイルで起動 1: USER2の内容をUSER1へロードし起動 2: USER3の内容をUSER1へロードし起動 3: USER4の内容をUSER1へロードし起動 4: USER5の内容をUSER1へロードし起動</p>	USER1のみ設定可能。
A03	MENU LOCK	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	<p>ユーザーファイル(USER2~USER5)のロックモードの設定／解除を行います。</p> <p>0: ロック解除(変更可能) 1: ロック設定(変更禁止)</p> <p><b>NOTE:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・USER1のロック設定はできません。</li> <li>・ロックされている場合でもSDメモリーカードからの設定の読み込みを行うことができます。読み込み後のロックの状態は読み込んだ設定にしたがいます。</li> </ul>	USER2~5のみ設定可能。
A04	PF1 ASSIGN			PF1ボタンにセットアップメニューの項目を登録します。	
A05	PF2 ASSIGN			PF2ボタンにセットアップメニューの項目を登録します。	
A06	PF3 ASSIGN			PF3ボタンにセットアップメニューの項目を登録します。	
A10	CARD READ			<p>SDメモリーカード上の4つのファイルから、読み込むファイルを指定し、メニューへ読み込みます。</p> <p>読み込みはSYSTEMを含んだUSER1-5とUSER1-5のみを選択できません。</p>	USER1のみ設定可能。
A11	CARD WRITE			<p>SDメモリーカード上の4つのファイルのうち1つへ、メニューの設定値を書き込みます。</p> <p>書き込みはSYSTEMを含んだUSER1-5すべてに行います。</p> <p>ファイルには、タイトルをつけることができ、編集することができます。</p>	USER1のみ設定可能。
A12	CARD FORMAT			SDメモリーカードをフォーマットします。	USER1のみ設定可能。

## メニューのSDメモリーカードへの保存について

セットアップメニューの設定をSDメモリーカードへ書き出しおよび読み込みをすることができます。メニューファイルは4つまで対応しており、タイトルを入力することもできます。



### CARD READ

**1** メニューボタンを押しセットアップメニューのUSER1からA10 CARD READを選択し、SETボタンを押す

**2** ファイルメニューが表示されるので、読み込みたいファイルを選択し、SETボタンを押す

- 書き込みを行っていないファイルは[NO FILE]と表示されます。
- SDメモリーカードが挿入されていないときは「NO CARD」と表示されます。

```

SETUP-MENU
SD CARD READ
01 FILE1 1080_60I
02 FILE2 720_60P
* 03 FILE3 480_50I
04 NO FILE
END
    
```

**3** 読み込みの確認画面が表示されるので、必要な指示のボタンを押す

SETボタン: SYSTEM設定とUSER1-5の全データの読み込み

SHIFT+SETボタン: USER1-5のみのデータの読み込み

EXIT: 読み込みを行わず前の画面へ戻る

**4** 読み込み中の表示の後、完了メッセージが表示される

```

SETUP-MENU
SD CARD READ
FILE3 480_50I

READ OK
    
```

### CARD WRITE

**1** メニューボタンを押しセットアップメニューのUSER1からA11 CARD WRITEを選択し、SETボタンを押す

**2** ファイルメニューが表示されるので、書き込みたいファイルを選択し、SETボタンを押す

- 書き込みを行っていないファイルは[NO FILE]と表示されます。
- SDメモリーカードが挿入されていないときは「NO CARD」と表示されます。

**3** 書き込みの確認画面が表示されるので、書き込む場合はSETを、書き込みをせず前の場面へ戻る場合はEXITを押す

- 書き込み前にタイトルを編集することができます。タイトル位置でカーソルが点滅しているので、文字を入力します。

▲ ▼(上下カーソル): 文字選択

◀ ▶(左右カーソル): カーソル位置の移動

RESETボタン: 文字をすべてクリア

- 書き込み中の表示の後、完了メッセージが表示されます。

```

SETUP-MENU MENU
SD CARD WRITE
FILE4 TITLE4

SYSTEM+USER → FILE4 OK?

YES<SET>/NO<EXIT>
    
```

## FORMAT

---

**1** メニューボタンを押しセットアップメニューの USER1 から A12 CARD FORMAT を選択し、SET ボタンを押す

**2** フォーマットの確認画面が表示される

- 実行する場合は SET ボタンを押します。
- フォーマットを行わず前へ戻る場合は EXIT ボタンを押します。

**3** フォーマット中の表示の後、完了メッセージが表示される



# タイムコード／ユーザーズビット／CTLについて

## タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレーターによって発生されるタイムコード信号を記録します。タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

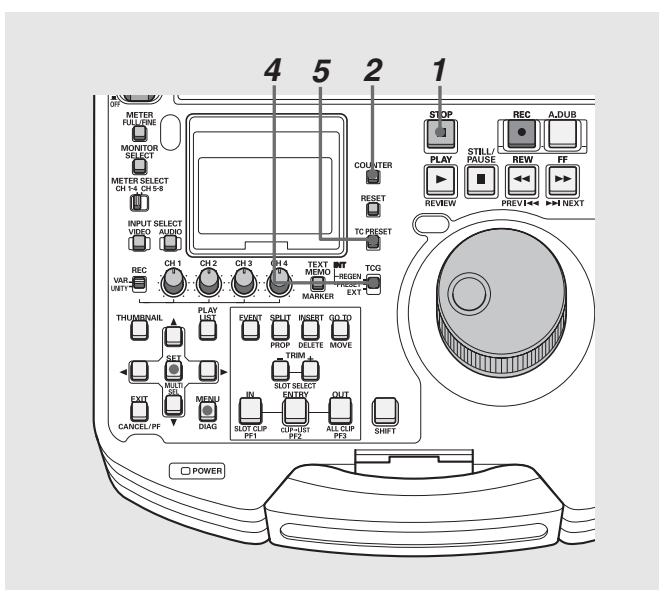
TCR 00 : 07 : 04 : 24

↑ ↑ ↑ ↑  
時 分 秒 フレーム

## ユーザーズビット

ユーザーズビットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット(8桁)の情報枠のことです。オペレーターナンバーなどを記録することができます。ユーザーズビットに使用できる数字(文字)は0~9とABC DEFです。

## 内部タイムコードの設定



### 1 停止モードにする

### 2 COUNTERボタンで[TC]を選択する

### 3 セットアップメニューNo.504 (RUN MODE)でタイムコードジェネレーターの歩進方法を設定する

REC: 記録中のみ歩進させる。

FREE: 動作モードに関係なく歩進させる。

## 4 TCGスイッチでプリセットモードを設定する

INT-REGEN: P2カードに記録された最終タイムコードとのタイムコードの連続性を保つ。

INT-PRESET: TC PRESET ボタンで設定された値から記録を開始する。

EXT: 外部タイムコード入力に従って記録する。

## 5 TC PRESETボタンを使ってタイムコード／ユーザーズビットの開始番号を設定する

### 1. TC PRESETボタンを押す

左端の桁が点滅します。

### 2. 上(▲)、下(▼)ボタンを押すか、または STILL [ ] ボタンを押しながらサーチダイヤルを回して値を変更する

### 3. 左(◀)右(▶)ボタンを押すか、またはサーチダイヤルを回して、設定する桁を選択する

選択された桁が点滅します。

設定範囲は次のとおりです。

タイムコード:	[59.94Hz] [29.97Hz]
	00:00:00:00 - 23:59:59:29
	[50Hz] [25Hz] [60-25Hz]
	00:00:00:00 - 23:59:59:24
	[23.98Hz] [24Hz] [59-23Hz]
	[60-24Hz]
	00:00:00:00 - 23:59:59:23
ユーザーズビット:	00000000 - FF FF FF FF

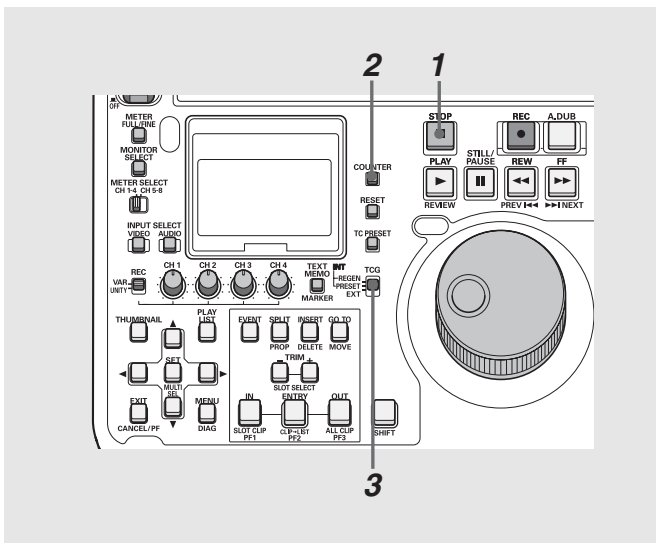
### 4. 手順2~3を繰り返して、値を変更する

RESET ボタンを押すと、プリセット値を0にリセットできます。

### 5. 開始番号の設定終了後、SETボタンを押す

手順3で「FREE」に設定したときには、すぐにタイムコードの歩進が開始します。

## 外部タイムコードの設定



EXT\_L: リアパネルのTIME CODE IN端子(BNC)に入力されるLTC信号が、タイムコードとして記録される。

SVITC: SDI IN(HD)端子に入力されるシリアル信号に付加されるVITC信号が、タイムコードとして記録される。

SLTC: SDI IN(HD)端子に入力されるシリアル信号に付加されるLTC信号が、タイムコードとして記録される。

### ◆NOTE:

- SLTC、SVITC 設定時に、入力信号としてアナログコンポジットまたはSD SDIが選択されているときは、入力ビデオ信号のVITCが記録されます。また入力信号として1394が選択されているときはデジタル入力信号のタイムコードが記録されます。
- 59.94Hz、50Hzモード以外ではセットアップメニューNo.507 EXT TC SELは表示されません。このときSLTC固定となります。
- セットアップメニューNo.040 VFR RECがONに設定されている場合、TCGスイッチに関係なくREC RUNに設定されます。

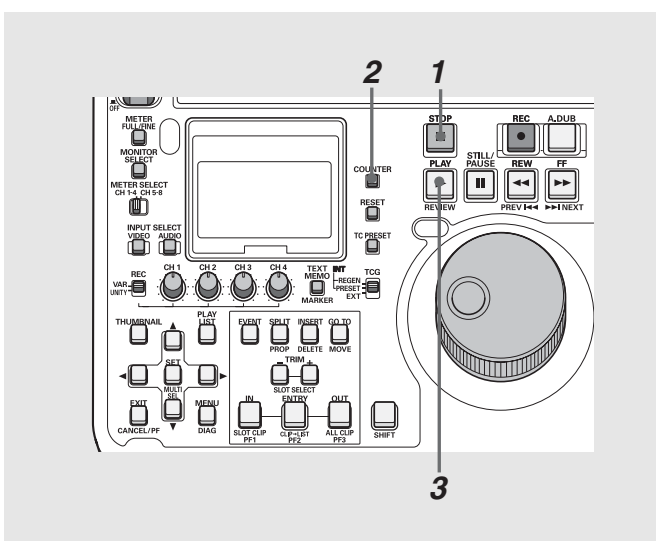
1 停止モードにする

2 COUNTERボタンで[TC]を選択する

3 TCGスイッチの位置を「EXT」にする  
(外部タイムコードの選択)

4 セットアップメニューNo.507(EXT TC SEL)で以下の設定をする

## タイムコード／ユーザーズビットの再生



3 PLAY▶ボタンを押す

再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。

SUPERスイッチの位置が「ON」のとき、液晶モニターにタイムコード値がスーパーインポーズされます。

T \* R 00:01:04:07\*

タイムコード信号が欠如したとき、\*表示になります。

ドロップフレームモードのときは、秒をフレームの間のコロンが「.」になります。

":": 第1、第3フィールド  
"\*": 第2、第4フィールド

1 停止モードにする

2 COUNTERボタンで[TC]または、[UB]を選択する

## ■ 電源供給がないときのタイムコードについて

電源供給がないときもバックアップ機能が働いて、タイムコードジェネレーターは長時間(約1年間)動作を続けます。また、電源供給がないときの精度は、月差約±30秒程度です。

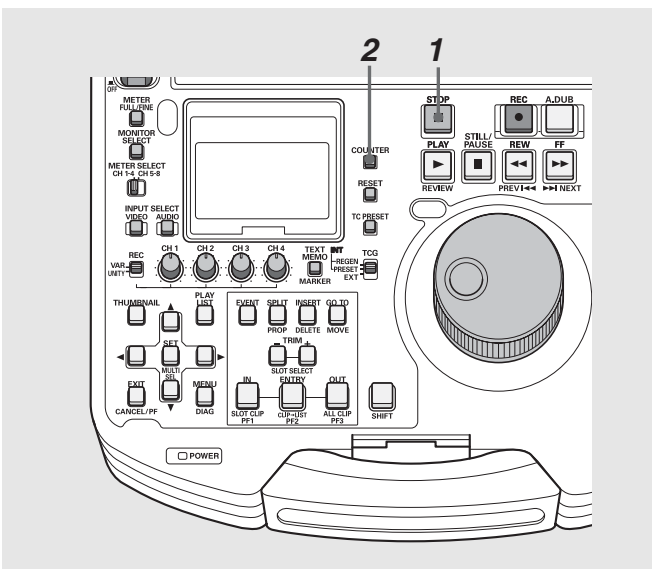
## ◆NOTE:

- ・タイムコードジェネレーターが動作モードに関係なく歩進している下記のとときに、バックアップ機能は働きます。
  - ・フロントパネルのTCGスイッチを「PRESET」に設定し、セットアップメニューNo.504 RUN MODEを「FREE」に設定したとき。
  - ・フロントパネルの TCG スwitchを「EXT」に設定し、セットアップメニューNo.507 EXT TC SELで設定した外部タイムコード入力を、リアパネルの端子から外したとき。
- ・セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQの設定を変更したとき、歩進データはクリアされます。

TCG スイッチ*5	メニュー*4 No.507 EXT TC SEL	メニュー No.518 VITC GEN	ビデオ入力信号選択	記録するタイムコード		
				SBC領域	VAUX領域	
INT (REGEN / PRESET)	---	OFF	1394 HD SDI CMPST / SD SDI	内部TCG値	IEEE1394デジタル入力のタイムコード (VAUX領域) 入力ビデオ信号のSVITC *3 入力ビデオ信号のVITC *3	
		ON	1394 HD SDI CMPST / SD SDI		IEEE1394デジタル入力のタイムコード (VAUX領域)	
EXT	EXT_L	OFF	1394 HD SDI CMPST / SD SDI	TIME CODE IN端子入力のタイムコード *1	IEEE1394デジタル入力のタイムコード (VAUX領域) 入力ビデオ信号のSVITC *3 入力ビデオ信号のVITC *3	
			ON		1394 HD SDI CMPST / SD SDI	TIME CODE IN端子入力のタイムコード *1
		SLTC	OFF	1394 HD SDI CMPST / SD SDI	IEEE1394デジタル入力のタイムコード (SBC領域) 入力ビデオ信号のSLTC *2 入力ビデオ信号のVITC *2	IEEE1394デジタル入力のタイムコード (VAUX領域) 入力ビデオ信号のSVITC *3 入力ビデオ信号のVITC *3
			ON	1394 HD SDI CMPST / SD SDI	IEEE1394デジタル入力のタイムコード (SBC領域) 入力ビデオ信号のSLTC *2 入力ビデオ信号のVITC *2	IEEE1394デジタル入力のタイムコード (VAUX領域)
	SVITC	OFF	1394 HD SDI CMPST / SD SDI	IEEE1394デジタル入力のタイムコード (SBC領域) 入力ビデオ信号のSVITC *2 入力ビデオ信号のVITC *2	IEEE1394デジタル入力のタイムコード (VAUX領域) 入力ビデオ信号のSVITC *3 入力ビデオ信号のVITC *3	
			ON	1394 HD SDI CMPST / SD SDI	IEEE1394デジタル入力のタイムコード (SBC領域) 入力ビデオ信号のSVITC *2 入力ビデオ信号のVITC *2	IEEE1394デジタル入力のタイムコード (VAUX領域)

- \*1: TIME CODE IN端子入力から信号が検出できないときは、内部TCG値となります。  
 \*2: 入力ビデオ信号からSLTC、SVITC、VITCが検出できないときは、内部TCG値となります。  
 \*3: 入力ビデオ信号からSVITC、VITCが検出できないときは、未記録となります。  
 \*4: 59.94Hz、50Hzモード以外では、セットアップメニューNo.507 EXT TC SELは表示されません。このときSLTC固定となります。  
 \*5: セットアップメニューNo.040 VFR RECがONに設定されている場合、TCGスイッチに関係なくREC RUNとなります。

## CTLモード



### 1 停止モードにする

### 2 COUNTERボタンで[CTL]を選択する

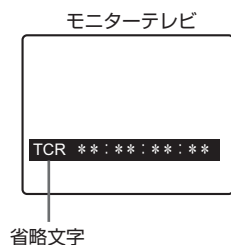
再生時は、先頭から再生する相対位置が表示されます。  
 記録時は、カウンター値が「0:00:00:00」から開始されます。記録終了時は、先頭からの相対位置が表示されます。

## ◆NOTE:

セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQが23.98、24、59-23、60-24のとときには再生画とCTLが1フレームずれることがあります。

# スーパーインポーズ画面

コントロール信号やタイムコードなどが省略文字で表示されます。



## 省略文字

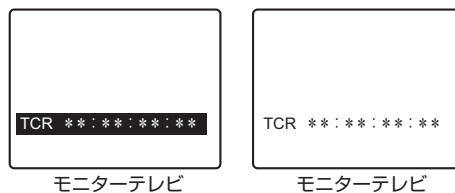
CTL	先頭からの相対位置
TCR	記録されたタイムコードデータ
TCR.	VAUX領域に記録されたタイムコードデータ
UBR	記録されたユーザーズビットデータ
UBR.	VAUX領域に記録されたユーザーズビットデータ
TCG	タイムコードジェネレーターのタイムコードデータ
UBG	タイムコードジェネレーターのユーザーズビットデータ

## ◆NOTE:

- カードから正しくデータを読み取ることができなかったときは、「T \*R」や「U \*R」が表示されます。

## 表示文字

スーパーインポーズの表示文字の背景色は、セットアップメニューNo.009(CHARA TYPE)で変更することができます。

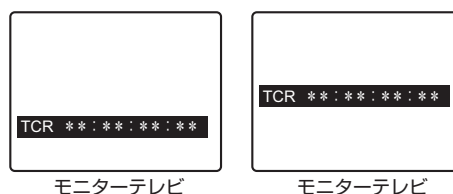


## ◆NOTE:

- プレイリストの再生時はメニュー設定にかかわらず白地に黒文字となります。

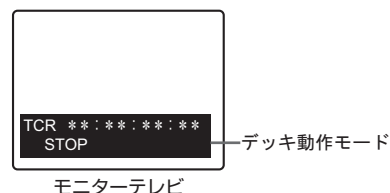
## 表示位置

スーパーインポーズの表示位置は、セットアップメニューNo.007(CHARA H-POS)とNo.008(CHARA V-POS)で変更することができます。



## 動作モード

セットアップメニューNo.006(DISPLAY SEL)を設定して、デッキの動作モードを表示することができます。



# 入力／出力対応フォーマット一覧

## ■ システム周波数の設定

セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQの設定により、以下のように入力/出力フォーマットが選択されます。

記録フォーマット	入力信号	システム周波数	SDI出力*4	アナログビデオ出力*4	IEEE1394出力	タイムコード出力
AVC-Intra 50/100 (AVC-Intra コーデックボード AJ-YBX200G 装着時)	1080/59.94i	59.94	1080/59.94i	1080/59.94i	---	○
			720/59.94P	720/59.94P		
			480/59.94i	480/59.94i		
	1080/50i	50	1080/50i	1080/50i	---	○
			720/50P	720/50P		
			576/50i	576/50i		
	1080/29.97PsF	29.97	1080/29.97PsF	1080/59.94i *1	---	---
			720/59.94P *1	720/59.94P *1		
			480/59.94i *1	480/59.94i *1		
	1080/23.98P over 59.94i *5	59-23	1080/23.98PsF	---	---	---
	1080/23.98PsF	23.98	1080/23.98PsF	---	---	---
	1080/24PsF	24	1080/24PsF	---	---	---
	1080/25PsF	25	1080/25PsF	1080/50i *1	---	---
			720/50P *1	720/50P *1		
			576/50i *1	576/50i *1		
	720/59.94P	59.94	720/59.94P	720/59.94P	---	○
			1080/59.94i	1080/59.94i		
			480/59.94i	480/59.94i		
	720/50P	50	720/50P	720/50P	---	○
			1080/50i	1080/50i		
576/50i			576/50i			
720/29.97P over 59.94P *6	29.97	720/59.94P *1	720/59.94P *1	---	---	
		1080/29.97PsF	1080/59.94i *1			
		480/59.94i *1	480/59.94i *1			
720/23.98P over 59.94P *6	59-23	1080/23.98PsF	---	---	---	
720/24P over 60P *6	60-24	1080/24PsF	---	---	---	
720/25P over 50P *7	25	720/50P *1	720/50P *1	---	---	
		1080/25PsF	1080/50i *1			
		576/50i *1	576/50i *1			
720/25P over 60P *6	60-25	720/50P *1	720/50P *1	---	---	
		1080/25PsF	1080/50i *1			
		576/50i *1	576/50i *1			
DVCPRO HD	1080/59.94i	59.94	1080/59.94i	1080/59.94i	1080/59.94i	○
			720/59.94P	720/59.94P		
			480/59.94i	480/59.94i		
	1080/50i	50	1080/50i	1080/50i	1080/50i	○
			720/50P	720/50P		
			576/50i	576/50i		

\*1: 2:2 プルダウン

\*4: セットアップメニューNo.643 OUT MODE SELにて選択。SDI出力とアナログ出力は同時に切り替わります。

\*5: AJ-HPX2100/3000のHD-SDI(1080/23.98P over 59.94i)出力

\*6: AJ-HDC27シリーズのHD-SDI(バリエーションフレームレート信号)出力

\*7: AJ-HPX2100のHD-SDI(720/25P over 50P)出力

記録フォーマット	入力信号	システム 周波数	SDI出力*4	アナログビデオ 出力*4	IEEE1394出力	タイムコード 出力	
DVCPRO HD	1080/29.97PsF	59.94	1080/29.97PsF	1080/59.94i *1	1080/59.94i *1	○	
			720/59.94P *1	720/59.94P *1			
			480/59.94i *1	480/59.94i *1			
	1080/23.98P over 59.94i *5	59.94	1080/23.98PsF*3	---	---	1080/59.94i *2	○
			1080/59.94i *2	1080/59.94i *2			
			720/59.94P *2	720/59.94P *2			
			480/59.94i *2	480/59.94i *2			
	1080/23.98PsF	---	---	---	---	---	---
	1080/24PsF	---	---	---	---	---	---
	1080/25PsF	---	---	---	---	---	---
	720/59.94P	59.94	720/59.94P	720/59.94P	720/59.94P	○	
			1080/59.94i	1080/59.94i			
			480/59.94i	480/59.94i			
	720/50P	50	720/50P	720/50P	720/50P	○	
			1080/50i	1080/50i			
576/50i			576/50i				
720/29.97P over 59.94P *6	29.97	720/59.94P *1	720/59.94P *1	---	---		
		1080/29.97PsF	1080/59.94i *1				
		480/59.94i *1	480/59.94i *1				
720/23.98P over 59.94P *6	59-23	1080/23.98PsF	---	---	---	---	
720/24P over 60P *6	60-24	1080/24PsF	---	---	---	---	
720/25P over 50P *7	25	720/50P *1	720/50P *1	---	---		
		1080/25PsF	1080/50i *1				
		576/50i *1	576/50i *1				
720/25P over 60P *6	60-25	720/50P *1	720/50P *1	---	---		
		1080/25PsF	1080/50i *1				
		576/50i *1	576/50i *1				
DVCPRO50 DVCPRO DV	480/59.94i	59.94	480/59.94i	480/59.94i	480/59.94i	○	
			1080/59.94i	1080/59.94i			
			720/59.94P	720/59.94P			
	480/29.97P over 59.94i	59.94	480/59.94i *1	480/59.94i *1	480/59.94i *1	○	
			1080/29.97PsF	1080/59.94i *1			
			720/59.94P *1	720/59.94P *1			
	480/23.98P over 59.94i	59.94	1080/23.98PsF *3	---	---	480/59.94i *2	○
			480/59.94i *2	480/59.94i *2			
			1080/59.94i *2	1080/59.94i *2			
			720/59.94P *2	720/59.94P *2			
	576/50i	50	576/50i	576/50i	576/50i	○	
			1080/50i	1080/50i			
720/50P			720/50P				
576/25P over 50i	50	576/50i *1	576/50i *1	576/50i *1	○		
		1080/25PsF	1080/50i *1				
		720/50P *1	720/50P *1				

\*1: 2:2 ブルダウン

\*2: 2:3 ブルダウン

\*3: システムメニューNo.25 SYSTEM FREQ を "2:23.98" または "5:59-23" に設定した場合、再生のみ有効。

\*4: セットアップメニューNo.643 OUT MODE SELにて選択。SDI出力とアナログ出力は同時に切り替わります。

\*5: AJ-HPX2100/3000のHD-SDI(1080/23.98P over 59.94i)出力

\*6: AJ-HDC27シリーズのHD-SDI(バリアブルフレームレート信号)出力

\*7: AJ-HPX2100のHD-SDI(720/25P over 50P)出力

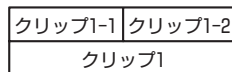
# 音声Vフェード機能

セットアップメニューNo.731(PB FADE)の設定によるオーディオ処理の違いを説明します。セットアップメニューNo.731(PB FADE)の設定に従って、クリップ選択再生やプレイリスト再生を行うときなどに、クリップ間、イベント間でVフェード／カット処理が行われます。

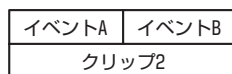
どのような処理が行われるのかを、例を挙げて説明します。

P2カードにまたがったクリップと、エディットコピーにより作られたクリップを例に説明します。

- P2カードにまたがったクリップまたは、8GB以上のP2カードを使用して、自動的に分割記録されたクリップ

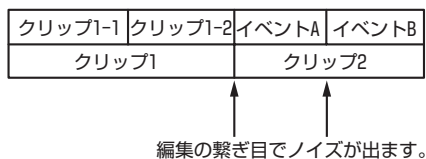


- AJ-SPD850でエディットコピーにより作られたクリップ

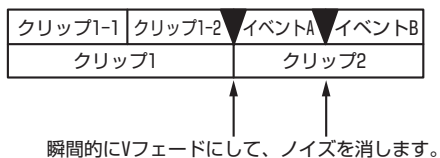


上記2種類のクリップを再生すると、セットアップメニューNo.731の設定により、次のようになります。

- CUTに設定しているとき



- AUTOに設定しているとき



クリップ間およびイベント間で、自動的にVフェード処理が行われます。

ただし、次の箇所では、Vフェード処理は行われません。

- 複数のP2カードにまたがったクリップ
- 8 GB以上のP2カードを使用して自動的に分割記録されたクリップ
- IEEE1394デジタル出力信号はフェード処理を行いません。

# 音声の記録チャンネルの選択

## 音声の記録チャンネル

フロントパネルのINPUT SELECTボタンで選択された入力信号を、セットアップメニュー725-728(REC CH1-4)により、以下のように選択できます。なお1394時は設定に関係なく、入力された信号がそのまま記録されます。

### アナログ入力時

記録トラック	記録信号
CH1	CH1入力／CH2入力／CH1入力+CH2入力
CH2	CH1入力／CH2入力／CH1入力+CH2入力
CH3	CH3入力／CH4入力／CH3入力+CH4入力
CH4	CH3入力／CH4入力／CH3入力+CH4入力
CH5	なし
CH6	なし
CH7	なし
CH8	なし

### SDI入力時

記録トラック	記録信号
CH1	CH1入力／CH2入力／CH1入力+CH2入力
CH2	CH1入力／CH2入力／CH1入力+CH2入力
CH3	CH3入力／CH4入力／CH3入力+CH4入力
CH4	CH3入力／CH4入力／CH3入力+CH4入力
CH5	なし(SD)／CH5(HD)
CH6	なし(SD)／CH6(HD)
CH7	なし(SD)／CH7(HD)
CH8	なし(SD)／CH8(HD)



# 未永くお使いいただくために

## 結露

結露が起こるのは、暖房を入れた部屋の窓ガラス一面に水滴(露)が付くのと同じ原理です。本機やカードを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこもる湿度の多いところや、暖房を入れた直後の部屋へ移動したとき
- 冷房を入れているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき
- このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに、10分程度放置したままお待ちください。

## お手入れについて

- お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。
- キャビネットの清掃は、柔らかい布で行ってください。
- 汚れのひどいときは、台所用洗剤をうすめ、布に浸して固く絞ってふきます。汚れをふき取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。

### ◆NOTE:

- アルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。外装部品表面の変色や、塗装が落ちる原因になります。

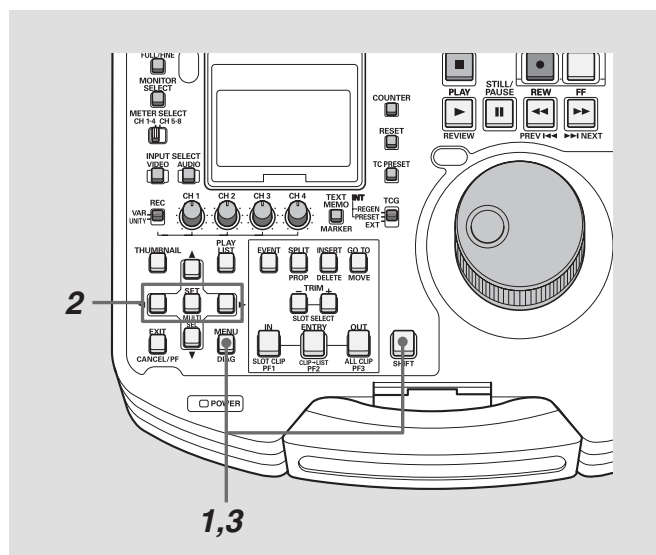
# エラーメッセージ

本機にワーニングが発生すると、カウンター表示部にエラー番号が表示されます。ダイアグメニューを開くとカウンター表示部、液晶モニターにその内容が表示されます。また、本機の動作に異常が発生すると、カウンター表示部にエラー番号が点滅表示されます。

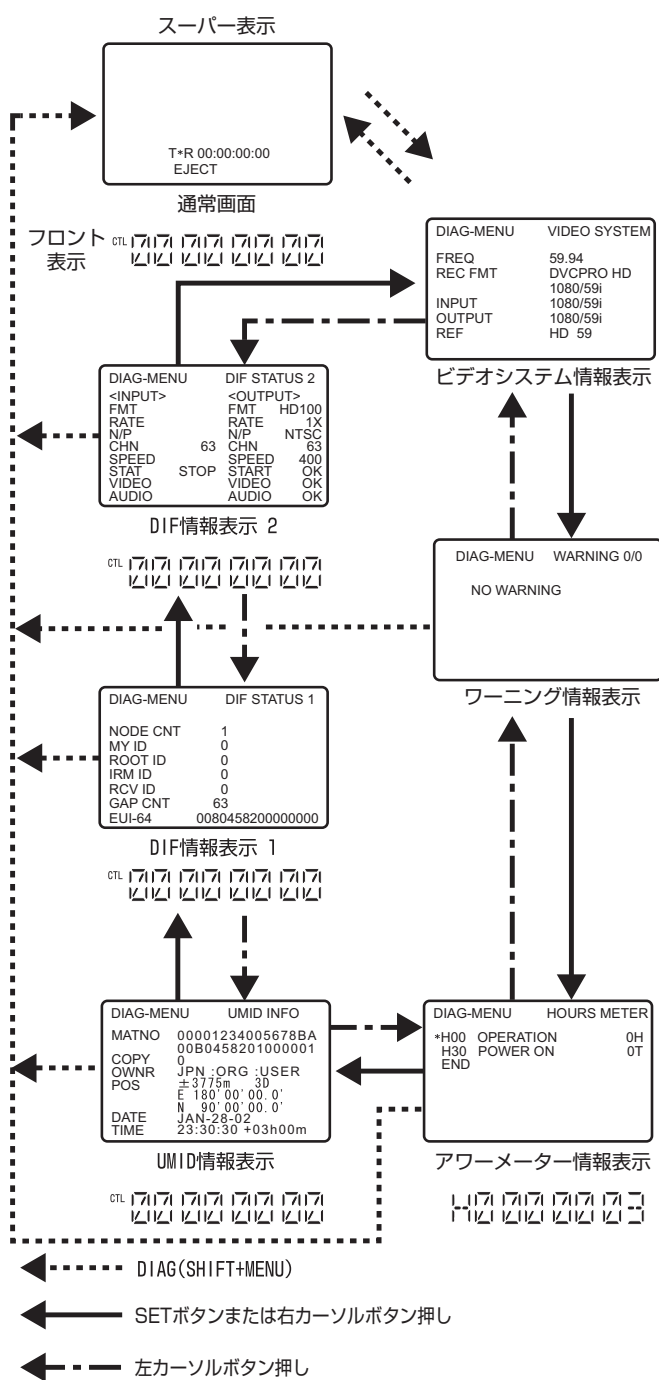
## ダイアグメニュー

デッキの情報を表示します。デッキの情報にはワーニング情報、シリアル番号、アワーメーター(使用時間)情報、UMID情報などがあります。液晶モニター部およびリアパネルの ANALOG COMPOSITE MONITOR OUT 端子にモニターテレビを接続しているときは、モニターテレビにダイアグメニューが表示されます。

## ダイアグメニューの表示



- 1 DIAG(SHIFT ボタンを押しながら MENU)ボタンを押す  
モニター部にダイアグメニューの画面が表示され、カウンター表示部にメッセージがそれぞれ表示されます。
- 2 SETボタンまたは左右カーソルボタンを押す  
押すたびに、ワーニング情報、アワーメーター情報、UMID情報などの表示が切り替わります。
- 3 再度DIAGボタンを押す  
元の表示に戻ります。



## ワーニング情報の表示

- ワーニング発生時は、ワーニングメッセージが表示されます。  
ワーニングが発生していないときは、「NO WARNING」と表示されます。
- 複数のワーニングが発生したときは、サーチダイヤルを回すと各内容を確認することができます。  
「セットアップメニューNo.006(DISPLAY SEL)」で「T&S&M」を選択しているとき、ワーニングまたはエラー発生時に、モード表示部にメッセージが表示されます。

モニター表示	内容	デッキ動作	カウンター表示部
CANNOT A.DUB	P2カードにオーディオの追加記録ができないときに表示されます。 【原因】 ・使えないカードに記録しようとした ・カードが挿入されていないときに記録しようとした	STOP	CANTADUB
PLEASE SAVE PLAYLIST	プレイリストを保存せずにA.DUBを実行したときに表示されます。	STOP	CANTADUB
WRITE PROTECTED	P2カードにオーディオの追加記録を行ったとき、カードがライトプロテクトされているときに表示されます。	STOP	CANTADUB
LACK OF REC CAP.	P2カードにオーディオの追加記録を行ったとき、カードに容量がないときに表示されます。	STOP	CANTADUB
MAX A.DUB EVENTS	P2カードにオーディオの追加記録を行ったとき、追加記録のオーディオ数がすでに上限に達しているときに表示されます。	STOP	CANTADUB
CANNOT REC	P2カードに記録ができないときに表示されます。 【原因】 ・ライトプロテクトがされているときに、記録しようとした ・カードに容量がないときに記録しようとした ・使えないカードに記録しようとした ・記録中にカード状態が変わった ・BUSY中に記録しようとした ・VFR記録を開始したが有効フレーム情報が入力されなかった	STOP	CANT REC
CANNOT LOOP REC	LOOP RECモード時に、P2カードに記録ができないときに表示します。 【原因】 ・ライトプロテクトがされているときに記録しようとした ・カードに容量が無いときに記録しようとした ・使えないカードに記録しようとした ・記録中にカード状態が変わった ・BUSY中に記録しようとした	STOP	CANTLREC
CANNOT PLAY	クリップの異常などで再生が停止したときに表示されます。 【原因】 ・クリップがないときに再生しようとした ・使えないカードを再生しようとした ・その他の原因で再生を受け付けられないか、または再生が停止した ・BUSY中に再生しようとした	STOP	CANTPLAY
CANNOT ENTRY	登録できない箇所のでIN / OUT / SPLIT点を登録しようとしたときに表示されます。	動作継続	CANT ENT
CHECK A.SPLIT POINT	オーディオスプリット設定があるため、IN / OUT / SPLIT点の登録ができないときに表示されます。	動作継続	CANT ENT
OVER DUR TIME	登録しようとしている区間が24時間を超えるとときに表示されます。	動作継続	CANT ENT
CHECK RECORDER RANGE	プレイヤー側のIN,OUT点登録に対しレコーダー側の範囲が足りません。	動作継続	CANT ENT
CHECK PLAYER RANGE	レコーダー側のIN,OUT点登録に対しプレイヤー側の範囲が足りません。	動作継続	CANT ENT
MAX EVENTS	プレイリストに登録できるイベントが上限に達しています。	動作継続	CANT ENT
INVALID	テキストメモがすでに100個あり、新規に追加できないときに表示されます。	動作継続	INVALID

モニター表示	内容	デッキ動作	カウンター表示部
BUSY	クリップ情報を読み込み中や、クリップ構成が変化しているときに表示されます。 この表示中は、操作ができません。 【原因】 ・カード挿抜時 ・UPDATING中 ・記録後処理中 ・その他	動作継続	BUSY
INT SG	INPUT SELECT VIDEOボタンでSGが選択されている、あるいは、INPUT SELECT AUDIOボタンでSGが選択されているときに、RECボタンを押してEEモードになるときの開始2秒間表示されます。	動作継続	INT SG
NO INPUT	アナログオーディオを除き、INPUT SELECTボタンにより選択されている端子に入力信号がないときに、RECボタンを押してEEモードになるときの開始2秒間表示されます。	動作継続	NO INPUT
TEXT MEMO	テキストメモを挿入したときに2秒間表示されます。	動作継続	TEXT MEMO
MARK ON/OFF	ショットマークを付加、消去したときに2秒間表示されます。	動作継続	MARK ON / MARK OFF

## ワーニング情報

カウンター表示部に E-\*\*\* が点灯したとき、SHIFT ボタンを押しながら MENU ボタンを押してダイアグメニューを開くと、内容が表示されます。

表示		内容	デッキ動作
No	文字		
04	UNKNOWN SIG	1394I / Fから入力された信号がDVCPRO / DVフォーマットでないときに表示されます。	記録動作不可
10	FAN STOP	ファンモータが停止したときに表示されます。	動作継続
11	NOT 1× 25M SIG	1394I/Fから入力された信号がDVCPRO(25Mbps)の1倍速転送信号ではないときに表示されます。	記録動作不可
12	NOT 1× 50M SIG	1394I / Fから入力された信号がDVCPRO50(50Mbps)の1倍速転送信号ではないときに表示されます。	記録動作不可
14	NO MATCH SIG	1394I / Fから入力された信号が、本機で設定されているシステムフォーマットと異なるときに表示されます。	記録動作不可
15	NOT 1× DV SIG	1394I / Fから入力された信号がDV(25Mbps)の1倍速転送信号でないときに表示されます。	記録動作不可
16	INVALID VIDEO SIG	1394I / Fから入力された信号の圧縮ビデオデータが不正規なときに表示されます。	記録動作不可
17	INVALID AUDIO SIG	1394I / Fから入力された信号のオーディオデータが不正規なときに表示されます。	動作継続 *1
18	INVALID TC SIG	1394I / Fから入力された信号のタイムコードデータが不正規なときに表示されます。	動作継続 *2
21	REC WARNING	記録中に映像や音声に異常が発生したときに表示されます。 一度電源を切ってからご使用ください。	STOP
26	CARD ERROR <*****>	記録中にP2カードが原因でデータ異常が発生したときに表示されます。 記録停止後も次の操作を行うまで表示されたままです。再生時に発生したときは表示されません。(*は発生したスロット番号) エラーが発生したスロットのP2カードを交換してください。	STOP
50	BATTERY EMPTY	電源ON時に内蔵時計のバックアップ電池の電圧低下を検出したときに表示します。 内蔵電池を交換してください。*5	動作継続
70	DIR NG CARD <*****>	ディレクトリ配置が不正規なP2カードです。(*は発生したスロット番号) 速やかにカードのバックアップを取り、フォーマット後ご使用ください。	動作継続
71	RUNDOWN CARD <*****>	P2カードの規定の書き換え回数を超過しています。(*は発生したスロット番号) P2カードの交換をお勧めします。	動作継続*3
90	NOT 1× 100M SIG	1394I/Fから入力された信号がDVCPRO HD(100Mbps)の1倍速転送信号ではないときに表示されます。	記録動作不可
91	COPY PROTECTED	DVフォーマットでの記録が可能なき、1394I / Fから入力されたコピーガード信号が記録禁止状態の場合に表示されます。	記録動作不可
92	1394 INITIAL ERROR	1394I / Fの接続状態が不正規のときに表示されます。	*4

表示		内容	デッキ動作
No	文字		
93	INVALID TC MODE	再生時、タイムコードがDFモードで記録されている場合に表示されます。タイムコードのドロップポイントで映像出力が乱れ、音声出力はミュートされます。再生クリップを確認してください。 フレームレートが24pのクリップを本機で再生する場合、タイムコードはNDFモードで記録されている必要があります。 EE、記録時にHD SDI入力上のタイムコードがDFモードの場合に表示されます。この場合、正常に記録されません。 本機に入力する信号を確認してください。入力するタイムコードはNDF設定にしてください。 (セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQが23.98、24、59-23、60-24、60-25に設定されている場合に表示されます。)	動作継続
95	INVALID EMBEDDED TC	記録された映像のフレームをHD SDI IN端子に入力された信号のタイムコードに同期させるときに、タイムコードが1倍速で歩進していない場合に表示されます。 (セットアップメニューNo.032 REC REFで「SLTC」を選択時またはセットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQが29.97、59-23、60-24、25、60-25選択時)	動作継続
96	INVALID TC SEQUENCE	再生時、ユーザーズビットのフレームレート情報が検出できない場合、または再生のタイムコードが不連続の場合に表示されます。不連続となる部分で映像出力が乱れ、音声出力はミュートされます。再生クリップを確認してください。 EE、記録時にHD SDI入力上のユーザーズビットからフレームレート情報が検出できない場合、または入力されたタイムコードが不連続の場合に表示されます。この場合、正常に記録されません。 本機に入力する信号を確認してください。 入力する信号はタイムコードとプルダウンシーケンスが合ったものを入力してください。 (セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQが23.98、24、59-23、60-24、60-25に設定されている場合に表示されます。)	動作継続
97	NO ACTIVE FRAME	EE、記録時にHD SDI入力上のユーザーズビットから有効フレーム情報が検出できない場合に表示されます。この場合正常に記録されません。 本機に入力する信号を確認してください。 入力信号にはバリエーションフレームレートカメラからの有効フレーム情報が必要となります。 (セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQが29.97、59-23、60-24、60-25に設定され、セットアップメニューNo.040 VFR RECが ONに設定されている場合に表示されます。)	記録不可*6 記録中は動作継続
98	INVALID FRAME RATE	EE、記録時にHD SDI入力上のユーザーズビットから検出された有効フレーム情報が50pを超えた場合に表示します。この場合、正常に記録されません。 SYSTEM FREQが60-25の場合は、バリエーションフレームレートカメラのフレームレートを50p以下に設定してください。 SYSTEM FREQが60-25に設定され、VFR RECがONに設定されている場合に表示されます。	動作継続

◆NOTE:

- \*1 ワーニングは記録動作中のみ表示されます。このとき、オーディオはミュート記録されます。
- \*2 ワーニングは記録動作中のみ表示されます。このとき、内部発生されたタイムコードが記録されます。
- \*3 動作は継続しますが正常に記録または再生されない事があります。
- \*4 ワーニングは常に表示されます。このとき、デジタルビデオインターフェースでの入出力はできません。
- \*5 バックアップ電池が消耗すると「E-50」が表示されます。お買い上げの販売店にご相談の上、新しい電池(CR2032 相当品)との交換をお買い上げの販売店に依頼してください。電池交換後は、必ず内蔵の時計の設定を、「セットアップメニューNo.069(CLOCK SET)」で行ってください。
- \*6 記録操作でいったんボタンは点灯しますが、数秒後ボタンは消灯し記録はできません。

サムネール・プレイリスト画面で問題のある操作を行ったときなどに、ワーニングが表示されます。

項目	メッセージ	内容	対応
サム ネール	CANNOT ACCESS!	コンテンツ不良などによりデータへアクセスできません。	メディア、クリップを正常な状態としてからご使用ください。
	WRITE PROTECTED!	P2、SDメモリーカードがライトプロテクトされています。	書き込み可能なメディアを挿入してください。
	CARD FULL!	P2、SDメモリーカードが一杯です。	空き領域のあるメディアを挿入してください。
	NO CARD!	P2、SDメモリーカードが入っていません。	対応メディアを挿入してください。
	CANNOT DELETE !	コンテンツバージョンが不整合のため削除できません。	機器とコンテンツのバージョンをあわせてください。
	UNKNOWN CONTENTS FORMAT!	コンテンツバージョンが不整合のときの警告です。	機器とコンテンツのバージョンをあわせてください。
	CANNOT FORMAT!	P2カードなどの問題でフォーマットができません。	P2カードを確認してください。
	CANNOT REPAIR!	修復できないコンテンツを選んでいました。	選択しているコンテンツを確認してください。
	CANNOT RE-CONNECT!	またぎクリップではないコンテンツを選んでいなどでクリップの再結合ができません。	選択しているコンテンツを確認してください。
	NO INPUT!	データが入力されていません。	データを入力してから設定をしてください。
	INVALID VALUE!	入力しようとしたデータ値が不正規です。	正常な範囲のデータを設定してください。
	UNKNOWN DATA!	メタデータの文字コードが不正規です。	メタデータの文字コードはUTF-8となっています。ビューアーなどで正しい文字を入力してください。
	CANNOT REPAIR IN SELECTION!	選択したクリップの一部が修復できませんでした。	
	NO SD CARD!	SDメモリーカードがありません。	SDメモリーカードを挿入してください。
	NO COPY TO SAME CARD!	コピー元とコピー先が同じカードのためコピーできません。	選択しているクリップが入っていないカードへコピーをしてください。
	SAME CLIP IS SELECTED!	選択クリップ中に同一クリップ(COPYで複製したものが)複数個含まれています。	同一クリップ(COPYで複製したものは)同時に複数個コピーはできませんので、同一クリップを選択からはずしてください。
	USER CLIP NAME MODIFIED!	クリップ名にカウンター値を付加するときに文字削除が必要となりました。	カウンター付加の設定でユーザークリップ名とカウンターは合わせて100バイトまでしか保存できませんので、文字を自動的に削除します。
	TOO MANY CLIPS!	選択しているクリップが多すぎます。	選択しているクリップ数を減らしてください。
	LACK OF REC CAPACITY!	カードの記録容量が不足しています。	記録容量の十分あるカードを挿入してください。
	CANNOT CHANGE!	サムネールが生成できず灰色になっているテキストモはサムネールが変更できません。	サムネールが表示できるよう設定やコンテンツを修正してください。
NOT SELECTED!	クリップを選択せずに削除などを行おうとしました	削除などを行うクリップを選択してください。	
MISSING CLIP!	またぎクリップがすべてそろっていないクリップにはマーカーは付加できません。	またぎクリップが入ったカードをすべて挿入してください。	
HDD	HDD CAPACITY FULL!	HDDの空き容量が足りません。	接続先のターゲットの残容量が足りないため、新しいHDDまたはフォーマットしたHDDを使用してください。
	TOO MANY PARTITIONS!	パーティションが多すぎます。	HDDの最大パーティション数は23です。新しいHDDまたはフォーマットしたHDDを使用してください。
	HDD DISCONNECTED!	HDDとの接続が切断されました。	USBを付け直してください。またその後正常に動作しないときは、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	CANNOT FORMAT!	初期化できません。	接続しているHDDを変更してください。
	TOO MANY TARGETS!	複数の機器が接続しています。	接続を解除後、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	UNKNOWN DEVICE CONNECTED!	未対応のDVDドライブなどが接続されています。	接続を解除後、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。

項目	メッセージ	内容	対応
HDD	CANNOT ACCESS TARGET!	接続先のターゲットのアクセス中にエラーが発生しました。	HDDの状態や接続を確認してください。
	CANNOT RECOGNIZE HDD!	接続先のターゲットが正しく認識できません。	HDDの電源を入れ直すか、接続するHDDを変更してください。
	CANNOT ACCESS CARD!	P2カードのアクセス中にエラーが発生しました。	P2カードを確認してください。
	MISMATCH COMPONENT!	コピー元とコピー先のP2カードの品番が不一致のため、コピーできません。	同一品番のP2カードを使用するか、クリップ単位でインポートしてください。
	P2 CARD IS UNFORMATTED!	P2カードが未フォーマットです。	フォーマットされたP2カードを使用してください。
	CARD IS EMPTY! CANNOT COPY!	コピーするP2カードが空です。	空のカードはコピーする必要がないためコピーを行いません。
	VERIFICATION FAILED!	コピー後のコンペアが不一致でした。	再度コピーを行ってください。
	PLEASE FORMAT P2 CARD!	HDD→P2へのインポート時に、P2カードが記録済のためコピーできない警告です。	コピー先のP2カードが空でないため、コピーできません。P2機器でフォーマットした後に再度コピーを行ってください。
ソフトキーボード	CANNOT CHANGE!	テキストメモがない状態で入力者を変更しようとしました。	テキストメモを先に入力してください。
	CANNOT SET! INVALID VALUE!	入力された値が異常です。	入力値を変更してください。
プレイリスト	NO FILE!	指定されたファイルが存在しません。	SAVE ASにて保存するか、正しいカードを挿入してください。
	READ ONLY PLAYLIST VERSION!	プレイリストファイルのバージョンが異なるため、読み取り専用で開きます。	AJ-SPD850で作成したプレイリストは読み取り専用となります。編集するときは一度保存してください。
	CANNOT FIND CLIP!	対象クリップが見つかりません。	対象のクリップのあるカードを挿入してください。
	INCLUDE MULTI FORMAT!	フォーマットが混在しています。	フォーマットが混在しているプレイリストファイルは読み込めません。
	READ ONLY 100 EVENTS!	プレイリストファイルがイベントの上限を超えています。	イベントの上限は100イベントです。読み込み専用としてファイルを開きます。
	DIFFERENT PLAYLIST VERSION!	プレイリストファイルのバージョンが異なります。	プレイリストファイルのバージョンが異なるときは、取り込むことができません。
	INCLUDE ILLEGAL EVENT!	不正なイベントが混在しています。	イベントを正しい状態に修正してください。
	WRITE PROTECTED!	指定したカードが書き込み禁止状態です。	書き込みが可能なメディアを使用してください。
	NO SPACE!	カードの空き容量がありません。	
	ILLEGAL FILE!	取り込むイベントファイルが不明なフォーマットです。	フォーマットが一致したクリップを使用してください。
	DIFFERENT FORMAT!	編集中のプレイリストと取り込むイベントやクリップの編集フォーマット(コーデック、フレームレート)が異なります。	編集フォーマットが一致したクリップを使用してください。
	NUMBER OF FILE LIMITATION!	プレイリストファイル数が上限に達しています。	プレイリストファイルは1カードに最大999個です。不要なファイルを削除するか新しいカードを使用してください。
	NUMBER OF EVENT LIMITATION!	イベント数が上限に達しています。	イベント数の上限は100のため、それ以下の状態で操作を行ってください。
	NUMBER OF EXTRA EVENT LIMITATION!	EXTRAオーディオイベント数が上限に達しています。	EXTRAオーディオイベント数の上限は100のため、それ以下の状態で操作を行ってください。
	CANNOT OPERATE AT A.DUB EVENT!	EXTRAオーディオ区間での操作はできません。	EXTRAオーディオ区間では禁止されている操作が行われました。区間外での操作、もしくはEXTRAオーディオイベントを削除して操作を行ってください。
CANNOT OPERATE AT "RED" EVENT!	再生不可(赤色表示)イベントでの操作はできません。	再生不可イベントでは禁止されている操作が行われました。再生可能イベントでの操作、もしくは対象クリップの入ったカードの挿入を行ってください。	
DURATION LIMITATION	プレイリストのデュレーションが24時間以上となるため操作できません。	操作が必要なときは、デュレーションを24時間以内に削減してください。	

項目	メッセージ	内容	対応
プレイリスト	DIFFERENT SYSTEM FREQUENCY!	システム周波数が異なるファイルです。	同じシステム周波数のファイルを使用してください。
	NOT SELECTED!	クリップが選択されていません。	サムネール画面でクリップを選択してください。
	INCLUDE COLLAPSE CLIP!	異常なクリップが含まれています。	正常なクリップを使用してください。
	CANNOT FIND SAME FORMAT!	編集フォーマットに合うクリップがありません。	編集フォーマットに合ったクリップを使用してください。
	NO CARD!	指定されたカードがありません。	カードを挿入してから操作してください。
	INCLUDE DIFFERENT ASPECT RATIO!	アスペクト比が混在しています。	アスペクト比は混在できませんので、同じアスペクト比のクリップを使用してください。
	LACK OF REC CAPACITY!	エディットコピーするカードの容量が不足しています。	空き容量の十分なメディアを挿入してください。
	NOT AVAILABLE FORMAT!	現在、利用できない編集フォーマットです。	AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)を装着し、使用している編集フォーマットを利用できる状態にしてください。
	CANNOT OPERATE AT RECORDED EXTRA AUDIO!	記録により作成されたEXTRAオーディオでの操作はできません。	EXTRAオーディオを削除するか、他のイベントで操作を行ってください。
DIFFERENT EXTRA AUDIO CH!	現在のEXTRAオーディオと異なるチャンネルを使用したプレイリストファイルの追加取り込みはできません。	現在付けられているEXTRAオーディオと同じチャンネルを使用したプレイリストファイルにて追加取り込みを行ってください。	

## エラー情報

エラー		内容	動作
番号	メッセージ		
E-30	TURN POWER OFF	カードの読み書きに異常が発生したときに表示されます。一度、電源を切ってからご使用ください。	STOP
E-37	COMM ERROR	システムコントロールの指示に従わない場合に表示されます。一度、電源を切ってからご使用ください。	STOP
E-38	SYSTEM ERROR	通信異常が発生したときに表示されます。一度、電源を切ってからご使用ください。	STOP
E-39	CONFIG ERROR	AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)の初期化ができない場合に表示します。オプションボードの故障が考えられますのでお買い上げ販売店にご相談ください。	STOP
E-BA	BATTERY	入力DC電圧が、アンダーカット電圧以下になったときに表示されます。	STOP

## アワーマーター情報の表示

▲▼ボタンを押すとカーソル(\*)が移動し、カーソルのある項目の内容がカウンター表示部に表示されます。

番号	項目	内容	カウンター表示部
Ser	*****	デッキのシリアルNo.が表示されます。	
H00	OPERATION	電源が入っている時間が、1時間単位で表示されます。	0H~99999H
H30	POWER ON	電源を入れた回数が、1回単位で表示されます。	0T~99999T

### ◆NOTE:

- エラー表示があるときは、カウンター表示部にアワーマーターは表示されません。



## ショートカット一覧

ショートカットキー	サムネールGUI時		プレイリストGUI時	
	名称	内容	名称	内容
REC	---	---	FINALIZE/ RECALL	上書き編集未確定イベントを確定する／カーソル位置のイベントを上書き編集未確定状態にする
SHIFT+FF/UP	TOP	先頭のサムネールへ移動	TOP	先頭のイベントへ移動
SHIFT+REW/DOWN	BOTTOM	最後のサムネールへ移動	BOTTOM	最後のイベントへ移動
IN+GOTO	---	---	GOTO IN	現在位置のイベントのIN点へシーク
OUT+GOTO	---	---	GOTO OUT	現在位置のイベントのOUT点へシーク
SHIFT+RESET	---	---	NEW	プレイリストの新規作成
INPUT SELECT VIDEO	---	---	INPUT VIDEO	ビデオトラックへの上書き設定と解除
INPUT SELECT AUDIO	---	---	INPUT EXTRA	EXTRAトラックへの上書き設定と解除
IN+ENTRY	---	---	R IN	現在の再生位置を上書き編集のレコーダーのIN点として設定
OUT+ENTRY	---	---	R OUT	現在の再生位置を上書き編集のレコーダーのOUT点として設定
A DUB	---	---	COPY TO EXTRA	現在位置のイベントのオーディオをEXTRAオーディオとしてコピー
SHIFT+PLAY	1 CLIP PLAY	カーソル位置のクリップのみ (クリップの先頭から最後まで) を再生	PREVIEW/ REVIEW	カーソル位置のイベントもしくは上書き区間の前3秒から後1秒までを再生
SHIFT+ENTRY	---	---	CLIP→EVENT	選択しているクリップをイベントとして取り込む
SHIFT+IN	DISP.SLOT CLIPS	サムネール表示を個々のスロットのみの表示や選択クリップのみの表示に切り替え、押すたびに順に切り替わる	IN TRIM	R IN/P INのトリミングの選択
SHIFT+OUT	DISP.ALL CLIP	サムネールの表示を全クリップの表示に切り替える	OUT TRIM	R OUT/P OUTのトリミングの選択
SHIFT+INSERT	DELETE	選択している全クリップを削除	DELETE	選択している全イベントを削除
SHIFT+SPLIT	CLIP PROPERTY	カーソル位置のクリッププロパティを表示	EVENT PROPERTY	カーソル位置のイベントプロパティを表示
RESET	KB CLEAR	ソフトキーボードのテキストをクリアする	KB CLEAR	ソフトキーボードのテキストをクリアする
			IN/OUT CLEAR	P IN/OUT,R IN/OUT点の登録を解除する
SHIFT+SET	MULTI SELECT	サムネールの複数選択	MULTI SELECT	イベントの複数選択
SHIFT+EXIT	CANCEL	選択の解除/コピーなどの中断	CANCEL	選択の解除/コピーなどの中断

ショートカットキー	サムネールオフ、サムネールからの再生時		プレイリスト イベント/上書き区間登録時	
	名称	内容	名称	内容
IN+OUT	---	---	DURATION	IN-OUT間のデュレーションの表示
IN+RESET	IN POINT RESET	IN点を解除する	IN POINT RESET	IN点を解除する
OUT+RESET	OUT POINT RESET	OUT点を解除する	OUT POINT RESET	OUT点を解除する
SPLIT+RESET	---	---	SPLIT POINT RESET	SPLIT点を解除する
IN+ENTRY	ENTRY IN POINT	INボタンへCUEUP点を登録する	ENTRY IN POINT	イベントのIN点を登録する
OUT+ENTRY	ENTRY OUT POINT	OUTボタンへCUEUP点を登録する	ENTRY OUT POINT	イベントのOUT点を登録する
IN+GOTO	CUEUP TO IN POINT	INボタンの登録点へCUEUPする	SEEK TO IN POINT	IN点へシークする
OUT+GOTO	CUEUP TO OUT POINT	OUTボタンの登録点へCUEUPする	SEEK TO OUT POINT	OUT点へシークする

ショートカットキー	サムネールオン/オフ時	
	名称	内容
SHIFT++	SLOT SELECT(+)	記録対象スロットを順方向へ移動
SHIFT+-	SLOT SELECT(-)	記録対象スロットを逆方向へ移動

ショートカットキー	名称	内容
TRIM +/-	ファイル名表示	
	PAGE JUMP	ページ送り/戻し
	HDD EXPLORE表示時	
	PARTITION JUMP	パーティションの送り/戻し
	プレイリスト表示時	
	TL ZOOM	タイムラインの拡大/縮小
	R IN/OUT,P IN/OUTトリム選択時	
TRIM	各登録点のトリム	

ショートカットキー	ソフトキーボード使用時	
	内容	
DELETE	BACKSPACE	
GOTO	CAPS LOCK	
ENTRY	OK	
EXIT	EXIT	
SHIFT+REW	テキストの先頭へ移動	
-	一文字左へ移動	
+	一文字右へ移動	
SHIFT+FF	テキストの最後へ移動	
RESET	テキストの全消去	

# 本機搭載ファームウェアのアップデート

ファームウェアのアップデート方法は、下記の2通りがございます。

## (1) P2HD 5年間無償修理特約にご登録頂いたお客様

専用WEBに接続いただくと、アップデートの有無を確認でき、必要なファームウェアをダウンロードすることができます。詳細ならびご登録は、下記WEBサイトをご参照ください。

日本語：[http://panasonic.biz/sav/pass\\_j/](http://panasonic.biz/sav/pass_j/)

英語：[http://panasonic.biz/sav/pass\\_e/](http://panasonic.biz/sav/pass_e/)

## (2) P2HD 5年間無償修理特約のご登録がお済みでないお客様

サムネールメニューの[PROPERTY-SYSTEM INFO]で本機のバージョンを確認の上、下記サイトのファームウェアに関する最新情報にアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。

アップデートはダウンロードしたファイルをSDメモリーカードを介して本機にダウンロードすることにより完了します。アップデート方法の詳細については下記サイトをご覧ください。

日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<http://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

### ◆NOTE:

- 本機で使用するSDメモリーカードは、SD規格、SDHC規格に準拠したものをお使いください。また、SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

# P2カード記録データの取り扱いについて

P2カードはプロフェッショナル映像制作・放送用機器 "DVCPRO P2シリーズ"の記録メディアに採用した、半導体メモリーカードです。

■DVCPRO P2フォーマットの記録データは、ファイル形式のため、PCとの親和性にすぐれていますが、そのファイル構造は独自フォーマットであり、MXFファイル化される映像、音声データだけでなく、様々な重要情報が含まれており、右のようなフォルダー構成にて関連付けられています。

これらの情報が一部分でも変更、または削除されると、P2データとして認識できない、もしくはカードがP2機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。



■P2カード内のデータをPCなどに転送したり、PCに格納したデータをP2カードに書き戻す際は、情報の欠落を防ぐために、必ず専用ソフトウェア「P2ビューアー」を下記のウェブサイトよりダウンロードし、お使いください。(対応OS: Windows 2000、Windows XP、Windows Vista)

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

(英語) <https://eww.pavc.panasonic.co.jp/pro-av/>

■Microsoft Windows ExplorerやApple Finderなど、一般のITツールを使用してPCに転送する場合は、下記のように行ってください。なお、P2カードへ戻す場合は、必ずP2ビューアーをご使用ください。

- CONTENTS フォルダとLASTCLIP.TXT ファイルごとに行ってください。  
CONTENTSフォルダ以下は、操作しないでください。  
コピーするときは、CONTENTSフォルダと同時にLASTCLIP.TXTファイルも行ってください。
- 複数のP2カードをパーソナルコンピュータに転送する場合、同一クリップ名の上書きを防ぐため、P2カードごとにフォルダを作成してください。
- P2カード内のデータ消去は行わないでください。
- フォーマットする場合は、必ずお使いのP2機器、もしくはP2ビューアーにて行ってください。

- 
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  - AppleおよびMacは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

## 故障・修理・お取扱い などのご相談は、まず、 お買い上げの販売店 へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

\* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

### 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

#### 保証期間:お買い上げ日から本体1年間

本機は「P2HD 5 Year(s) Warranty Repair Program」の対象商品です。お客様が本機を購入後1ヶ月以内にウェブサイトからユーザー登録を行うと、最大5年間の無償修理特約が提供されます。より詳しい情報については、下記の、P2 Asset Support Systemウェブサイトをご覧ください。

日本語: [http://panasonic.biz/sav/pass\\_j/](http://panasonic.biz/sav/pass_j/)

英語: [http://panasonic.biz/sav/pass\\_e/](http://panasonic.biz/sav/pass_e/)

### 補修用性能部品

当社では、メモリーカードポータブルレコーダー/プレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

\*補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。

保守・点検(有料) についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

### メンテナンス時間の目安と実施項目

下記のメンテナンス実施時間は、標準的な目安として設定しており、部品の寿命時間ではありません。また、使用する環境や使用方法により劣化する時間は異なりますので注意してください。

1	数量	定期保守点検と時間
ファン	2	12,000時間ごとに交換

### 修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

#### ■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

#### ■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

#### ■ ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードポータブルレコーダー/プレーヤー
品番	AJ-HPM110
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

# 定格

## 総合

電源  
AC 100-240 V、50 / 60Hz、60W  
DC 12V、4.8A(フルオプション)

は安全項目です。

動作周囲温度: 0°C ~ 40°C  
動作周囲湿度: 10% ~ 80% (結露なし)  
保存周囲温度: -20°C ~ 50°C  
質量: 6.5 kg  
外形寸法(幅×高さ×奥行き):  
301 mm×120 mm×412 mm  
(セット足を除く)  
記録フォーマット: AVC-Intra100\*/AVC-Intra50\*/  
DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPRO/DV  
フォーマット切り替え  
記録ビデオ信号: 1080/59.94i、1080/23.98p\*、1080/24p\*、  
1080/29.97p\*、1080/25p\*、1080/50i、  
720/59.94p、720/50p、480/59.94i、576/50i  
記録オーディオ信号: AVC-Intra100\*/AVC-Intra50\*/  
DVCPRO HD: 48 kHz 16bits 8CH  
DVCPRO50: 48 kHz 16bits 4CH  
DVCPRO / DV: 48 kHz 16bits 2CH  
(4CH切り替え可)

\*AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)装着時

## 記録時間:

カード 品番	使用 枚数	記録方法		
		DVCPRO (オーディオ 2CH)	DVCPRO50 (オーディオ 4CH) AVC-Intra50 (オーディオ 8CH)*	DVCPRO HD (オーディオ 8CH) AVC-Intra100 (オーディオ 8CH)*
AJ-P2C 004HG	1枚	約16分	約8分	約4分
	6枚	約96分	約48分	約24分
AJ-P2C 008HG	1枚	約32分	約16分	約8分
	6枚	約3時間12分	約96分	約48分
AJ-P2C 016RG	1枚	約64分	約32分	約16分
	6枚	約6時間24分	約3時間12分	約96分
AJ-P2C 032RG	1枚	約2時間8分	約64分	約32分
	6枚	約12時間48分	約6時間24分	約3時間12分

\*AVC-IntraコーデックボードAJ-YBX200G(オプション)装着時

## ◆NOTE:

- 上記の時間は、いずれもP2カードに1クリップを連続記録したときのものであります。
- 記録するクリップ数によっては、記録できる時間は上記より短くなる場合があります。

デジタルスロー: -1.0~+1.0倍速\*

\*セットアップメニューNo.25 SYSTEM FREQが23.98、24、59-23、60-24のときを除く

## ビデオ

### デジタルビデオ

サンプリング周波数:  
AVC-Intra100/AVC-Intra50/DVCPRO HD:  
Y: 74.176MHz  
(1080/59.94i、1080/23.98p、1080/29.97p、720/  
59.94p)  
74.25MHz(1080/24p、1080/25p、1080/50i、720/50p)  
P<sub>B</sub> / P<sub>R</sub>: 37.088MHz  
(1080/59.94i、1080/23.98p、1080/29.97p、720/  
59.94p)  
37.125MHz  
(1080/24p、1080/25p、1080/50i、720/50p)  
DVCPRO50:  
Y: 13.5MHz  
P<sub>B</sub> / P<sub>R</sub>: 6.75MHz  
DVCPRO:  
Y: 13.5MHz  
P<sub>B</sub> / P<sub>R</sub>: 3.375MHz

量子化: AVC-Intra100/AVC-Intra50:10bits  
DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPRO/DV:8bits  
ビデオ圧縮方式: AVC-Intra100/AVC-Intra50:H.264/AVCイント  
ラプロファイル  
DVCPRO HD:DVベース(SMPTE370M)  
DVCPRO50/DVCPRO/DV:  
DVベース(SMPTE314M)

ビットレート: AVC-Intra100/DVCPRO HD:100Mbps  
AVC-Intra50/DVCPRO50:50 Mbps  
DVCPRO:25 Mbps

### ビデオ入力信号

アナログコンポジット入力:  
BNC×1(VIDEO IN)1.0 V [p-p] (75Ω)  
リファレンス入力: ブラックバースト/HD3値SYNC自動切り  
替え、BNC×1(ループスルー×1)、75Ω終端  
自動切り替え  
SDI入力:  
BNC×1、  
HDシリアルデジタル入力時:  
SMPTE 292M / 296M / 299M規格に準拠  
SDシリアルデジタル入力時:  
SMPTE 259M-C / 272M-A、  
ITU-R BT.656-4に準拠

## ビデオ出力信号

HDアナログコンポーネント出力:  
BNC×3(Y,P<sub>B</sub>,P<sub>R</sub>)  
SDアナログコンポジット出力:  
BNC×3、VIDEO1、VIDEO2、VIDEO3  
(VIDEO1,2,3とHDアナログコンポーネントY,P<sub>B</sub>,P<sub>R</sub>出力は切り替えです)  
HDシリアルデジタル / SDシリアルデジタル出力(切り替え式): BNC×1  
HDシリアルデジタル出力時: SMPTE292M /  
296M / 299M規格に準拠  
SDシリアルデジタル出力時: SMPTE259M-  
C / 272M-A,ITU-R BT.656-4規格に準拠  
モニター出力: BNC×1、1.0 V [p-p] (75Ω)

## ビデオ調整範囲

ビデオ出力ゲイン: メニューによって $-\infty \sim +3\text{dB}$   
または $-\infty \sim +6\text{dB}$ となる  
ビデオ出力クロマゲイン:  $-\infty \sim +3\text{dB}$   
ビデオ出力HUE(クロマ位相):  $\pm 30^\circ$   
ビデオ出力セットアップレベル:  $\pm 10\%$   
ビデオ出力シンク位相:  $\pm 15 \mu\text{s}$   
ビデオ出力SC位相:  $\pm 180^\circ$

## オーディオ

### デジタルオーディオ

サンプリング周波数: 48kHz(ビデオに同期)  
量子化: 16bits  
周波数特性: 20Hz~20 kHz  $\pm 1.0 \text{ dB}$ (基準レベルにて)  
ダイナミックレンジ: 85dB以上  
(1kHz、エンファシスOFF、"A"weighted)  
歪率: 0.1%以下  
(1kHz、エンファシスOFF、基準レベル)  
クロストーク:  $-80\text{dB}$ 以下(1kHz、2チャンネル間)  
ヘッドルーム: 12 / 18 / 20dB(切り替え可能)  
ディエンファシス: T1=50  $\mu\text{s}$ 、T2=15  $\mu\text{s}$   
(ON / OFF自動切り替え)

### オーディオ入力信号

アナログ入力(CH1-CH4): XLR × 4、600Ω / ハイインピーダンス  
切り替え可能(600Ωで出荷)  
+4 / 0 / -3 / -20dBm切り替え可能  
CH2入力のみLINE / MIC / MIC+48V  
切り替え可能

MIC:  $-60\text{dBu}$   
MIC+48V: ファントム+48V対応、  
 $-60\text{dBu}$   
SDI入力: BNC×1  
(HD:SMPTE 292M / 296M / 299M規  
格に準拠、  
SD:SMPTE 259M-C /  
272M-A,ITU-R BT.656-4規格に準拠)

### オーディオ出力信号

アナログ出力(CH1-CH4): XLR×4、ローインピーダンス、  
+4 / 0 / -3 / -20dBm 切り替え可能  
SDI出力: BNC×1  
(HD:SMPTE 292M / 296M / 299M規  
格に準拠、SD:SMPTE 259M-C /  
272M-A,ITU-R BT.656-4規格に準拠)  
モニター出力: ピンジャック×2、 $-8\text{dBV}$ 、600Ω  
ヘッドホン出力: ステレオミニジャック(3.5mm径)、  
8Ω、レベル可変

## その他入出力信号

タイムコード入力: BNC×1、0.5 V [p-p]~8.0 V [p-p]、  
10kΩ  
タイムコード出力: BNC×1、ローインピーダンス、2.0V±  
0.5 V [p-p]  
RS-422A入出力: D-sub 9pin、RS-422A  
インターフェース  
IEEE1394デジタル入出力: IEEE1394 6pin×1  
400 / 200 / 100 Mbps選択可能  
IEEE1394-1995準拠  
IEC61883-Part1,Part2準拠  
SMPTE 396M準拠  
AV/C Command Set準拠  
USB2.0: HOST×1、DEVICE×1

# メニュー索引

## サムネールメニュー

THUMBNAIL.....	37
ALL CLIP.....	37
SAME FORMAT CLIPS.....	37
SELECTED CLIPS.....	37
MARKED CLIPS.....	38
TEXT MEMO CLIPS.....	38
SLOT CLIPS.....	38
SETUP.....	38
ALL HIDE.....	38
MARKER IND.....	38
TEXT MEMO IND.....	38
WIDE IND.....	38
PROXY IND.....	38
DATA DISPLAY.....	38
DATE FORMAT.....	39
THUMBNAIL SIZE.....	39
PLAYBACK RESUME.....	39
THUMBNAIL INIT.....	39
OPERATION.....	44
DELETE.....	45
FORMAT.....	53,99
REPAIR CLIP.....	46
RE-CONNECTION.....	46
COPY.....	44
EXCH THUMBNAIL.....	39
PROPERTY.....	
CLIP PROPERTY.....	47
CARD STATUS.....	55
DEVICES.....	99
PROPERTY SETUP.....	54
META DATA.....	
LOAD.....	51
RECORD.....	52
USER CLIP NAME.....	49
INITIALIZE.....	52
PROPERTY.....	51
LANGUAGE.....	50
HDD.....	
EXPORT.....	95
EXPLORE.....	96
SETUP.....	95

## HDDメニュー

THUMBNAIL.....	37
IMPORT.....	98
FORMAT(HDD).....	94
CHANGE PARTITION NAME.....	96
CLIP PROPERTY.....	97

## プレイリストメニュー

FILE.....	
NEW.....	63
OPEN.....	68
APPEND.....	66
SAVE.....	72
SAVE AS.....	67
DELETE.....	73
OPERATION.....	
DELETE ALL EVENT.....	71
DELETE SELECTED EVENTS.....	71
APPEND SELECTED CLIPS.....	64
EDIT COPY.....	90
CHANGE PLAYLIST NAME.....	67
EDIT AUDIO CH.....	64
PROPERTY.....	
EVENT PROPERTY.....	86
CARD STATUS.....	55
SETTING.....	
REPLACE TC.....	88
STOP MODE.....	62
AUDIO CH.....	64
INSERT MODE.....	63,74
INPUT TRACK.....	75
AUTO ENTRY.....	74





---

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

© Panasonic Corporation 2007

